

令和4年度

主要施策成果報告書

豊橋市

地方自治法第233条第5項の規定により、令和4年度一般会計および特別会計における主要な施策の成果について、その概要を次のとおり報告いたします。

目 次

I 決算の概要	
1. 概 況	3
2. 各会計決算集計表	6
3. 各基金年度末現在高	8
4. 各会計地方債年度末現在高	9
5. 職員の状況	10
6. 財政指標の状況（普通会計）	10
7. 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標	10
II 一般会計	
1. 歳入の状況	12
2. 歳出の状況	18
3. 主要な施策の成果	45
総 務 費	45
民 生 費	107
衛 生 費	159
労 働 費	202
農 林 水 産 業 費	208
商 工 費	228
土 木 費	246
消 防 費	288
教 育 費	295
災 害 復 旧 費	356
III 特別会計	
競 輪 事 業	358
国民健康保険事業	360
総合動植物公園事業	363
公共駐車場事業	366
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	367
後期高齢者医療	368

(注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

I 決算の概要

1. 概況

令和4年度は、ウィズコロナのもと、社会経済の正常化が進展する一方、国際的な原材料価格の上昇等により景気後退の懸念が高まった。こうしたなか、国は「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」や「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を実施し、国民生活や事業活動を支えることで経済の再生を図った。

本市においても、幾度も補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰対策を実施するとともに、「第6次豊橋市総合計画」に掲げる目指すまちの姿の実現に向け、諸施策を着実に推進したほか、「人づくり No.1 をめざすまちプロジェクト」をはじめとする4つのプロジェクトのもと、部局横断で重点課題に取り組み、「選ばれるまち」となるための施策を推進した。

(1) 重点的に取り組んだ主な内容

- 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち
子育て世帯の経済的な負担軽減のため、0歳から2歳までの第2子の保育料を無償化するとともに、月額4,500円を上限に3歳から5歳の第2子の副食費について助成を行うなど、子育てしやすい環境づくりに取り組んだ。
また、学校教育の推進・充実では、インクルーシブ教育を推進し、様々な特性のある児童にきめ細かな支援を行うため、小学校の特別支援学級に特別支援教育支援員を配置したほか、スポーツや芸術などの多彩な体験活動を行う「のびるndeスクール」を、全小学校で開設した。
- 活力みなぎり、はつらつと働けるまち
新たなビジネスモデルの創出支援として、本市農業が抱える課題の解決を図るため、アグリテックコンテストを開催したほか、スタートアップの事業化や資金調達を支援するための交流会を開催するなど、新たなチャレンジを支援した。
農業分野では、飲食店等と農家のマッチングを行い、豊橋産農産物を活用した料理等を身近に食べることができる環境づくりにより、地産地消を推進したほか、生産性の向上や省エネルギー化を推進するため、高性能な施設・機械の導入により、収益力の向上をめざす生産者を支援する助成制度を創設し、新規就農者の一層の呼び込みと定着を図った。
- 命の安全、心の安心が確保されたまち
防災・減災対策として、指定避難所等に整備したWi-Fi環境を活かし、避難支援システムや防災アプリ「Hazardon」を活用した避難所の運営体制強化を図るとともに、県が公表した津波災害警戒区域図に基づいたハザードマップを作成した。
消防・救急救命体制の強化では、救急需要が集中する日中の体制強化を図るため、本部日勤救急隊を創設するとともに、救急車を1台増車したほか、熱海市の土石流災害における緊急消防援助隊の活動経験を踏まえ、土砂災害対応の資機材を充実させた。
動物愛護の推進では、拠点となる「豊橋市動物愛護センター（仮称）」の整備を進めるため、建設に向けた整備基本計画を策定した。
- みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち
不妊治療に向き合う夫婦の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療費の自己負担分に助成を行ったほか、不妊・不育専門相談窓口では、不妊や不育等の相談に加え、新型出生前検査についての不安や悩みをもつ妊婦や、その家族をサポートする相談体制を構築し、きめ細かな支援を行った。
また、健康づくりの推進として、子宮頸がん予防のため、HPVワクチン定期接種の勧奨を行うとともに、若者を対象に正しい知識の普及、啓発を行ったほか、市内の大学で検診を実施した。
- 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち
「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の成果を引き継ぐため、同大会に出場した本市ゆかりの選手等による出前講座や、民間事業者と連携した市民参加型のスポーツ体験イベントを開催し、あらゆる世代がスポーツに親しめる機会を充実させた。
また、孤独・孤立で不安を抱える女性を支援するため、SNSによる相談窓口の開設や気軽に訪

れることのできる居場所を提供したほか、再就職や正規雇用へのステップアップをめざす女性を支援するため、国家資格・公的資格の取得に対して助成を行った。

○ 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

まちなかの活性化では、駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業に対し支援を行い、令和3年度に完成した東棟に引き続き、西棟の建築工事等を推進した。また、民間事業者が行う優良建築物等整備事業では、豊橋駅西口駅前地区に加え、新たに豊橋花園商店街地区に対して支援を行った。

そのほか、道の駅「とよはし」を拠点としたサイクリングイベントの開催などにより、サイクルツーリズムを推進したほか、総合動植物公園においては、ナイトZOOなどの季節イベントに加え、自然史博物館での特別企画展「ポケモン化石博物館」の開催などにより、入園者数が開園以来、初めて100万人を突破し、113万人となった。

○ 自然と共生し、地球環境を大切にすま

脱炭素社会の実現に向け、家庭用太陽光発電設備のパワーコンディショナーの更新や事業者向けの太陽光発電設備等の導入に対して助成を行ったほか、エネルギーの地産地消を推進するため、PPA事業の手法により、公共施設へ太陽光発電設備等を導入した。

また、廃棄物の適正処理を推進するため、大きなごみ戸別収集受付や資源化センター等への家庭ごみの直接搬入予約受付などに対応する「家庭ごみコールセンター」の設置に向け、予約システム導入などの準備に取り組んだほか、本市と田原市で広域処理を行う新しいごみ処理施設の整備工事に着手した。

○ 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

「豊橋新城スマートIC（仮称）」の早期開通に向け、中日本高速道路株式会社と新城市とともに、詳細設計等を実施した。また、インターチェンジ周辺の北部地域において、まちづくりの指針となる土地利用構想の策定に向け、住民ワークショップを行った。

公共交通の維持・活性化では、県境付近において企業や湖西市と連携し、企業が運行するシャトルバスを市民の交通結節点までの移動手段として活用する社会実験を実施したほか、公共交通の利便性向上を図るため、MaaSアプリとの連携に係る費用に対し交通事業者へ助成を行った。

○ その他

デジタル化や広報活動の推進として、それぞれの専門分野で活躍する人材をアドバイザーとして委嘱し、行政サービスのデジタル化や職員デジタル人材の育成を図るとともに、戦略的な広報活動により市のイメージアップと市内外への情報発信力の強化に取り組んだ。

(2) 一般会計の決算

歳入1,438億7,458万円に対し、歳出は1,382億5,448万円で、歳入歳出の差引額（形式収支）は56億2,010万円となった。このうち翌年度へ繰り越すべき財源14億7,606万円を差し引いた実質収支は41億4,404万円となり、前年度と比較して10億7,617万円減少した。また、20億8,000万円を財政調整基金へ繰り入れることとした。

○ 歳入の状況

市税決算額は653億2,153万円で、前年度と比較して2.0%、12億6,047万円の増となった。市税のうち個人市民税は、コロナ禍からの経済の回復基調による給与所得や営業等所得の増により1.2%の増となった。固定資産税は、家屋の新增築による増加や中小事業者コロナ減収特例の適用終了の影響などにより2.9%の増となった。市たばこ税は、売り渡し本数の増加や前年度の税率引上げの影響が通年化したことにより5.4%の増となった。

また、交付金等については、法人事業税交付金が45.1%、3億4,962万円増の11億2,425万円となった一方で、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減などにより地方特例交付金が59.8%、7億6,358万円減の5億1,231万円となったほか、株式等譲渡所得割交付金が41.8%、2億2,494万円減の3億1,281万円となった。

地方交付税は、普通交付税が2年連続の交付となったが、前年度と比較して34.3%、5億1,464万円減の9億8,571万円の交付、特別交付税は前年度と比較して6.3%、3,194万円増の5億3,518万円の交付となった。

国庫支出金は、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業が皆増となったものの、

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の減などにより、前年度と比較して13.8%、49億2,429万円減の307億2,230万円となった。

県支出金は、産地基幹施設等支援事業が皆減となったものの、新型コロナウイルス感染症対策事業の増や愛知県子育て世帯臨時特別給付金給付事業の皆増などにより、前年度と比較して18.9%、20億1,227万円増の126億6,905万円となった。

繰入金は、財政調整基金繰入や豊橋市立野依小学校等環境整備基金繰入の皆増などにより、前年度と比較して7.6倍、14億3,251万円増の16億4,888万円となった。

諸収入は、学校給食費収入や制度融資資金貸付金元金の減などにより、前年度と比較して20.0%、11億6,855万円減の46億8,241万円となった。

市債は、小学校校舎長寿命化改良事業や幹線市道整備事業の増があったものの、曙学校給食センター建設による共同調理場再整備事業やまちなか図書館整備事業の皆減などにより、前年度と比較して37.7%、39億5,220万円減の65億3,350万円となった。

○ 歳出の状況

人件費は213億3,641万円で、支給率引下げによる期末手当の減があったものの、定期昇給や退職者数の増に加え、選挙関係事務やマイナンバー交付関係事務への対応による時間外勤務手当の増などにより、前年度と比較して0.9%、1億8,392万円の増となった。

物件費は216億432万円で、新型コロナウイルスワクチン接種に係る予防接種事業の減があったものの、曙学校給食センター供用開始に伴う運営費の増などにより、前年度と比較して5.0%、10億3,378万円の増となった。

扶助費は377億3,100万円で、児童手当給付事業などが減となったものの、生活保護扶助事業や訓練等給付事業の増などにより、前年度と比較して3.3%、11億8,843万円の増となった。

補助費等は141億3,888万円で、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業が皆増となったものの、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の減などにより、前年度と比較して20.9%、37億4,540万円の減となった。

普通建設事業費は179億7,041万円で、小中学校校舎等長寿命化改良事業の増があったものの、共同調理場再整備事業やまちなか図書館整備事業の皆減などにより、前年度と比較して19.4%、43億2,365万円の減となった。

公債費は96億7,442万円で、前年度と比較して7.2%、6億4,942万円の増となった。

繰出金は138億4,368万円で、総合動植物公園事業で減となったものの、後期高齢者医療や下水道事業などで増となったことにより、前年度と比較して2.3%、3億1,270万円の増となった。

以上のことから、歳出合計では前年度対比3.7%、52億4,091万円の減となった。

なお、歳出予算総額が1,564億8,579万円であったのに対し、歳出決算額との差額182億3,131万円から翌年度繰越額86億9,471万円を除いた不用額は、負担金、補助及び交付金の31億9,572万円、委託料の20億8,999万円をはじめとして、一般会計全体で95億3,659万円となった。

(3) 特別会計の決算

決算規模は6会計の合計で歳入732億7,031万円、歳出697億5,589万円で、歳入歳出の差引額は35億1,442万円となった。

(4) 財政指標

経常収支比率は、市税や地方消費税交付金などの経常一般財源収入は増加したものの、物件費や公債費などの経常経費充当一般財源も増加したため、前年度の87.2%から89.4%へと2.2ポイント増加した。

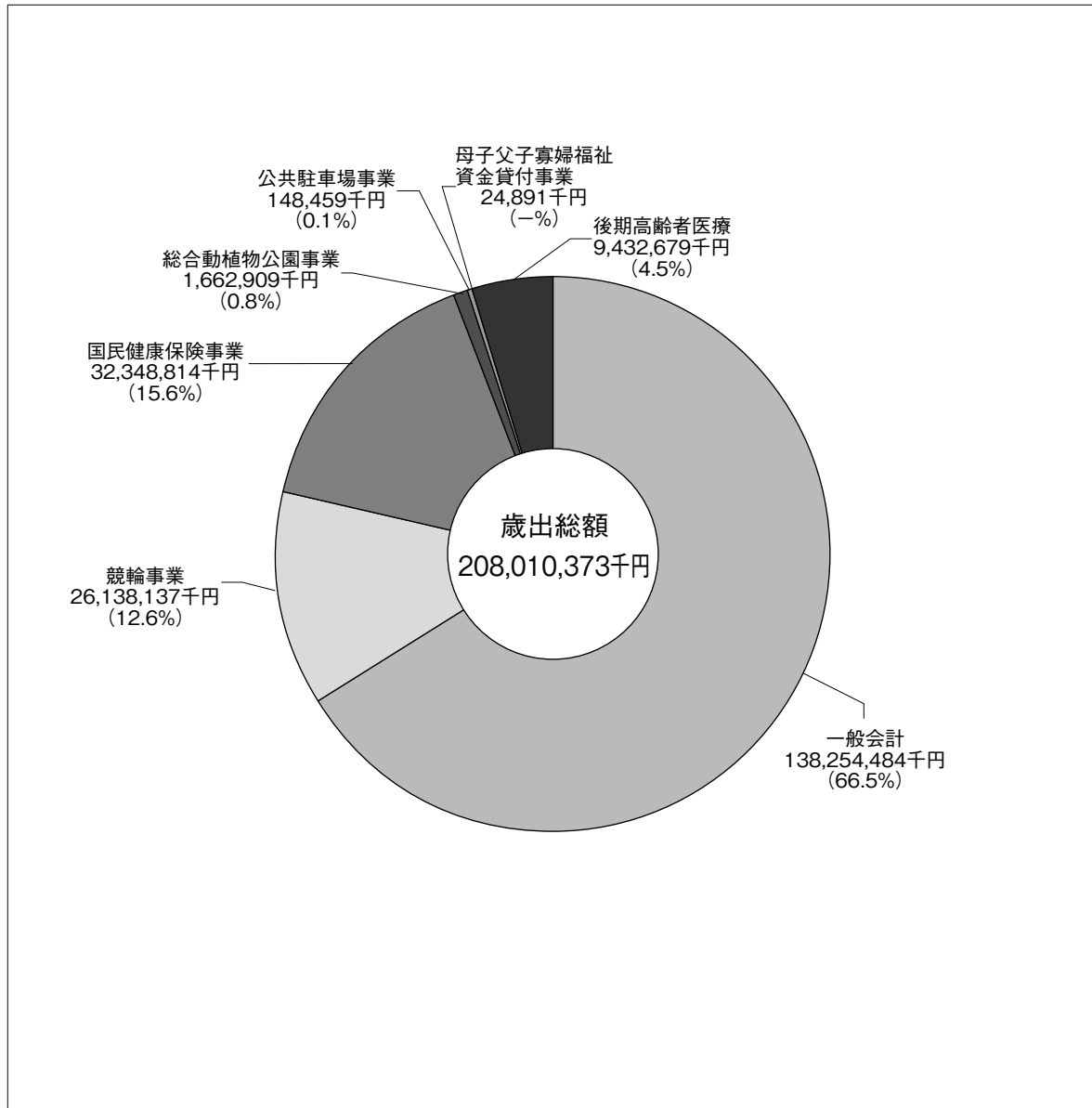
また、実質公債費比率は、市債の元金償還金の増加などにより、前年度の3.8%から4.4%へと0.6ポイント増加した。将来負担比率は、市債の現在高の減に加え、財政調整基金等の基金残高の増などにより、前年度の33.3%から27.8%へと5.5ポイント改善した。いずれも早期健全化基準等を大きく下回っているものの、引き続き、歳出の見直しと財源確保に取り組むとともに、将来負担の適正化を見据えた財政運営に努める。

2. 各会計決算集計表

単位：千円

会 計 名	最終予算額	決 算 額			翌年度に 繰越す 繰越き財源	翌年度繰 上充用額	実 質 収 支 額 (差引純繰越額)	
		歳 入	歳 出	差引額				
一 般 会 計	156,485,790	143,874,584	138,254,484	5,620,100	1,476,058	0	4,144,042	
特 別 会 計	競 輪 事 業	26,992,800	27,026,420	26,138,137	888,283	0	0	888,283
	国民健康保険事業	33,684,000	34,952,134	32,348,814	2,603,321	0	0	2,603,321
	総合動植物公園事業	1,731,700	1,662,909	1,662,909	0	0	0	0
	公共駐車場事業	171,100	148,459	148,459	0	0	0	0
	母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	30,000	41,320	24,891	16,430	0	0	16,430
	後期高齢者医療	9,691,000	9,439,066	9,432,679	6,387	0	0	6,387
小 計	72,300,600	73,270,309	69,755,889	3,514,420	0	0	3,514,420	
合 計	228,786,390	217,144,893	208,010,373	9,134,520	1,476,058	0	7,658,462	

各会計決算集計表（歳出）



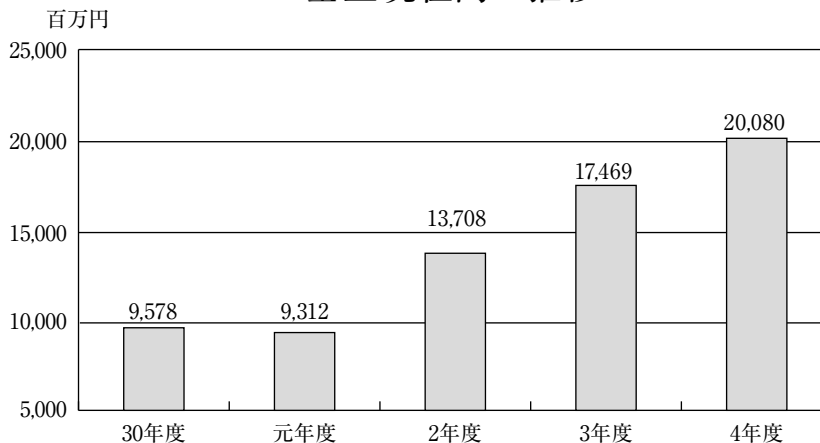
3. 各基金年度末現在高

単位：千円

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般 会 計	財政調整基金	6,010,677	5,261,195	5,298,163	7,673,704	9,149,359
	減債基金	363,196	355,273	347,475	339,741	332,303
	新型コロナウイルス感染症対策基金	—	—	215,130	110,000	0
	ふるさと基金	30,300	43,934	79,820	82,967	108,007
	公共施設等整備基金	322,927	532,479	866,188	1,120,838	1,531,457
	文化振興基金	37,877	38,380	38,621	38,637	38,677
	丸山薫現代詩振興基金	—	10,000	10,005	9,357	8,841
	体育振興基金	38,630	38,630	38,630	38,630	38,630
	市民協働推進基金	17,175	17,104	16,877	16,643	16,701
	福祉振興基金	222,652	222,752	229,858	230,158	230,458
	河原福祉基金	53,495	48,817	42,976	40,375	25,084
	高齢者福祉・医療振興基金	—	—	—	224,377	212,168
	環境活動振興基金	2,761	2,233	1,715	3,257	2,063
	森林環境譲与税基金	—	15,389	49,961	81,601	113,856
	未来産業支援基金	—	—	2,609,770	2,607,398	2,510,847
	つつじが丘校区地域振興基金	176,782	176,850	176,924	177,058	171,958
	地域公共交通活性化基金	2,947	3,102	3,258	3,414	3,574
	教育振興基金	28,118	28,603	28,812	28,919	29,022
	豊橋市立野依小学校等環境整備基金	—	—	—	171,003	20,284
	小・中学校読書活動振興基金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	司文庫基金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	星野眞吾・高畑郁子美術振興基金	404,519	411,796	415,904	406,618	408,411
	美術博物館資料取得等基金	—	—	—	—	70,000
特別 会 計	競輪事業財政調整基金	586,763	586,990	587,235	587,678	588,641
	競輪事業施設等整備基金	103,291	352,486	1,107,981	1,923,651	2,867,314
	国民健康保険事業財政調整基金	836	837	500,973	501,352	501,951
	豊橋総合動植物公園整備基金	34,936	40,905	49,767	65,275	76,998
	公共駐車場事業基金	409,690	394,625	249,774	244,018	281,458
土地開発基金	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	
収入印紙購入基金	—	—	12,000	12,000	12,000	
合 計	9,577,572	9,312,379	13,707,816	17,468,670	20,080,061	

※年度末現在高については出納整理期間における収入、支出を含んだ数値を記載している。また、会計等については、令和4年度に経理した区分である。

基金現在高の推移



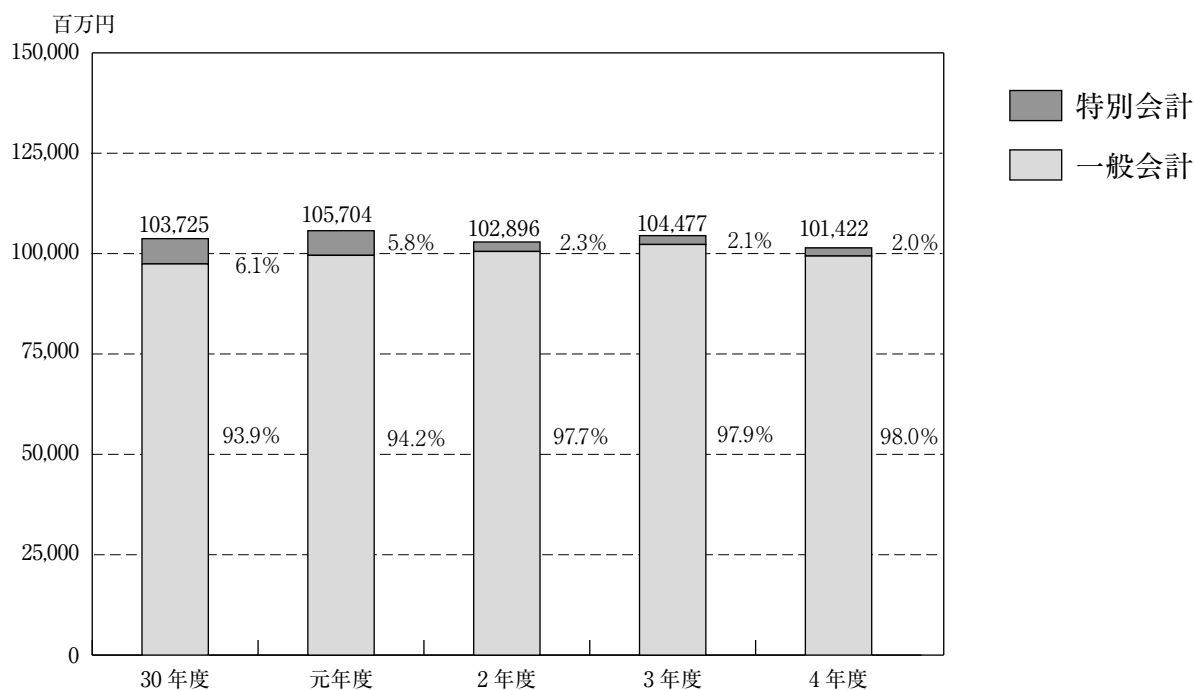
4. 各会計地方債年度末現在高

単位：千円

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一 般 会 計		97,424,904	99,565,585	100,534,827	102,272,793	99,393,080
特 別 会 計	総 合 動 植 物 公 園 事 業	1,960,607	2,006,311	2,297,443	2,153,987	1,989,483
	公 共 駐 車 場 事 業	16,059	0	0	0	0
	地 域 下 水 道 事 業	4,251,189	4,060,015	—	—	—
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	72,338	71,924	63,698	50,094	39,927
小 計		6,300,193	6,138,250	2,361,141	2,204,081	2,029,410
合 計		103,725,097	105,703,835	102,895,968	104,476,874	101,422,490

※地域下水道事業特別会計は、令和2年度より企業会計（下水道事業会計）へ移行

地方債現在高の推移



5. 職員の状況

単位：人

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般会計	2,138	2,156	2,166	2,179	2,198
特別会計	114	114	107	110	112
合計	2,252	2,270	2,273	2,289	2,310

職員数は4月1日現在

6. 財政指標の状況（普通会計）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
経常収支比率（%）	87.3	88.5	87.6	87.2	89.4	
自主財源比率（%）	62.3	60.6	45.1	51.4	54.8	
財政力指数	単年度	0.991	0.998	1.012	0.974	0.983
	3か年平均	0.990	0.993	1.000	0.995	0.990

7. 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく指標

〔健全化判断比率〕

単位：%

区 分	早期健全化基準 (本市における基準)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実質赤字比率	11.25以下	実質赤字額なし (3.90)	実質赤字額なし (5.02)	実質赤字額なし (6.40)	実質赤字額なし (6.96)	実質赤字額なし (5.58)
連結実質赤字比率	16.25以下	実質赤字額なし (24.63)	実質赤字額なし (25.32)	実質赤字額なし (27.27)	実質赤字額なし (33.64)	実質赤字額なし (34.66)
実質公債費比率	25.0以下	3.8	3.7	3.8	3.8	4.4
将来負担比率	350.0以下	49.9	50.8	42.4	33.3	27.8

() は黒字比率を記載

〔資金不足比率〕

単位：%

区 分	経営健全化基準	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
水道事業会計	20.0以下	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
下水道事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
病院事業会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
総合動植物公園事業特別会計		資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし
地域下水道事業特別会計		資金不足額なし	資金不足額なし	—	—	—

Ⅱ 一 般 会 計

1. 歳入の状況

一般会計款別決算状況（歳入）

単位：千円、%

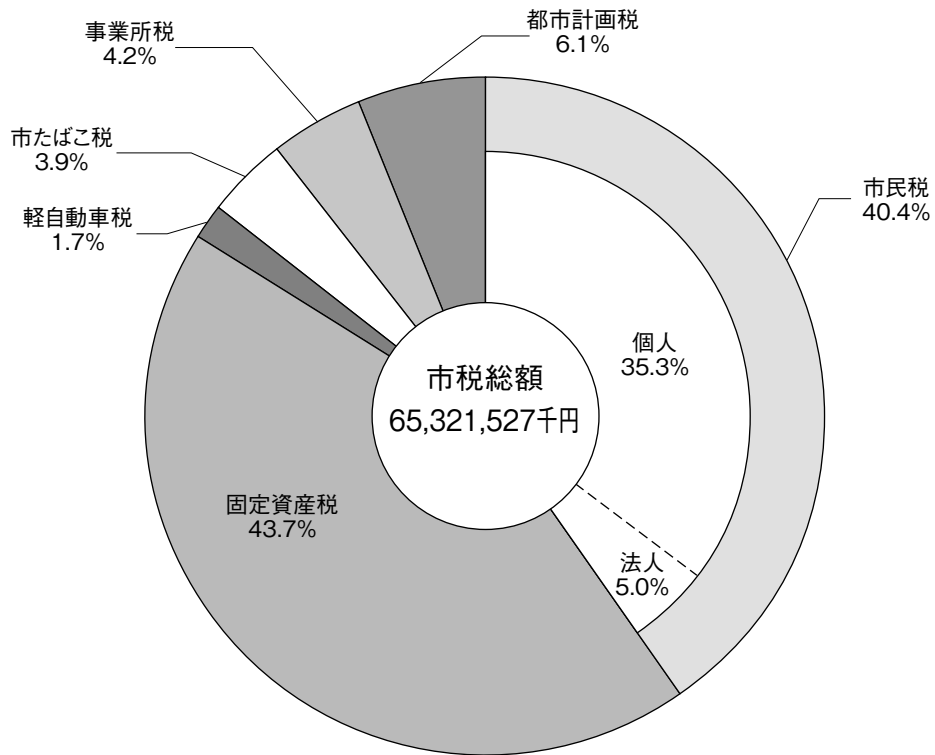
区 分	令和3年度			令和4年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 税	64,061,053	42.8	△ 2.4	65,321,527	45.4	2.0
2 地 方 譲 与 税	1,378,213	0.9	2.0	1,384,839	1.0	0.5
3 利 子 割 交 付 金	38,455	—	△ 35.2	25,944	—	△ 32.5
4 配 当 割 交 付 金	471,290	0.3	35.6	454,994	0.3	△ 3.5
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	537,758	0.4	63.4	312,814	0.2	△ 41.8
6 法 人 事 業 税 交 付 金	774,627	0.5	2.0倍	1,124,248	0.8	45.1
7 地 方 消 費 税 交 付 金	8,931,289	6.0	8.9	9,286,144	6.5	4.0
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	19	—	皆増	17	—	△ 12.8
9 環 境 性 能 割 交 付 金	234,556	0.2	△ 3.8	284,939	0.2	21.5
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 助 成 交 付 金	3,866	—	3.3倍	3,950	—	2.2
11 地 方 特 例 交 付 金	1,275,881	0.9	2.4倍	512,306	0.4	△ 59.8
12 地 方 交 付 税	2,003,590	1.3	17.0倍	1,520,893	1.1	△ 24.1
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	72,370	—	△ 2.5	63,563	—	△ 12.2
14 分 担 金 及 び 負 担 金	391,954	0.3	8.8	328,877	0.2	△ 16.1
15 使 用 料 及 び 手 数 料	2,781,737	1.9	3.8	2,808,979	2.0	1.0
16 国 庫 支 出 金	35,646,582	23.8	△ 46.4	30,722,296	21.4	△ 13.8
17 県 支 出 金	10,656,779	7.1	△ 4.4	12,669,053	8.8	18.9
18 財 産 収 入	382,263	0.3	△ 25.5	554,683	0.4	45.1
19 寄 附 金	502,805	0.3	3.9倍	236,515	0.2	△ 53.0
20 繰 入 金	216,373	0.1	△ 88.2	1,648,885	1.1	7.6倍
21 繰 越 金	2,810,491	1.9	35.1	3,393,213	2.4	20.7
22 諸 収 入	5,850,958	3.9	△ 27.7	4,682,406	3.3	△ 20.0
23 市 債	10,485,700	7.0	10.1	6,533,500	4.5	△ 37.7
合 計	149,508,607	100	△ 17.0	143,874,584	100	△ 3.8

市 税 決 算 状 況

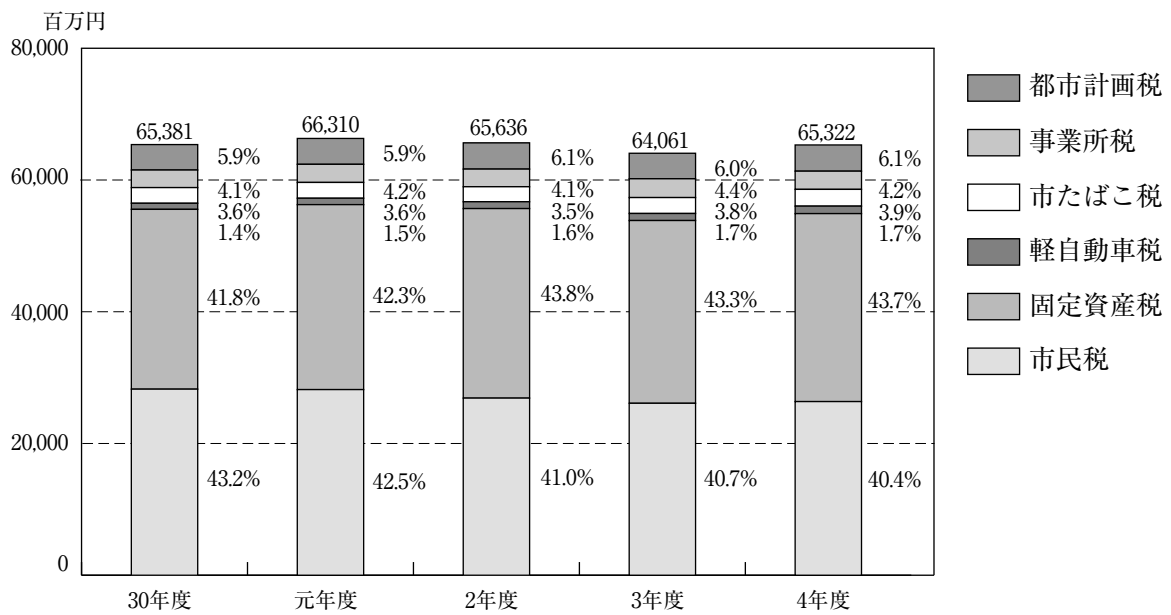
単位：千円、%

区 分	令和3年度			令和4年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 市 民 税	26,103,895	40.7	△ 2.9	26,362,395	40.4	1.0
(1) 個 人	22,810,773	35.6	△ 3.2	23,081,551	35.3	1.2
(2) 法 人	3,293,123	5.1	△ 0.9	3,280,844	5.0	△ 0.4
2 固 定 資 産 税	27,743,544	43.3	△ 3.6	28,536,400	43.7	2.9
3 軽 自 動 車 税	1,071,844	1.7	3.5	1,134,722	1.7	5.9
4 市 た ば こ 税	2,415,275	3.8	6.1	2,545,922	3.9	5.4
5 事 業 所 税	2,850,665	4.4	6.4	2,762,200	4.2	△ 3.1
6 都 市 計 画 税	3,875,685	6.0	△ 2.6	3,979,738	6.1	2.7
7 鉦 産 税	143	—	4.4	150	—	4.6
合 計	64,061,053	100	△ 2.4	65,321,527	100	2.0

市税決算状況



市税決算状況の推移



目的税（事業所税、都市計画税）の充当状況

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	事業所税	
							事業所税	都市計画税
保育所、社会福祉施設等整備	・法人保育所・認定こども園整備費補助金 ・保健所・保健センター管理運営事業 など	767,668	323,895	163,100	0	280,673	101,054	0
火葬場整備	・斎場管理運営事業	44,584	0	0	0	44,584	16,052	0
廃棄物処理施設等整備	・余熱利用施設管理運営事業 ・ごみ焼却処理事業 ・豊橋田原ごみ処理施設整備事業 など	1,781,132	68,270	53,900	2,561	1,656,401	230,812	1,015,500
道路・橋梁、河川等整備	・道路舗装事業 ・橋梁長寿命化事業 など	2,579,958	392,979	374,400	25,200	1,787,379	631,923	32,800
公園整備	・公園修繕事業 など	274,556	79,176	107,400	0	87,979	5,266	73,900
市街地整備	・駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業 ・豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業 ・柳生川南部土地区画整理推進事業 など	1,819,303	964,407	409,500	100,775	344,621	5,110	330,800
下水道整備	・雨水処理等負担金 ・下水道建設改良事業出資金	1,490,923	0	0	0	1,490,923	128,623	1,362,300
消防・防災施設等整備	・消防署所施設管理事業 ・耐震性防火水槽整備事業 など	236,778	29,224	151,600	0	55,954	20,146	0
教育・文化施設整備	・穂の国とよはし芸術劇場管理事業 ・美術博物館整備事業 ・学校給食センター運営事業 など	1,555,409	124,645	351,100	133,069	946,595	405,569	70,838
公債費	・都市計画事業債等に係る元利償還金	4,091,821	0	0	0	4,091,821	1,079,535	1,093,600
徴税費	・課税事務費 など	1,179,476	622,624	0	42,809	514,043	138,110	0
合 計		15,821,606	2,605,220	1,611,000	304,414	11,300,973	2,762,200	3,979,738

森林環境譲与税の充当状況

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決算額	財 源 内 訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	森林環境譲与税
							森林環境譲与税
森林環境整備	・森林環境整備推進事業費 ・森林環境譲与税基金積立金 ・観光施設管理事業費	47,878	0	0	0	47,878	47,878
合 計		47,878	0	0	0	47,878	47,878

地方消費税交付金（消費税率引上げ分）の充当状況

消費税率が引き上げられたことに伴う地方消費税交付金の増収分の充当状況については、次のとおりです。

（歳入） 7款1項1目 地方消費税交付金

決算額 9,286,144 千円

うち、社会保障財源分 5,193,981 千円

（歳出） 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

単位：千円

区 分	主 な 事 業	決 算 額	財 源 内 訳			
			国県支出金	そ の 他	一 般 財 源	うち、 引上げ分の 地方消費税
社会福祉	障害者福祉事業	12,379,366	8,293,018	1,196	4,085,152	835,383
	高齢者福祉事業	969,655	331,498	451	637,706	130,406
	児童福祉事業	21,051,838	11,914,639	790,143	8,347,056	1,706,911
	母子父子福祉事業	1,340,900	488,307	30	852,563	174,343
	生活保護事業	3,998,947	3,095,175	57,488	846,284	173,059
小 計		39,740,706	24,122,637	849,308	14,768,761	3,020,102
社会保険	国民健康保険事業	2,163,537	1,256,401	0	907,136	185,503
	介護保険事業	2,676,754	0	0	2,676,754	547,377
	高齢者医療事業	4,478,269	672,918	0	3,805,351	778,166
小 計		9,318,560	1,929,319	0	7,389,241	1,511,046
保健衛生	病院事業	1,332,250	0	0	1,332,250	272,435
	疾病予防対策事業	4,110,722	2,216,912	5,868	1,887,942	386,070
	医療提供体制確保事業	37,475	0	16,309	21,166	4,328
小 計		5,480,447	2,216,912	22,177	3,241,358	662,833
合 計		54,539,713	28,268,868	871,485	25,399,360	5,193,981

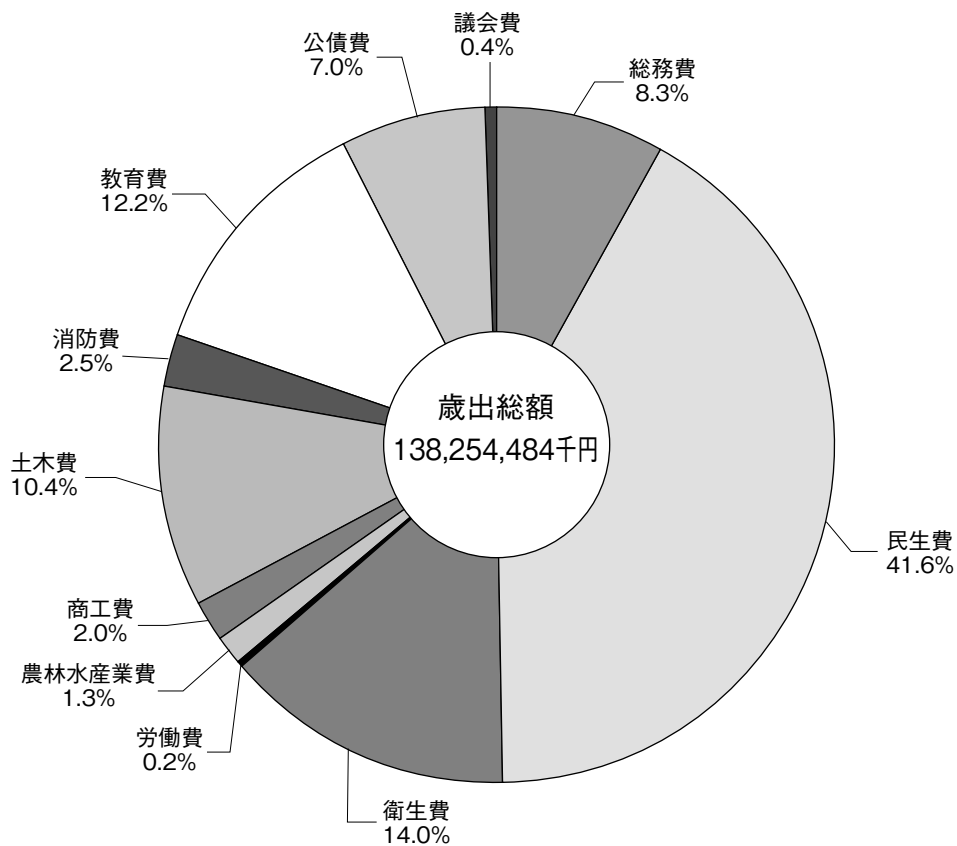
2. 歳出の状況

一般会計款別決算状況（歳出）

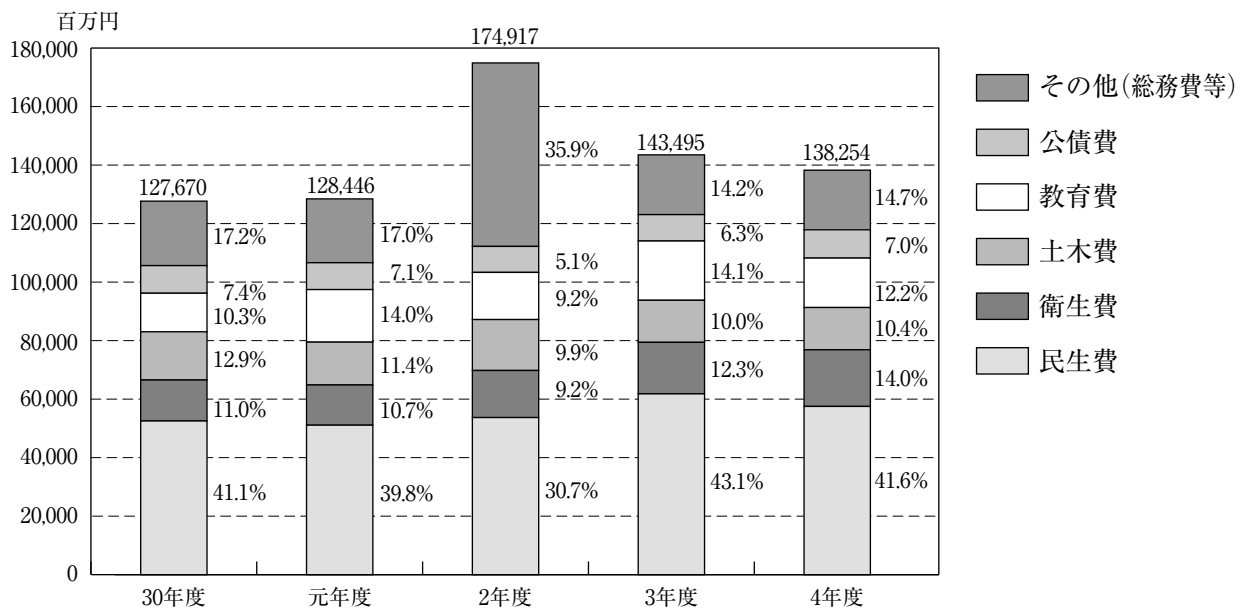
単位：千円、%

区 分	令和3年度			令和4年度		
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
1 議 会 費	635,891	0.4	3.7	616,273	0.4	△ 3.1
2 総 務 費	10,813,171	7.5	△ 78.2	11,416,865	8.3	5.6
3 民 生 費	61,807,895	43.1	15.1	57,508,096	41.6	△ 7.0
4 衛 生 費	17,602,812	12.3	9.4	19,367,790	14.0	10.0
5 労 働 費	217,817	0.2	△ 19.9	285,248	0.2	31.0
6 農 林 水 産 業 費	1,826,867	1.3	9.1	1,796,197	1.3	△ 1.7
7 商 工 費	3,288,481	2.3	△ 52.9	2,772,191	2.0	△ 15.7
8 土 木 費	14,376,068	10.0	△ 17.4	14,439,745	10.4	0.4
9 消 防 費	3,635,599	2.5	△ 0.8	3,462,095	2.5	△ 4.8
10 教 育 費	20,259,015	14.1	25.7	16,893,095	12.2	△ 16.6
11 災 害 復 旧 費	6,776	—	△ 58.6	22,468	—	3.3倍
12 公 債 費	9,025,003	6.3	1.6	9,674,423	7.0	7.2
合 計	143,495,394	100	△ 18.0	138,254,484	100	△ 3.7

一般会計款別決算状況（歳出）



款別決算状況の推移

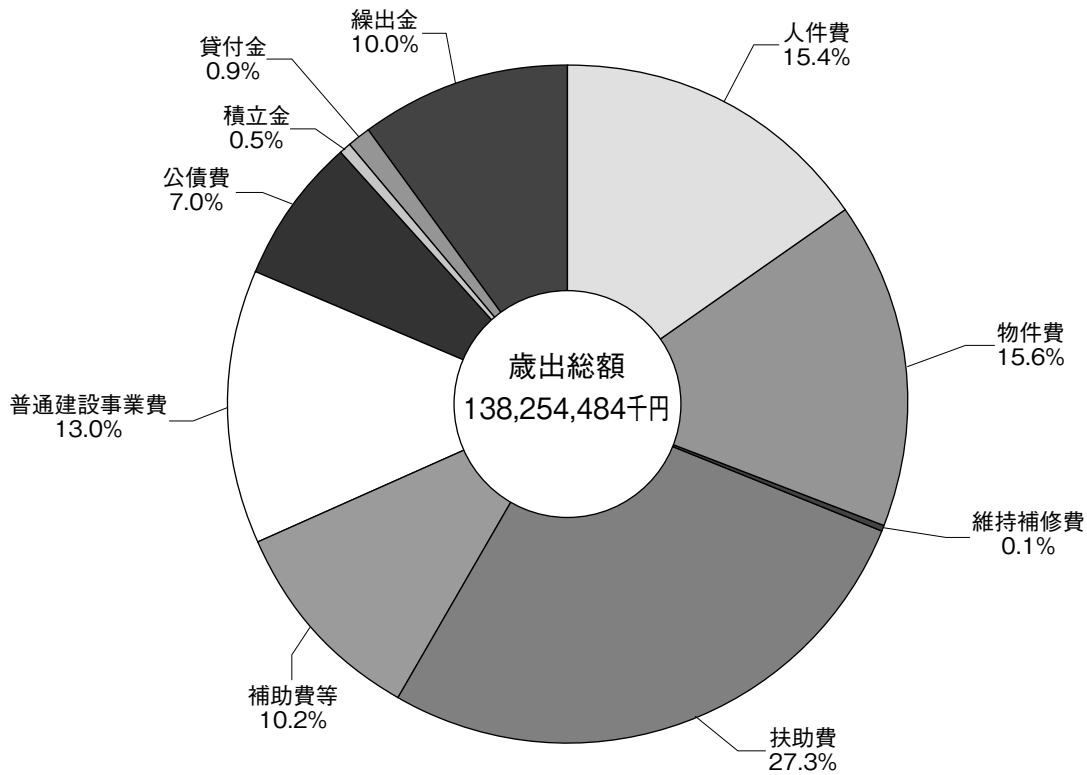


一般会計性質別決算状況（歳出）

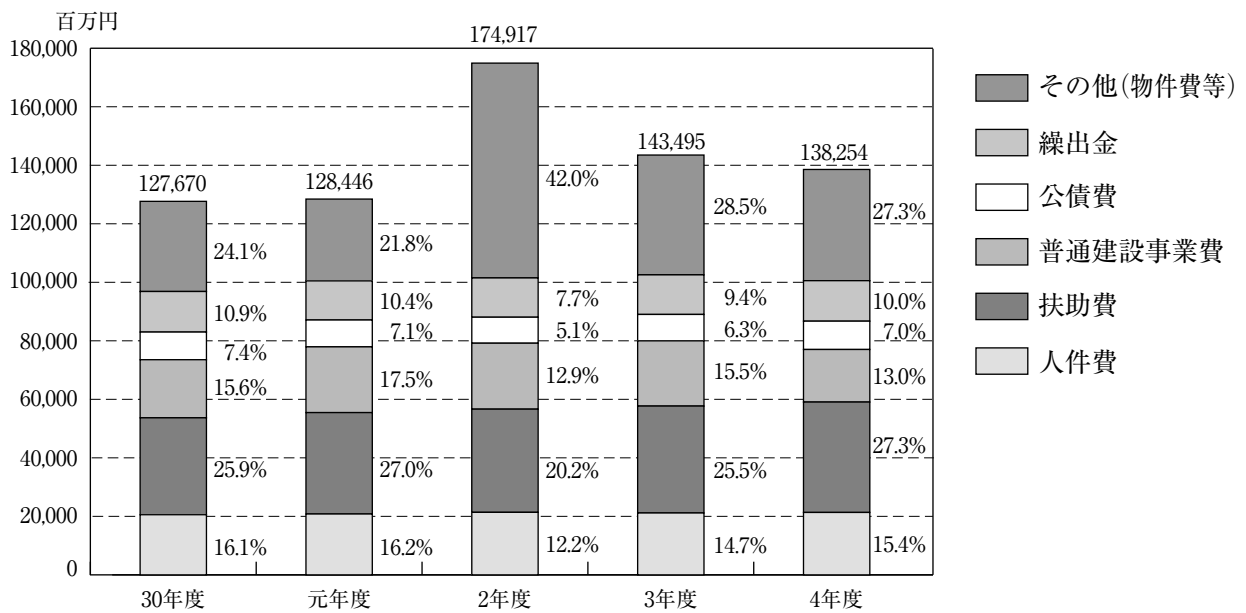
単位：千円、%

区 分	令和3年度			令和4年度			
	決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率	
1 人 件 費	21,152,490	14.7	△ 1.0	21,336,408	15.4	0.9	
2 物 件 費	20,570,543	14.3	1.5	21,604,322	15.6	5.0	
3 維 持 補 修 費	91,841	0.1	△ 19.2	103,939	0.1	13.2	
4 扶 助 費	36,542,568	25.5	3.6	37,731,000	27.3	3.3	
5 補 助 費 等	17,884,280	12.5	△ 63.0	14,138,879	10.2	△ 20.9	
6 普 通 建 設 事 業 費	22,294,062	15.5	△ 1.1	17,970,409	13.0	△ 19.4	
内 訳	補 助 事 業 費	9,472,701	6.6	△ 18.1	8,846,632	6.4	△ 6.6
	単 独 事 業 費	12,305,026	8.6	17.7	8,677,322	6.3	△ 29.5
	県 営 事 業 負 担 金	516,335	0.4	△ 2.2	446,456	0.3	△ 13.5
7 災 害 復 旧 事 業 費	6,776	—	△ 58.6	22,468	—	3.3倍	
8 公 債 費	9,025,003	6.3	1.6	9,674,423	7.0	7.2	
9 積 立 金	774,045	0.5	△ 76.6	638,154	0.5	△ 17.6	
10 投 資 及 び 出 資 金	300	—	△ 98.2	300	—	0.0	
11 貸 付 金	1,622,500	1.1	14.0	1,190,500	0.9	△ 26.6	
12 繰 出 金	13,530,986	9.4	0.7	13,843,683	10.0	2.3	
合 計	143,495,394	100	△ 18.0	138,254,484	100	△ 3.7	

一般会計性質別決算状況（歳出）



性質別決算状況の推移

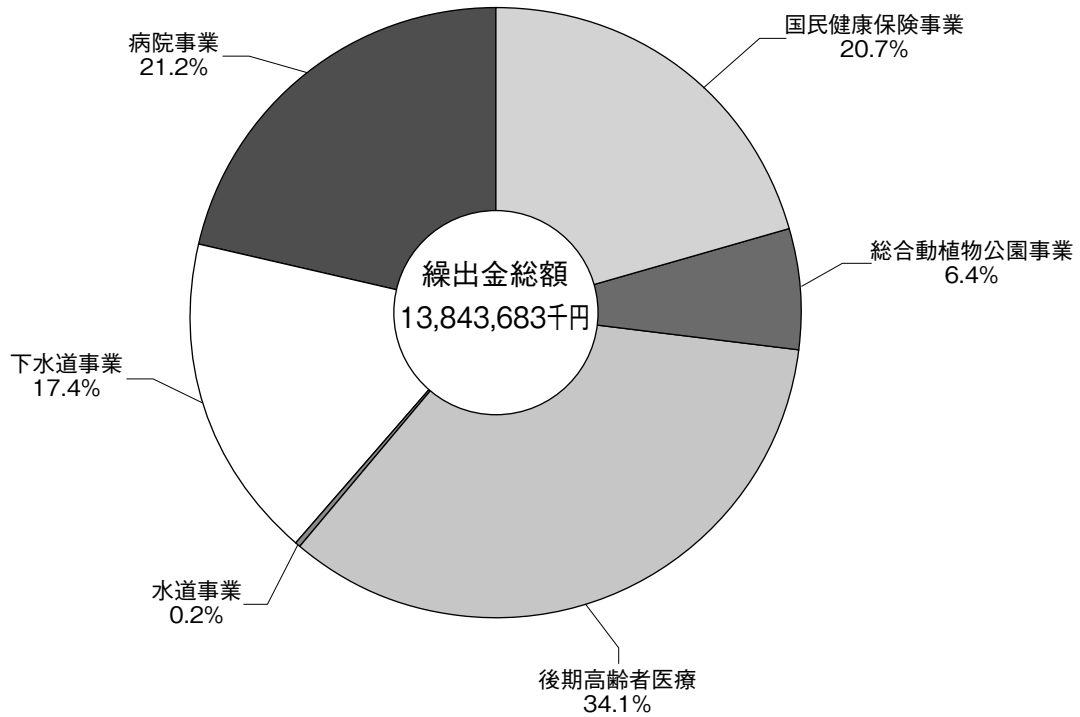


他会計への繰出金決算状況

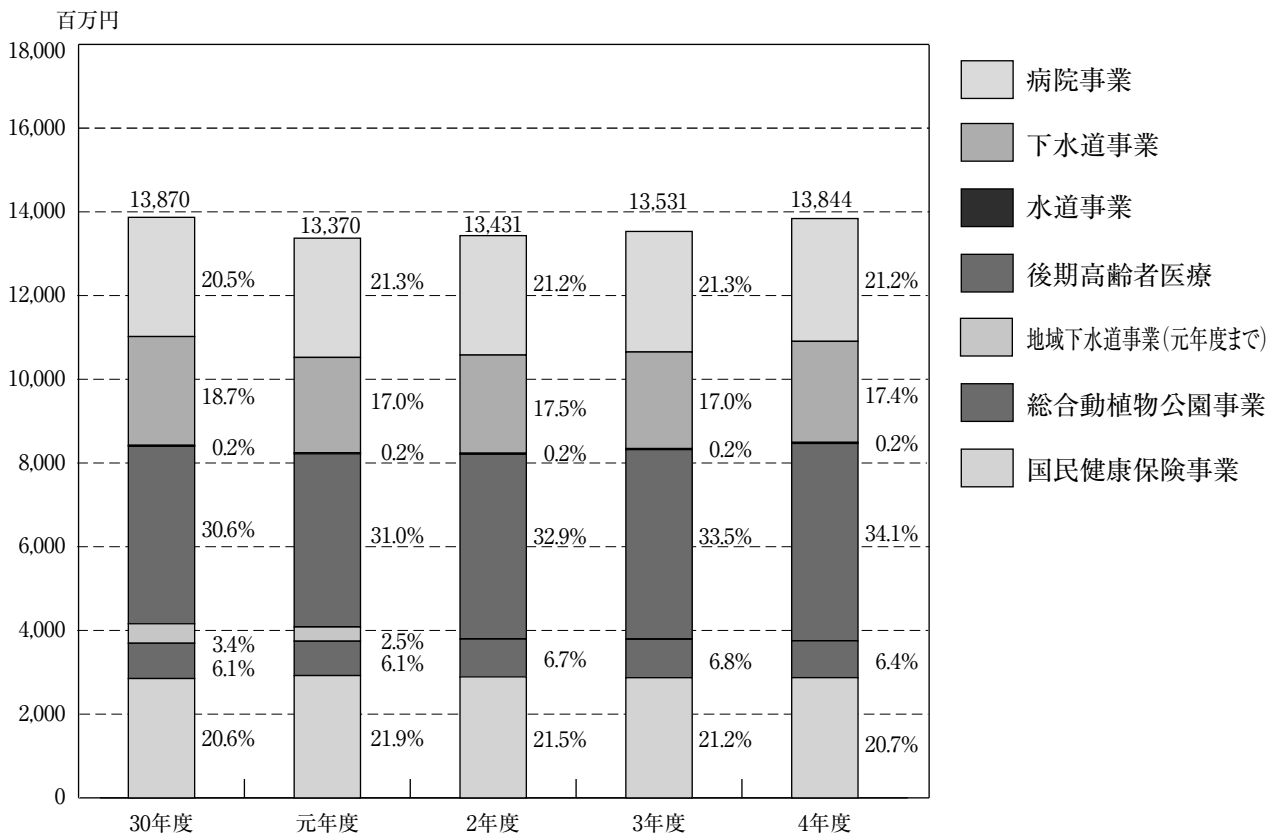
単位：千円、%

区 分		令和3年度			令和4年度		
		決算額	構成比	伸率	決算額	構成比	伸率
特 別 会 計	国民健康保険事業	2,870,677	21.2	△ 0.7	2,871,607	20.7	0.0
	総合動植物公園事業	918,291	6.8	1.7	879,653	6.4	△ 4.2
	公共駐車場事業	—	—	—	1,901	—	皆増
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	92	—	△ 33.6	2,570	—	27.9倍
	後期高齢者医療	4,530,805	33.5	2.6	4,714,591	34.1	4.1
	小 計	8,319,864	61.5	1.4	8,470,322	61.2	1.8
企 業 会 計	水道事業	24,801	0.2	0.5	25,617	0.2	3.3
	児童手当費負担金	6,338	—	5.1	6,938	0.1	9.5
	消火栓設置等負担金	18,463	0.1	△ 0.9	18,679	0.1	1.2
	下水道事業	2,306,801	17.0	△ 1.6	2,413,387	17.4	4.6
	雨水処理等負担金	1,664,847	12.3	1.8	1,766,537	12.8	6.1
	児童手当費負担金	6,827	0.1	△ 6.3	6,824	—	0.0
	下水道建設改良事業出資金	87,814	0.6	△ 10.8	67,133	0.5	△ 23.6
	バイオマス利活用センター負担金	338,814	2.5	△ 4.5	351,545	2.5	3.8
	分流式下水道等負担金	208,499	1.5	△ 15.7	221,348	1.6	6.2
	病院事業	2,879,519	21.3	0.9	2,934,358	21.2	1.9
	病院運営事業費負担金	559,255	4.1	△ 0.1	583,398	4.2	4.3
	救命救急センター運営費負担金	378,320	2.8	1.3	420,017	3.0	11.0
	空床確保費負担金	209,291	1.5	2.2	217,857	1.6	4.1
	保健衛生行政経費負担金	104,105	0.8	11.6	110,978	0.8	6.6
	企業債償還金等負担金	1,557,017	11.5	0.0	1,557,017	11.2	0.0
児童手当費負担金	49,972	0.4	8.0	45,092	0.3	△ 9.8	
建設改良費出資金	21,560	0.2	19.8	—	—	皆減	
小 計	5,211,122	38.5	△ 0.2	5,373,362	38.8	3.1	
合 計	13,530,986	100	0.7	13,843,683	100	2.3	

繰出金決算状況



繰出金決算状況の推移



新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
1 款 議会費	29,040	28,000	28,000	0	1,040
①議会運営事務費	29,040	28,000	28,000	0	1,040
2 款 総務費	134,819,654	124,906,000	119,895,000	256,057	9,657,597
①新型コロナウイルス感染症対策基金 積立金	256,057	0	0	256,057	0
②職員採用事務費	59,800	58,000	58,000	0	1,800
③庁舎管理事務費	60,647,400	54,220,000	54,220,000	0	6,427,400
④未来創生戦略事業費	781,000	758,000	758,000	0	23,000
⑤行政情報管理システム管理運営事業費	17,778,721	17,262,000	17,262,000	0	516,721
⑥ICT利活用推進事業費	29,172,715	28,325,000	28,325,000	0	847,715
⑦個人市民税課税事務費	1,247,129	1,210,000	1,210,000	0	37,129
⑧窓口センター施設管理運営事業費	136,076	132,000	132,000	0	4,076
⑨文化がみえるまちづくり事業費	0	0	0	0	0
⑩市民文化会館管理事業費	0	0	0	0	0
⑪西川芸能練習場管理事業費	0	0	0	0	0
⑫三の丸会館管理事業費	0	0	0	0	0
⑬ライフポートとよはし管理事業費	0	0	0	0	0
⑭公会堂管理事業費	0	0	0	0	0
⑮穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	855,000	747,000	747,000	0	108,000
⑯アイプラザ豊橋管理事業費	113,000	98,000	98,000	0	15,000
⑰総合運動場管理運営事業費	67,000	58,000	58,000	0	9,000
⑱地区体育館管理運営事業費	310,000	270,000	270,000	0	40,000
⑲トレーニングセンター管理運営事業費	985,900	952,000	952,000	0	33,900

対策の決算状況

単位：円

区 分	実績及び成果	
	令和3年度	令和4年度
Web会議システム導入	29,040円	29,040円
新型コロナウイルス感染症対策基金積立金	8,161,550円	256,057円
採用試験における感染防止対策	採用試験会場の増設 36,000円 採用試験会場の消毒委託 26,400	採用試験会場の増設 40,000円 採用試験会場の消毒委託 19,800
市役所内の感染症対策環境整備 空調設備修繕 市役所内サテライトオフィス整備 地下駐車場換気システム修繕	アクリル板等の購入 959,024円 9台 114,268,000 地下1階改装工事等 —	空調機フィルターの購入 1,313,400円 58台 54,527,000 地下1階LAN工事 13台 3,520,000
豊橋市新型コロナ通知システムの運用	858,000円	781,000円
チャットサービス利用料 テレワーク用PC賃借料 無線化作業 無線化機器 庁内無線化等ネットワーク再編プロジェクト管理等委託	140ライセンス 592,900円 75台 1,168,640 無線化作業 3,113,000 無線化機器 907,522 —	140ライセンス 646,800円 75台 1,752,960 — 10,483,961 4,895,000
テレワーク用スマートフォン導入 Web会議システム導入 庁内無線化等ネットワーク再編プロジェクト管理等委託 テレワーク用PC購入 チャットサービス利用料 Web会議用PC賃借料 テレワーク用PCソフトウェア利用料	6台 166,703円 1,128,519 4,899,950 100台 7,480,000 — — —	6台 206,076円 1,334,340 — 285台 25,337,697 350ライセンス 1,617,000 296,452 381,150
住民税申告における感染防止対策	HP上で申告書作成機能の提供、申告時の順番待ち受付システムの増台	HP上で申告書作成機能の提供、申告時の順番待ち受付システムの利用拡大
空調設備修繕 感染症対策環境整備	4施設 2,761,000円 消毒液等の消耗品購入 30,810	— 消毒液等の消耗品購入 136,076円
ストリートピアノ消毒等清掃委託	127,050円	—
指定管理者支援補助金	0円	—
指定管理者支援補助金	0円	—
指定管理者支援補助金	0円	—
指定管理者支援補助金	594,000円	—
指定管理者支援補助金	77,000円	—
指定管理者支援補助金	11,906,000円	855,000円
指定管理者支援補助金	3,263,000円	113,000円
指定管理者支援補助金	683,000円	67,000円
指定管理者支援補助金	372,000円	310,000円
指定管理者支援補助金 空調設備修繕	— 49,000円	1台 41,000円 944,900

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑳岩田総合球技場管理運営事業費	37,000	35,000	35,000	0	2,000
㉑運動広場管理運営事業費	17,000	14,000	14,000	0	3,000
㉒総合体育館管理運営事業費	348,000	304,000	304,000	0	44,000
㉓万場調整池庭球場管理運営事業費	10,000	9,000	9,000	0	1,000
㉔屋内プール・アイスアリーナ管理運 営事業費	614,000	536,000	536,000	0	78,000
㉕スポーツを活用したまちづくり事業費	1,089,855	1,058,000	1,058,000	0	31,855
㉖スポーツによる共生・交流促進事業費	100,000	97,000	97,000	0	3,000
㉗自治連合会活動事業費	316,800	307,000	307,000	0	9,800
㉘校区市民館管理運営事業費	3,782,298	3,672,000	3,672,000	0	110,298
㉙市民センター管理運営事業費	757,500	734,000	734,000	0	23,500
㉚外国人相談事業費	654,500	635,000	635,000	0	19,500
㉛多文化共生事業費	1,157,999	1,124,000	1,124,000	0	33,999
㉜相談支援事業費	9,734,410	9,582,000	5,077,000	0	152,410
㉝男女共同参画センター管理運営事業費	1,816,980	1,764,000	1,764,000	0	52,980
㉞防災備蓄品等整備事業費	1,519,848	506,000	0	0	1,013,848
㉟危機管理対策事業費	0	0	0	0	0
㊱市民相談事業費	101,816	98,000	98,000	0	3,816
㊲東三河広域連合消費生活事業負担金	294,680	286,000	286,000	0	8,680
㊳その他	57,170	55,000	55,000	0	2,170
3 款 民生費	1,397,380,099	1,384,371,892	32,355,000	8,373,311	4,634,896
①総合福祉センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
②障害福祉サービス支給決定事務費	85,910	83,000	83,000	0	2,910
③障害福祉サービス継続支援事業補助金	5,925,000	5,526,000	2,761,000	0	399,000
④障害福祉サービス感染症対策事業費	0	0	0	0	0
⑤介護ロボット等導入支援事業補助金	0	0	0	0	0

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和3年度		令和4年度	
指定管理者支援補助金	—		37,000円	
指定管理者支援補助金	—		17,000円	
指定管理者支援補助金	417,000円		348,000円	
指定管理者支援補助金	—		10,000円	
指定管理者支援補助金	22,183,000円		614,000円	
スポーツ合宿等支援事業補助金	10件	755,205円	20件	1,089,855円
アスリートによるオンライン講座開催	1回	29人	1回	2,845人
デジタル支援講座開催	—		10回	121人
空調設備修繕 I C T環境整備	36館 49	28,240,135円 11,800,084	50館	— 3,782,298円
指定管理者支援補助金 窓枠手すり設置 空調設備修繕	1,479,000円		5台	48,000円 550,000 159,500
ブラジル人向けメンタルヘルス相談件数 多言語通訳タブレット導入	1,081件		1台	— 654,500円
就労のための日本語教室開催	—		80回	延 544人
生理用品の配布 女性のつながりサポート事業	1,500袋 SNSやまちかど保健室での相談・訪問支援等	509,332円	1,800袋 SNSやまちかど保健室での相談・訪問支援等	724,200円
空調設備修繕 男性の家事・育児への参画意識高揚を図るセミナー開催 I C T環境整備	1台 2回	1,977,800円 32人	1台	1,364,000円 — 452,980
感染症対策ウェットタオル購入	—		1,519,848円	
避難所の感染防止用品購入	プライバシー保護テント、プラスチックガウン、 ニトリル手袋、避難所受付用パーテーション		—	
相談用タブレット購入 Web会議システム導入	—		76,560円 25,256	
オンライン消費生活相談等事業負担金	297,626円		294,680円	
市有施設の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品購入	1,641,231円	消毒液等の消耗品購入	57,170円
空調設備修繕	2台	3,190,000円	—	
O C Rソフト導入	—		85,910円	
障害福祉サービス継続支援事業補助金 抗原検査キット等購入補助金 感染対策物品等購入補助金	4事業所 64 90	1,293,000円 2,379,000 5,065,000	18事業所	5,925,000円 — —
C O 2 モニターの配布	67事業所	272,448円	—	
介護ロボット等導入支援事業補助金	1事業所	1,526,000円	—	

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑥障害者福祉会館管理運営事業費	63,000	61,000	61,000	0	2,000
⑦住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費	1,034,946,771	1,034,646,771	0	300,000	0
⑧老人福祉センター等施設管理運営事業費	316,800	307,000	307,000	0	9,800
⑨特別養護老人ホーム管理運営事業費	158,777	153,000	153,000	0	5,777
⑩介護サービス提供体制確保事業補助金	207,202,000	207,202,000	0	0	0
⑪介護保険施設等整備事業補助金	2,695,000	2,695,000	0	0	0
⑫認定調査事務費	7,923,311	0	0	7,923,311	0
⑬切れ目のない子育て支援事業費	411,087	405,000	200,000	0	6,087
⑭子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（切れ目のない子育て支援費）	0	0	0	0	0
⑮児童相談支援事業費	3,669,394	2,423,000	0	0	1,246,394
⑯公立保育所等管理運営事業費	12,464,879	12,114,000	11,710,000	0	350,879
⑰法人保育所・認定こども園通常保育事業費	37,889,000	35,742,000	14,849,000	0	2,147,000
⑱私立幼稚園運営費補助金	0	0	0	0	0
⑲子育て環境総合支援事業費	320,830	160,000	0	0	160,830
⑳交通児童館管理運営事業費	997,730	972,000	392,000	0	25,730
㉑こども未来館施設管理事業費	230,000	200,000	200,000	0	30,000
㉒ミラまちこども館管理運営事業費	64,998	64,000	22,000	0	998
㉓児童育成事業費	839,858	832,000	272,000	0	7,858
㉔法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費	2,257,000	2,031,000	681,000	0	226,000

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和3年度		令和4年度	
指定管理者支援補助金	0円		63,000円	
職員人件費 給付世帯数 事務費	時間外勤務手当等 24,202世帯	1,562,679円 2,420,200,000 46,835,621	時間外勤務手当等 9,956世帯	1,205,701円 995,600,000 38,141,070
空調設備修繕	—		11台	316,800円
感染症対策用陰圧ブース購入 感染症対策環境整備 リモート面会の実施	2セット 消毒液等の購入 286件	1,320,000円 100,000 54,120	— 消毒液等の購入 314件	— 104,657円 54,120
感染対策物品等購入補助件数 自費検査補助件数 抗原検査キット等購入補助件数 緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援件数	208事業所 3 109 34	13,331,000円 383,000 4,144,000 40,427,000	— — — 121事業所	— — — 207,202,000円
新型コロナウイルス感染拡大防止対策費補助金	2事業所	5,030,000円	1事業所	2,695,000円
訪問調査モバイル端末の導入	—		7,923,311円	
子育て応援事業	会場分散型による子育て応援フェスの開催		会場分散型による子育て応援フェスの開催	
職員人件費 給付人数 事務費	時間外勤務手当等 4,393人	2,578,127円 219,650,000 11,855,920	—	
支援対象児童等見守り強化事業 Web会議用タブレット導入	—		タブレット利用料	3,536,710円 132,684
感染症対策環境整備 空調設備修繕 一時預かり事業の体制強化	消毒液、非接触体温計等の購入 2園 会計年度任用職員(日額等)	2,714,567円 7,623,000 1,597,318	消毒液、非接触体温計等の購入 1園 会計年度任用職員(日額等)	790,466円 8,701,000 2,973,413
感染症対策物品等購入補助金 ICT化・翻訳機導入補助金 届出保育施設職員応援金 抗原検査キット等購入補助金 オンライン環境整備費補助金	68施設 13 — 42 50	37,900,000円 4,219,000 — 10,573,000 3,900,000	62施設 12 11 — —	28,053,000円 7,568,000 2,268,000 — —
感染症対策物品等購入補助金 抗原検査キット等購入補助金 オンライン環境整備費補助金	17施設 11 9	1,626,280円 1,519,000 710,000	—	
児童福祉施設等感染症防止対策相談支援 CO2モニターの配布	医師によるオンライン相談支援 153施設	528,572円 1,161,688	医師によるオンライン相談支援 —	320,830円
指定管理者支援補助金 空調設備修繕 トイレ洋式化工事 感染症対策環境整備	3台 — 消毒液等の購入	516,000円 1,196,800 198,000	— 2基 消毒液等の購入	126,000円 — 693,000 178,730
抗原検査キット購入 指定管理者支援補助金	20個	28,600円 11,996,000	— 230,000円	
子育て支援情報発信用タブレット導入	—		タブレット利用料	64,998円
抗原検査キット等購入補助件数 つどいの広場感染症対策環境整備 ファミリーサポートセンター感染症対策環境整備	3施設 消毒液等の購入 消毒液等の購入	620,000円 647,634 299,926	— 消毒液等の購入 消毒液等の購入	— 540,000円 299,858
地域子育て支援センターの感染症対策環境整備 感染症対策費補助金 病児保育の感染症対策環境整備	消毒液やオンライン環境対応機器等の購入 7施設 1	1,240,000円 1,230,000 93,000	消毒液等の購入 8施設 —	720,000円 1,537,000 —

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
㊸新生児臨時特別給付金給付事業費	0	0	0	0	0
㊹ひとり親家庭等自立支援事業費	205,602	202,000	100,000	0	3,602
㊺母子生活支援施設入所事業費	0	0	0	0	0
㊻子育て世帯生活支援特別給付金給付 事業費（ひとり親家庭等支援費）	0	0	0	0	0
㊼子どもの貧困対策事業費	300,000	150,000	0	150,000	0
㊽子育て世帯への臨時特別給付金給付 事業費（繰越事業）	18,618,370	18,618,370	0	0	0
㊾豊橋市子育て世帯への臨時特別給付 金給付事業費（繰越事業）	200,000	200,000	200,000	0	0
㊿生活保護扶助事業費	30,000	29,000	7,000	0	1,000
㊽生活困窮者自立支援事業費	392,039	389,000	95,000	0	3,039
㊾新型コロナウイルス感染症生活困窮 者自立支援金給付事業費	58,671,516	58,671,516	0	0	0
㊿その他	501,227	495,235	262,000	0	5,992
4 款 衛生費	4,497,608,196	4,123,772,897	191,824,000	110,701,997	263,133,302
① 共通事務費（疾病対策費）	0	0	0	0	0
② 予防接種事業費	1,946,870,002	1,945,966,805	18,962,000	335,940	567,257
③ 感染症予防対策事業費	2,186,670,381	1,867,577,891	20,018,000	110,366,057	208,726,433

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和3年度	令和4年度
給付人数	94人 9,400,000円	—
ひとり親家庭等学習・生活支援事業	ネットワーク環境整備 233,381円	ネットワーク環境整備 205,602円
抗原検査キット等購入補助件数 感染症対策物品等購入補助件数	1施設 1 132,000円 100,000	— —
職員人件費 給付人数 事務費	時間外勤務手当 3,508人 647,760円 175,400,000 5,603,601	— — —
フードバンク活動支援事業補助金 支援対象児童等への食事の提供	1団体 弁当配付 300,000円 2,288食	1団体 — 300,000円
職員人件費 給付人数 事務費	時間外勤務手当 57,099人 492,293円 5,709,870,000 17,309,830	— 186人 18,600,000円 18,370
給付人数 事務費	5,166人 516,600,000円 2,691,843	2人 — 200,000円
保護施設等衛生管理体制確保支援件数	0件 0円	1件 30,000円
学習・生活支援人数 就労準備支援人数	88人 6 87,810円 32,852	96人 5 324,707円 67,332
職員人件費 給付世帯数 事務費	時間外勤務手当 延 151世帯 事務費 775,845円 15,540,000 1,280,626	時間外勤務手当 延 186世帯 事務費 1,623,077円 56,240,000 808,439
感染症対策に係る人件費 市有施設の感染症対策環境整備	時間外勤務手当 消毒液等の消耗品及び備品購入 64,476円 3,168,766	— 消毒液等の消耗品購入 501,227
保健衛生システム改修委託料	がん検診等の結果をマイナポータルで閲覧 できるよう、保健衛生システムの改修を実施	—
新型コロナウイルス（臨時） 集団接種運営事務費 集団接種に係る路線バスの増便 集団接種タクシー移動支援補助金 休診日・休日ワクチン接種開設協力金 集団接種医師派遣協力金 コールセンターの体制強化 外国人ワクチン接種支援事業費 新型コロナウイルスワクチン接種準備費 インフルエンザワクチン接種 風しん（追加対策）ワクチン接種	接種人数 延 632,934人 集団接種の運営 30,092,371円 集団接種会場へ往來するバスを増便 4,447,419 286件 171,600 2 37,761,200 0 0 ワクチン接種円滑化を図るためコールセンターの体制を確保 外国人の相談等支援するため窓口体制を確保 3回目ワクチン接種に向けて体制を準備 — —	接種人数 延 387,243人 集団接種の運営 69,025,974円 集団接種会場へ往來するバスを増便 6,512,285 87件 52,200 — 0 0 ワクチン接種円滑化を図るためコールセンターの体制を確保 外国人の相談等支援するため窓口体制を確保 4-5回目接種、12歳以上の未成年や乳幼児接種に向けて体制を準備 接種人数 67,116人 接種人数 349
自宅療養者等医療提供事業補助金 PCR検査等提供医療機関公表協力金 PCR検査センターの運営等 自宅療養者配食サービスの提供 受診・相談センターの運営 療養生活サポートセンターの運営 医療機関におけるPCR検査等の実施 高齢者入所施設等職員へのスクリーニング検査の実施 パルスオキシメーターによる健康観察強化 自宅療養者への健康観察体制強化 自宅療養者の受診等搬送支援 クラスター早期探知のための検査キット購入	164件 68,270,000円 4医療機関 160,000 検査件数 延 69,223件 提供食数 延 65,056食 受診・相談センターを運営 — PCR検査センターの運営やPCR検査を実施 高齢者入所施設等職員へスクリーニング検査を実施 パルスオキシメーターによる自宅療養者の健康観察を実施 自宅療養者への健康観察体制を強化 自宅療養者の受診等搬送支援を実施 クラスター早期探知のための検査キットを購入	1,105件 1,103,124,000円 — — 提供食数 延 17,565食 受診・相談センターを運営 療養生活サポートセンターを運営 PCR検査センターの運営やPCR検査を実施 高齢者入所施設等職員へスクリーニング検査を実施 パルスオキシメーターによる自宅療養者の健康観察を実施 自宅療養者への健康観察体制を強化 自宅療養者の受診等搬送支援を実施 —

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
④結核・感染症医療給付事業費	171,212,675	128,409,506	0	0	42,803,169
⑤妊産婦保健事業費	1,859,850	1,773,000	844,000	0	86,850
⑥乳幼児保健事業費	130,080	128,000	63,000	0	2,080
⑦不妊不育対策事業費	43,564,070	37,389,000	22,941,000	0	6,175,070
⑧看護専門学校管理運営事業費	33,714,120	32,736,000	32,736,000	0	978,120
⑨愛知県医療従事者応援金負担金	2,366,000	1,779,000	1,779,000	0	587,000
⑩新型コロナウイルス感染症回復患者 転院受入協力金	3,264,000	3,169,000	3,169,000	0	95,000
⑪新型コロナウイルス感染症自宅療養 者支援事業費	56,584,800	54,943,000	54,943,000	0	1,641,800
⑫営業施設等指導事業費	124,190	120,000	120,000	0	4,190
⑬試験検査事業費	804,100	422,000	0	0	382,100
⑭環境にやさしいライフスタイル推進 事業費	0	0	0	0	0
⑮病院事業会計繰出金	0	0	0	0	0
⑯その他	50,443,928	49,359,695	36,249,000	0	1,084,233
5 款 労働費	2,294,000	2,004,000	2,004,000	0	290,000
①雇用確保安定事業費	2,294,000	2,004,000	2,004,000	0	290,000
6 款 農林水産業費	3,158,071	2,759,000	2,759,000	0	399,071
①農業団体等利子補給補助金	1,358,071	1,186,000	1,186,000	0	172,071
②農業経営収入保険加入促進補助金	0	0	0	0	0
③農業人材確保環境整備事業費	0	0	0	0	0
④農産物ブランド化推進事業費	1,800,000	1,573,000	1,573,000	0	227,000
⑤道の駅食農拠点推進事業費	0	0	0	0	0
7 款 商工費	340,665,186	225,197,000	197,197,000	100,000,000	15,468,186
①新ビジネスチャレンジ応援補助金	1,764,000	1,294,000	1,294,000	0	470,000
②商業振興事業費	0	0	0	0	0
③中小企業感染症対策事業費	0	0	0	0	0

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和3年度	令和4年度
医療給付費	24件 69,914,531円	24件 171,212,675円
里帰り困難妊産婦育児等支援事業 分娩前ウイルス検査費補助金 感染妊産婦寄り添い支援事業	利用日数 延 397日 補助交付者数 9人 利用者数 26	利用日数 延 212日 補助交付者数 30人 利用者数 10
離乳食教室の開催	—	7回 130,080円
特定不妊治療費補助金	—	補助交付件数 延 214件
多職種連携ハイブリッドシミュレータ等賃借料 空調設備修繕	— —	4台 934,120円 3 32,780,000
愛知県が実施する医療従事者応援金負担金	2件 149,355,000円	2件 2,366,000円
転院受入協力金	3件 1,071,000円	9件 3,264,000円
医師往診体制強化協力金 薬剤師往診体制強化協力金 診療体制確保協力金	6件 16,380,000円 6 11,924,640 0 0	12件 32,670,000円 12 23,914,800 0 0
飲食店等における換気の見える化事業の実施	空気環境測定の実施施設数 127施設	空気環境測定の実施施設数 6施設
試験検査事業費	PCR検査用安全キャビネットの定期メンテナンス	PCR検査用安全キャビネットの定期メンテナンス リアルタイムPCR機器の保守
事業系食品ロス等実態調査業務委託	市内の食品関連事業者から排出される 事業系食品ロスの実態を把握	—
建設改良事業出資金	感染症病棟整備に伴う基本及び実施設計業務	—
感染症対策に係る人件費 市有施設の感染症防止対策	時間外勤務手当等 102,780,154円 消毒液等の消耗品及び備品購入 2,883,695	時間外勤務手当等 50,318,297円 消毒液等の消耗品購入 125,631
雇用維持助成金 雇用調整助成金申請等手数料補助金 中小企業採用戦略支援事業費	48件 7,936,000円 45 3,442,000 伴走支援参加企業数 2社	6件 1,321,000円 11 973,000 —
新型コロナウイルス対策資金利子補給補助金	51件 1,372,698円	51件 1,358,071円
農業経営収入保険加入促進補助金	314件 27,405,000円	—
認定新規就農者特別支援補助金	12件 16,111,000円	—
豊橋産農産物販売促進事業補助金	—	1団体 1,800,000円
指定管理者支援補助金	—	0円
新ビジネスチャレンジ応援補助金	—	11事業者 1,764,000円
飲食店業態転換支援補助金 業態転換チャレンジ応援補助金 がんばる商店街共同事業応援補助金	12事業者 5,466,000円 18 15,605,000 1 109,000	—
感染症対策セミナーの開催	受講者数 62人	—

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
④プレミアム付電子商品券事業補助金	139,528,086	136,293,000	108,293,000	0	3,235,086
⑤がんばる商店等感染症対策強化支援補助金	0	0	0	0	0
⑥消費回復事業特別支援補助金	0	0	0	0	0
⑦制度融資資金預託金	100,000,000	0	0	100,000,000	0
⑧制度融資関係事業費	92,697,100	81,776,000	81,776,000	0	10,921,100
⑨宿泊施設感染症対策等特別支援補助金	0	0	0	0	0
⑩旅行者等誘客活動特別支援補助金	0	0	0	0	0
⑪観光宿泊プラン販売支援補助金	6,676,000	5,834,000	5,834,000	0	842,000
⑫その他	0	0	0	0	0
8款 土木費	157,050,447	114,222,000	114,222,000	0	42,828,447
①豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費	0	0	0	0	0
②公共駐車場事業特別会計繰出金	0	0	0	0	0
③総合動植物公園事業特別会計繰出金	27,709,256	24,215,000	24,215,000	0	3,494,256
④共通事務費（都市計画総務費）	3,344,000	3,247,000	3,247,000	0	97,000
⑤公共交通活性化事業費	417,500	0	0	0	417,500
⑥公共交通対策事業費	125,579,691	86,760,000	86,760,000	0	38,819,691
9款 消防費	18,024,700	17,500,000	17,500,000	0	524,700
①消防署所施設管理事業費	1,885,400	1,830,000	1,830,000	0	55,400
②救急高度化事業費	9,868,100	9,581,000	9,581,000	0	287,100
③その他	6,271,200	6,089,000	6,089,000	0	182,200
10款 教育費	588,989,191	532,521,000	407,059,000	706,000	55,762,191
①教育活動支援事業費	95,907,194	93,224,000	89,776,000	0	2,683,194
②コンピュータ活用事業費	41,027,608	39,865,709	38,808,002	0	1,161,899
③くすのき特別支援学校管理事業費	59,271,300	58,410,000	28,809,000	0	861,300

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和3年度		令和4年度	
プレミアム付電子商品券	販売セット数 流通額	87,936セット 439,680,000円	販売セット数 流通額	99,713セット 498,565,000円
がんばる商店等感染症対策強化支援補助金	1,307店舗	89,615,000円	—	—
消費回復事業特別支援補助金	39イベント	35,029,000円	—	—
経営安定資金融資件数	30件	210,200,000円	14件	68,200,000円
信用保証料補助金 経営安定資金特別対策補助金 愛知県経済環境適応資金特別対策補助金	884件 29 307	118,902,662円 2,045,300 27,100,800	735件 200 —	78,256,200円 14,440,900 —
宿泊施設感染症対策等特別支援補助金	20件	27,926,000円	—	—
旅行者等誘客活動特別支援補助金	15件	5,334,000円	—	—
観光宿泊プラン販売支援補助金	—	—	21件	6,676,000円
感染症対策に係る人件費	会計年度任用職員(日額等)	2,666,377円	—	—
指定管理者支援補助金	—	41,000円	—	0円
指定管理者支援補助金	—	—	—	0円
空調設備修繕 トイレ洋式化工事 空気清浄機等購入	— — —	— — —	2台 21基 16台	2,024,000円 20,999,736 4,685,520
屋外広告物等台帳管理システム導入	—	—	—	3,344,000円
ウォーキングイベント実施回数 MaaS環境整備事業費補助金	12回 —	889,750円 —	— 1事業者	— 417,500円
路線バス事業者感染症対策助成金 鉄軌道事業者感染症対策助成金 タクシー事業者運行維持助成金 鉄軌道施設安全対策事業費補助金	69系統 46両 4事業者 —	68,560,000円 41,200,000 15,800,000 —	75系統 46両 4事業者 1	53,330,000円 30,400,000 15,550,000 26,299,691
Web会議システム導入 タブレット端末等整備 空調設備修繕	— —	666,811円 2,852,410	— — 5台	— — 1,885,400円
救急活動における感染症対策強化	感染防止衣等の購入 感染性廃棄物収集運搬・処理業務委託料	23,512,760円 125,433	感染防止衣の購入 高圧蒸気滅菌器 7台	7,150,000円 2,718,100
感染症対策に係る人件費	特殊勤務手当	2,662,400円	特殊勤務手当	6,271,200円
新入学児童学級対応等支援事業費 小中学校修学旅行キャンセル料補助金	18校 —	1,904,161円 —	謝礼等 10校	95,711,580円 195,614
学習用コンピュータ・タブレット費 コンピュータネットワークシステム費	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	25,396,800円 40,991,664	タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	25,396,800円 15,630,808
スクールバスの増便 体育館網戸設置工事	6路線 —	58,898,400円 —	6路線	59,202,000円 69,300

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
④くすのき特別支援学校教育活動事業費	9,995,776	9,843,291	5,066,998	0	152,485
⑤市立高等学校教育活動事業費	2,584,723	2,547,000	1,257,000	0	37,723
⑥家政高等専修学校管理事業費	234,960	228,000	228,000	0	6,960
⑦家政高等専修学校教育活動事業費	2,187,843	2,154,000	1,114,000	0	33,843
⑧自然史博物館施設管理事業費	4,122,800	1,840,000	907,000	0	2,282,800
⑨視聴覚教育センター施設管理事業費	14,501,164	14,080,000	14,080,000	0	421,164
⑩小学校校舎等改修事業費	130,229,895	114,344,000	114,344,000	0	15,885,895
⑪中学校校舎等改修事業費	30,566,404	2,904,000	2,904,000	0	27,662,404
⑫地区市民館管理運営事業費	31,833,576	30,910,000	30,910,000	0	923,576
⑬青少年センター管理運営事業費	1,147,608	1,114,000	1,114,000	0	33,608
⑭野外教育センター管理運営事業費	3,213,100	3,119,000	3,119,000	0	94,100
⑮公営児童クラブ運営事業費	15,178,270	14,540,000	4,422,000	0	638,270
⑯民営児童クラブ運営事業費	23,352,000	22,369,000	6,801,000	0	983,000
⑰郷土・司文庫等図書業務費	2,500,000	1,741,000	1,741,000	706,000	53,000
⑱美術博物館展覧会事業費	198,000	192,000	192,000	0	6,000
⑲二川宿本陣資料館展覧会事業費	388,942	377,000	377,000	0	11,942
⑳学校健康診断事業費	2,387,154	2,317,000	2,317,000	0	70,154
㉑共同調理場運営事業費	0	0	0	0	0
㉒その他	118,160,874	116,402,000	58,772,000	0	1,758,874
一般会計 合計	7,140,018,584	6,527,281,789	1,084,843,000	220,037,365	392,699,430

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果			
	令和3年度		令和4年度	
スクールバス増便分添乗員報酬 感染症対策環境整備 修学旅行キャンセル料補助金 学習用コンピュータ・タブレット費 コンピュータネットワークシステム費	会計年度任用職員(日額等) 消毒液等の消耗品及び備品購入 1校 タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	4,832,100円 3,602,437 4,248 343,200 375,981	会計年度任用職員(日額等) 消毒液等の消耗品及び備品購入 — タブレット端末運用保守委託料 ネットワーク環境整備	5,384,400円 4,165,552 — 343,200 102,624
学習用コンピュータ費 感染症対策環境整備 修学旅行キャンセル料補助金	タブレット端末の購入 消毒液等の消耗品及び備品購入 1校	14,867,600円 2,252,180 295,176	— 消毒液等の消耗品及び備品購入 —	— 2,584,723円 —
体育館網戸設置工事	—	—	—	234,960円
感染症対策環境整備 修学旅行キャンセル料補助金	消毒液等の消耗品及び備品購入 1校	1,802,083円 12,500	消毒液等の消耗品及び備品購入 —	2,187,843円
空調設備修繕 感染症対策環境整備	3台 映像演出システム非接触化	11,770,000円 550,000	1台 館内Wi-Fi整備	2,255,000円 1,867,800
空調設備修繕 感染症対策環境整備	1台 消毒液等の消耗品及び備品購入	18,205,000円 321,270	3台 消毒液等の消耗品購入	14,465,000円 36,164
トイレ大規模改造工事 空調設備修繕 トイレ洋式化工事 体育館網戸設置工事 無線アクセスポイント機器購入 階段昇降機購入	1校 — — — — —	14,557,600円	— 7校 33 49 52 2	— 26,614,500円 56,267,083 11,483,032 33,753,280 2,112,000
トイレ大規模改造工事 体育館網戸設置工事 無線アクセスポイント機器購入 階段昇降機購入	1校 — — —	13,695,000円	— 16校 22 2	— 2,991,164円 25,463,240 2,112,000
ウェブキャスト環境整備 空調設備修繕	21館 9	7,994,078円 29,682,400	21館 7	1,530,776円 30,302,800
空調設備修繕 トイレ洋式化工事	— —	— —	1台 2基	440,000円 707,608
トイレ洋式化工事	—	—	8基	3,213,100円
感染症対策環境整備 蛇口・トイレ洋式化工事	55クラブ —	14,241,554円	58クラブ 16	5,783,170円 9,395,100
感染症対策費補助金 ICT化推進事業費補助金 CO2モニターの配布	40クラブ 36 41	10,885,000円 6,666,000 155,144	32クラブ 32 —	20,628,000円 2,724,000
図書館デジタルアーカイブ業務委託	87点	2,500,000円	19点	2,500,000円
ポケット学芸員の導入	—	—	—	198,000円
ポケット学芸員の導入	—	—	—	388,942円
抗原検査キット購入 市立学校児童生徒心電図検査等業務委託料	75校 77	511,104円 2,401,938	— 77校	— 2,387,154円
空調設備改修工事	1場	31,177,500円	—	—
市有施設の感染症対策環境整備	消毒液等の消耗品及び備品購入	98,197,727円	消毒液等の消耗品及び備品購入	118,160,874円

物 価 高 騰 対 策

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総務費	72,274,000	72,274,000	72,274,000	0	0
①市民文化会館管理事業費	2,146,000	2,146,000	2,146,000	0	0
②西川芸能練習場管理事業費	0	0	0	0	0
③三の丸会館管理事業費	120,000	120,000	120,000	0	0
④ライフポートとよはし管理事業費	11,086,000	11,086,000	11,086,000	0	0
⑤公会堂管理事業費	0	0	0	0	0
⑥穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	11,872,000	11,872,000	11,872,000	0	0
⑦アイプラザ豊橋管理事業費	10,021,000	10,021,000	10,021,000	0	0
⑧総合運動場管理運営事業費	2,659,000	2,659,000	2,659,000	0	0
⑨地区体育館管理運営事業費	7,270,000	7,270,000	7,270,000	0	0
⑩トレーニングセンター管理運営事業費	955,000	955,000	955,000	0	0
⑪岩田総合球技場管理運営事業費	1,715,000	1,715,000	1,715,000	0	0
⑫運動広場管理運営事業費	690,000	690,000	690,000	0	0
⑬総合体育館管理運営事業費	8,163,000	8,163,000	8,163,000	0	0
⑭万場調整池庭球場管理運営事業費	112,000	112,000	112,000	0	0
⑮屋内プール・アイスアリーナ管理運 営事業費	14,416,000	14,416,000	14,416,000	0	0
⑯市民センター管理運営事業費	1,049,000	1,049,000	1,049,000	0	0
3 款 民生費	2,564,203,828	2,561,135,310	107,436,309	0	3,068,518
①地域福祉センター管理運営事業費	861,366	861,366	861,366	0	0
②総合福祉センター管理運営事業費	4,686,000	4,686,000	4,686,000	0	0
③障害福祉サービス事業所等光熱費高 騰対策支援金	1,180,000	1,057,000	1,057,000	0	123,000
④障害者福祉会館管理運営事業費	692,000	692,000	692,000	0	0
⑤電力・ガス・食料品等価格高騰緊急 支援給付金給付事業費	1,566,407,944	1,566,390,705	0	0	17,239
⑥老人福祉センター等施設管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑦東部老人会館運営費補助金	87,552	87,552	87,552	0	0
⑧介護サービス事業所光熱費高騰対策 事業費	5,589,761	5,034,000	5,034,000	0	555,761
⑨子育て世帯生活支援特別給付金給付 事業費	209,613,230	209,463,230	0	0	150,000

の 決 算 状 況

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和3年度	令和4年度
指定管理者支援補助金	—	2,146,000円
指定管理者支援補助金	—	0円
指定管理者支援補助金	—	120,000円
指定管理者支援補助金	—	11,086,000円
指定管理者支援補助金	—	0円
指定管理者支援補助金	—	11,872,000円
指定管理者支援補助金	—	10,021,000円
指定管理者支援補助金	—	2,659,000円
指定管理者支援補助金	—	7,270,000円
指定管理者支援補助金	—	955,000円
指定管理者支援補助金	—	1,715,000円
指定管理者支援補助金	—	690,000円
指定管理者支援補助金	—	8,163,000円
指定管理者支援補助金	—	112,000円
指定管理者支援補助金	—	14,416,000円
指定管理者支援補助金	—	1,049,000円
光熱費高騰対策支援補助金 指定管理者支援補助金	— —	1施設 3 639,366円 222,000
指定管理者支援補助金	—	4,686,000円
障害福祉サービス事業所等光熱費高騰対策支援金	—	30事業所 1,180,000円
指定管理者支援補助金	—	692,000円
職員人件費 給付世帯数 事務費	—	時間外勤務手当等 30,243世帯 862,949円 1,512,150,000 53,394,995
指定管理者支援補助金	—	0円
東部老人会館運営費補助金(光熱費高騰対策)	—	87,552円
介護サービス事業所光熱費高騰対策支援金 事務費	—	107事業所 5,350,000円 239,761
職員人件費 給付人数 事務費	—	時間外勤務手当 3,985人 845,636円 199,250,000 9,517,594

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
⑩愛知県子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	453,848,333	453,848,333	0	0	0
⑪豊橋市子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	55,437,718	53,612,000	53,612,000	0	1,825,718
⑫公立保育所等管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑬法人保育所・認定こども園通常保育事業費	84,714,040	84,317,240	30,319,240	0	396,800
⑭交通児童館管理運営事業費	395,000	395,000	395,000	0	0
⑮こども未来館施設管理事業費	9,434,000	9,434,000	9,434,000	0	0
⑯子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親家庭等支援費）	169,998,733	169,998,733	0	0	0
⑰高山学園管理運営事業費	0	0	0	0	0
⑱その他	1,258,151	1,258,151	1,258,151	0	0
4 款 衛生費	264,764,585	264,764,585	50,253,585	0	0
①余熱利用施設管理運営事業費	7,515,000	7,515,000	7,515,000	0	0
②出産・子育て応援交付金交付事業費	256,451,626	256,451,626	42,588,434	0	0
③その他	797,959	797,959	150,151	0	0
5 款 労働費	0	0	0	0	0
①職業訓練センター管理運営事業費	0	0	0	0	0
6 款 農林水産業費	150,692,624	136,236,612	136,236,612	0	14,456,012
①畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金	95,233,960	85,335,000	85,335,000	0	9,898,960
②肥料価格高騰対策特別支援補助金	10,213,612	10,213,612	10,213,612	0	0
③酪農資材価格高騰対策緊急支援補助金	43,812,052	39,255,000	39,255,000	0	4,557,052
④道の駅食農拠点推進事業費	1,433,000	1,433,000	1,433,000	0	0
7 款 商工費	163,974,747	163,974,747	163,974,747	0	0
①店舗めぐり消費喚起事業特別支援補助金	13,604,000	13,604,000	13,604,000	0	0
②制度融資関係事業費	148,663,800	148,663,800	148,663,800	0	0
③その他	1,706,947	1,706,947	1,706,947	0	0
8 款 土木費	44,586,016	40,169,514	40,169,514	0	4,416,502
①豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費	421,000	421,000	421,000	0	0
②公共駐車場事業特別会計繰出金	1,901,000	1,710,900	1,710,900	0	190,100

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和3年度	令和4年度
職員人件費 給付人数 事務費	—	時間外勤務手当 44,555人 802,191円 445,550,000 7,496,142
給付人数 事務費	—	5,476人 54,760,000円 677,718
物価高騰対応給食物資購入費	—	0円
物価高騰対応給食物資購入費補助金 届出保育施設光熱費高騰対策支援金	—	71施設 21 82,669,240円 2,044,800
指定管理者支援補助金	—	395,000円
指定管理者支援補助金	—	9,434,000円
職員人件費 給付人数 事務費	—	時間外勤務手当 3,292人 498,889円 164,600,000 4,899,844
物価高騰対応給食物資購入費	—	0円
物価高騰対策に係る人件費	—	会計年度任用職員(日額等) 1,258,151円
指定管理者支援補助金	—	7,515,000円
給付人数	—	延 5,090人
物価高騰対策に係る人件費	—	時間外勤務手当等 797,959円
指定管理者支援補助金	—	0円
畜産飼料価格高騰対策特別支援補助金	—	配合飼料 128件 粗飼料 80 43,359,960円 51,874,000
肥料価格高騰対策特別支援補助金	—	23件 10,213,612円
酪農資材価格高騰対策緊急支援補助金	—	38件 43,812,052円
指定管理者支援補助金	—	1,433,000円
店舗めぐり消費喚起事業特別支援補助金	—	19イベント 13,604,000円
信用保証料補助金 経営安定資金特別対策補助金	—	862件 866 86,345,400円 62,318,400
物価高騰対策に係る人件費	—	会計年度任用職員(日額等) 1,706,947円
指定管理者支援補助金	—	421,000円
指定管理者支援補助金	—	1,901,000円

項 目	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	うち、地方創 生臨時交付金	そ の 他	一 般 財 源
③総合動植物公園事業特別会計繰出金	600,000	540,000	540,000	0	60,000
④下水道事業会計繰出金	41,664,016	37,497,614	37,497,614	0	4,166,402
10款 教育費	911,161,730	886,331,995	886,331,995	6,994,030	17,835,705
①私立高等学校等支援事業費	21,565,940	19,322,000	19,322,000	0	2,243,940
②就学援助事業費	1,713,000	1,663,000	1,663,000	0	50,000
③民営児童クラブ運営事業費	2,037,100	1,826,000	1,826,000	0	211,100
④商家「駒屋」施設管理事業費	300,000	300,000	300,000	0	0
⑤学校給食物資調達事業費	765,811,695	743,487,000	743,487,000	6,994,030	15,330,665
⑥学校給食費無償対応臨時給付金給付 事業費	119,733,995	119,733,995	119,733,995	0	0
一般会計 合計	4,171,657,530	4,124,886,763	1,456,676,762	6,994,030	39,776,737

単位：円

区 分	実 績 及 び 成 果	
	令和3年度	令和4年度
指定管理者支援補助金	—	600,000円
雨水処理等負担金	—	雨水処理に係る動力費の増加分
私立高等学校授業料補助金 私立専修学校等授業料補助金	—	1,595人 20,741,540円 47 824,400
小学校就学援助事業費	—	小学校1年生新入学用品費増加分 1,713,000円
光熱費高騰対策支援金	—	40クラブ 2,037,100円
指定管理者支援補助金	—	300,000円
物価高騰対応学校給食物資購入費 市立小中学校給食の無償提供	—	5,719,259食 110,411,215円 2,605,779 655,400,480
給付人数 事務費	—	4,993人 118,610,450円 1,123,545

一般会計節別不用額状況（歳出）

単位：千円、%

区 分	令和3年度						令和4年度					
	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	構成比	不用率
1 報 酬	2,767,666	2,644,020	1,063	122,583	1.6	4.4	2,968,232	2,740,420	0	227,812	2.4	7.7
2 給 料	8,642,297	8,466,398	0	175,899	2.4	2.0	8,729,329	8,567,618	0	161,711	1.7	1.9
3 職員手当等	7,344,322	7,169,027	720	174,575	2.3	2.4	7,389,894	7,143,430	0	246,464	2.6	3.3
4 共 済 費	3,396,153	3,285,087	56	111,010	1.5	3.3	3,428,617	3,276,131	0	152,486	1.6	4.4
5 災害補償費	4,642	2,340	0	2,302	—	49.6	2,915	790	0	2,125	—	72.9
6 恩給及び 退職年金	3,347	2,952	0	395	—	11.8	2,402	1,793	0	609	—	25.3
7 報 償 費	444,591	380,346	0	64,245	0.9	14.5	468,091	404,071	0	64,020	0.7	13.7
8 旅 費	168,260	90,773	50	77,437	1.0	46.0	171,224	112,519	0	58,705	0.6	34.3
9 交 際 費	4,020	1,455	0	2,565	—	63.8	4,020	1,945	0	2,075	—	51.6
10 需 用 費	3,631,381	3,307,839	50,990	272,552	3.7	7.6	4,138,776	3,562,706	53,975	522,095	5.5	12.8
11 役 務 費	1,093,284	998,158	8,313	86,813	1.2	8.0	1,155,080	1,054,417	10	100,653	1.1	8.7
12 委 託 料	21,582,151	20,280,846	99,995	1,201,310	16.1	5.6	23,488,734	21,086,718	312,025	2,089,992	21.9	9.0
13 使 用 料 及び賃借料	2,205,220	1,918,914	1,304	285,002	3.8	12.9	1,890,974	1,834,886	2,200	53,888	0.6	2.9
14 工事請負費	16,266,322	9,355,747	6,297,911	612,663	8.2	6.1	19,514,323	11,323,961	7,502,068	688,294	7.2	5.7
15 原 材 料 費	39,928	36,391	0	3,537	—	8.9	38,740	35,490	0	3,250	—	8.4
16 公 有 財 産 購 入 費	5,380,427	5,246,378	104,189	29,860	0.4	0.6	963,146	935,808	15,839	11,500	0.1	1.2
17 備品購入費	765,469	694,334	50,270	20,865	0.3	2.9	639,200	562,342	53,281	23,577	0.2	4.0
18 負担金、補助 及び交付金	28,404,119	24,013,871	2,194,541	2,195,707	29.5	8.4	22,416,041	18,530,700	689,622	3,195,719	33.5	14.7
19 扶 助 費	30,263,086	29,424,959	0	838,127	11.2	2.8	31,232,826	30,470,241	0	762,585	8.0	2.4
20 貸 付 金	2,119,500	1,622,500	0	497,000	6.7	23.4	1,686,500	1,190,500	0	496,000	5.2	29.4
21 補償、補填 及び賠償金	632,899	511,478	39,006	82,415	1.1	13.9	344,804	227,643	65,694	51,466	0.5	18.4
22 償還金、利子 及び割引料	9,852,952	9,727,935	0	125,017	1.7	1.3	10,787,851	10,700,562	0	87,289	0.9	0.8
23 投 資 及 び 出 資 金	300	300	0	0	—	0.0	300	300	0	0	—	0.0
24 積 立 金	787,912	774,045	0	13,867	0.2	1.8	643,439	638,154	0	5,285	0.1	0.8
25 寄 附 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 公 課 費	8,845	8,317	0	528	—	6.0	7,995	7,657	0	338	—	4.2
27 繰 出 金	13,956,458	13,530,986	0	425,472	5.7	3.0	14,342,336	13,843,683	0	498,653	5.2	3.5
28 予 備 費	30,000	0	0	30,000	0.4	100	30,000	0	0	30,000	0.3	100
合 計	159,795,550	143,495,394	8,848,409	7,451,747	100	4.9	156,485,790	138,254,484	8,694,714	9,536,592	100	6.5

※不用率＝不用額／（最終予算額－翌年度繰越額）

3. 主要な施策の成果

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2 款 総 務 費	11,416,864,829	1,359,554,303	272,600,000	793,947,458	8,990,763,068
1 項 総 務 管 理 費	5,460,192,306	159,905,858	0	529,667,641	4,770,618,807
3 目 人 事 管 理 費	139,001,137	58,000	0	4,947,765	133,995,372

1 人事管理事業費 106,757,792 円 (人事課)

[総括]

幅広く有為な人材を確保するため、首都圏在住の学生等を対象に東京で採用試験を実施したほか、採用困難職種の職員確保のため、技術職・専門職の通年インターンシップを実施した。職員研修では、職員の持つ知識・技能等の庁内展開により、学び合う職場風土の醸成と職員の能力向上を図ることを目的に、新たに「豊橋みらいアカデミー」を開講したほか、新任管理職を対象に無意識の偏見を認識し、より良いコミュニケーションに役立つ「アンコンシャスバイアス研修」を実施するなど、職員の育成に取り組んだ。今後も、職員がやりがいを持ち、前向きな姿勢で業務に取り組めるよう、人事制度の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 職員採用事務費 3,857,476 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	1次試験受験者数	採用者数	1次試験受験者数	採用者数
事務職・技術職	627人	52人	621人	47人
専門職	65	21	142	43
経験者等	48	3	59	3
労務職	258	15	216	15
合 計	998	91	1,038	108

(2) 人事給与管理事務費 43,183,058 円

(3) 職員研修費 17,031,298 円

(ア) 市単独研修 11,562,536 円

[階層別研修]

区 分	令和3年度	令和4年度
研修内容についての理解度	4.3	4.2
現在の業務における有益度	4.2	4.2
将来の業務における有益度	4.3	4.3

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※階層別研修は、新規採用職員から管理職までの各階層に必要とされる基本的な知識、能力を習得させることを目的として実施している。

(イ) 派遣研修 3,574,024 円

区 分	令和3年度	令和4年度
研修内容についての理解度	4.3	4.3
現在の業務における有益度	4.7	4.5
自己の能力開発に対しての有益度	4.7	4.4

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※主な派遣先（国内）中央省庁、愛知県、豊田市、蒲郡市、田原市、市町村職員中央研修所、
全国市町村国際文化研究所、国土交通大学校、全国建設研修センター、
愛知県市町村振興協会研修センター、日本経営協会、自治大学校 等

(ウ) 自己啓発支援補助金 1,804,438 円

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較
	人員またはグループ	金 額	人員またはグループ	金 額	
自己研修補助金	98人	1,609,488円	83人	1,755,638円	△15.3%
自主研究グループ活動支援補助金	—	—	2グループ	48,800	皆増
計	—	1,609,488	—	1,804,438	—

※自己啓発支援補助金は、自己の能力開発を図り、行政能率の向上に資するために実施する自己研修に対する経費の補助である。

※人員は研修受講修了者の数である。

(エ) 豊橋みらいアカデミーの開講 90,300 円

区 分	令和3年度	令和4年度
研修内容についての理解度	—	4.3
将来の業務における有益度	—	4.2

※研修受講者による5段階評価の平均値

例示 5：完全に理解できた→1：理解できなかった

※豊橋みらいアカデミーは、派遣研修終了後の庁内展開等による学び合う風土の醸成と職員の能力向上を目的として実施している。

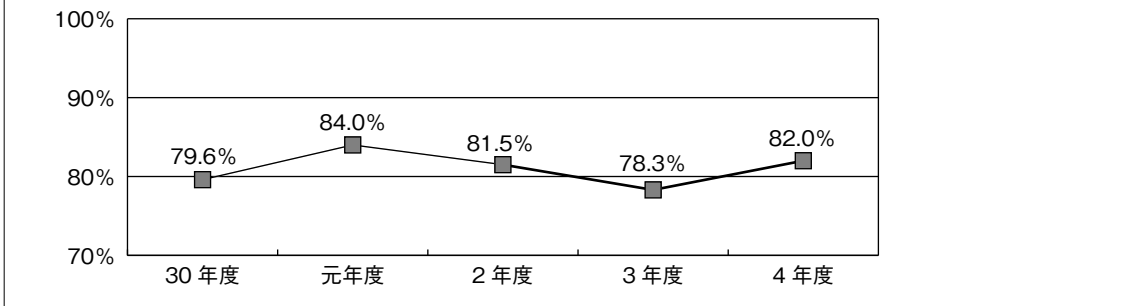
(4) 庁内障害者ワークステーション運営事業費 42,685,960 円

業 務 内 容	令和3年度	令和4年度
	依頼所属数：91 課	依頼所属数：82 課
印刷、製本、ホチキス止め	378件	415件
封入封緘、紙折り作業	320	221
シール貼り、ゴム印押し	115	109
簡易なデータ入力、スキャニング	25	47
シュレッダー作業、ごみ回収	300	387
その他の簡易な作業	391	545
合 計	1,529	1,724

[指 標]

指 標 名：人材育成・活用の推進に向けた職場成熟度

指標説明：職場環境に関するアンケートにおいて、職場の現状について肯定的な回答をした割合



※職場環境に関するアンケートは、階層別研修の受講者を対象に6分野（職場管理、人間関係、やりがい感、改革推進、人材育成、働きかけ度）32項目で実施し、指標は全32項目の平均割合

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 広 報 広 聴 費	81,496,233	831,000	0	6,629,004	74,036,229

1 広報事業費 74,005,973 円 (広報広聴課)

[総括]

広報紙やホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ放送など様々な媒体を活用し、広く情報を発信してきた。令和4年度は、情報発信アドバイザーを新たに設置し、報道発表資料の改善をはじめ、事業啓発方法の立案サポートなどを受け、市内外への情報発信力の強化に努めた。今後も、各種広報媒体の特性を活かし、迅速・正確な広報活動に努めていく。

[実績及び成果]

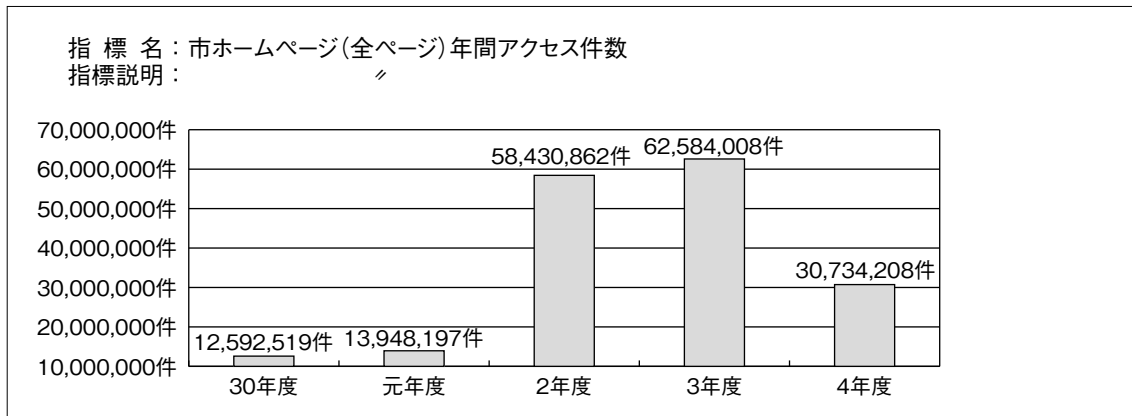
(1) 活字等広報事業費 40,800,867 円

区 分	令和3年度	令和4年度
広 報 と よ は し	月1回発行	月1回発行
多言語デジタルブック配信(広報とよはし)	月1回配信	月1回配信
点字広報とよはし	月1回発行	月1回発行
声の広報とよはし	月1回発行	月1回発行

(2) 電波等広報事業費 33,205,106 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ラ ジ オ 広 報	やしの実FM	やしの実FM
テ レ ビ 広 報	ティーズ	ティーズ
ウ ェ ブ 広 報	ホームページ・インターネットラジオ	ホームページ

[指標]



2 広聴事業費

5,134,381 円（広報広聴課）

[総括]

令和4年度は、まちづくり出前講座を実施したほか、市民意識調査や市長への手紙、市民のメールボックス等により、幅広く市民の声を把握することに努めた。また、令和3年6月からの2年間で全小学校区での開催をめざして、「地域と市長のまちづくり懇談会」を順次開催した。今後も、市民の声を市政に活かすため、多様化する市民ニーズを的確に把握していく。

[実績及び成果]

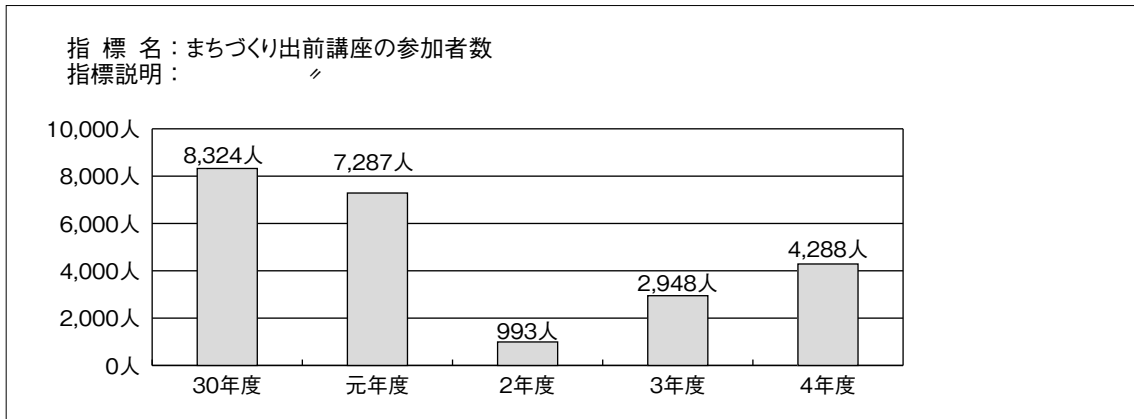
(1) 調査広聴事業費 2,120,234 円

区 分	令和3年度	令和4年度
市民意識調査	有効回収数2,525件 回収率50.5%	有効回収数2,418件 回収率48.4%

(2) 広聴活動事業費 3,014,147 円

区 分	令和3年度	令和4年度
市政懇談会	女性と市長の懇談会 1回実施 5人参加 中学生まちづくり委員会 1回実施 22人参加 若者と市長の意見交換会 3回実施 22人参加	女性と市長の懇談会 1回実施 5人参加 — —
地域と市長のまちづくり懇談会	18回実施 203人参加	30回実施 422人参加
市長への手紙	92通	49通
市民のメールボックス	1,619件	1,057件
まちづくり出前講座	84回実施 2,948人参加	143回実施 4,288人参加

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 企 画 費	21,620,856	758,000	0	121,500	20,741,356

1 総合計画推進事業費 668,263 円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」の推進に向けた具体的な事業計画を明らかにするため、実施計画を策定した。また、総合計画の進捗管理において、分析を重視した行政評価方法を導入し、効果的な事業選択を行った。今後も目指すまちの姿の実現に向け、限られた行政資源の適正な配分を行いながら総合計画に基づくまちづくりを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 政策推進事業費 668,263 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		実施計画の策定

2 地方創生推進事業費 5,011,928 円 (政策企画課)

[総括]

令和2年度に策定した「第6次豊橋市総合計画」のまちづくり戦略(第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づき、女性と若者に力点を置き人口減少対策に分野を横断して取り組んだ。

[実績及び成果]

(1) 総合戦略推進事業費 926,928 円

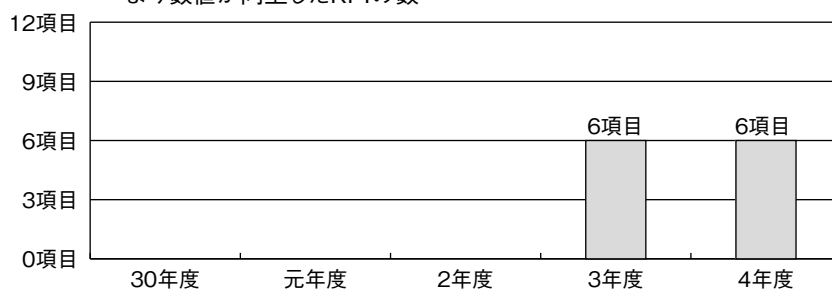
区 分	令和3年度	令和4年度
交付金採択件数	地方創生推進交付金 3件	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 3件 デジタル田園都市国家構想推進交付金 2

(2) 大学研究活動費補助金 4,085,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
豊橋技術科学大学	4件 3,853,000円	3件 3,746,000円
愛知大学	—	1 339,000
豊橋創造大学	2 624,000	—

[指 標]

指 標 名：現況値より向上した個別戦略のKPI数
 指標説明：個別戦略で設定したKPI（重要業績評価指標）12項目のうち、現況値（2019年度）より数値が向上したKPIの数



3 未来創生戦略事業費 4,712,816 円（政策企画課）

[総 括]

少子・高齢化などの社会環境の変化により複雑化・多様化する行政課題に迅速かつ適切に対応するための庁内型シンクタンクとして、政策立案に向けた基礎調査等を行い政策研究レターを発行したほか、政策推進アドバイザー等を活用し職員向け研修機会を提供した。

[実績及び成果]

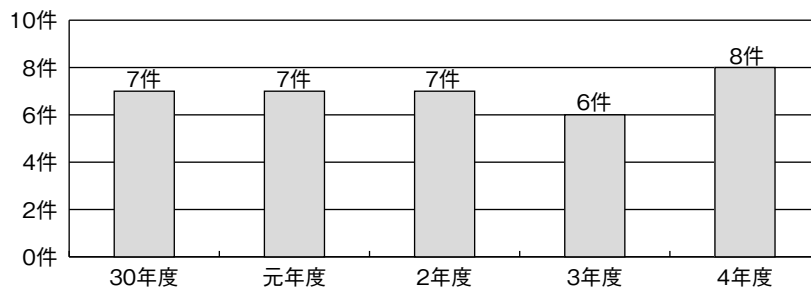
(1) 未来創生戦略事業費 4,712,816 円

区 分	令和3年度	令和4年度
政策研究等実施件数	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 1件 - テーマ：滞在人口等分析 ・研修会 3回 - テーマ：政策・事業づくり スマートシティ ・その他 2件 - 内容：YouTube 広告掲載効果の 分析 豊橋市新型コロナ通知シス テムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人研究 1件 - テーマ：人口移動等分析 ・研修会 4回 - テーマ：政策・事業づくり スマートシティ ・その他 3件 - 内容：豊橋市新型コロナ通知シス テムの運用 突き抜ける豊橋創生アイデ アコンテストの実施 自治体向け SDGs 診断ツ ール実証実験
発 行 物	<ul style="list-style-type: none"> ・政策研究レター 1回 ・SDGs 通信 1 ・滞在人口等分析情報 10 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策研究レター 2回 ・滞在人口等分析情報 1

[指 標]

指 標 名：政策研究等実施件数

指標説明：個人研究、グループ研究および講演会等実施件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11 目 まちのブランド化推進費 <まちのブランド化の推進>	7,306,949	198,778	0	5,000,000	2,108,171

1 まちのブランド化推進事業費 7,306,949 円 (広報戦略室・秘書課)

[総括]

豊橋の暮らしの魅力を生活者目線で発信するため、豊橋の豊かな住み方を伝える「豊住(ほうじゅう)動画」を制作・配信したほか、豊橋のまちの魅力を首都圏の20～40歳を中心に知ってもらうため、様々な人の暮らしにフィットすることをテーマとしたPR動画及び特設サイトを制作・配信した。また、NHK朝の連続テレビ小説「エール」の誘致活動を契機に相互交流が行われてきた福島市と、豊橋市の手筒花火、福島わらじまつりなど両市の伝統行事を活用した交流を実施したほか、今後さらなる交流を深めるため、「パートナーシティ協定」を締結した。

今後も動員力の高いコンテンツや多彩な地域資源を活用し、戦略的に本市の魅力発信を行っていく。

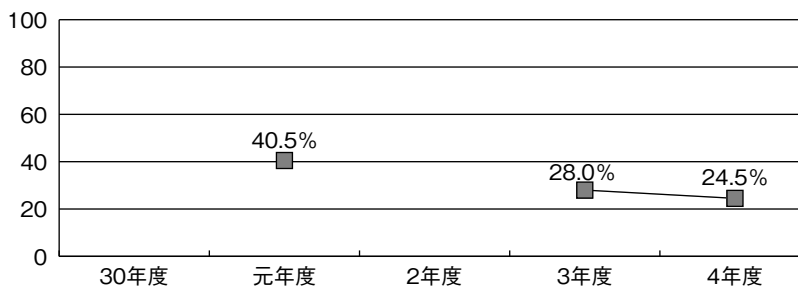
[実績及び成果]

(1) まちのブランド化推進事業費 7,306,949 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者のインタビュー動画の制作 ・豊橋の偉人を紹介するキーワードラリーの開催 ・エールポストの設置 ・「エール」展の開催 ・ロケ地をテーマとした作曲イベント ・ロケ地動画の作成 	
ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回		ええじゃないか豊橋推進会議の開催 開催回数 1回
シティプロモーション事業補助金 補助件数 4件 600,000円		—
シティプロモーション認定事業 認定件数 7件		—

[指 標]

指 標 名：豊橋市イメージアンケート調査
 指標説明：豊橋市について連想するものがあると回答した人の割合



※令和元年度は、「豊橋市」と聞いて、具体的な観光地や名産品などの中から連想するものを選択させる設問であったのに対し、令和3年度からは「環境に優しいまち」や「歴史や文化のまち」などの中からまちの全体イメージを選択させる設問としている。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 豊橋のファンづくり費 <豊橋のファンづくり>	15,976,712	0	0	1,648,281	14,328,431

1 豊橋のファンづくり活動事業費 15,976,712円 (広報戦略室・首都圏活動センター)

[総括]

首都圏におけるプロモーションの一環として、新宿を含む首都圏と豊橋市などを結ぶ高速バス「新宿・豊橋エクスプレス ほの国号」を運行している関東バスを活用したラッピング広告・デジタルサイネージ広告を行ったほか、「まるごと全部豊橋の本」を活用し、豊橋の魅力発信に取り組んだ。

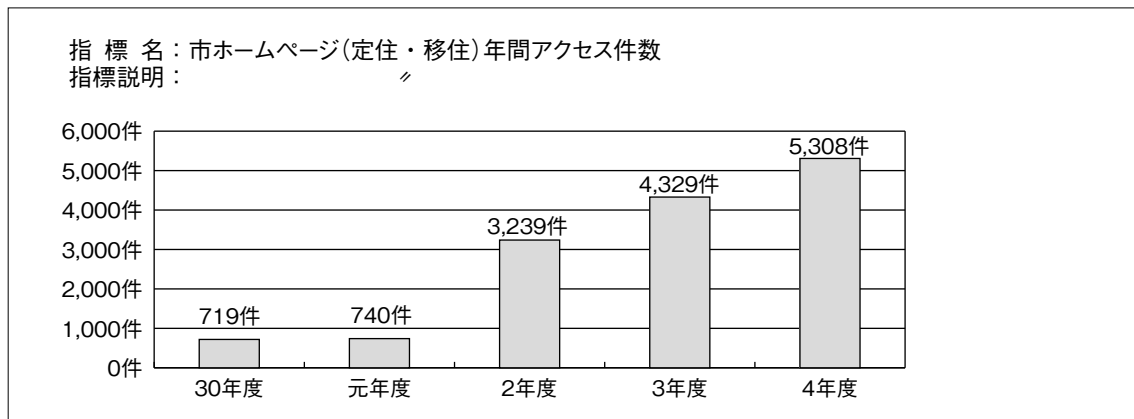
首都圏活動センターでは、東三河ゆかりの首都圏在住者で構成する「ほの国東三河応援倶楽部」会員へのメールマガジン配信等による情報発信を行うとともに、総会を開催し、情報交換など会員との懇親を深めた。また、東京事務所を持つ他自治体と連携しPRイベントを実施したほか、豊橋産農産物のフェアやマルシェのPRなど、関係課と連携したプロモーション活動に取り組んだ。

[実績及び成果]

(1) ファンづくり活動事業費 336,335円 (広報戦略室)

内 容	令和3年度	令和4年度
	<ul style="list-style-type: none"> 若者向け豊橋PR番組「DOEE RADIO」の放送 ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEの活動支援 映画やドラマなど豊橋ロケ作品のサポートや魅力発信 	

[指 標]



(2) 首都圏活動事業費

15,640,377 円（首都圏活動センター）

〈ほの国東三河応援倶楽部〉

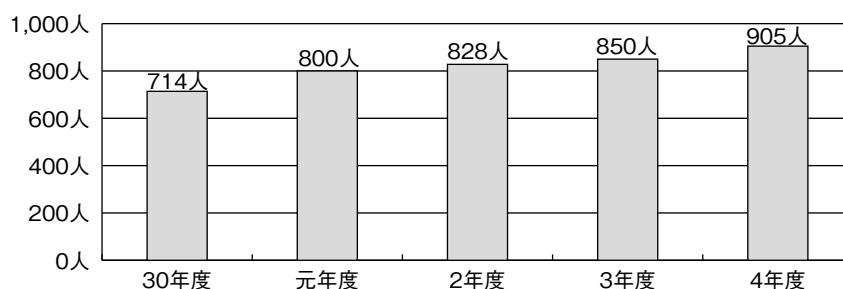
区分	令和3年度	令和4年度
総会及び市政報告会	<ul style="list-style-type: none"> 開催日 11.25 出席者 ふるさと大使、愛知県選出の国会議員、応援倶楽部会員など108名出席 ※応援倶楽部会員数：850名（3.31現在）	<ul style="list-style-type: none"> 開催日 11.14 出席者 ふるさと大使、応援倶楽部会員など86名出席 ※応援倶楽部会員数：905名（3.31現在）

〈その他の活動〉

区分	令和3年度	令和4年度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 中央省庁、民間企業等からの情報収集 関係課と連携した省庁への要望活動 首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援） 東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション 中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動 	<ul style="list-style-type: none"> 中央省庁、民間企業等からの情報収集 関係課と連携した省庁への要望活動 首都圏における農産物プロモーション支援（関係課支援） 東海地域東京事務所連携イベントによる観光プロモーション 中核市東京事務所との連携による「中核市フェア」開催を通じたプロモーション活動 豊田市および田原市東京事務所との連携による「三河3市フェア」開催による観光プロモーション

〔指 標〕

指 標 名：「ほの国東三河応援倶楽部」の会員数
 指標説明：「ほの国東三河応援倶楽部」へ入会した人の総数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 広域連携費	77,439,903	0	0	0	77,439,903

1 広域行政推進事業費 77,439,903円 (政策企画課)

[総括]

東三河広域連合において、「ほの国こどもパスポート事業」を引き続き行い、住民交流を促進し、東三河地域の活性化を図った。また、東三河物産展（イオン新瑞橋店・イオン岡崎南店）の開催により東三河の特産品を扱う事業者や生産者の販路拡大を支援するとともに、セミナー・ワークショップの開催やテストマーケティングを行うなど、東三河ブランドの創出・確立を推進した。今後も地方分権の流れや複雑多様化する広域的課題に対応するため、関係市町村との連携事業を実施するとともに、住民の広域連携への意識の高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 広域行政推進事務費 1,412,686円

区 分	令和3年度	令和4年度
豊川水系総合開発促進期成同盟会要望実施回数	2回	2回

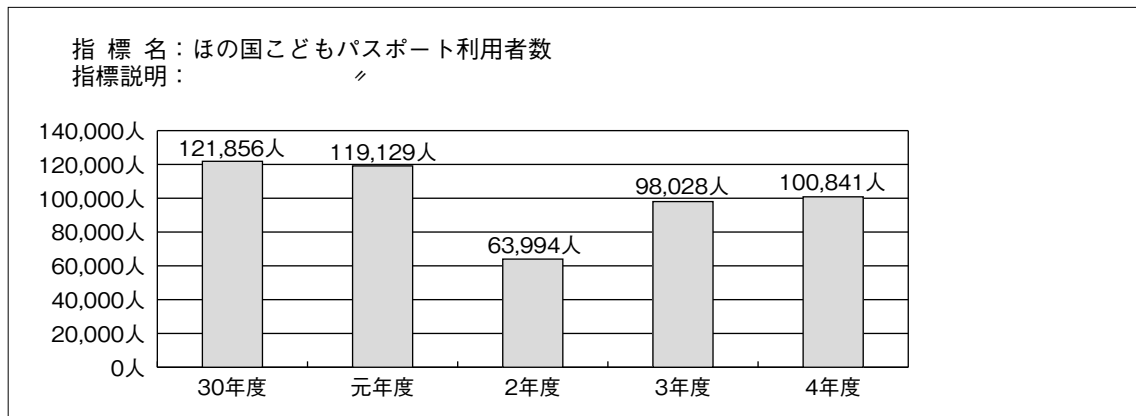
(2) 東三河広域連合管理負担金 65,185,945円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
	63,924,264円	65,185,945円

(3) 東三河広域連合広域行政推進事業負担金 10,841,272円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
	9,422,440円	10,841,272円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 水資源対策費 <治山・治水対策の充実>	31,745,816	0	0	0	31,745,816

1 設楽ダム水源地域整備事業費 21,701,772 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業に対し負担金を支出した。今後も引き続き、長年渇水や洪水被害に悩む東三河下流地域の被害軽減のため、国・県・関係市町村と連携して設楽ダムの建設促進を図る。

[実績及び成果]

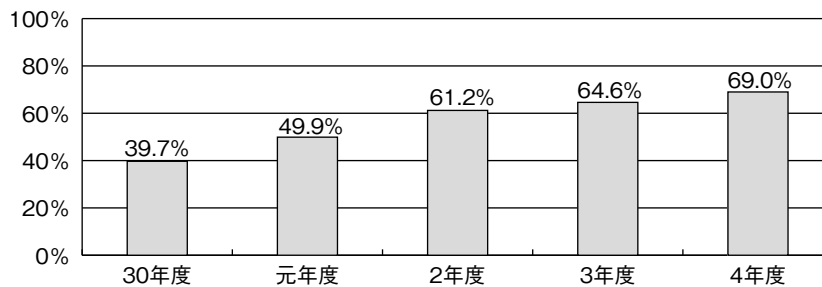
(1) 設楽ダム水源地域整備事業負担金 21,701,772 円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
		16,506,108 円

[指 標]

指 標 名：設楽ダム水源地域整備事業進捗率

指標説明：当該年度までの累計負担額 / 豊橋市の総負担額 (平成21年度～令和8年度)



2 豊川水源基金費 10,044,044 円 (政策企画課)

[総括]

水源地域対策特別措置法に基づく設楽ダム水源地域整備事業を補完して行われる設楽ダム水源地域対策事業に対し負担金を支出した。また、豊川水系における水源林整備を推進するため「第9期水源林対策事業基本計画」(令和3年度から令和7年度)に基づき、公益財団法人豊川水源基金に対し負担金を支出した。今後も引き続き、水源地域の振興や水源林保全を図るため、国・県・関係市町村と連携した効果的な事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 設楽ダム水源地域対策事業負担金 1,098,044 円

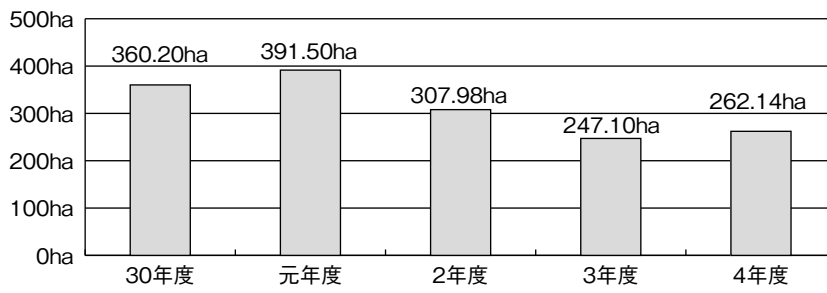
負 担 金	令和3年度	令和4年度
		5,064 円

(2) 水源林地域対策事業負担金 8,946,000 円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
		8,969,000 円

[指 標]

指 標 名：水源林地地域整備面積
指 標 説 明：下刈り・除間伐面積



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
15 目 情報システム整備拡充費	894,715,977	103,240,000	0	1,202,400	790,273,577

1 行政事務情報化推進事業費 789,540,401 円 (情報企画課)

[総括]

行政サービスの維持・向上を図るため、インターネット仮想環境のシステム更新を行った。税総合システムをはじめとした業務システムの改修のほか、申請管理システムの導入に伴う団体内統合宛名システム開発作業を実施した。また、基幹業務システムの統一・標準化においては、全庁的な推進体制を構築し、コンサル事業者支援のもとシステム調査等に着手した。今後も、システムの最適化と安定稼働に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 行政情報管理システム管理運営事業費 396,370,913 円

内 容	令和3年度	令和4年度
行政情報端末数	2,260台	2,310台

(2) 住民情報システム管理運営事業費 260,206,068 円

内 容	令和3年度	令和4年度
住民情報端末数	126台	128台

(3) 電子計算システム開発事業費 132,963,420 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	共通基盤システム、税総合システム等 13件	税総合システム、団体内統合宛名システム等 13件

2 行政デジタル推進事業費 75,946,987 円 (行政デジタル推進室)

[総括]

市民の利便性や行政の生産性を高めるため、ノーコード・ローコードデジタル開発基盤を導入してアプリ開発を行ったほか、RPAの更なる活用に向けて利用環境を充実させた。また、職員向けにデジタルツールの説明会や活用研修を実施したほか、ICTコミュニティを結成して勉強会を行うなど、職員デジタル人材を育成するためのさまざまな取組みを行った。

今後も、デジタル化による市民の利便性向上と業務変革を推進するとともに、その推進力となる職員デジタル人材の育成に努める。

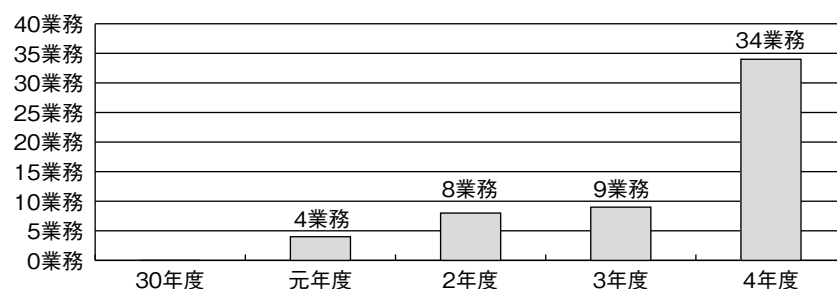
[実績及び成果]

(1) ICT利活用推進事業費 75,946,987 円

内 容	令和3年度	令和4年度
職 員 デ ジ タ ル 人 材 の 育 成	・RPA研修受講者数 53人	・デジタルツール説明会参加者数 73人
	・テーマ別研修 (DXセミナー) 受講者数 63人	・RPA研修受講者数 35人
	・職員デジタル人材育成プレ研修受講者数 28人	・ノーコード・ローコードデジタル開発基盤研修受講者数 20人
		・ICTコミュニティ参画者数 32人

[指 標]

指 標 名：RPA等デジタルツール活用業務数
 指標説明：〃



3 地域情報化推進事業費 24,002,538 円（行政デジタル推進室）

[総 括]

地域サービス及び行政サービスにおける情報のデジタル化を推進するため、「あいち電子自治体推進協議会」の共同事業において、施設予約システムやあいち電子申請・届出システム、電子調達システムの安定稼働に努めたほか、観光・防災 Wi-Fi ステーション（公衆無線 LAN）の光回線化を進め、地域における通信環境を向上させた。今後も、市民ニーズに合ったサービスを提供できるよう、愛知県や県内市町村と連携し、電子自治体推進のための事業に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 情報発信基盤等整備事業費 12,204,548 円

〔公衆無線 LAN〕

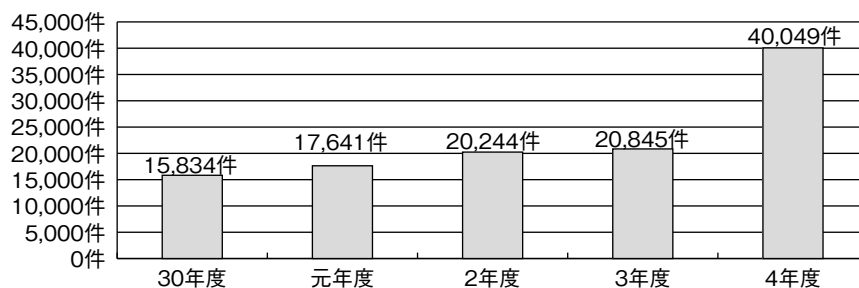
設 置 箇 所 数	令和 3 年度	令和 4 年度
	18 箇所	18 箇所

(2) 自治体共同情報化推進事業費 11,797,990 円

あいち電子自治体 推進協議会負担金	令和 3 年度	令和 4 年度
	11,393,996 円	11,670,370 円

[指 標]

指 標 名：施設予約システム住民利用件数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 徴 税 費	1,374,356,705	623,888,524	0	42,808,795	707,659,386
4目 納 税 費	104,326,699	0	0	749,273	103,577,426

1 納税事務費 77,102,217 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納額の減少を目的として、口座振替の加入推進、公平かつ的確迅速な収納整理及び滞納整理に努めたほか、休日開庁・休日臨時電話相談、市税コールセンターにおける現年度滞納者に対する催告を行った。また、平成28年度から引き続き東三河広域連合徴収課へ職員4名を派遣するとともに、徴収困難案件を移管し、積極的な滞納整理を実施した。市税全体の収入率は、厳しい納税環境の中においても前年度比で0.3ポイント増となった。今後も収入率の向上に向け適切な徴収事務に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 啓発事業費 614,280 円

区 分	令和3年度	令和4年度
口 座 振 替 加 入 率	36.4%	35.5%

(2) 収納整理事務費 10,123,625 円

区 分	令和3年度	令和4年度
督 促 状 発 付 件 数	78,206件	79,271件
コ ン ビ ニ 納 付 件 数	180,713	184,360
ク レ ジ ッ ト カ ー ド 納 付 件 数	3,810	5,354
電 子 決 済 納 付 件 数	12,359	17,606
市税コールセンターによる架電件数	24,428	21,279

(3) 滞納整理事務費 30,263,652 円

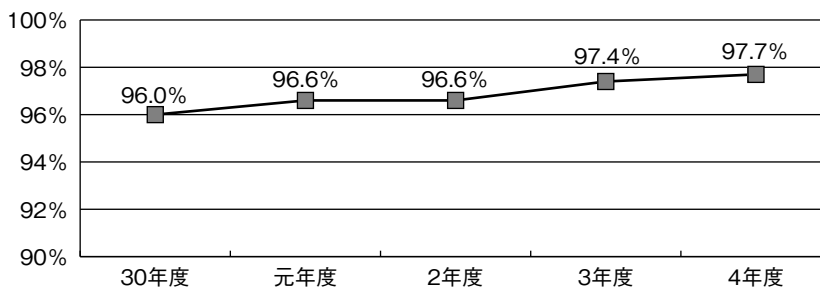
区 分	令和3年度	令和4年度
差 押 件 数	2,834件	3,157件
差 押 期 別 件 数	47,728期	48,137期
公 売 に よ る 換 価 件 数 (出 資 金 等 含 む)	34件	30件

(4) 東三河広域連合滞納整理事業負担金 36,100,660 円

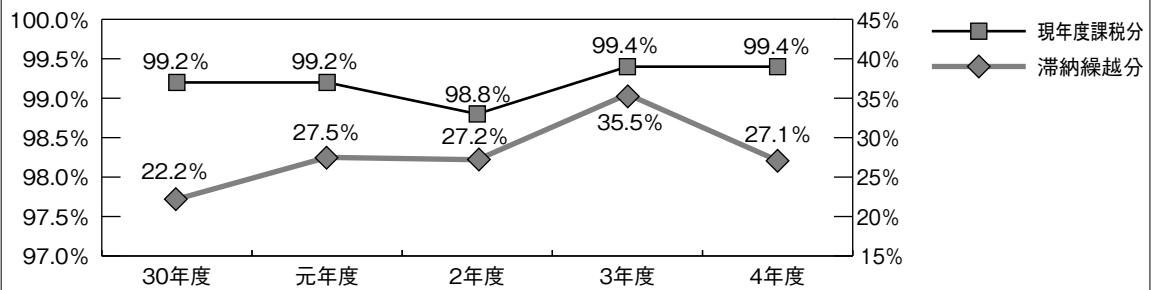
負 担 金	令和3年度	令和4年度
	34,595,191円	36,100,660円

[指 標]

指 標 名：市税収入率(全体)
 指標説明：収入額／調定額



指 標 名：市税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)
 指標説明：収入額／調定額



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	819,160,178	186,415,224	0	110,884,917	521,860,037
1目	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	800,226,298	185,808,224	0	110,884,917	503,533,157

1 戸籍住民基本台帳等サービス事務費 289,713,135 円 (市民課)

[総括]

戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付などの窓口事務を行った。また、証明窓口の土曜開庁及び死亡に伴う遺族の手続きを支援する対面型個別相談窓口「おくやみコーナー」を運用し、市民サービスの充実に努めた。とりわけ、マイナンバーカードの取得促進については、全庁的体制により申請・交付窓口を土日及び平日夜間に拡大し、地区市民館や商業施設等への出張申請、民間委託による申請受付等、積極的な申請支援を実施するとともに、交付予約システムの導入により円滑な交付に努めた。その結果、交付件数が10万件を超えたほか、証明書のコンビニ交付件数も大幅に増加した。今後も親切、丁寧な対応を心掛け、迅速かつ正確な事務を行う。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 216,512,855 円

実施項目		令和3年度	令和4年度	比較
戸 籍 関 係		60,391件	59,502件	△ 1.5%
住 民 基 本 台 帳 関 係		94,562	95,703	1.2
印 鑑 登 録 関 係		22,869	21,276	△ 7.0
そ の 他 証 明 関 係		2,179	1,957	△10.2
マイナンバーカード交付関係		51,973	101,840	95.9
コンビニ 交付関係	戸 籍 関 係	3,455	5,653	63.6
	住 民 基 本 台 帳 関 係	16,381	25,048	52.9
	印 鑑 登 録 関 係	10,879	16,356	50.3
計		262,689	327,335	24.6

(2) 届出受付事務費 1,051,471 円

実施項目		令和3年度	令和4年度	比較
戸 籍 関 係		11,652件	11,230件	△ 3.6%
住 民 基 本 台 帳 関 係		21,383	26,431	23.6
印 鑑 登 録 関 係		6,557	6,436	△ 1.8
火 埋 葬 許 可 関 係		2,593	2,588	△ 0.2
計		42,185	46,685	10.7

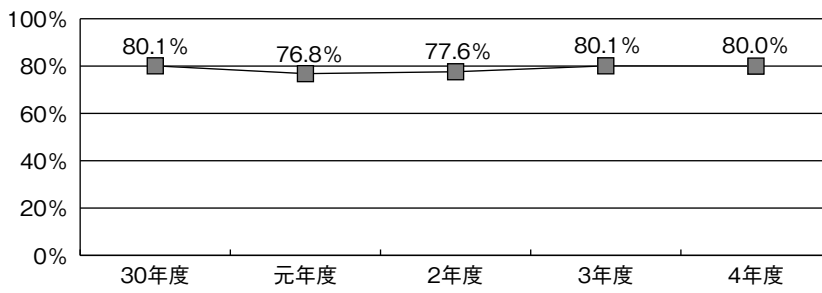
(3) 台帳記録事務費 72,148,809 円

実施項目		令和3年度	令和4年度	比較
戸 籍 関 係		13,333件	13,034件	△ 2.2%
住 民 基 本 台 帳 関 係		92,611	94,134	1.6
印 鑑 登 録 関 係		22,282	22,002	△ 1.3
身 上 調 査 関 係		2,762	2,889	4.6
相 続 税 法 関 係		4,058	4,307	6.1
計		135,046	136,366	1.0

[指 標]

指 標 名：窓口サービス満足度

指標説明：市民課の全体的な印象について、満足及びやや満足と回答した件数／窓口サービスアンケート調査件数



2 窓口センターサービス事務費 59,232,203 円（市民課）

[総括]

市内8か所の窓口センターにおいて、戸籍法、住民基本台帳法、印鑑条例等に基づく届出受付や証明書類の交付事務とともに、国民健康保険、国民年金関係の届出受付、税務関係の証明書類の交付、火埋葬許可証の交付等の窓口事務を行った。今後も引き続き関係各課の事務を幅広く取り扱うことで、身近な市役所として利便性の一層の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 証明交付事務費 40,299,348 円

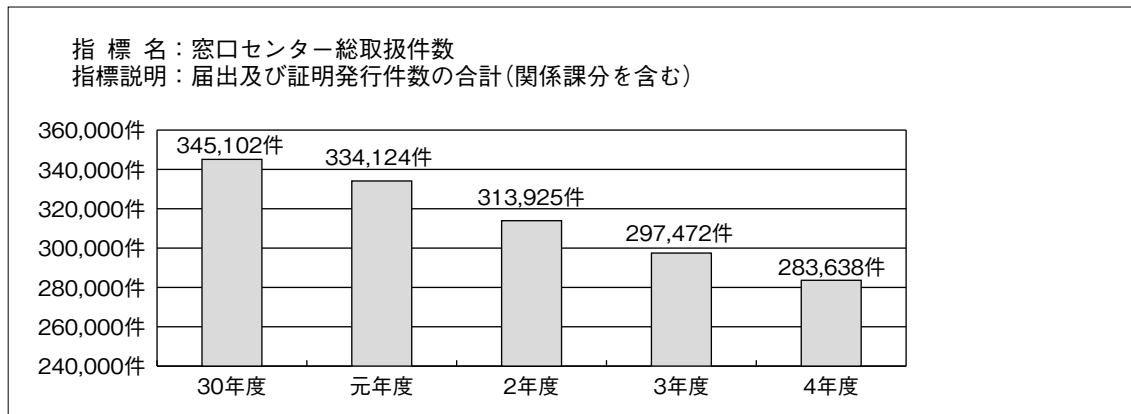
実施項目	令和3年度	令和4年度	比較
戸籍関係	37,155件	38,675件	4.1%
住民基本台帳関係	93,759	85,615	△ 8.7
印鑑登録関係	66,698	61,556	△ 7.7
税務証明関係	48,413	46,438	△ 4.1
その他証明関係	1,785	1,661	△ 6.9
計	247,810	233,945	△ 5.6

(2) 届出受付事務費 451,317 円

実施項目	令和3年度	令和4年度	比較
戸籍関係	3,429件	3,602件	5.0%
住民基本台帳関係	9,102	8,771	△ 3.6
印鑑登録関係	7,665	7,464	△ 2.6
火埋葬許可関係	1,446	1,720	18.9
国民健康保険関係	7,194	7,649	6.3
国民年金関係	2,966	2,842	△ 4.2
福祉関係	16,936	16,909	△ 0.2
学校関係	93	87	△ 6.5
大きなごみ証紙関係	831	649	△21.9
計	49,662	49,693	0.1

(3) 施設管理運営事業費 18,481,538 円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 戸籍住民諸費	18,933,880	607,000	0	0	18,326,880

1 一般旅券事業費 18,326,880円 (市民課)

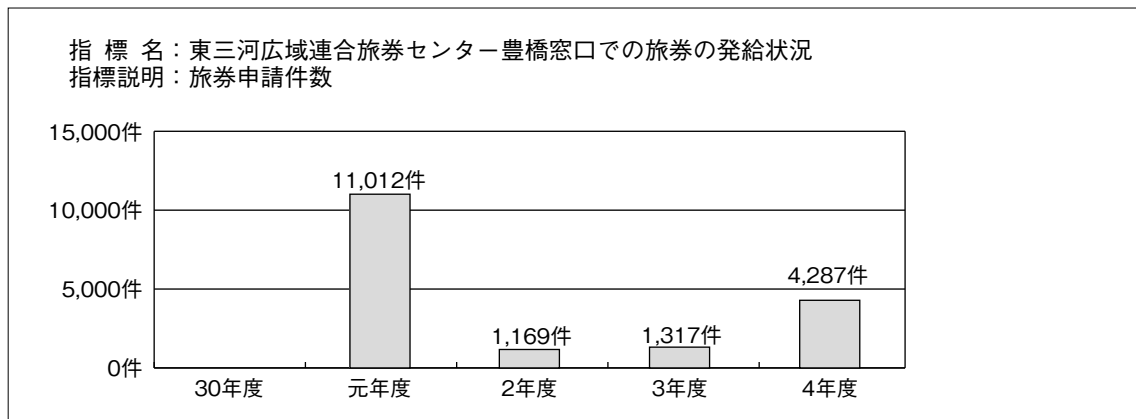
[総括]

令和元年度から都道府県の法定受託事務である一般旅券の発給事務の一部を、東三河広域連合を受皿として権限移譲を受け、東三河8市町村のいずれの窓口でも一般旅券の発給申請等ができるようになるなどの利便性の向上を図った。4年度は海外渡航時における新型コロナウイルス感染症水際対策の緩和もあり3年度と比較して大幅な増となったが、感染症拡大前となる元年度の取扱件数を下回った。今後も構成市町村及び愛知県と連携し、迅速かつ正確な事務処理を行う。

[実績及び成果]

(1) 東三河広域連合旅券事務負担金 18,326,880円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 文化振興費	1,023,441,601	55,468,687	36,100,000	6,142,840	925,730,074
2目 芸術文化振興費 ＜個性あふれる芸術文化によるまちの魅力向上、芸術文化の幅広い分野への展開＞	153,871,546	19,378,687	0	5,000,000	129,492,859

1 文化創造活動事業費 150,641,898 円 (「文化のまち」づくり課)

[総括]

豊橋文化振興財団は、穂の国とよはし芸術劇場を拠点として、芸術文化の創造発信及び市民の鑑賞機会の充実を図っており、令和4年度は高校生と創る演劇「せんをかく」や、市民と創造する演劇「悲劇なんてまともじゃない」をはじめ、舞台手話通訳付き公演「楽屋－流れ去るものはやがてなつかしき－」を上演したほか、「PLAT ダンス・レジデンス作品集」として、これまで実施してきたダンス・レジデンスの中で、豊橋に滞在・制作したアーティスト3組の作品を上演した。今後も質の高い芸術文化に触れることのできる機会を充実するとともに、本市の芸術文化作品や取組みを市内外に向けて発信していく。

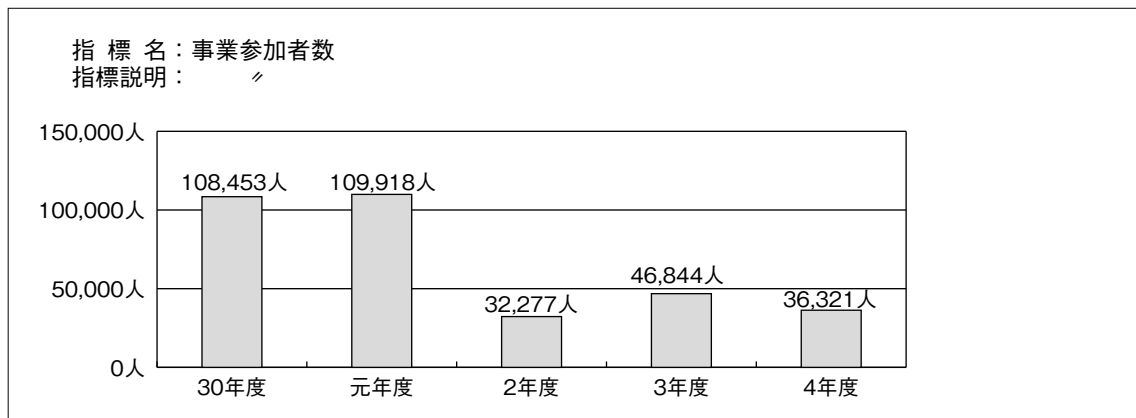
[実績及び成果]

(1) 豊橋文化振興財団補助金 150,641,898 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		144,864,277 円 (参加者 46,604 人)

※令和4年度よりアートによる魅力発信事業を豊橋文化振興財団補助事業に統合したため、「実績及び成果」の令和3年度参加者数と「指標」の参加者数は異なる

[指標]

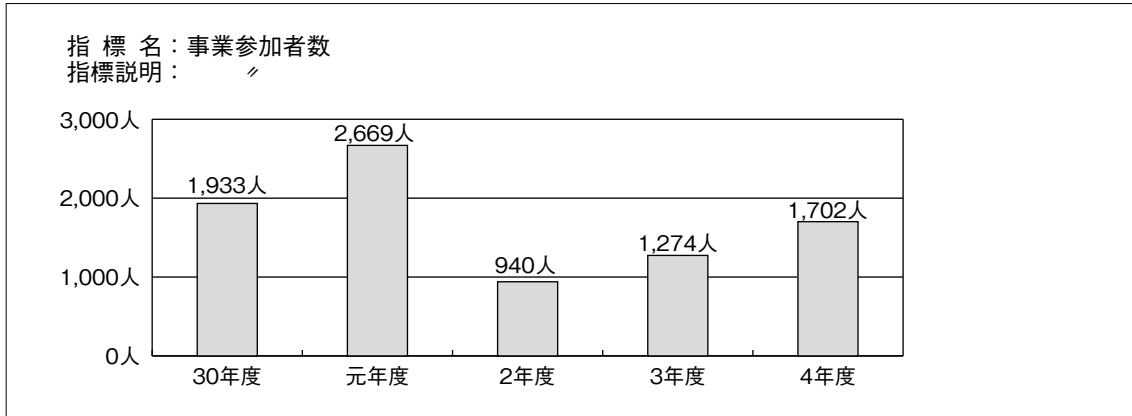


2 文化がみえるまちづくり事業費 3,229,648 円（「文化のまち」づくり課）

〔総括〕

小中学生を対象にアーティストによるアウトリーチやワークショップを行う芸術文化体験普及事業は、演劇やダンス、音楽を通じて表現やコミュニケーションを体験する講座等を実施し、多くの児童、生徒に参加してもらうことができた。また、豊橋駅東西自由連絡通路に設置しているストリートピアノの維持管理を行い、音楽を通じた人々の交流やまちの魅力を発信した。今後もさまざまな分野と連携した芸術文化活動を展開していく。

〔指標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 芸術文化推進費 <芸術文化を支える人づくり、 豊かな芸術文化の未来への継承>	802,111,389	36,090,000	36,100,000	1,142,840	728,778,549

1 文化推進事業費 8,986,358 円 (「文化のまち」づくり課)

[総括]

豊橋青少年オーケストラキャンプは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものの、演奏の発表機会を創るため、ライブレポートとよはしにおいて学校単位での参加を募り「みんなのサマーコンサート」を開催した。また、伝統芸能後継者育成事業では市指定無形民俗文化財である飽海人形浄瑠璃の保存・継承を図るため、従来の太夫・三味線の体験講座に加え、より実践的な中級講座を開催した。今後も文化活動団体や教育機関等と連携して人材育成や顕彰等の取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 文化活動推進事業費 1,217,290 円

区 分	令和3年度	令和4年度
豊橋青少年オーケストラキャンプ事業補助金	0円	9,450円
郷土関係出版物補助金	136,000	200,000
伝統芸能後継者育成事業	631,975	1,007,840

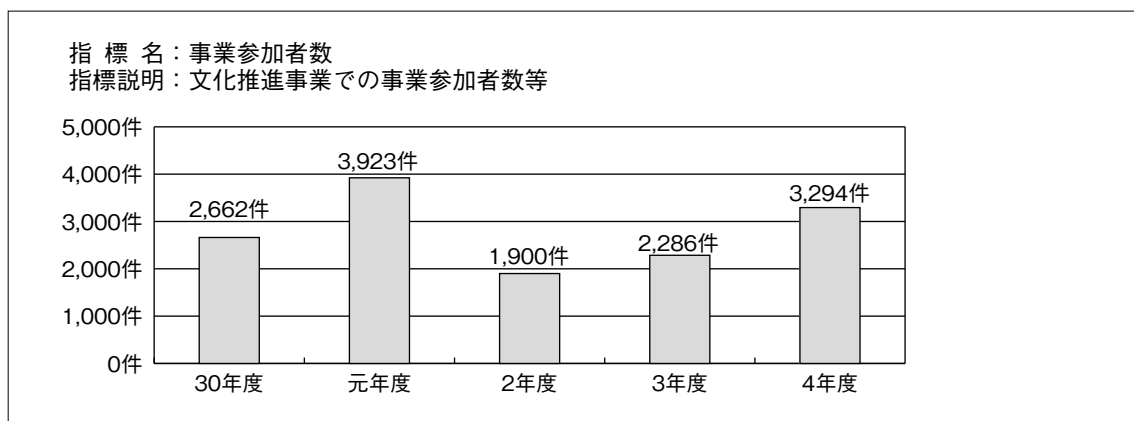
(2) 文芸文化事業費 7,600,168 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
丸山薫賞対象数	212作品	227作品	7.1%
丸山薫「帆・ランプ・鷗」賞応募数	223	802	3.6倍
文芸応募数	1,825	1,295	△29.0%

※文芸応募数は応募者数から応募作品数へ指標を見直し

(3) 文化振興表彰事業費 168,900 円

[指標]



※文芸応募数の指標見直しのほか、郷土関係出版物補助金・伝統芸能後継者育成事業を組み替えたため令和4年度ベースで再算定

2 文化施設管理事業費

789,575,031 円（「文化のまち」づくり課）

〔総括〕

文化施設（7施設）について、指定管理者及びPFI事業者による適正な管理運営を行い、令和4年度は多くの施設で利用者数が増加した。また、市民文化会館の改修に向けた設計業務に着手したほか、三の丸会館では施設保全のための改良保全工事を行った。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策やエネルギー関連の物価高騰への対応として、指定管理者に対して指定管理者支援補助金を交付した。今後も、必要となる修繕や維持保全を行うとともに、指定管理者の自主的な経営努力を促し、利用者が安全・快適に利用できるよう努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 市民文化会館管理事業費 57,256,755 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較（利用人員）
ホール	139件 延 20,871人	165件 延 20,302人	△ 2.7%
会議室	1,661 延 29,033	1,771 延 26,161	△ 9.9
展示室	292 延 25,890	340 延 24,185	△ 6.6
リハール室	208 延 14,392	252 延 14,314	△ 0.5
合計	2,300 延 90,186	2,528 延 84,962	△ 5.8

(ア) 改修基本設計 7,502,000 円

(2) 西川芸能練習場管理事業費 1,406,998 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較（利用人員）
ホール	102件 延 3,614人	109件 延 3,081人	△14.7%
楽屋	29 延 960	15 延 125	△87.0
合計	131 延 4,574	124 延 3,206	△29.9

(3) 三の丸会館管理事業費 58,370,792 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較（利用人員）
茶室	126件 延 1,154人	173件 延 2,917人	2.5倍
和室	227 延 4,876	352 延12,105	2.5
立礼茶席	延 8,082	延 8,035	△ 0.6%
合計	353 延14,112	525 延23,057	63.4

(ア) 改良保全工事 40,205,000 円

構造	内容	延床面積
鉄骨鉄筋コンクリート造一部木造平家建	外部防水等改修、内装改修	401㎡

(4) ライフポートとよはし管理事業費 174,855,966 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較（利用人員）
コンサートホール	114件 延19,790人	184件 延43,419人	2.2倍
中ホール	210 延16,303	288 延26,647	63.4%
合計	324 延36,093	472 延70,066	94.1

(5) 公会堂管理事業費 44,348,827 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較（利用人員）
大ホール	137件 延24,666人	186件 延40,307人	63.4%

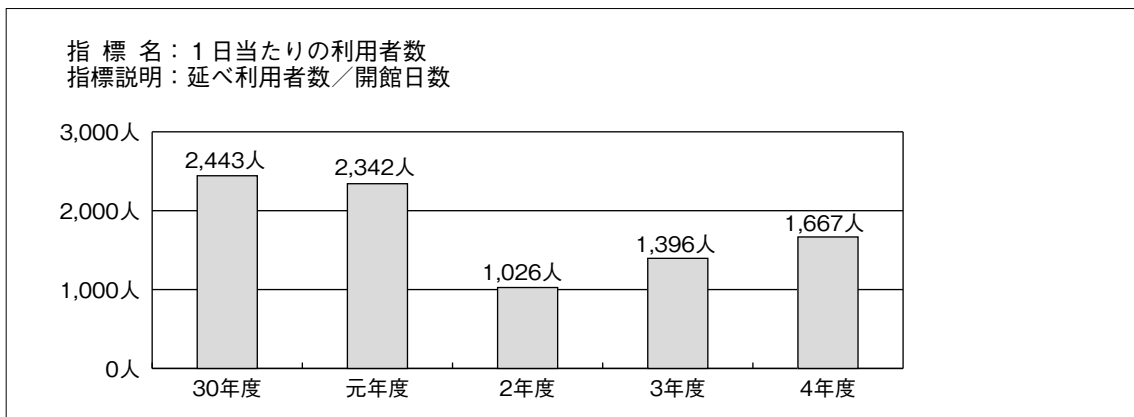
(6) 穂の国とよはし芸術劇場管理事業費 368,644,126 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較(利用人員)
主ホール	206件 延 58,115人	241件 延 75,836人	30.5%
アートスペース	257 延 22,200	263 延 27,237	22.7
創造活動室	1,349 延 11,809	1,651 延 15,470	31.0
研修室	490 延 8,641	606 延 8,693	0.6
交流スクエア等	延 23,033	延 28,620	24.3
合計	2,302 延123,798	2,761 延155,856	25.9

(7) アイプラザ豊橋管理事業費 84,691,567 円

利用状況	令和3年度	令和4年度	比較(利用人員)
講堂	94件 延 66,148人	87件 延 68,038人	2.9%
小ホール	259 延 20,943	321 延 26,312	25.6
会議・和室	4,164 延 37,991	4,518 延 44,813	18.0
実習・調理実習・多目的室	3,701 延 29,906	3,426 延 26,203	△12.4
体育室	1,625 延 16,969	1,602 延 15,723	△ 7.3
学習・図書室	延 19,153	延 20,065	4.8
合計	9,843 延191,110	9,954 延201,154	5.3

[指標]



3 文化活動支援事業費

3,550,000 円（「文化のまち」づくり課）

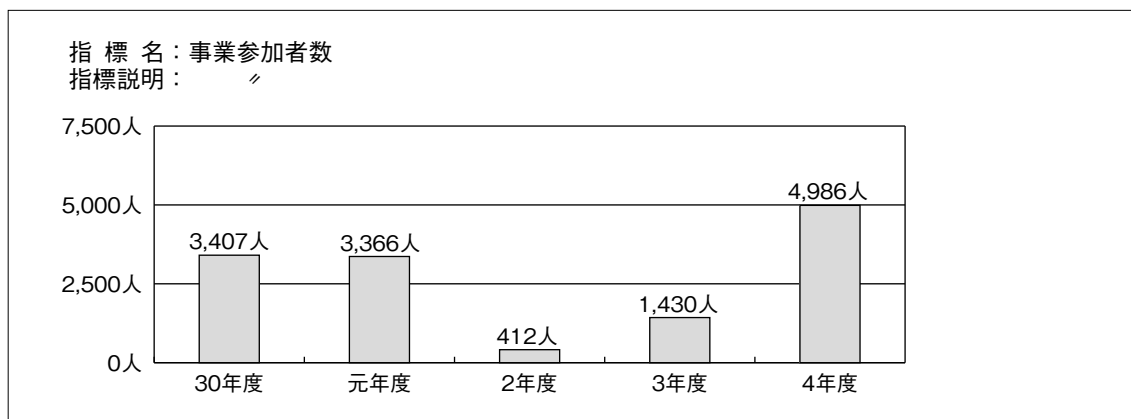
[総括]

吉田文楽保存会、豊橋交響楽団、豊橋素人歌舞伎保存会の定期公演等を実施し、多くの市民が参加、鑑賞することにより、文化活動の活性化と振興が図られた。一方で、団体会員の高齢化により実施が困難として全国凧揚げ大会は中止となり、実行委員会が解散となった。今後も、この地域で育まれた芸術文化を担う芸術文化活動団体を支援していく。

[実績及び成果]

区 分	令和3年度	令和4年度
(1) 吉田文楽保存会補助金	450,000円	450,000円
(2) 豊橋交響楽団補助金	1,800,000	1,800,000
(3) 豊橋素人歌舞伎保存会補助金	1,300,000	1,300,000
(4) 全国凧揚げ大会開催事業補助金	36,586	0
(5) 三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会負担金	0	0
(6) 穂の国2020特別演奏会負担金	224,440	—
計	3,811,026	3,550,000

[指標]



※郷土関係出版物補助金、伝統芸能後継者育成事業を組み替えたため、令和4年度ベースで再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7項 スポーツ振興費	1,033,419,789	39,313,000	191,800,000	65,062,680	737,244,109
2目 スポーツ参加促進費 <スポーツへの参加促進>	21,101,773	0	0	2,495,000	18,606,773

1 スポーツ推進事業費 21,101,773円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

「豊橋みなとシティマラソン」及び「渥美半島駅伝」を感染防止対策を行いながら3年ぶりに開催し、市民のスポーツ活動への参加促進を図った。また、市民が誰でも楽しくスポーツに参加できるきっかけづくりとなるよう、新たに「とよはしスポーツ博」を開催した。今後も市民がスポーツをする機会を増やし、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ少年団活動事業補助金 810,000円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		129団体	810,000円	127団体

(2) スポーツ活動推進事業費 12,433,800円

(ア) 行事開催

区 分	令和3年度			令和4年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	6月～11月	石巻運動広場ほか ※一部のみ開催	延 865人	6月～12月	陸上競技場 総合体育館ほか ※一部雨天中止	延2,230人
豊橋みなと シティマラソン	—	—	0	11.6	豊橋総合スポーツ公園 及びその周辺	2,423
渥美半島駅伝競走大会	—	—	0	1.21	渥美半島	315
穂の国・豊橋ハーフマラソン	3.27	豊橋公園発着 ※1縮小開催	2,511	3.26	豊橋公園発着 ※2	4,205
とよはしスポーツ博	—	—	0	10.15	陸上競技場 武道館	5,624

※1 令和3年度は、ハーフマラソン（コース変更、定員制限）とオンラインハーフマラソンの2種目による縮小開催

※2 令和4年度は、ハーフマラソン（通常コース）とオンラインハーフマラソンの2種目による開催

(イ) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会

開 催 回 数	令和3年度		令和4年度	
		1回		1回

(3) 市民スポーツ祭事業補助金 450,000円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		19種目	411,207円	27種目

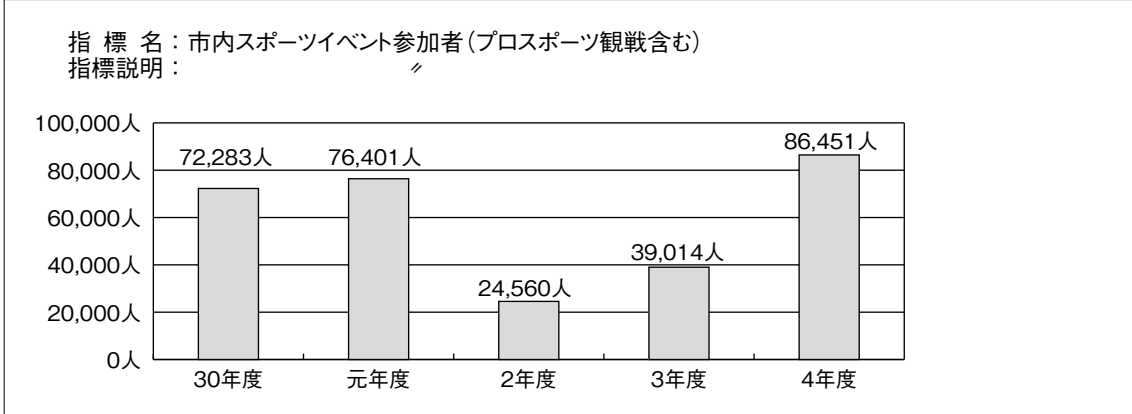
(4) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 295,483円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		0円		295,483円

(5) スポーツ推進委員活動事業費 7,112,490 円

スポーツ推進委員	令和3年度		令和4年度	
	112名	6,720,000円	112名	6,690,000円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 スポーツ環境づくり費 <スポーツ環境の充実>	858,510,066	38,158,000	171,800,000	62,567,500	585,984,566

1 スポーツ活動振興事業費 88,389,430円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

スポーツ活動の振興を図るため、学校体育施設を市民へ開放したほか、豊橋市スポーツ協会の活動支援を行った。また、スポーツの普及発展に貢献した個人や団体を顕彰し、市民のスポーツへの意識の高揚を図るとともに、全国大会等出場者へ激励金を支給するなど、競技力向上を図った。

[実績及び成果]

- (1) 学校体育施設開放運営事業費 31,430,428円
開放施設 市立小・中学校、特別支援学校、県立高校 計82校

[利用状況]

区 分	令 和 3 年 度			令 和 4 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延159,734人	一人	159,734人	延190,711人	一人	190,711人
剣 道	延 49,536	—	49,536	延 51,214	—	51,214
空 手	延 29,604	—	29,604	延 29,424	—	29,424
野 球	—	延123,866	123,866	—	延110,121	110,121
ソフトボール	—	延 21,313	21,313	—	延 22,730	22,730
卓 球	延 7,301	—	7,301	延 7,699	—	7,699
バドミントン	延 34,687	—	34,687	延 35,814	—	35,814
サ ッ カ ー	—	延230,046	230,046	—	延241,294	241,294
バスケットボール	延142,115	—	142,115	延176,477	—	176,477
ソフトバレー	延 84,879	—	84,879	延110,960	—	110,960
インディアカ	延 15,733	—	15,733	延 23,335	—	23,335
そ の 他	延 93,550	延 21,952	115,502	延111,788	延 32,105	143,893
計	617,139	397,177	1,014,316	737,422	406,250	1,143,672

- (2) 豊橋市スポーツ協会補助金 49,091,724円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		44,753,264円		49,091,724円

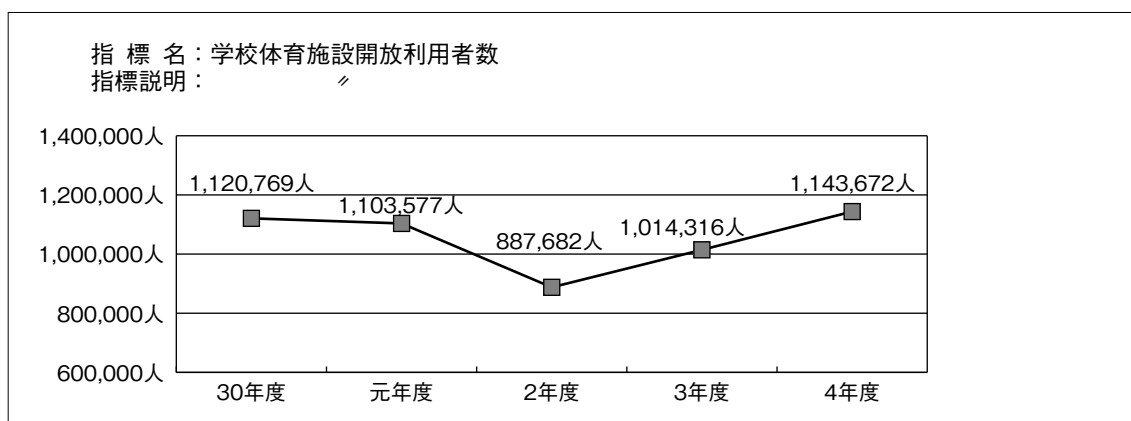
- (3) 日本港湾福利厚生協会補助金 6,300,000円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		プール延利用者数 29,647人	6,300,000円	プール延利用者数 41,751人

- (4) スポーツ活動顕彰事業費 1,567,278円

区 分	令和3年度	令和4年度
ス ポ ー ツ 賞	1名	1名
ス ポ ー ツ 奨 励 賞	3	1名、1団体
ス ポ ー ツ 特 別 賞	4	—

[指 標]



2 スポーツ施設管理運営事業費 768,807,351 円（「スポーツのまち」づくり課、多目的屋内施設整備推進室）

[総 括]

スポーツ施設の長寿命化を図るため、飯村地区体育館の大規模改修工事を行ったほか、屋内プール・アイスアリーナの改修工事に着手した。また、豊橋市民球場の夜間照明をLED化するなど施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が快適にスポーツに親しめるよう施設の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 112,311,857 円

[利用状況]

<総合運動場>

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊 橋 球 場	198日	20,522人	222日	35,937人	75.1%
東 田 球 場	179	15,562	170	18,410	18.3
陸 上 競 技 場	305	64,849	308	94,428	45.6
硬 式 庭 球 場	255	10,929	292	11,388	4.2
軟 式 庭 球 場	239	30,901	266	28,882	△ 6.5
計	—	142,763	—	189,045	32.4

<武 道 館>

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔 道 場	297日	13,835人	308日	19,923人	44.0%
剣 道 場	308	12,024	308	14,121	17.4
弓 道 場	308	14,458	308	15,350	6.2
相 撲 場	96	925	89	574	△37.9
ト レ ー ニ ン グ 室	308	13,957	308	11,867	△15.0
計	—	55,199	—	61,835	12.0

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

(2) 地区体育館管理運営事業費 231,677,119 円

(ア) 飯村地区体育館大規模改修工事 152,770,800 円

2 か年継続事業の最終年度 総事業費 250,830,800 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 平家建	屋上防水改修、外壁改修、内装改修	1,350 m ²

〔利用状況〕

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	308日	34,834人	307日	38,169人	9.6%
新 栄	308	24,922	307	29,402	18.0
牛 川	308	26,980	307	33,267	23.3
草 間	308	37,156	307	37,039	△ 0.3
飯 村	308	28,047	143	16,376	△41.6
下 五 井	308	24,996	307	33,235	33.0
浜 道	308	32,751	307	38,553	17.7
二 川	308	28,682	307	36,894	28.6
石 巻	308	25,553	307	32,518	27.3
大 清 水	308	42,811	307	50,768	18.6
計	—	306,732	—	346,221	12.9

〔施設整備〕

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
	—	石巻地区体育館漏水シーリング工事

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 11,885,199 円

〔利用状況〕

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	308日	12,209人	307日	12,034人	△ 1.4%
ト レ ー ニ ン グ 室	253	625	301	638	2.1
和 室	40	144	49	258	79.2
調 理 室	2	13	0	0	皆減
研 修 室 ・ 集 会 室	298	3,650	299	3,625	△ 0.7
テ ニ ス コ ー ト 等	179	3,414	128	2,733	△ 19.9
計	—	20,055	—	19,288	△ 3.8

〔施設整備〕

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
	—	外部配管撤去工事

(4) 岩田総合球技場管理運営事業費 70,800,140 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	186日	26,679人	184日	33,308人	24.8%
市 民 球 技 場	75	16,005	94	19,464	21.6
市 民 庭 球 場	306	44,969	303	44,917	△ 0.1
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	154	3,561	172	3,896	9.4
計	—	91,214	—	101,585	11.4

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋市民球場非常用放送設備修繕	

(5) 運動広場管理運営事業費 27,598,451 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	293日	24,803人	311日	23,495人	△ 5.3%
明 海 広 場	118	16,686	136	15,099	△ 9.5
明 海 少 年 広 場	152	40,230	136	40,470	0.6
高 山 広 場	257	6,415	276	7,221	12.6
向 山 運 動 広 場	269	16,571	303	17,426	5.2
石 巻 運 動 広 場	266	66,655	310	68,205	2.3
臨 海 運 動 広 場	198	20,717	140	19,632	△ 5.2
レクリエーション広場	271	19,870	285	19,156	△ 3.6
計	—	211,947	—	210,704	△ 0.6

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

(6) 総合体育館管理運営事業費 93,906,937 円

〔利用状況〕

〈総合体育館〉

区 分		令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	318日	89,535人	295日	146,991人	64.2%
	そ の 他	311	4,611	26	14,702	3.2倍
卓 球 室		309	7,684	310	8,109	5.5%
会 議 室		321	3,683	154	4,098	11.3
研 修 室		321	2,730	124	3,333	22.1
計		—	108,243	—	177,233	63.7

〈総合スポーツ公園サッカー場〉

区 分		令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
総合スポーツ公園サッカー場		309日	28,548人	299日	39,896人	39.8%

(7) 万場調整池庭球場管理運営事業費 4,838,510 円

〔利用状況〕

区 分		令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト		297日	11,227人	296日	14,809人	31.9%

〔施設整備〕

内 容	令和3年度		令和4年度	
	人工芝張替工事		—	

(8) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 210,179,138 円

(ア) 屋内プール・アイスアリーナ改修工事 48,000,000 円

2か年継続事業の初年度 総事業費 176,000,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋 コンクリート造 2階建	外壁改修、内部改修	11,644 m ²

〔利用状況〕

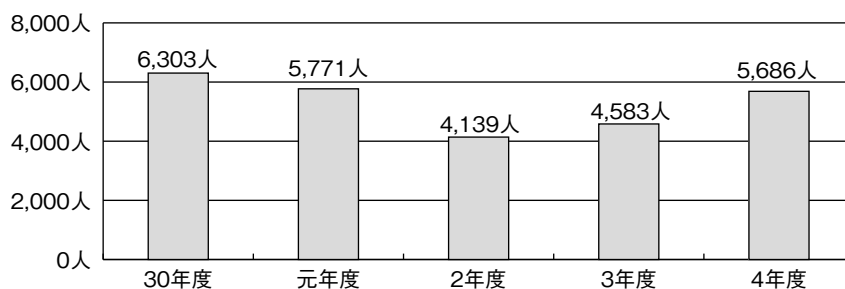
区 分		令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル		113日	23,869人	115日	30,660人	28.5%
ア イ ス ア リ ー ナ		189	44,327	187	39,912	△10.0
ト レ ー ニ ン グ 室		314	32,854	312	24,164	△26.5
会 議 室		320	6,401	212	6,163	△ 3.7
計		—	107,451	—	100,899	△ 6.1

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	ボイラー1号機修繕	

〔指 標〕

指 標 名：全スポーツ施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開場・開館日数



(9) 多目的屋内施設検討調査事業費 5,610,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

3 多目的屋内施設整備事業費 1,313,285 円（多目的屋内施設整備推進室）

〔総 括〕

多目的屋内施設の整備に向け、先進事例の視察を行うとともに、基本計画の策定に着手した。今後は、最適な事業手法の検討や事業者選定に向け、必要な取組みを行っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 多目的屋内施設整備事業費 1,313,285 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ活用推進費 ＜スポーツによるまちの魅力と活力の創出＞	10,043,091	1,155,000	0	0	8,888,091

1 スポーツを活用したまちづくり事業費 1,193,255 円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

合宿等を目的に豊橋に宿泊する市外のスポーツ団体等を誘致するため、宿泊費の一部を助成する補助金を支出し、スポーツ施設の平日利用の促進及び宿泊施設の需要喚起を図り、スポーツを契機とした地域経済の活性化を図った。

[実績及び成果]

(1) スポーツを活用したまちづくり事業費 1,193,255 円

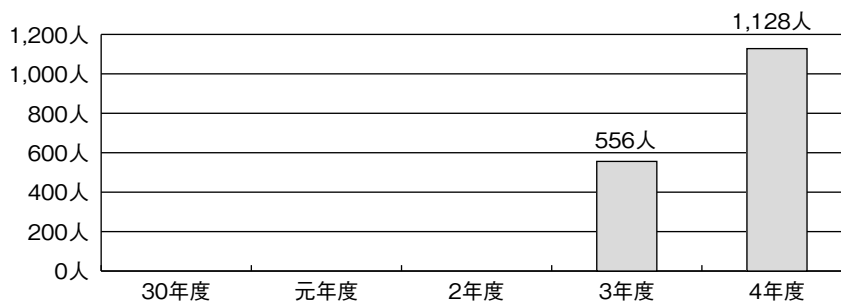
(ア) スポーツ合宿等支援事業補助金 1,089,855 円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		10団体	755,205円	20団体

[指標]

指標名：スポーツ合宿利用延べ宿泊人数

指標説明：〃



2 スポーツ大会誘致事業費 1,499,619 円 (「スポーツのまち」づくり課)

[総括]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、まちの活力の創出を図るため3年ぶりのプロ野球ウエスタン・リーグ公式戦の誘致、開催を支援した。

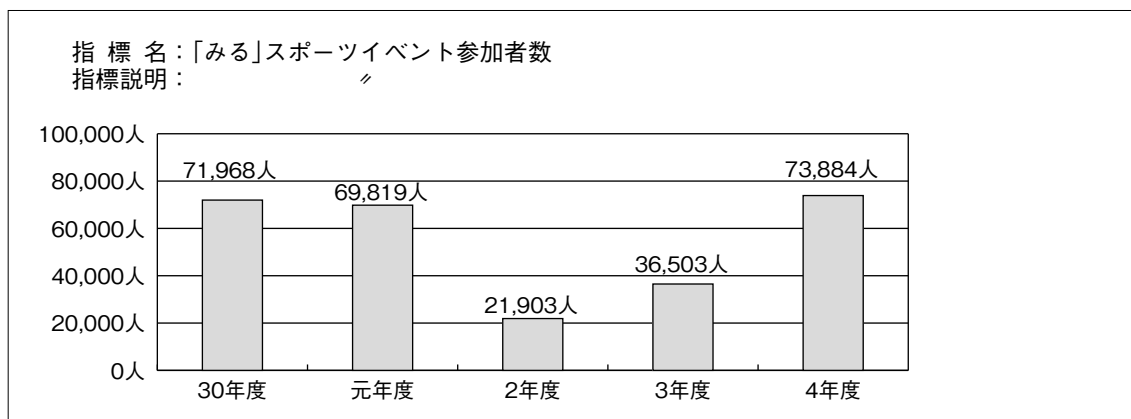
[実績及び成果]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 1,499,619 円

(ア) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 1,499,619 円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		0円		1,499,619円

[指 標]



3 スポーツによる共生・交流促進事業費 7,350,217 円（「スポーツのまち」づくり課）

[総 括]

とよはしスポーツアンバサダーである高田真希選手による市内中学生を対象としたオンラインスクール及びバスケットボール実技講習会やパラリンピアン八木克勝選手による卓球講習会を開催するなど、本市ゆかりのアスリートとの交流を通じて、市民へスポーツを身近に感じてもらう機会を提供した。

また、パラスポーツを通じ共生社会の理解促進を図るため、令和3年度に引き続きゴールボールの出前講座や小学生を対象に日本財団主催のパラアスリート講師によるオンライン版「あすチャレスクール」を開催したほか、パラリンピアンによる車いすテニス体験会を実施した。

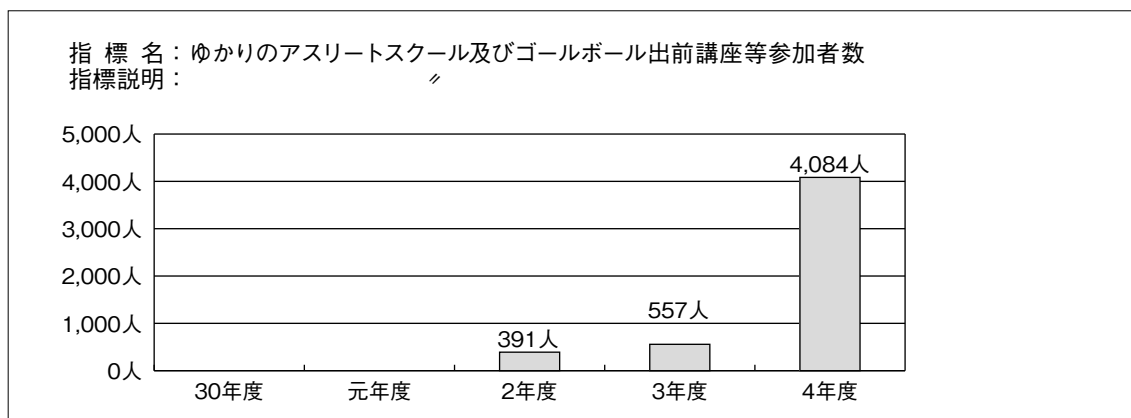
[実績及び成果]

(1) スポーツによる共生・交流促進事業費 7,350,217 円

(ア) 東京 2020 オリパラレガシー体感プロジェクト 7,350,217 円

出前講座開催回数	令和3年度	令和4年度
	6回	13回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9項 総務諸費	1,302,485,486	91,181,285	44,700,000	34,706,543	1,131,897,658
1目 地域コミュニティ活動費 <地域コミュニティ活動の促進>	350,864,694	3,979,000	0	9,077,261	337,808,433

1 地域コミュニティ推進事業費 125,273,317 円 (市民協働推進課)

[総括]

地域の自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として、各校区及び町自治会に対してコミュニティ活動交付金を交付した。また、地域のまちづくりを進めていく人材を育成するため、まちづくり講習会を開催するとともに、コミュニティ活動に利用する備品整備に対し助成を行った。このほか、自治会のデジタル化を応援するため、新たに自治会役員等を対象とした Web 会議を体験する講習会を全 10 ブロックで開催した。今後も、地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の主体的なまちづくりの推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 自治連合会活動事業費 122,615,957 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
コミュニティ活動交付金(校区自治会)	11,302,400円	11,876,600円	5.1%
コミュニティ活動交付金(町自治会)	109,936,720	109,392,260	△ 0.5
自治連合会活動推進費	34,566	653,365	18.9倍
自治連合会創立70周年記念事業補助金	—	376,932	皆増
デジタル支援講座の開催	—	316,800	皆増
計	121,273,686	122,615,957	1.1%

(2) 地域コミュニティ支援事業費 157,360 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
まちづくり講習会参加者数	—	113人
地域コミュニティ人材育成研修	1種、7講座、参加人員98人	1種、7講座、参加人員100人

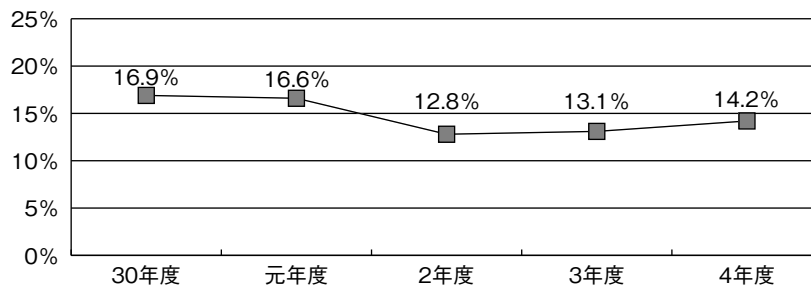
(3) コミュニティ推進事業補助金 2,500,000 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
	対象校区	事 業 内 容	対象校区	事 業 内 容
内 容	大 清 水	印刷機、テント等	岩 田	印刷機、椅子等
	鷹 丘	ガス発電機、 デジタル簡易無線機等	—	—
補 助 金	5,000,000円		2,500,000円	

[指 標]

指 標 名：校区市民館の地域コミュニティによる利用率

指標説明：自治会等地域コミュニティ利用回数／利用者別利用回数合計



2 校区市民館管理運営事業費 155,814,625 円（市民協働推進課）

[総括]

校区市民館の利用者数は、新型コロナウイルス感染症による利用制限の緩和などにより令和3年度の695,102人に比べ100,436人増となった。また、LED照明器具取替修繕、屋上等防水修繕、飯村校区市民館の長寿命化に向けた実施設計を行うなど、施設の老朽化に対応した。このほか、Wi-Fi中継機を設置しデジタル環境の整備を進めるなど校区市民館の機能を高めるとともに、全ての校区市民館においてホームページを作成・公開し情報発信に努めた。今後は市民館の利用ルールの見直しを進めるなど、校区市民館を拠点とした自治会や地域住民による地域コミュニティ活動のより一層の活性化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 校区市民館管理運営事業費（50館） 155,814,625 円

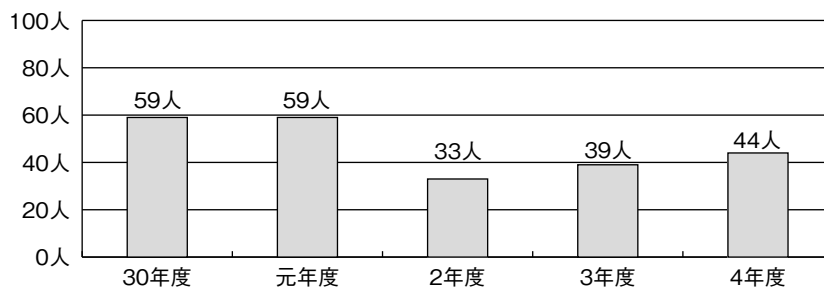
区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員) %
	件 数	延利用人員	件 数	延利用人員	
東 田	1,210	18,503	1,348	22,647	22.4
松 葉	665	11,849	667	10,714	△ 9.6
津 田	328	12,598	323	6,476	△48.6
磯 辺	419	5,157	492	5,986	16.1
大 崎	360	8,731	520	12,037	37.9
鷹 丘	476	7,367	605	9,343	26.8
下 条	561	28,820	586	34,273	18.9
多 米	789	14,522	973	16,990	17.0
旭	829	20,433	834	22,995	12.5
谷 川	270	12,128	411	13,167	8.6
花 田	583	10,989	716	13,567	23.5
高 師	719	8,419	840	10,516	24.9
野 依	721	18,969	796	12,762	△32.7
植 田	887	13,155	825	12,956	△ 1.5
牛 川	1,185	38,772	1,334	44,866	15.7
西 郷	409	18,270	439	17,203	△ 5.8
石 巻	274	4,867	389	9,563	96.5
石巻（金田分館）	436	5,657	486	6,091	7.7
小 沢	213	11,024	361	13,607	23.4
豊 南	288	6,761	410	10,245	51.5
賀 茂	379	12,318	470	16,204	31.5
芦 原	613	11,029	793	16,377	48.5
岩 田	668	13,494	807	17,966	33.1
豊	630	7,883	777	9,919	25.8
大 村	631	10,600	627	9,495	△10.4
幸	567	12,892	656	14,223	10.3
福 岡	993	14,314	1,226	20,299	41.8
栄	1,135	14,319	1,292	17,190	20.1

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員) %
	件 数	延利用人員	件 数	延利用人員	
嵩 山	706	23,959	775	25,518	6.5
二 川	705	13,314	909	15,513	16.5
高 根	278	4,553	465	7,194	58.0
老 津	645	21,166	672	26,250	24.0
下 地	612	14,432	746	14,061	△ 2.6
牟 呂	918	12,642	897	13,479	6.6
吉 田 方	510	11,053	561	11,873	7.4
天 伯	748	13,316	834	16,550	24.3
大 清 水	1,092	16,682	1,201	21,305	27.7
向 山	807	11,625	960	13,686	17.7
玉 川	757	22,501	807	24,683	9.7
細 谷	265	8,032	348	7,841	△ 2.4
飯 村	1,025	12,809	1,287	16,412	28.1
富 士 見	786	18,462	813	20,085	8.8
中 野	749	11,726	976	15,761	34.4
八 町	589	13,302	666	14,807	11.3
二 川 南	682	18,929	860	19,556	3.3
汐 田	881	18,197	1,302	21,832	20.0
松 山	473	12,251	582	14,118	15.2
つ っ じ が 丘	1,025	14,784	1,017	15,341	3.8
新 川	1,038	18,943	1,259	21,984	16.1
前 芝	603	8,584	639	10,012	16.6
計	33,132	695,102	38,579	795,538	14.4

- (ア) LED照明器具取替修繕（栄始め8館） 5,959,800 円
(イ) 屋上等防水修繕（天伯始め10館） 1,129,700 円
(ウ) 長寿命化改良実施設計（飯村） 1,214,400 円

[指 標]

指 標 名：校区市民館1日当たりの利用者数
指 標 説 明：利用者数／(開館日数×市民館数)



3 地域集会所建設支援事業費 10,407,000 円（市民協働推進課）

[総括]

地域住民の心のふれあい及び連帯意識の促進を図るため、令和4年度は、2地区に対して地域集会所の建設にかかる費用の一部を助成した。また、2地区に対して地域集会所のバリアフリー改修にかかる費用の一部を、1地区に対して地域集会所の耐震改修にかかる費用の一部を助成した。今後も希望する地域に対し支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 地域集会所建設費補助金 9,000,000 円

助成地区	令和3年度	令和4年度
	2地区（曲尺手町、八通町）	2地区（南島町二丁目、寺沢町）

- (2) 地域集会所バリアフリー改修費補助金 807,000 円

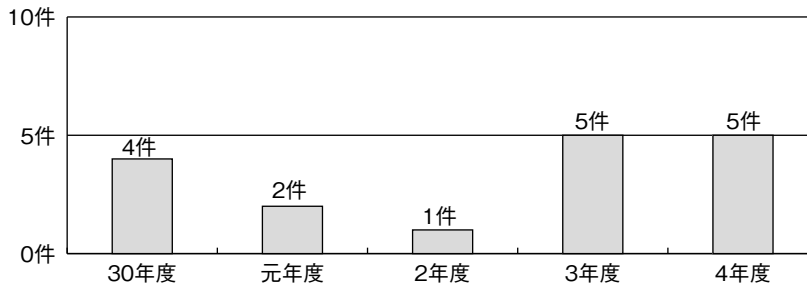
助成地区	令和3年度	令和4年度
	3地区（山田町、花中町二区、東向山町三区）	2地区（西赤沢町、新橋一区）

- (3) 地域集会所（木造）耐震改修費補助金 600,000 円

助成地区	令和3年度	令和4年度
	—	1地区（新橋一区）

[指標]

指標名：地域集会所建設費等補助件数
 指標説明：年度ごとの建設費、耐震改修費及びバリアフリー改修費の補助件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 市民活動支援費 <市民活動への支援>	89,988,041	1,783,000	8,500,000	1,818,576	77,886,465

1 市民活動推進事業費 4,702,760円 (市民協働推進課)

[総括]

市民活動中の事故を幅広く補償する市民活動総合補償制度や各種講座の開催など、市民活動の活性化のための支援を行った。コロナ禍で停滞した市民活動が戻りつつあり、市民活動総合補償制度の対象事故件数や市民協働推進補助金の申請件数は増加している。市民協働推進補助金申請手続きの簡素化を図るなど、引き続き市民の声を踏まえた市民活動への支援を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 市民活動支援事業費 3,554,760円

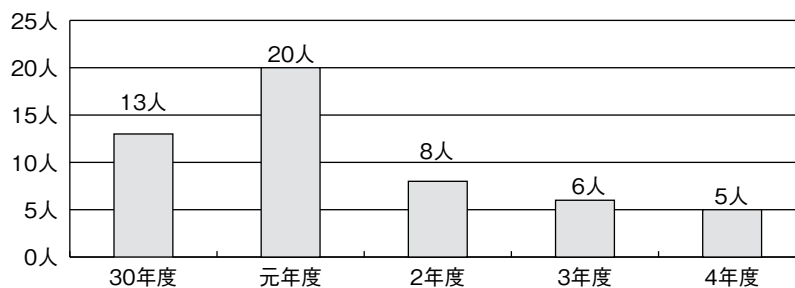
区 分	令和3年度	令和4年度
市民協働推進審議会	年間開催数5回	年間開催数4回
市民活動プラザ登録団体数	463団体	474団体
各種人材育成講座等の開催	7種、15講座、参加人員320人	8種、16講座、参加人員299人
東三河市民活動情報サイトへのアクセス数	30,742件	32,836件
市民活動総合補償制度対象事故件数	傷害13件 賠償2件	傷害46件 賠償2件

(2) 市民協働推進補助金 1,148,000円

区 分	令和3年度	令和4年度
市民活動スタート支援(つつじ)補助金	3団体 137,000円	8団体 379,000円
市民活動ネクスト支援(くすのき)補助金	2 520,000	2 360,000
市民活動若者支援(わかば)補助金	6 384,000	5 409,000

[指 標]

指 標 名：市民活動プラザ1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 市民センター管理運営事業費 41,445,685 円（市民協働推進課）

〔総括〕

市民センターの会議室等の利用件数は令和3年度から横ばいであるものの、利用人数は新型コロナウイルス感染症による利用制限が緩和されたこともあり増加した。また、市民センターによる SNS（Instagram 等）を用いた情報発信を継続し、市民活動支援の講座や市民活動団体が行うイベントについて周知に努めた。今後も指定管理者の持つノウハウを活かした各種講座や相談事業を実施していく。

〔実績及び成果〕

(1) 市民センター管理運営事業費 41,445,685 円

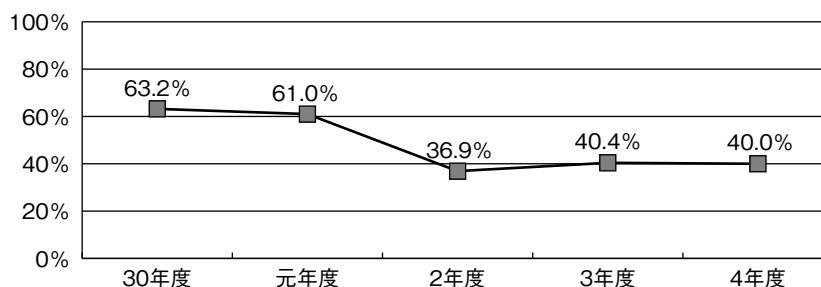
〔利用状況〕

区 分	令和3年度		令和4年度		比 較 (延利用人員)
	利用件数	延利用人員	利用件数	延利用人員	
第1ミーティングルーム	392件	2,866人	349件	2,791人	△ 2.6%
第2ミーティングルーム	369	2,638	412	3,304	25.2
第3ミーティングルーム	252	1,772	204	1,544	△12.9
第4ミーティングルーム	373	2,596	363	2,892	11.4
小 会 議 室	487	8,604	528	10,777	25.3
中 会 議 室	404	18,128	392	20,245	11.7
大 会 議 室	378	23,542	341	25,090	6.6
多 目 的 ホ ール	328	20,958	371	29,891	42.6
合 計	2,983	81,104	2,960	96,534	19.0
開 館 日 数	308日		308日		—

区 分	令和3年度	令和4年度
各種人材育成講座等の開催	5種、37講座、参加人員 1,269人	5種、35講座、参加人員 2,367人

〔指 標〕

指 標 名：市民センター会議室利用率
 指標説明：利用件数 / (部屋数 × 利用可能日数 × 3区分) ※3区分は、貸出単位で午前、午後、夜間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 若者活躍支援費 <若者活躍の支援と機会の充実>	5,402,036	0	0	0	5,402,036

1 若者政策提案事業費 5,402,036円 (市民協働推進課)

[総括]

豊橋の将来を担う若者が自分たちの住みたくなるまちの実現に向け、ワークショップの中での議論を通して、豊橋の未来を創るための政策を提案する「豊橋わかば議会」を開催し、令和4年度は2つの提案が事業化された。また、「豊橋わかば議会」先輩若者委員の政策立案までの経験や、自分達で提案した事業等へ参加した経験を伝える場として現役若者委員との交流会を開催した。若者による政策提案事業は、他都市において若者委員が主体的に行う実証実験を実施している例もあり、より良い政策提案につながるよう、トライアル（調査・実践）による提案のブラッシュアップをめざす。

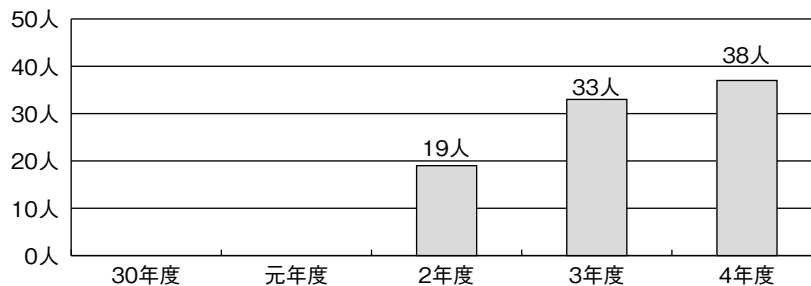
[実績及び成果]

(1) 若者政策提案事業費 5,402,036円

区 分	令和3年度	令和4年度
豊橋わかば議会参加者数	延 276人	延 303人

[指標]

指標名：わかば議会、提案事業等に関わった若者委員の数
 指標説明：現役若者委員の人数と提案事業等に参加した先輩若者委員の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 国際連携費 <国際連携の推進>	81,622,597	0	0	184,960	81,437,637

1 友好提携交流事業費 989,456円 (多文化共生・国際課)

[総括]

令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症まん延防止により活発な交流はできなかったものの、パートナーシティであるドイツ・ヴォルフスブルク市との間で、2か月に渡る職員の人事交流を実施し、友好関係を推進するとともに、相互理解を深めた。

[実績及び成果]

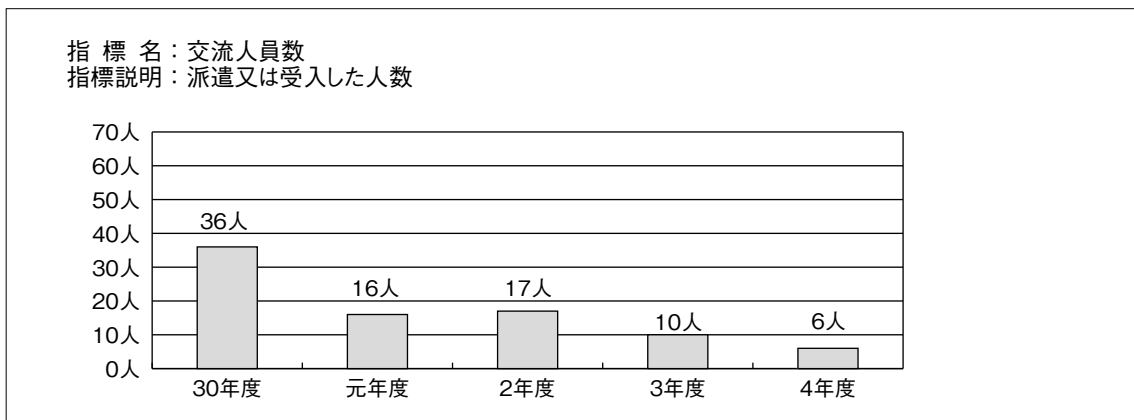
(1) 友好・姉妹都市交流事業費 35,001円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

(2) パートナーシティ交流事業費 954,455円

内 容	令和3年度	令和4年度
		【ドイツ・ヴォルフスブルク市】 パートナーシティ協定締結10周年記念式典 (オンライン開催)

[指標]



※交流人員数を「相互に派遣受入した人数」から「派遣又は受入した人数」へ見直したため、30年度～3年度数値を再計算

2 豊橋市国際交流協会補助金 42,588,901 円（多文化共生・国際課）

[総括]

豊橋市国際交流協会は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため海外派遣や受入ができなかったものの、日本語学習支援事業、国際理解教育・語学講座の実施、国際交流サロンの運営など、地域の国際交流活動の促進及び国際化意識の向上を図った。また、日本語ボランティア講座の開催や災害時通訳ボランティアの養成など、外国人が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進した。今後も市として協会が実施する各種事業を支援するとともに、様々な機会を通じて、協会への協力支援に取り組んでいく。

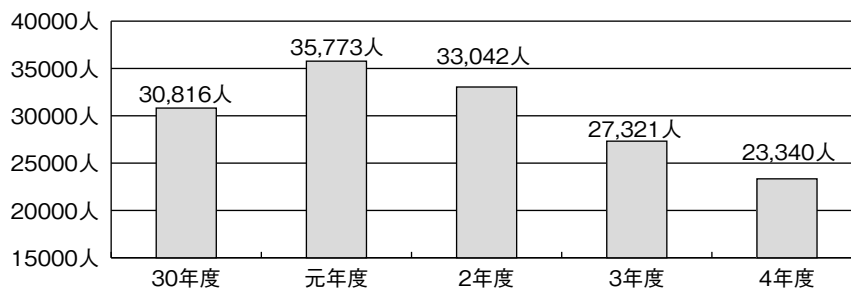
[実績及び成果]

(1) 豊橋市国際交流協会補助金 42,588,901 円

補助金	令和3年度	令和4年度
	44,650,231円	42,588,901円

[指標]

指標名：豊橋市国際交流協会事業参加者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 多文化共生費 <多文化共生の推進>	66,614,694	7,479,994	0	1,923,000	57,211,700

1 多文化共生推進事業費 42,657,635 円 (多文化共生・国際課)

[総括]

外国人市民も安心して行政サービスを受けられるよう、外国人市民相談を実施するとともに、31言語に対応できる多言語通訳タブレットを新たに導入した。また、外国人市民向け Web サイト「ほけとよ」や SNS を活用し、やさしい日本語を含めた多言語で外国人市民に役立つ情報を発信した。さらに、外国人の子どもたちへの日本語学習支援として、就学前の幼児を対象とした教室（プレスクール）や外国人中学生等アフタースクール事業などに加え、安定的な就労につなげることを目的とした成人向けの日本語教室を新たに実施したほか、精神面でのケアが必要なブラジル人を支援するメンタルヘルス相談事業を実施した。

[実績及び成果]

(1) 外国人相談事業費 33,462,067 円

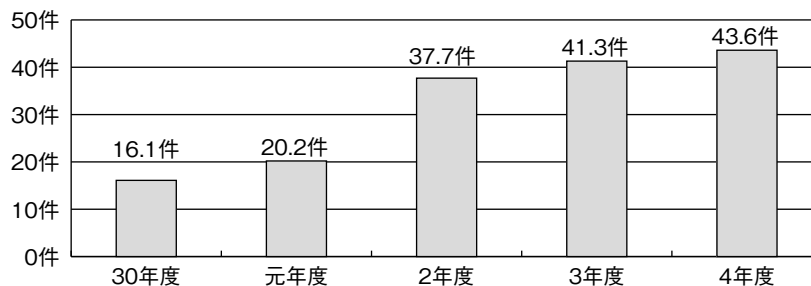
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
相 談 件 数	14,201件	14,741件	3.8%
外国人情報窓口対応件数	6,794	9,347	37.6
文 書 等 翻 訳 件 数	299	206	△31.1

(2) 多文化共生事業費 9,195,568 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	外国人情報窓口の運営 プレスクール事業 (3か所 (4教室)、参加者52名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 定住外国人等中学生アフタースクール事業 定住外国人等高校生日本語学習支援事業	プレスクール事業 (3か所 (4教室)、参加者56名) 外国人市民会議の開催 多文化共生推進連絡協議会の開催 「やさしい日本語マニュアル」の活用周知 外国人中学生等アフタースクール事業 就労のための日本語教室事業

[指 標]

指 標 名：外国人相談開設1日当たりの相談件数
指 標 説 明：相談件数／相談開設日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 男女共同参画推進費 <性別によらずに活躍できる環境の充実>	28,873,786	445,000	0	0	28,428,786

1 男女共同参画推進事業費 2,298,788円 (市民協働推進課)

[総括]

男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会の実現をめざし、性の多様性に関する規定を追加する条例改正や、「とよはしハーモニープラン 2023-2026」の策定に取り組んだ。男女共同参画週間・月間啓発イベントや啓発パンフレットの配布などを行い、市民の男女共同参画意識のさらなる向上を図った。また、女性活躍を推進するため、地元企業と協働し、女子生徒のための理系魅力発見セミナーを2事業所で開催したほか、女性応援プロジェクトでは、女性のあらゆる分野での活躍を目的としたセミナー及びグループワークをオンライン併用により実施した。このほか、男女共生フェスティバルについては、3年ぶりにコロナ禍前の規模で開催した。今後も様々な事業を展開し、さらなる男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 男女共同参画啓発事業費 1,790,040円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
委員会、審議会等の女性委員数		110人	110人	0.0%
一般啓発事業	標語応募点数	497点	396点	△20.3
	写真応募点数	26	—	皆減
女性再就職支援事業参加者数		35人	57人	62.9
女性応援プロジェクト参加者数		49	52	6.1

(2) 女性キャリアアップ応援補助金 104,000円

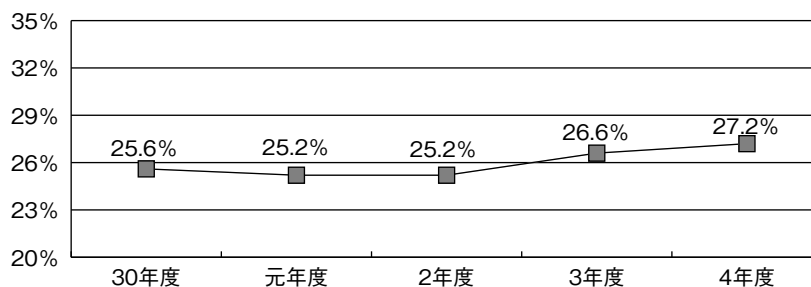
補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		10件	323,000円	4件

(3) 男女共生フェスティバル開催事業補助金 404,748円

区 分	令和3年度	令和4年度
男女共生フェスティバル参加者数	55人	838人
補 助 金	482,388円	404,748円

[指 標]

指 標 名：委員会、審議会等(法律・条例に基づくもの)女性委員の比率
 指標説明：女性委員数/全体の委員数



※対象とする委員会、審議会等を「法律・条例・要綱に基づくもの」から「法律・条例に基づくもの」に変更したため、30年度～3年度指標を再計算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 男女共同参画支援費 ＜性別による困難を抱える人への支援の充実＞	22,140,625	11,418,620	0	3,600	10,718,405

1 男女共同参画支援事業費 22,140,625円 (市民協働推進課)

[総括]

悩みを抱える人への支援として、女性相談員による電話や面接相談、弁護士による専門相談のほか、DV相談、男性相談、LGBT等性的少数者の面接相談を実施した。また、東三河5市において、パートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携に関する協定を締結した。困難や不安を抱える女性の支援のため、生理用品の配布を行うとともに、SNS相談や居場所の提供、訪問支援などのつながりサポート事業を実施した。このほか、男女共同参画センターにおいては、Webによるセミナー受講やテレワークスペースとして活用できるようWi-Fi環境を整備した。また、男女共同参画の推進に取り組む団体の交流・活動場所の提供に加え、図書の充実や男女共同参画に関する掲示などによる情報提供とともに、女性のスキルアップや固定的な性別役割分担意識の解消を図る講座等を実施した。今後も性別等による困難を抱える人への支援を実施するとともに、男女共同参画センターの利用促進に努めていく。

[実績及び成果]

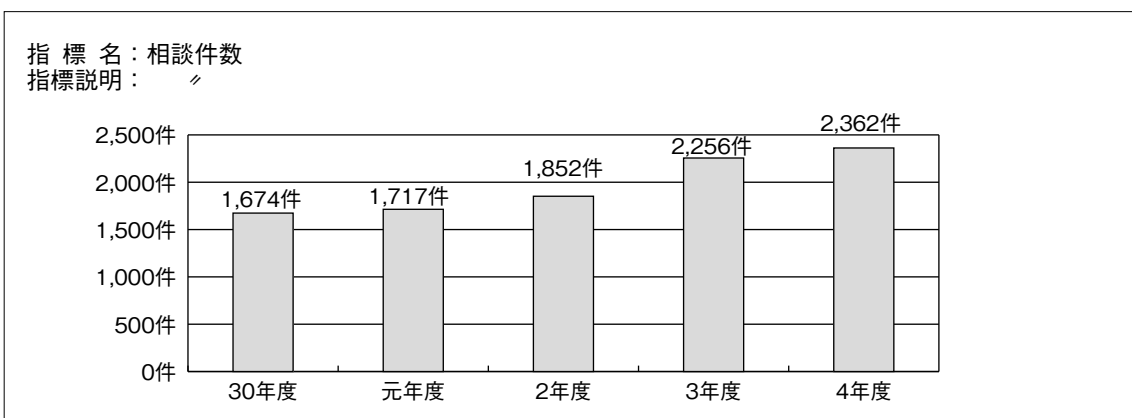
(1) 相談支援事業費 19,239,631円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
法律相談件数	19件	12件	△36.8%
女性悩みごと相談件数	1,870	1,972	5.5
D V 相談件数	359	373	3.9
男性相談件数	7	1	△85.7
L G B T 相談件数	1	4	4.0倍
パートナーシップ宣誓件数	6	3	△50.0%

(2) 男女共同参画センター管理運営事業費 2,900,994円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
男女共同参画センター利用者数	延 15,031人	延 25,626人	70.5%
ライフアップセミナー参加者数	7講座 103	7講座 99	△ 3.9

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 地域防災力強化費 <地域防災力の充実>	44,153,021	1,979,371	0	0	42,173,650

1 地域防災力強化推進事業費 9,308,896 円 (防災危機管理課)

[総括]

例年、防災関係機関と地域住民が連携し、南海トラフ地震を想定した総合防災訓練を実施してきたほか、小学校と地域が連携して災害への備えに取り組む「防災まちづくりモデル校区事業」や、地域防災の担い手を育成する「防災リーダー養成講座」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大により訓練や講座の中止等の影響を受けながら実施した。今後も感染状況を考慮しながら各種訓練や防災啓発活動を実施し、市民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化などを推進し、地域防災力の強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策啓発事業費 8,157,916 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
防災啓発講習会の開催回数	229回	326回	42.4%

(2) 自主防災組織育成事業費 601,480 円

内 容	令和3年度	令和4年度	令和4年度末累計
防災リーダー養成講座修了者数	0人	107人	1,133人

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

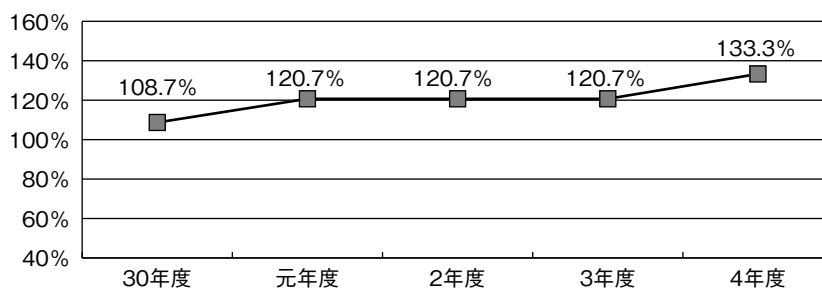
(3) 自主防災力強化事業補助金 549,500 円

内 容	令和3年度	令和4年度	令和4年度末累計
自主防災力強化事業補助金活用組織数	1組織	11組織	61組織

[指標]

指標名：防災リーダー養成講座修了者目標達成率

指標説明：防災リーダー養成講座修了者数／防災リーダー養成目標数(850人)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 災害対応力強化費 <災害対応力の強化>	288,446,049	14,650,000	36,200,000	18,032,288	219,563,761

1 防災対策事業費 138,783,992円 (防災危機管理課)

[総括]

豊橋ほっとメールの登録促進や豊橋防災ラジオの普及、同報系防災行政無線等の防災関係設備の適切な管理運営に努めるとともに、大規模災害発生時にトイレの不足が懸念される指定避難所にマンホールトイレを整備したほか、老朽化が激しい避難所等誘導標識を更新した。今後も大規模地震や風水害に備え、防災対策の強化充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 防災対策管理事務費 22,989,375円

内 容	令和3年度	令和4年度
	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか	防災会議の開催 豊橋ほっとメール多言語同時配信の運用 名古屋大学への受託研究員派遣 豊橋防災ラジオの販売・運用管理ほか

(2) 東三河地域防災協議会負担金 1,979,000円

区 分	令和3年度	令和4年度
セミナー・研修会の開催回数	4回	4回
調査研究テーマ数	4テーマ	4テーマ
調査研究成果	<ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域の防災力向上に向けたリアルタイム耐震診断システムの活用に関する研究 ○大規模災害とウイルス感染症の複合リスク下での避難計画に関する研究 ○障害者および要支援者の災害時における避難行動の支援体制に関する研究 ○災害時における「正常性バイアス」を打破する緊急避難アナウンスの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○東三河地域の防災力向上に向けたリアルタイム耐震診断システムの活用に関する研究 ○大規模災害とウイルス感染症の複合リスク下での避難計画に関する研究 ○障害者および要支援者の災害時における避難行動の支援体制に関する研究 ○災害時における「正常性バイアス」を打破する緊急避難アナウンスの開発

(3) 防災備蓄品等整備事業費 53,107,393円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
非常用食料備蓄数	311,224食	320,567食	3.0%
避難支援場所整備数	3か所	0か所	皆減
マンホールトイレ整備数	3	3	0.0

※備蓄食料目標数：308,500食 想定避難者数50,000人×1日2食×3日分=300,000食 帰宅困難者等8,500食

(4) 防災無線維持管理事業費 53,830,922 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	同報系防災行政無線の維持管理 デジタル防災行政無線（MCA無線） の維持管理 同報系防災行政無線屋外拡声子局等修繕 デジタル防災行政無線（MCA無線） の受信困難地域への配備	

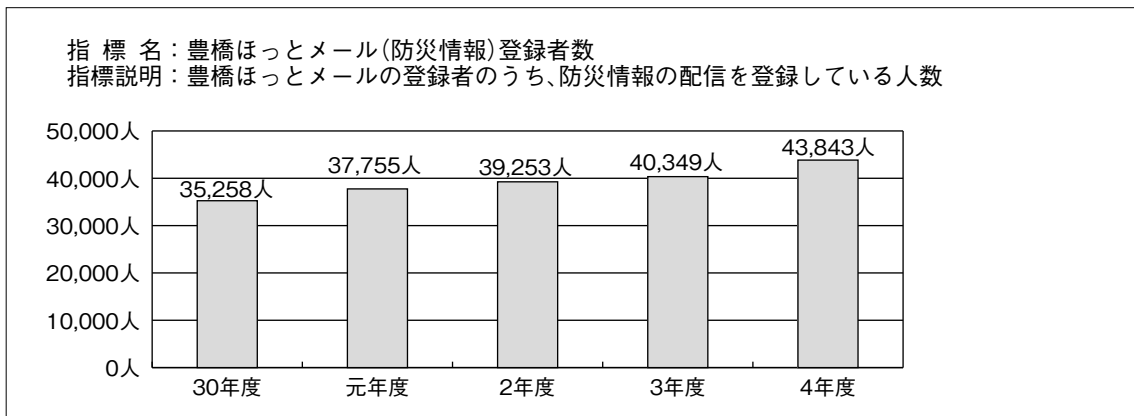
(5) 飲料水用施設維持管理事業費 4,811,279 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
飲料水兼用耐震性貯水槽点検数	25か所	25か所	0.0%

(6) 水防対策事業費 2,066,023 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
水防訓練実施回数	1回	1回	0.0%

[指 標]



2 危機管理対策事業費 33,215,468 円（防災危機管理課）

[総 括]

各種訓練において、全天候型ドローンを活用した被災現場や救助現場の映像伝送訓練を行うなど、災害時における被害状況の収集能力向上及び初動対応力強化を図った。また、災害対策本部が有効に機能するよう災害対策本部設置運営訓練や機器操作研修を実施した。さらに、令和4年度は津波災害警戒区域ハザードマップを作成・配布した。今後も、機器操作研修や各種訓練を実施し、災害対策本部の機能強化に努めていく。

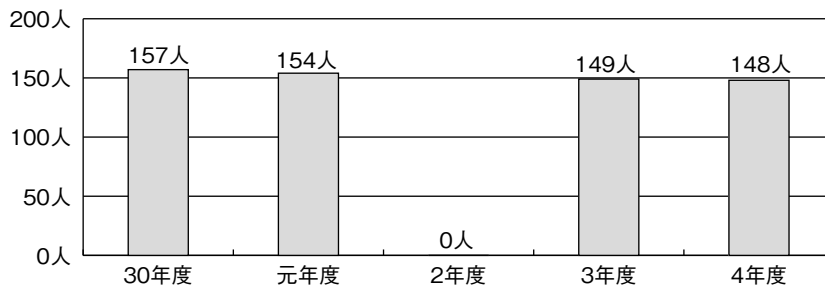
[実績及び成果]

(1) 危機管理対策事業費 33,215,468 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
機器操作研修の受講者数	149人	148人	△ 1.0%
ドローン飛行隊出動回数	12回	8回	△33.0%

[指 標]

指 標 名：災害対策本部機器操作研修の受講者数
指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 耐震化促進費 <建物の耐震化の促進>	96,744,328	46,781,000	0	3,200	49,960,128

1 建築物耐震促進事業費 64,054,893 円 (建築物安全推進課)

[総括]

発生が危惧される南海トラフ地震等に備え耐震化を促進するため、民間木造住宅の無料耐震診断や各種補助を行うとともに、令和4年度は要安全確認計画記載建築物の耐震改修設計に対する助成を行った。さらに、災害発生時の生命の安全確保及び道路の閉塞防止のため、ブロック塀等の撤去に対する助成を行った。また、令和3年3月に策定した新たな「豊橋市建築物耐震改修促進計画」に基づき、積極的な啓発と補助制度の活用により耐震診断及び耐震改修等のさらなる普及を図り、災害に強いまちづくりをめざす。

[実績及び成果]

(1) 木造住宅耐震診断事業費 8,260,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成14年度からの累計
耐震診断実施棟数	138棟	175棟	11,933棟

(2) 木造住宅耐震改修費補助金 31,788,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成15年度からの累計
耐震改修実施棟数	33棟	33棟	1,357棟

(3) 木造住宅段階的耐震改修費補助金 1,800,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成25年度からの累計
耐震改修実施棟数	1棟	3棟	21棟

(4) 非木造住宅耐震診断費補助金 0 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成20年度からの累計
耐震診断実施棟数	1棟(23戸)	0棟	11棟(102戸)

(5) 非木造住宅耐震改修費補助金 0 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成24年度からの累計
耐震改修等実施棟数	0棟	0棟	0棟

(6) 木造住宅解体工事費補助金 11,483,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成22年度からの累計
解体工事補助棟数	46棟	42棟	548棟

(7) 木造住宅耐震シェルター整備費補助金 0 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成25年度からの累計
シェルター設置棟数	0棟	0棟	16棟

(8) 特定既存耐震不適格建築物耐震診断費補助金 3,333,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度	平成29年度からの累計
耐震診断実施棟数	—	1棟	2棟

(9) 要安全確認計画記載建築物耐震改修費補助金 5,225,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度	令和4年度からの累計
耐震改修等実施棟数	—	1棟(設計)	1棟(設計)

(10) ブロック塀等撤去費補助金 1,327,000 円

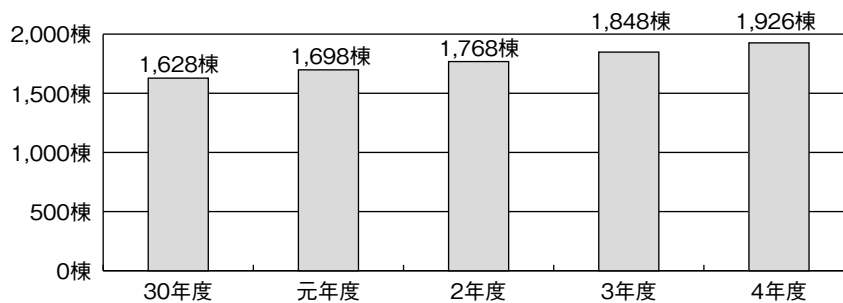
区 分	令和3年度	令和4年度	平成30年度からの累計
ブロック塀等撤去件数	26件	25件	140件

(11) 建築物耐震促進啓発事業費 838,893 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
ダイレクトメールの発送数	5,479通	5,893通	7.6%

[指 標]

指 標 名：住宅の耐震改修・解体工事棟数(累計)
指 標 説 明：住宅の耐震改修棟数 + 解体工事棟数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 防犯・治安対策費 ＜防犯・治安対策の推進＞	69,700,337	0	0	0	69,700,337

1 防犯・治安対策推進事業費 45,805,348 円 (安全生活課)

[総括]

犯罪のない安全で安心なまち「とよはし」をめざして策定された「第5次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画」に基づき、防犯パトロール、自主防犯活動への支援、各世代に応じた防犯教育講座を開催するとともに、警察・市民・事業者と協力して防犯啓発活動を行った。また、街頭犯罪等の発生抑制のため、防犯カメラの設置及び防犯灯の設置・維持にかかる費用に対する補助を行った。さらに、特殊詐欺被害の未然防止のため、新たに特殊詐欺対策装置購入に対する補助を行った。結果として、令和4年中の市内の刑法犯罪発生件数は、行動計画の目標値を下回ることができた。路上喫煙対策として、「豊橋市快適なまちづくりを推進する条例」に基づき、指導員による巡回・指導や啓発活動を実施した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋市防犯協会連合会補助金 2,600,000 円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		2,600,000円		2,600,000円

(2) 地域防犯事業費 22,210,152 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
防 犯 教 育 講 座	開催数101回	受講者数14,812人	開催数116回	受講者数15,681人
自 主 防 犯 活 動	52小学校区	活動者数13,181人	52小学校区	活動者数12,813人
安全なまちづくり市民運動	実施回数 4回		実施回数 4回	

(3) 防犯カメラ設置費補助金 1,722,600 円

設 置 補 助 台 数	令和3年度		令和4年度	
		25台	2,961,200円	18台

(4) 安全安心防犯灯補助金 11,325,801 円

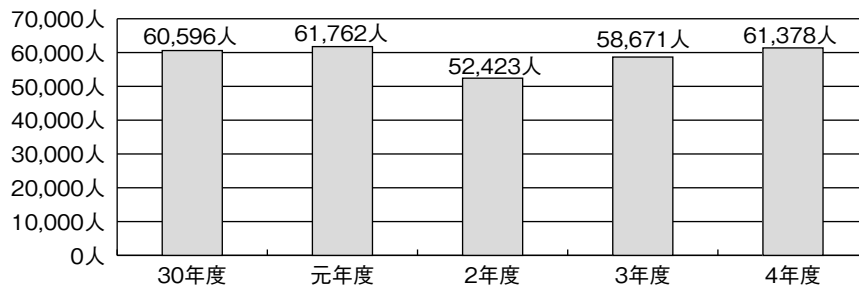
区 分	令和3年度		令和4年度	
設 置 補 助 灯 数	280灯	4,723,800円	264灯	4,697,900円
維 持 補 助 灯 数	4,599	5,145,469	4,725	6,627,901

(5) 路上喫煙防止対策事業費 7,946,795 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査		快適なまちづくり指導員による巡回禁止区域等啓発事業・路上喫煙実態調査
路上喫煙禁止区域内における歩行喫煙者率	0.48%		0.51%	

[指 標]

指 標 名：地域防犯活動に参加した市民の人数
指標説明：地域において防犯活動に関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 交通安全対策費 <交通安全対策の推進>	113,764,657	2,281,300	0	0	111,483,357

1 交通安全対策推進事業費 91,422,542 円 (安全生活課)

[総括]

令和7年度までの交通事故死者数等の目標値を定めた「第11次豊橋市交通安全計画」に基づき、各種交通安全対策を実施した。交通安全思想の普及徹底のため、四季の交通安全運動を実施し、子どもと高齢者の安全確保のため、交通安全教室の開催や運転免許証の自主返納を促す取組みを実施した。さらに、予防型交通安全対策として、豊橋技術科学大学と共同で、交通事故の危険箇所を表示・登録できるアプリを開発し、運用を開始した。結果として、令和4年中の市内の交通事故死者数及び人身事故件数は、計画の目標値を下回ることができた。

[実績及び成果]

(1) 交通安全啓発事業費 70,865,662 円

区 分	令和3年度	令和4年度
交通安全教室	263回 参加者数 22,296人	284回 参加者数 21,729人
交通安全市民運動	実施回数 4回	実施回数 4回

(2) 通学路標示板整備事業費 2,009,600 円

通学路標示板設置	令和3年度	令和4年度
	23か所	6か所

(3) 交通安全実施団体補助金 3,682,954 円

区 分	令和3年度	令和4年度
交通安全協会補助金	2,000,000円	2,000,000円
交通安全都市推進協議会補助金	1,500,000	1,482,954
幼児交通安全クラブ連絡協議会補助金	200,000	200,000

(4) 自転車ヘルメット購入補助金 5,146,640 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ヘルメット購入補助件数	2,866件 5,582,100円	2,615件 5,146,640円

(5) 予防型交通安全対策事業費 2,000,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
市内で発生した人身事故件数	1,478件	1,224件

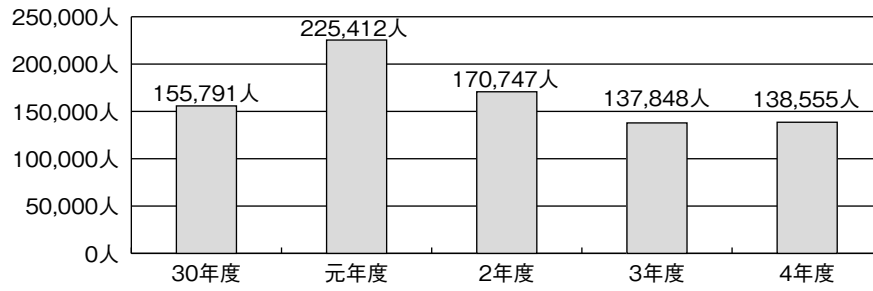
(6) 高齢者交通安全対策推進事業費 7,717,686 円

区 分	令和3年度	令和4年度
運転免許自主返納助成件数	1,008件	977件
安全運転支援装置設置者数	40人	12人

[指 標]

指 標 名：交通安全活動に関わった市民の人数

指標説明：交通安全教育・啓発活動などに参加又は関わった市民の人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13日 消費者保護費 <消費者保護の推進>	44,170,621	384,000	0	3,663,658	40,122,963

1 消費者行政事業費 12,834,985 円 (安全生活課)

[総括]

3年ぶりに消費者展を開催し、消費者団体と協働で消費生活に関する啓発を行った。また、消費生活相談事業及び消費者啓発事業を東三河広域連合の構成8市町村で共同実施し、相談を受け付けるとともに、消費生活出前講座などを開催した。東三河の各消費生活相談窓口をつなぐWeb会議システムを活用した消費生活相談員のミーティングを実施し、相談情報の共有など連携強化を図った。今後も高齢者に加え成年年齢引下げに伴う若年層の被害の増加が懸念されるため、啓発活動の強化や消費生活相談員の育成による体制の充実により、消費者被害の未然防止や救済に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 消費者行政推進事業費 400,941 円

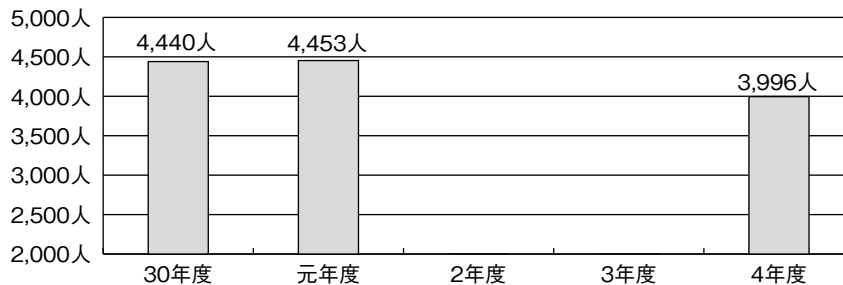
区 分	令和3年度	令和4年度
明るい暮らしの消費者展	—	第50回 10.15～16 参加者数3,996人

(2) 東三河広域連合消費生活事業負担金 12,434,044 円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
	13,975,128円	12,434,044円

[指 標]

指 標 名：明るい暮らしの消費者展参加人員
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 款 民 生 費	57,508,096,155	29,843,205,503	163,100,000	1,575,983,306	25,925,807,346
1 項 社 会 福 祉 費	23,889,031,276	12,918,462,911	0	71,127,551	10,899,440,814
2 目 地 域 福 祉 活 動 推 進 費 <地域福祉活動の推進>	256,271,669	23,609,366	0	9,267,707	223,394,596

1 地域福祉推進事業費 34,933,650 円 (福祉政策課)

[総括]

福祉相談サポートセンターにおいて、複雑化・複合化した課題を抱える世帯を支援する相談機関が円滑に連携するための調整や、支援につながっていない人に対して伴走型支援を行うなど、課題の解決に向けた支援を行った。また、災害時に家族等の援助を受けることが困難であり、避難支援を必要とする人（避難行動要支援者）に対する日頃の見守りと災害発生時の支援に活用するための台帳の作成を行った。今後も地域福祉サービスの充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地域共生社会推進事業費 21,422,820 円

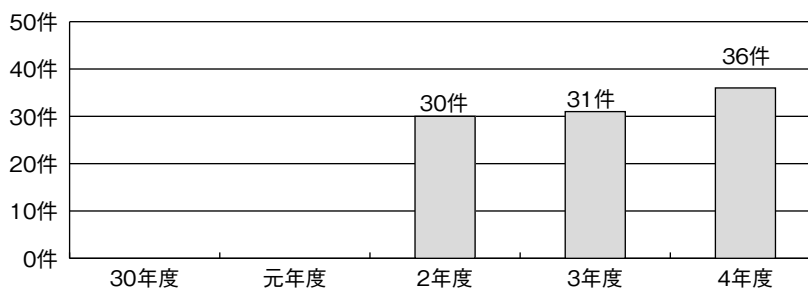
複合的な課題への 対応ケース数	令和3年度	令和4年度	比較
		31件	36件

(2) 避難行動要支援者支援事業費 164,230 円

避難行動要支援者登録 台帳への新規登録者数	令和3年度	令和4年度	比較
		182件	138件

[指標]

指標名：複合的な課題への対応ケース数
指標説明：〃



2 福祉センター管理運営事業費 119,137,959 円（福祉政策課）

[総括]

総合福祉センターを始め4か所の福祉センターについて指定管理者による管理を行ったほか、つつじが丘地域福祉センターの管理運営に対し適切な助成を行った。今後も社会福祉活動の拠点として地域福祉の振興を図るため、利便性の向上や利用の促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域福祉センター管理運営事業費 63,753,004 円

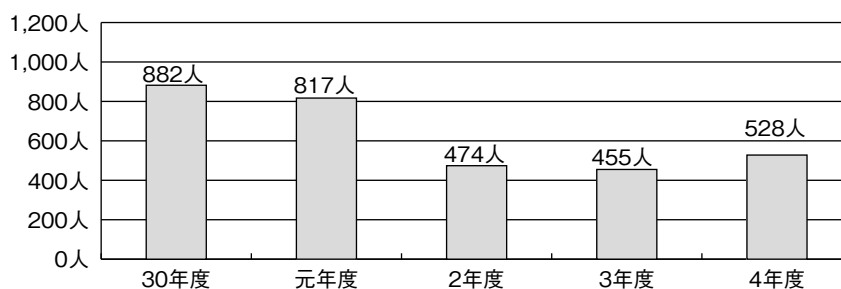
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
八町地域福祉センター	延 18,506人	延 17,766人	△ 4.0%
大清水地域福祉センター	延 16,580	延 20,591	24.2
牟呂地域福祉センター	延 23,953	延 25,913	8.2
つつじが丘地域福祉センター	延 32,841	延 39,273	19.6
利 用 者 数 合 計	延 91,880	延 103,543	12.7

(2) 総合福祉センター管理運営事業費 55,384,955 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
利 用 者 数	延 48,186人	延 58,958人	22.4%

[指 標]

指 標 名：福祉センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 ボラントピア事業費 15,949,871 円（福祉政策課）

[総括]

市民のボランティア活動への積極的な参加を促進するため、各種養成講座等を実施している豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンターの運営に対し支援を行った。今後もボランティアによる「福祉のまちづくり」を推進する社会福祉協議会に対し支援を継続していく。

[実績及び成果]

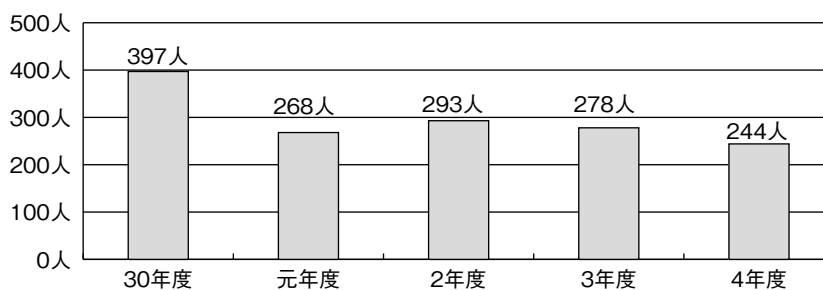
(1) ボラントピア事業推進費補助金 15,949,871 円

ボランティア養成講座	令和3年度	令和4年度	比較
参加者数	延 278人	延 244人	△12.2%

[指標]

指標名：ボランティア養成講座参加者数(延人数)

指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 暮らしを支える福祉推進費 <暮らしを支える福祉サービスの充実>	138,436,656	0	0	3,843,000	134,593,656

1 成年後見制度推進事業費 23,577,491 円 (福祉政策課)

[総括]

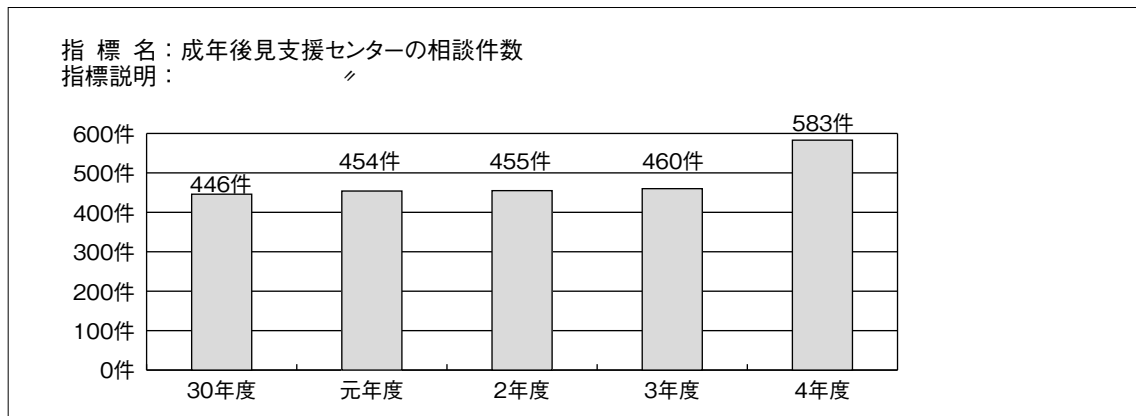
権利擁護の総合的な推進拠点となる成年後見支援センターにおいて、成年後見制度の普及啓発と相談等を実施した。また、受任調整会議を新設し、成年後見制度の利用を必要とする方の生活環境や抱えている課題を考慮したうえで、求められる後見活動や後见人等候補者を検討した。今後も制度の利用を希望する人が適切に制度を利用できるよう体制整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 成年後見制度推進事業費 23,577,491 円

相 談 件 数	令和3年度	令和4年度	比 較
		460件	583件

[指標]



2 更生保護活動支援事業費 8,174,389 円 (福祉政策課)

[総括]

犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪・非行の予防啓発活動等を行う更生保護事業の拠点施設として、保護司会等の更生保護団体が利用する更生保護会館の管理運営を行った。また、更生保護活動及び犯罪予防活動を行う更生保護団体に対し、適切な補助金交付を行った。今後も更生保護団体と関係機関・団体及び地域住民との連携を強化し、更生保護活動の一層の充実強化を図る。

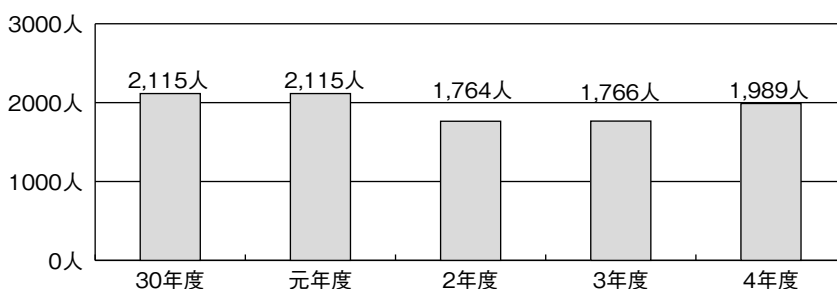
[実績及び成果]

(1) 更生保護活動支援事業費 8,174,389 円

更生保護会館利用者数	令和3年度	令和4年度	比 較
		延 1,766人	延 1,989人

[指 標]

指 標 名：更生保護会館年間延利用者数
 指標説明：〃



3 社会福祉施設等指導監査事業費 23,693,262 円（福祉政策課）

[総 括]

質の高い社会福祉サービスを確保するため、社会福祉施設、障害福祉サービス事業者等の運営や福祉サービスの提供状況について、指導監査や実地指導を行った。また、東三河広域連合が実施する社会福祉法人に関する指導監査及び介護保険サービス事業者等に対する実地指導の事務に要した経費を負担した。今後も利用者が安心して福祉サービスを受けられるよう、適正な指導を行っていく。

[実績及び成果]

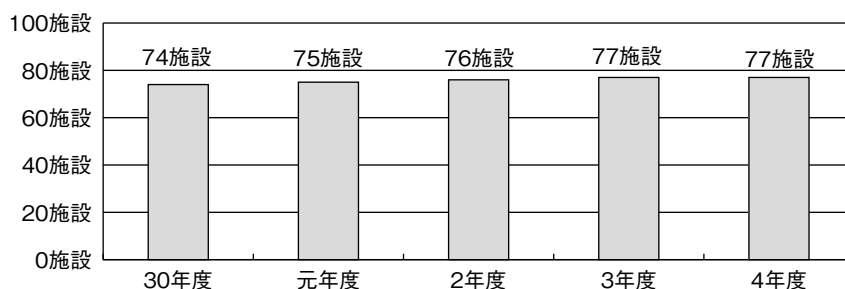
(1) 社会福祉施設等指導監査事務費 148,806 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
社会福祉施設指導監査実施施設数	77施設	77施設
障害福祉サービス事業者等実地指導件数	163件	154件

(2) 東三河広域連合監査指導事業負担金 23,544,456 円

[指 標]

指 標 名：社会福祉施設指導監査実施施設数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 障害者総合支援費 <障害者(児)の自立と社会参加の促進>	11,304,737,576	7,883,130,903	0	1,978,538	3,419,628,135

1 障害福祉サービス等給付事業費 8,069,599,873 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者総合支援法に基づく介護給付、訓練等給付などの障害福祉サービス等の給付事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。在宅で生活を希望する医療的ケアが必要な重度障害者が増加したことに伴い、重度訪問介護の利用者数が大きく増加した。また、就労系サービス及び共同生活援助の事業所数増加に伴い、利用者数が増加した。今後も、障害者の自立、社会参加に向けた支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 介護給付事業費 4,197,225,780 円

区 分	令和3年度	令和4年度
居 宅 介 護	延 157,871時間	延 156,074時間
重 度 訪 問 介 護	延 29,868	延 38,774
同 行 援 護	延 11,477	延 10,919
行 動 援 護	延 2,222	延 1,499
生 活 介 護	延 210,082日	延 213,096日
療 養 介 護	延 10,480	延 10,789
短 期 入 所	延 7,236	延 7,231
施 設 入 所 支 援	23施設 延 85,251	23施設 延 84,012

(2) 訓練等給付事業費 3,152,471,466 円

区 分	令和3年度	令和4年度
就 労 移 行 支 援	20事業所 延 1,310人	27事業所 延 1,218人
就 労 継 続 支 援 (A 型)	17 延 2,013	19 延 2,446
就 労 継 続 支 援 (B 型)	82 延10,372	89 延11,386
就 労 定 着 支 援	4 延 341	5 延 455
共 同 生 活 援 助	188ホーム 延 5,178	210ホーム 延 6,628
自 立 訓 練	4事業所 延 130	5事業所 延 116
自 立 生 活 援 助	1 延 6	1 延 18

(3) 自立支援医療給付事業費 278,860,224 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
腎 臓 病 人 工 透 析 等	延 3,487件	延 2,846件	△18.4%
そ の 他	延 596	延 430	△27.9

(4) 補装具給付事業費 61,875,126 円

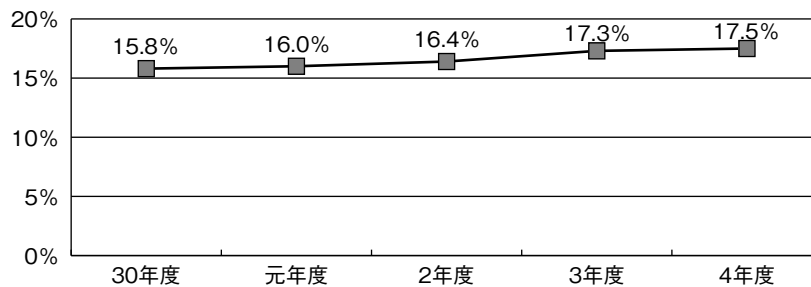
区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
	交 付	修 理	交 付	修 理
義 肢	23件	19件	12件	28件
装 具	110	21	92	34
車 椅 子	46	142	59	111
補 聴 器	85	49	99	45
視覚障害者安全つえ	19	0	23	0
歩 行 補 助 つ え	9	0	5	0
そ の 他	40	13	68	23
計	332	244	358	241

(5) 東三河広域連合障害福祉事業負担金 3,893,825 円

障害支援区分審査件数 (8市町村)	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	2,177件	1,773件	△18.6%

[指 標]

指 標 名：障害福祉サービス利用率
 指標説明：介護給付事業・訓練等給付事業決定者数／身体・知的・精神手帳所持者数



2 障害児支援等給付事業費 2,088,968,236 円 (障害福祉課)

[総 括]

児童福祉法に基づく障害児通所支援給付事業などを実施することで、障害児支援の充実を図った。児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所数の増加とともに、利用者数も大きく増加した。また、障害児相談支援給付事業を実施し、障害児の相談支援体制の充実を図った。今後も障害児の支援に努めていく。

[実績及び成果]

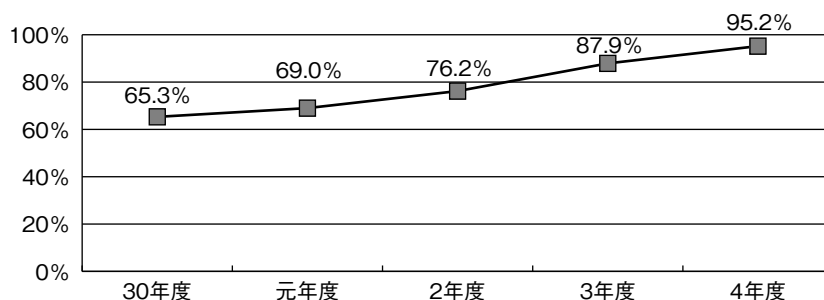
(1) 障害児通所支援給付事業費 2,004,515,467 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
児 童 発 達 支 援	延 34,183日	延 39,432日
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	延123,334	延146,255
保 育 所 等 訪 問 支 援	延 307	延 491
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援	延 9	延 6

[指 標]

指 標 名：障害児通所支援利用率

指標説明：障害児通所支援給付事業決定者数／18歳未満の身体・知的・精神手帳所持者数



3 障害者地域生活支援事業費 386,395,227 円 (障害福祉課)

[総 括]

障害者が自立した日常生活・社会生活を送るため、障害者総合支援法に基づく相談支援、日常生活用具給付などの地域生活支援事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。今後も障害者が地域において自立した生活を送れるよう必要な支援を進める。

[実績及び成果]

(1) 相談支援事業費 100,628,606 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
地域自立支援協議会費	開催数 90回	開催数 93回
相談支援事業委託	8施設 延 25,682件	7施設 延 20,200件
安心生活支援事業費	2 延 2	1 延 1

(2) 意思疎通支援事業費 11,456,557 円

(ア) 手話通訳者活動費 10,555,519 円

活 動 回 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	883回	766回	△13.3%

(イ) 要約筆記者活動費 588,438 円

活 動 回 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	60回	102回	70.0%

(ウ) 点字プリンター維持管理費 1,050 円

利 用 件 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	11件	6件	△45.5%

(エ) コミュニケーション支援機器設置費 311,550 円

利 用 件 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	20件	17件	△15.0%

(3) 日常生活用具給付事業費 107,503,195 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
介護・訓練支援用具	37件	30件	△18.9%
自立生活支援用具	50	44	△12.0
在宅療養等支援用具	58	44	△24.1
情報・意思疎通支援用具	36	46	27.8
排泄管理支援用具	9,845	10,009	1.7
居宅生活動作補助用具	10	7	△30.0
計	10,036	10,180	1.4

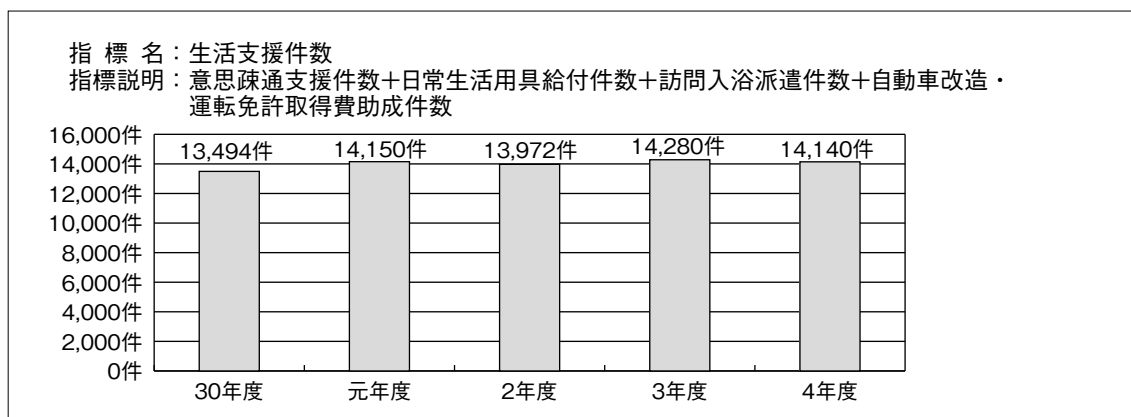
(4) 移動支援事業費 56,775,908 円

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
	41事業所 延 18,355時間	40事業所 延 19,027時間

(5) 障害者理解啓発事業費 232,430 円

パンフレット等 配布枚数	令和 3 年度	令和 4 年度
	2,300枚	2,100枚

[指 標]



4 医療的ケア児等支援事業費 1,108,100 円（障害福祉課）

[総 括]

医療的ケアを必要とする障害児が通う保育園、幼稚園、認定こども園又は児童発達支援事業所に、訪問看護ステーション等の看護師を派遣することにより、医療的ケアを実施し、保護者の負担の軽減を図った。

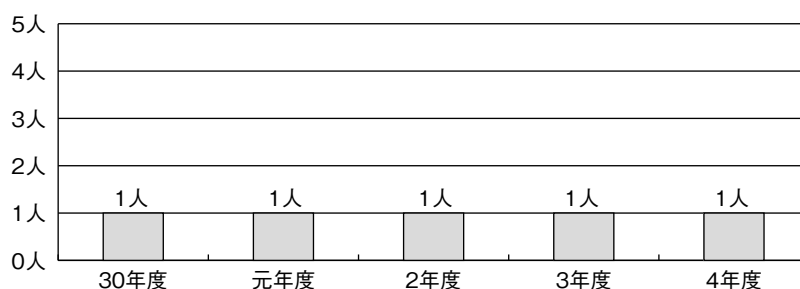
[実績及び成果]

(1) 障害児看護支援事業費 1,108,100 円

利 用 者	令和 3 年度	令和 4 年度
	幼稚園 1 人	保育園 1 人

[指 標]

指 標 名：障害児看護支援事業利用者数
 指標説明：〃



5 障害者福祉会館管理運営事業費 38,727,069 円（障害福祉課）

[総 括]

指定管理者により、各種教室や避難所体験をはじめとする特色ある事業を展開するなど、施設の適正な管理運営に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、中止になったイベントの代替策を講じ、利用者のアンケート結果を踏まえたイベントの実施など、前向きに対応を行った。今後も利用者のニーズに応じたイベントや講座の実施に努めるとともに、利用者が安全・快適に過ごせるよう施設の維持・保全を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 障害者福祉会館管理運営事業費 38,727,069 円

[施設利用者]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	293日	293日	0.0%
利 用 者 数	延 26,688人	延 33,557人	25.7

[活動内容]

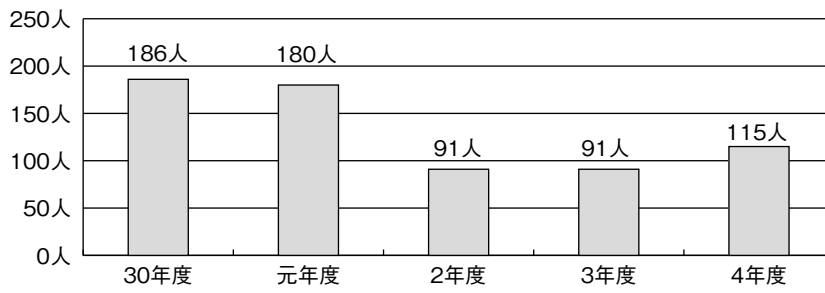
区 分	令和3年度	令和4年度
障害児余暇支援事業	参加人員 延 6人	参加人員 延 49人
スポーツ・文化教室	ポッチャ等13教室参加人員 延 539	ポッチャ等13教室参加人員 延 716
避難所体験事業	参加人員 延 37	参加人員 延 419

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	・防火扉改修工事 ・電源切替開閉器取替修繕	・ガス漏れ火災警報設備修繕 ・軒天改修修繕

[指 標]

指 標 名：障害者福祉会館 1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 障害者医療費 <円滑な医療費の助成>	1,128,485,223	414,205,000	0	0	714,280,223

1 障害者医療費助成事業費 718,851,990 円 (障害福祉課)

[総括]

障害者の医療費について、保険診療費の自己負担額を助成することにより、障害者やその家族の経済的な負担を軽減し生活の安定を図った。

[実績及び成果]

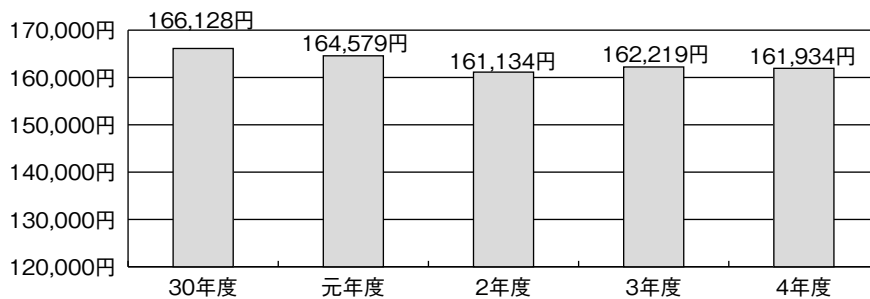
(1) 障害者医療費助成事業費 718,851,990 円

(ア) 医療助成費 714,776,065 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
受 給 者 数	延 52,489人	延 52,968人	0.9%
受 診 件 数	延 112,291件	延 117,167件	4.3
受 診 率	213.9%	221.2%	7.3ポイント

[指標]

指標名：障害者医療費1人当たりの助成費
 指標説明：障害者医療助成費／受給者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 老人福祉費	5,980,940,202	569,965,643	0	834,435,497	4,576,539,062
2目 高齢者活動促進費 <高齢者の活躍の機会 拡大と介護予防の推進>	126,987,647	11,193,643	0	326,542	115,467,462

1 老人福祉センター等施設管理運営事業費 75,615,546 円 (長寿介護課)

[総括]

指定管理者により、老人福祉センターを始め10か所の老人福祉施設の適切な管理運営を行った。今後も引き続き適切な管理運営に努めるとともに、各施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕を行っていく。

[実績及び成果]

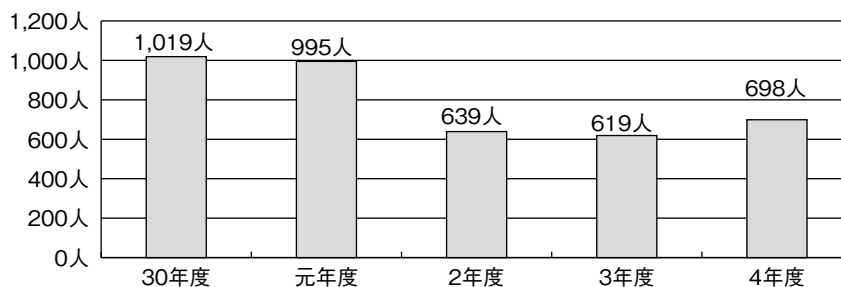
(1) 老人福祉センター等施設管理運営事業費 75,615,546 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
	延利用者数	延利用者数	
仁連木老人福祉センター	31,615人	37,590人	18.9%
下地	30,129	31,012	2.9
高師	33,036	38,587	16.8
石巻	23,660	28,276	19.5
大岩	27,950	30,629	9.6
小 計	146,390	166,094	13.5
牟呂高齢者活動センター	13,365	13,906	4.0
石巻	3,911	3,960	1.3
小 計	17,276	17,866	3.4
西川老人憩の家	5,187	6,758	30.3
東細谷	8,191	8,651	5.6
城下	4,928	5,228	6.1
小 計	18,306	20,637	12.7
合 計	181,972	204,597	12.4

[指 標]

指 標 名：老人福祉センター等1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 生涯現役促進事業費

5,649,478 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の社会参加を促すため、生涯現役で活躍するためのセミナーを開催するとともに、就労・地域活動について相談できる窓口を運営した。

[実績及び成果]

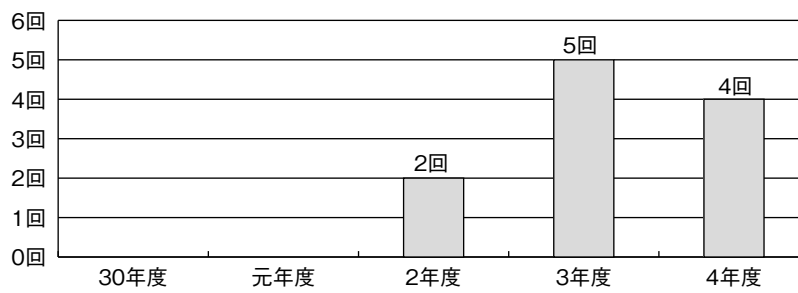
(1) 生涯現役促進事業費

5,649,478 円

区 分	令和3年度	令和4年度
セ ミ ナ ー	実施回数 5回	実施回数 4回

[指 標]

指 標 名：セミナー実施回数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 高齢者生活支援費 <高齢者の生活支援サービスの充実>	1,111,663,438	338,128,000	0	20,002,745	753,532,693

1 養護老人ホーム管理運営事業費 130,719,002 円 (総合老人ホーム)

[総括]

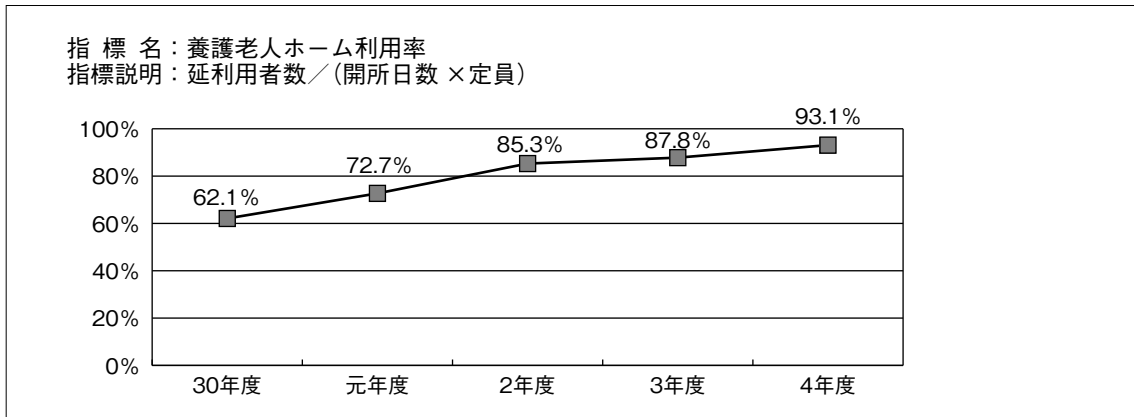
環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な65歳以上の方が、安心して健康的な生活を送れるように養護した。令和4年度は空調機器を修繕するなど、入所者の住環境の向上を図った。今後もサーバーネットワーク機能を担う市内唯一の施設として、高齢者の養護の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 76,333,896 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
年 間 延 利 用 者 数	19,236人	20,389人	6.0%
1日当たりの利用者数	52.7	55.9	6.1

[指 標]



2 高齢者福祉サービス事業費 63,612,943 円 (長寿介護課)

[総括]

高齢者が地域で安心して暮らせるようにするため、電車、タクシー等の利用料金を助成する高齢者移動支援事業などの各種サービスを実施した。今後も、高齢者のニーズや社会情勢を考慮しながら高齢者の生活支援を継続していく。

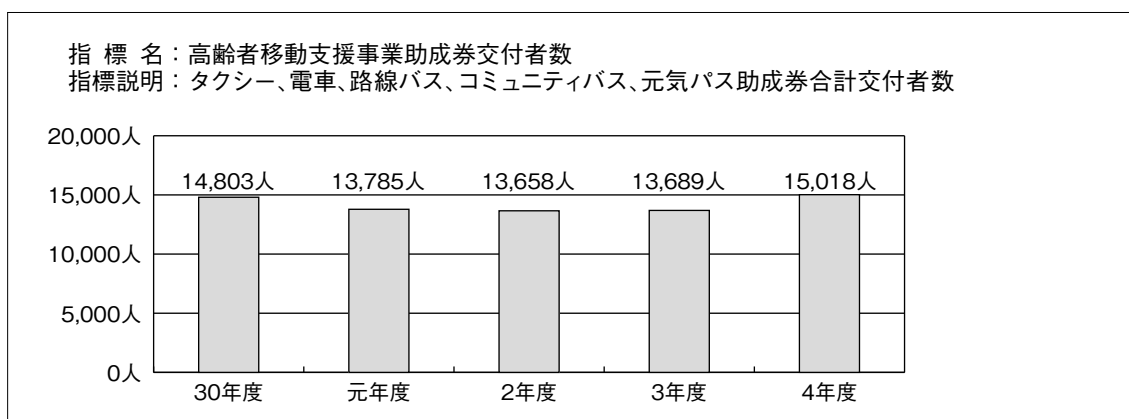
[実績及び成果]

(1) 高齢者福祉サービス事業費 63,612,943 円

(ア) 高齢者移動支援事業費 51,206,291 円

区 分	令和3年度	令和4年度
交 付 者 数	13,689人	15,018人

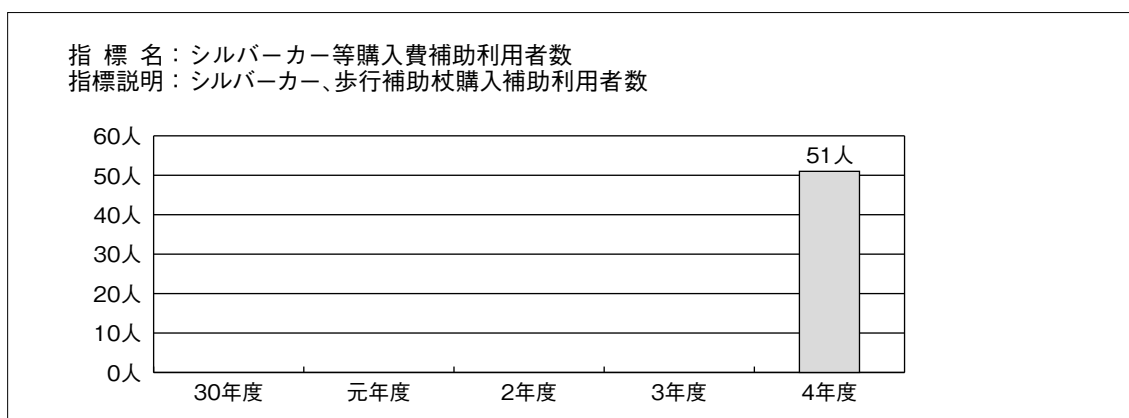
[指 標]



(イ) シルバーカー等購入費補助金 451,260 円

区 分	令和3年度	令和4年度
補助金利用者数	—	51人

[指 標]



3 後期高齢者福祉医療費助成事業費 734,314,837 円（国保年金課）

[総 括]

後期高齢者医療制度に加入している障害者など後期高齢者福祉医療費助成対象者の療養に係る医療費の自己負担分を助成した。今後も福祉医療費の適正な助成に努めていく。

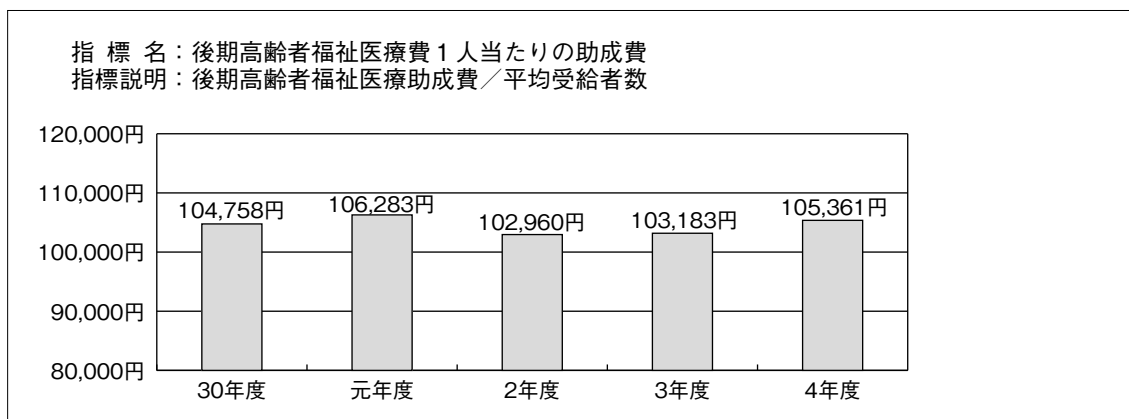
[実績及び成果]

(1) 後期高齢者福祉医療費助成事業費 734,314,837 円

(ア) 医療助成費 725,550,713 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較	
受 給 者 数	延 84,404人	延 82,636人	△ 2.1%	
支 給 件 数	入 院	延 13,231件	延 12,834件	△ 3.0
	外 来	延 201,410	延 200,961	△ 0.2
	計	延 214,641	延 213,795	△ 0.4
受 診 率	254.3%	258.7%	4.4ポイント	

[指 標]



4 訪問お薬相談事業費 171,000 円（長寿介護課）

[総 括]

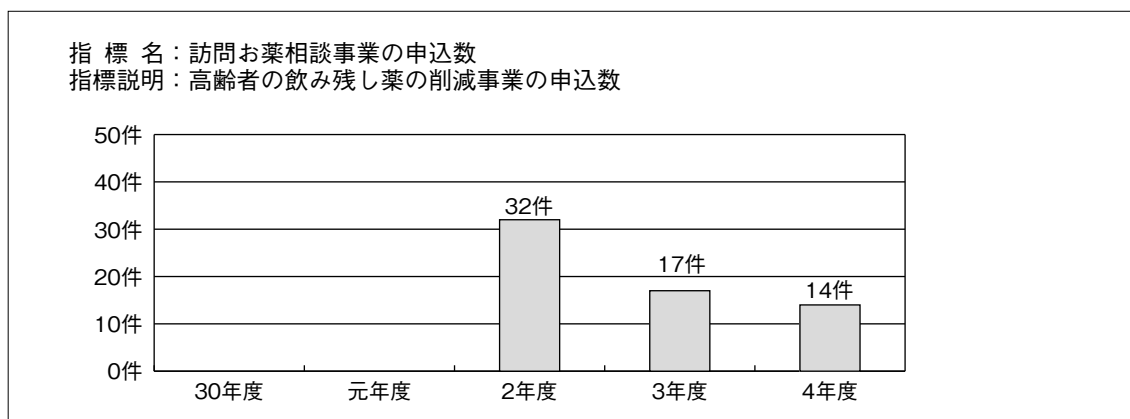
服薬管理ができていない自宅で生活する高齢者に対して薬剤師による適切な服薬指導を行うことにより、薬剤の適正な使用と飲み残しの削減を促進し、高齢者の心身の状況の悪化を防止した。

[実績及び成果]

(1) 訪問お薬相談事業費 171,000 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
申 込 数	17件	14件

[指 標]



5 保健介護一体事業費

1,054,010 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の健康づくりや介護予防を一体的に実施するため、医療専門職である保健師を中心に高齢者の通いの場等での健康講座の開催や、管理栄養士による家庭訪問等の個別支援を行い、高齢者のフレイル対策等に取り組んだ。

[実績及び成果]

(1) 保健介護一体事業費

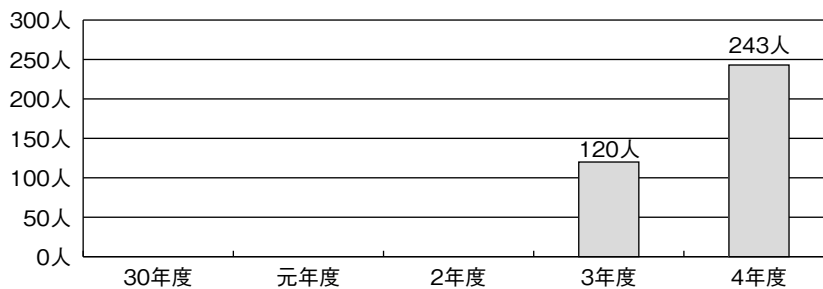
1,054,010 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
通いの場等における支援	実施圏域数	3圏域	実施圏域数	4圏域
	延参加者数	120人	延参加者数	243人
個別支援件数	延 227件		延 237件	

※圏域とは日常生活圏域の概ね中学校区に相当

[指標]

指標名：通いの場等における支援への延参加者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 介護保険サービス費 <介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営>	541,158,155	220,644,000	0	212,623,411	107,890,744

1 デイサービスセンター管理運営事業費 49,486,309円 (総合老人ホーム)

[総括]

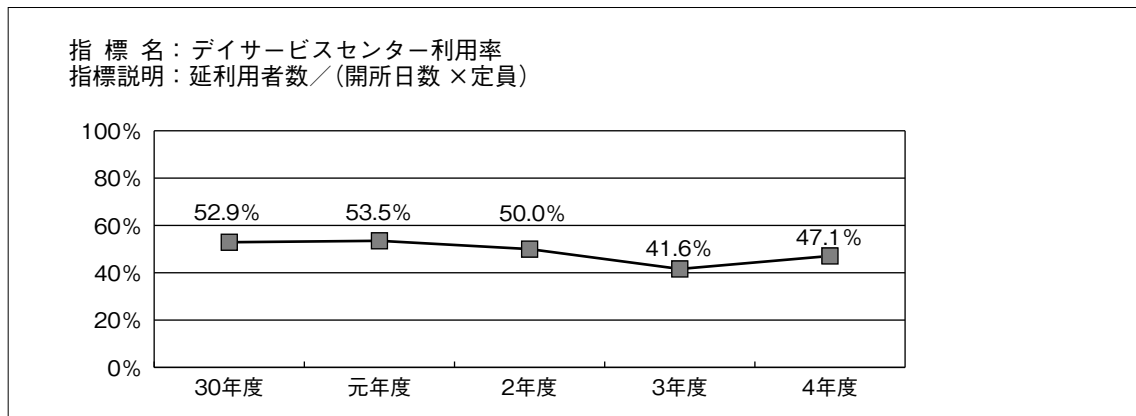
介護保険で要介護又は要支援と認定され、居宅において介護を受けている方をリフトバスで送迎し、入浴の介助及び食事の提供等を行い、日常生活の自立支援を行った。令和4年度は送迎用の特種用途自動車を更新しサービスの充実を図った。今後もサービスの向上を図り、利用者の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 33,310,954円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
年間延利用者数	1,923人	2,179人	13.3%
1日当たりの利用者数	7.5	8.5	13.3

[指標]



2 特別養護老人ホーム管理運営事業費 272,685,085円 (総合老人ホーム)

[総括]

65歳以上で、身体上又は精神上常時の介護を必要とし、居宅において介護を受けることが困難な方に、入浴・食事等の日常生活の介護サービスを提供し、自立した生活ができるよう支援するとともに、家族の介護負担の軽減を図った。令和4年度は特殊浴槽を更新し入居者の住環境の向上を図った。今後も介護サービスの向上と迅速な対応に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 99,220,720円

(ア) 特別養護老人ホーム

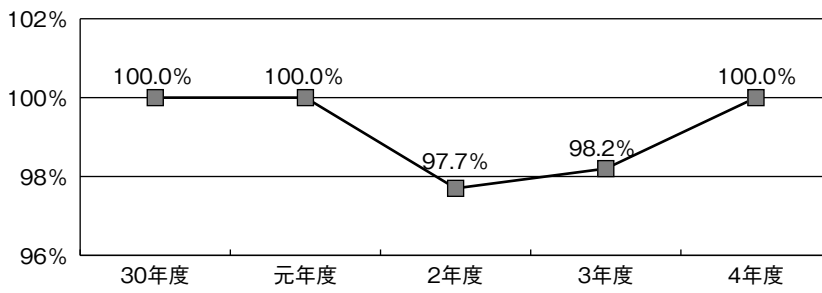
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
年間延契約者数	17,924人	18,242人	1.8%
1日当たりの契約者数	49.1	50.0	1.8

(イ) ショートステイ

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
年間延利用者数	1,019人	732人	△28.2%
1日当たりの利用者数	2.8	2.0	△28.6

[指 標]

指 標 名：特別養護老人ホーム契約率
指標説明：延契約者数 / (開所日数 × 定員)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 介護保険事業費 〈介護保険サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営〉	3,856,952,582	0	0	501,778,166	3,355,174,416

1 認定調査事務費 96,151,785 円 (長寿介護課)

[総括]

平成30年度から東三河広域連合による介護保険事業の運営が開始され、本市では構成市町村として窓口事務及び要介護等認定のための調査を実施している。認定調査は全国一律の判断基準があり、的確に実施することが求められているため、認定調査員に対し、愛知県や広域連合が主催する研修内容の周知及び定期的な勉強会により認定調査の判断の平準化に努めている。

また、令和4年度は要介護認定における調査を効率化し、申請から認定までの期間を短縮するため、介護保険システムと連携した訪問調査アプリを設定したモバイル端末を導入した。

[実績及び成果]

(1) 認定調査事務費 96,151,785 円

[被保険者数]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	47,636人	45,447人	△ 4.6%
	75歳以上	49,384	51,824	4.9
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

[要介護等認定申請受付件数]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
新 規 申 請		3,824件	4,191件	9.6%
更 新 申 請		5,725	6,819	19.1
変 更 申 請		2,087	2,008	△ 3.8
合 計		11,636	13,018	11.9

[要介護等認定状況]

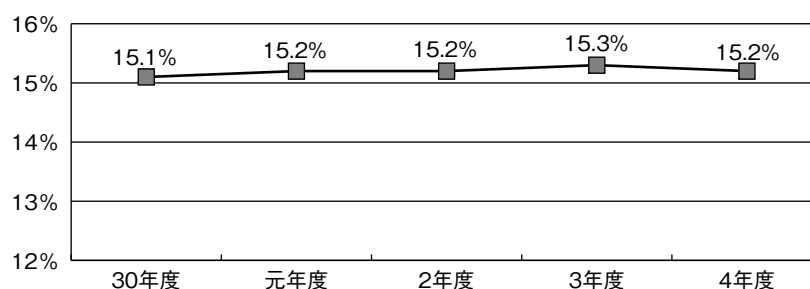
区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
要介護等認定調査件数		9,842件	9,405件	△ 4.4%
要介護等認定審査件数		9,058	8,962	△ 1.1
要介護等認定状況	要支援1	2,664人	2,747人	3.1
	要支援2	2,477	2,535	2.3
	要介護1	3,148	3,069	△ 2.5
	要介護2	2,069	2,154	4.1
	要介護3	1,644	1,518	△ 7.7
	要介護4	1,718	1,703	△ 0.9
	要介護5	1,002	974	△ 2.8
合 計		14,722	14,700	△ 0.1

[指 標]

指 標 名：要介護等認定者出現率

指標説明：要介護・要支援認定者数／高齢者(65歳以上)人口

各年度10月時点



2 介護予防・生活支援サービス事業費 3,649,200円（長寿介護課）

[総 括]

高齢者の方ができるだけ介護を必要とせずに、地域において自立した生活を送れるように、シルバー人材センターやボランティア等の住民主体による介護予防や生活支援サービスを提供した。また、多様な担い手の社会参加を通じて、地域の支え合い体制づくりを推進した。

[実績及び成果]

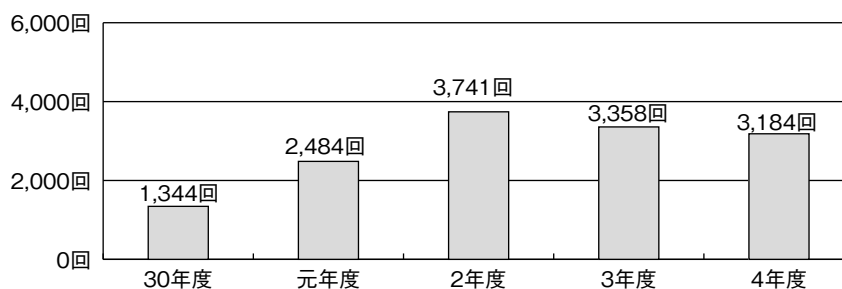
(1) 地域型訪問サービス事業費 3,343,200円

区 分	令和3年度	令和4年度
訪 問 人 数	延 682人	延 684人
訪 問 回 数	延 3,358回	延 3,184回

[指 標]

指 標 名：地域型訪問サービス訪問回数(延回数)

指標説明：〃



3 一般介護予防事業費

9,128,737 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者に対して、介護予防教室を開催することで、介護予防に関する知識の普及を図るとともに、教室終了後は地域における自主的な活動が継続的に進められるよう支援した。また、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニアスポーツの振興を図るとともに、趣味活動等の支援を行った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるよう、高齢者のニーズに合った事業を実施し、社会参加の促進を図る。

[実績及び成果]

- (1) 介護予防普及啓発事業費 4,883,743 円

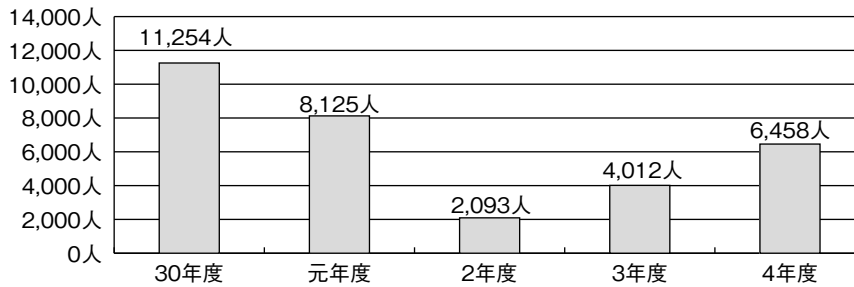
区 分	令和3年度		令和4年度	
介護予防教室等	実施回数	271回	実施回数	389回
	参加者数	4,012人	参加者数	6,458人

- (2) 地域介護予防活動支援事業費 4,244,994 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
シルバースポーツブロック大会	参加者数	600人	参加者数	629人

[指標]

指標名：介護予防教室等参加者数(延人数)
 指標説明：〃



4 包括的支援事業費

354,824,669 円（長寿介護課）

[総括]

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域団体や関係機関と連携して、介護・福祉に関する総合相談、権利擁護、介護予防の推進など、高齢者の支援を行った。また、医療と介護の連携を図る在宅医療・介護連携推進事業、地域の互助の体制づくりを推進する生活支援体制整備事業、認知症の方を総合的に支援する認知症総合支援事業、個人や地域の課題を抽出し解決に向けて検討する地域ケア会議推進事業を引き続き実施した。今後も地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 321,259,524 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
地域包括支援センター	委託先 相談受付件数	18施設 17,590件	委託先 相談受付件数	18施設 18,469件

(2) 在宅医療・介護連携推進事業費 11,986,992 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
東三河ほいっぷ ネットワーク登録者	登録者数	891人	登録者数	961人

(3) 生活支援体制整備事業費 1,099,731 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
お互いさまの まちづくり協議会	実施回数	2回	実施回数	3回

(4) 認知症総合支援事業費 19,648,422 円

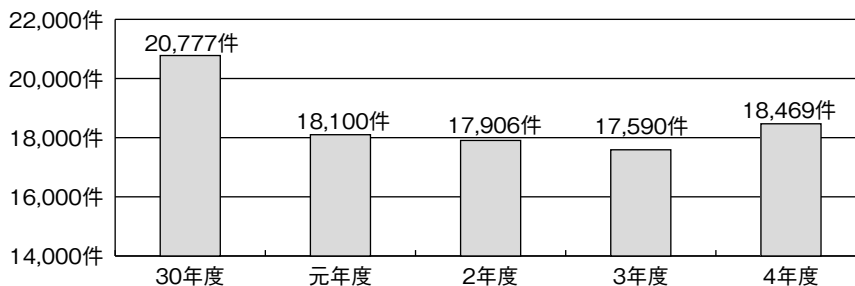
区 分	令和3年度		令和4年度	
認知症地域 支援推進員	相談件数	949件	相談件数	1,092件

(5) 地域ケア会議推進事業費 830,000 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
地域ケア会議	開催数	91回	開催数	101回

[指標]

指標名：地域包括支援センター相談受付件数
 指標説明：地域包括支援センターが訪問、来所、電話により相談を受けた件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 児 童 福 祉 費	23,265,568,522	13,150,166,561	163,100,000	609,956,054	9,342,345,907
2目 切れ目のない子育て支援費 <安心して結婚や子育てができる環境づくり>	7,997,450,251	5,962,895,705	0	749,700	2,033,804,846

1 切れ目のない子育て支援事業費 3,395,669円 (子育て支援課)

[総括]

妊娠から出産、育児期までを切れ目なく支援するため、夜間や休日などの児童の一時預かりを行ったほか、子育て支援情報ポータルサイト「育なび」やインスタグラムを活用し、子育て世帯向けの情報を発信した。また、子育てを社会全体で応援する「子育て応援宣言」に基づいた取組みの推進をはじめ、子育て支援の取組みを積極的に進める子育て応援企業の認定及び表彰や、結婚を希望する男女に対し、婚活サポーターによる相談や出会いのきっかけづくりの支援を行った。今後も「子ども・子育て応援プラン」に基づき、結婚から妊娠・出産・育児期における多様な課題に対応するため、ライフステージに応じたきめ細かい支援に取り組んでいく。

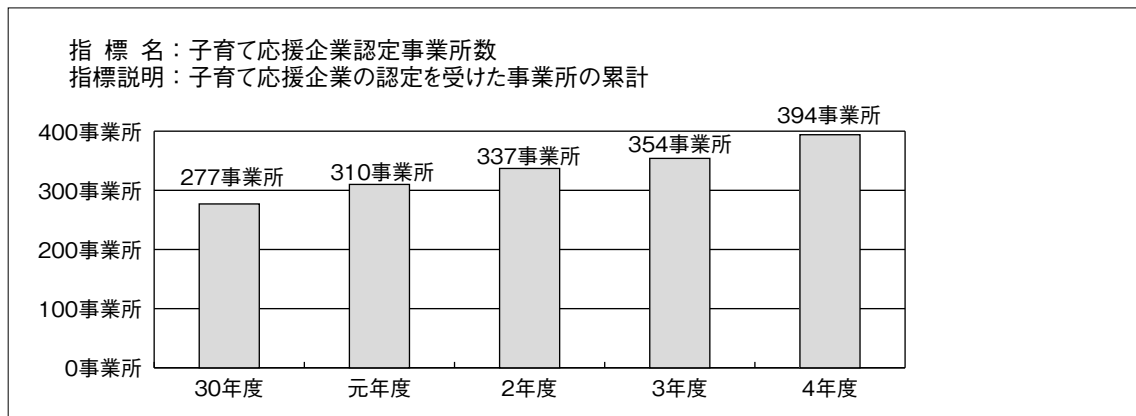
[実績及び成果]

(1) 切れ目のない子育て支援事業費 3,395,669円

区 分	令和3年度	令和4年度
児 童 福 祉 週 間 行 事	2施設・団体 9人	9施設・団体 315人
子育て支援ショートステイ事業委託	6施設 延 14	7 延 62
子育て支援ワイルドステイ事業委託	5 延 107	5施設 延 152
子 育 て 情 報 紙 発 行 事 業	ハンドブック 0～3歳 6,000部 4歳～ 6,000	ハンドブック 0～3歳 5,500部 4歳～ 5,500
子育て支援プラットフォーム事業	子育て支援情報ポータルサイト 及び母子健康手帳アプリの運営	子育て支援情報ポータルサイト、 SNS及び母子健康手帳アプリの運営
子育て応援企業認定・表彰事業	認定企業数 179社(354事業所)	認定企業数 211社(394事業所)
結 婚 支 援 事 業	結婚・ライフデザインセミナー開催回数 3回 結婚相談会開催回数 6 婚活サポーター登録者数 46人 親向け、大学生向けセミナーの開催 3回	婚活サポーター登録者数 40人 親向け、大学生向けセミナーの開催 2回

※令和3年度の子育て支援週間行事は荒天により8施設が参加見合わせ

[指 標]



2 児童手当給付事業費 5,801,420,719 円（子育て支援課）

[総括]

中学校修了前までの児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな育ちの支援を目的として児童手当を支給した。今後も分かりやすい受給者への通知や広報等により制度の周知に努め、手当の適正な支給を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 児童手当給付事業費 5,801,420,719 円

(ア) 手当費 5,793,920,000 円

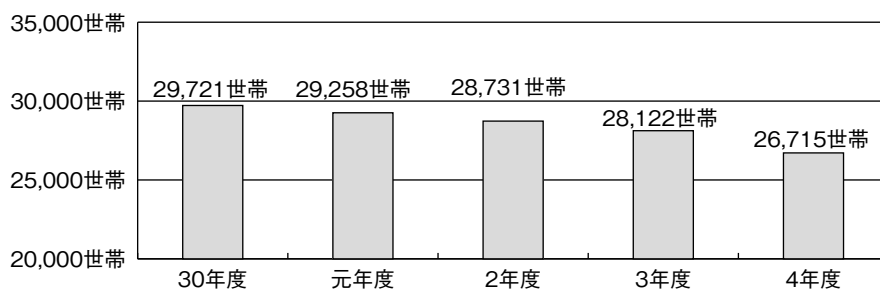
区 分	令和3年度			令和4年度		
	月 額	対象児童数	支 給 額	月 額	対象児童数	支 給 額
小学生以下	10,000円又は15,000円	34,796人 (延408,978)	4,737,435,000円	10,000円又は15,000円	33,417人 (延394,103)	4,561,025,000円
中 学 生	10,000円	8,938 (延106,850)	1,068,500,000	10,000円	8,883 (延106,679)	1,066,790,000
特 例 給 付	5,000円	3,648 (延 44,493)	222,465,000	5,000円	2,433 (延 33,221)	166,105,000
計	—	47,382 (延560,321)	6,028,400,000	—	44,733 (延534,003)	5,793,920,000

※制度改正により令和4年6月分から所得上限限度額が設けられた。

[指 標]

指 標 名：児童手当受給世帯数

指標説明：◇



3 子ども医療費助成事業費 1,473,734,582 円（国保年金課・子育て支援課）

[総括]

安心して子育てができる環境づくりの一環として、中学校修了前までの子どもの医療費及び18歳到達年度末までの子どもの入院費の保険診療分について、自己負担額を全額助成することにより保護者の経済的な負担を軽減した。今後も分かりやすい制度の周知に努めるとともに、適正な医療費の助成を行い、子育て環境の一層の充実に努める。

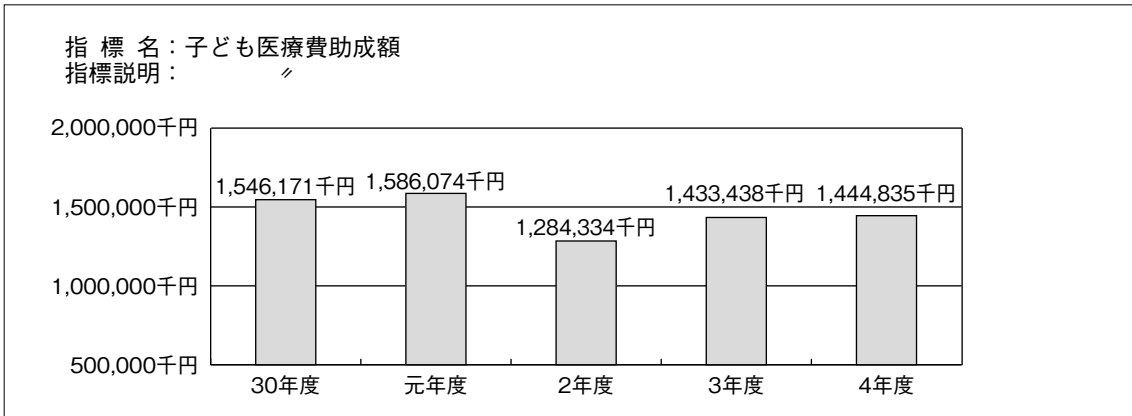
[実績及び成果]

(1) 子ども医療費助成事業費 1,473,734,582 円

(ア) 医療助成費 1,444,834,709 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
対 象 児 童 数	延 688,668人	延 674,711人	△ 2.0%
受 診 件 数	延 645,122件	延 664,110件	2.9
受 診 率	93.7%	98.4%	4.7ポイント

[指 標]



※令和2年10月より18歳到達年度末までの子どもの入院医療費助成開始

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 児童相談支援費 <子どもの権利を守る方策の推進>	36,406,568	12,348,291	0	267,750	23,790,527

1 児童相談支援事業費 36,406,568 円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

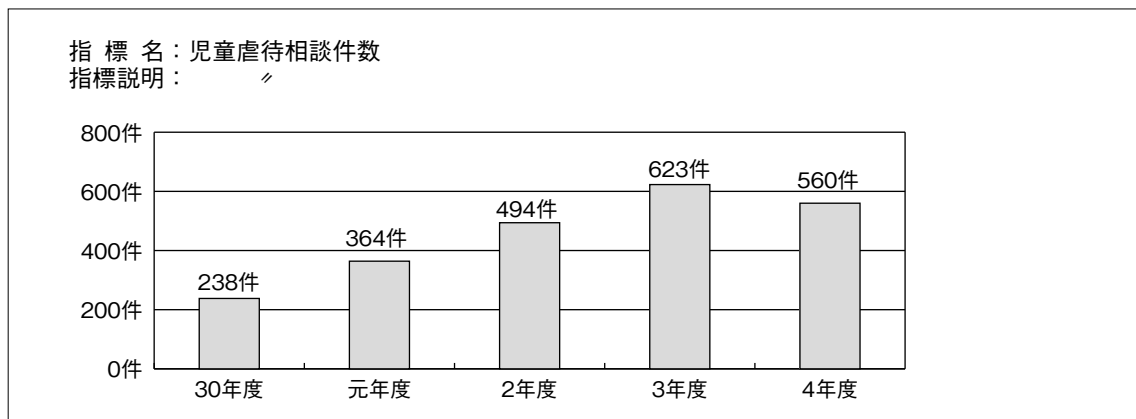
すべての子ども・若者及びその家族を対象に相談・支援を行う拠点として、保護者や関係機関から寄せられる相談への対応や、養育に不安がある家庭への訪問支援を実施するとともに、特に児童虐待については、要保護児童対策ネットワーク協議会を中心に、保健・福祉・医療・教育などの関係機関と連携し、子どもとその保護者などへの支援を行った。また、子どもの上手な褒め方や叱り方をトレーニングする「怒鳴らん子育て講座」を開催するとともに、相談者の負担軽減を図るため、要支援家庭ショートステイ事業を実施することで、育児に不安を持つ子育て家庭に対する支援を行った。支援対象児童等見守り強化事業では、子どもの見守り機会が減少する夏休み期間中に、継続的な関わりが必要な家庭を訪問し、子どもが置かれている状況の把握に努めた。さらに、ヤングケアラー支援については、愛知県ヤングケアラー支援事業（3か年の市町村モデル事業の初年度）を受託し、周知啓発・理解促進を図るため、主に教職員、スクールソーシャルワーカー、主任児童委員などを対象に「ヤングケアラー関係機関研修会」を開催するとともに、小中学校を訪問し相談支援への理解を深めた。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 児童相談支援事業費 36,406,568 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
児童家庭相談件数	2,152件	2,337件	8.6%
養育支援訪問件数	延 192	延 122	△36.5
要支援家庭ショートステイ利用日数	延 205日	延 142日	△30.7
ヤングケアラー関係機関研修会参加者数	106人	187人	76.4

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 幼児期教育保育費 <幼児期の教育・保育の充実>	12,211,987,720	6,362,379,392	163,100,000	375,090,703	5,311,417,625

1 公立保育所等管理運営事業費 1,003,940,229 円 (保育課)

[総括]

公立の保育所4園と幼保連携型認定こども園1園で教育・保育の提供を行った。引き続き新型コロナウイルス感染症対策に努め、働く保護者のために開所を継続した。多様化する保育ニーズに応えるため、全園で延長保育、2園で休日保育を実施するとともに、くるみ保育園において一時預かり事業、こじかこども園において地域子育て支援センター事業、病児保育事業を実施し、令和4年度は新たに青少年センターにおいて病児保育事業を開始した。また、こじかこども園に新たに看護師を配置し医療的ケア児を受け入れる体制を整備した。さらに、おむつのサブスクの受入れを開始し、保護者の子育てにかかる負担軽減を推進した。今後も保育所等の利用希望に応えるとともに、多様化する保育ニーズに適応する保育事業の充実に努める。

なお、保育所等勤務保育士会計年度任用職員について、令和3年度に実施した処遇改善に加えてさらに1%程度の賃金改善を行った。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 353,831,394 円

(ア) 通常保育事業費

[児童数]

区 分	定 員	延定員	令和3年度	令和4年度	比 較
津 田 保 育 園	120人	1,440人	児童数 延1,210人	児童数 延1,346人	11.2%
新 吉 〃	80	960	791	655	△17.2
牛川東 〃	170	2,040	1,928	1,839	△ 4.6
くるみ 〃	140	1,680	1,751	1,709	△ 2.4
こじかこども園	165	1,980	1,895	1,753	△ 7.5
計	675	8,100	7,575	7,302	△ 3.6

[特別支援保育事業]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	47人	54人	14.9

[施設整備費]

内 容	令和3年度	令和4年度
	遊戯室エアコン取替(牛川東) 厨房用エアコン設置(牛川東) 天井扇風機設置(こじか)	園舎・遊戯室屋上・外壁防水塗装工事(津田) 遊戯室内装改修工事(津田) 遊戯室エアコン取替(津田)

(イ) 延長保育事業費

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	5園	5園	0.0%
利 用 人 数	延 2,355人	延 2,415人	2.5

(ウ) 一時預かり事業費

[一般型]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 1,242人	延 1,320人	6.3

[幼稚園型]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 565人	延 221人	△60.9

(エ) 子育て支援事業費

施 設 数	令和3年度	令和4年度	比 較
	5園	5園	0.0%

(オ) 地域子育て支援センター事業費

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	1園	1園	0.0%
利 用 人 数	延 5,860人	延 5,362人	△ 8.5

(カ) 休日保育事業費

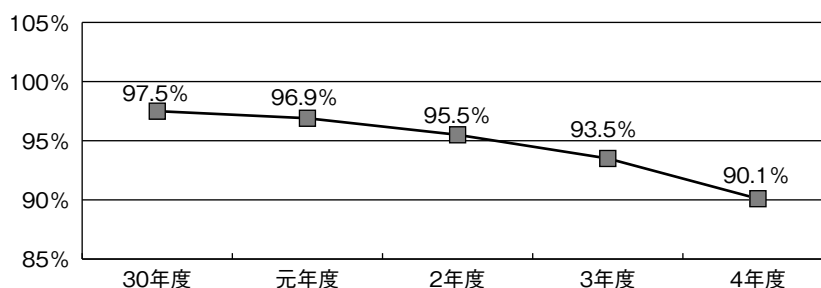
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	2園	2園	0.0%
利 用 人 数	延 309人	延 299人	△ 3.2

(キ) 病児保育事業費

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	1園	2園	2.0倍
利 用 人 数	延 61人	延 179人	2.9

[指 標]

指 標 名：公立保育所等児童数充足率
指 標 説 明：延利用児童数／延定員



2 公立保育所整備事業費 8,539,800 円（保育課）

[総括]

園舎の老朽化が進む新吉保育園について、つつじが丘校区への移転整備にかかる地質調査及び基本設計に着手した。

[実績及び成果]

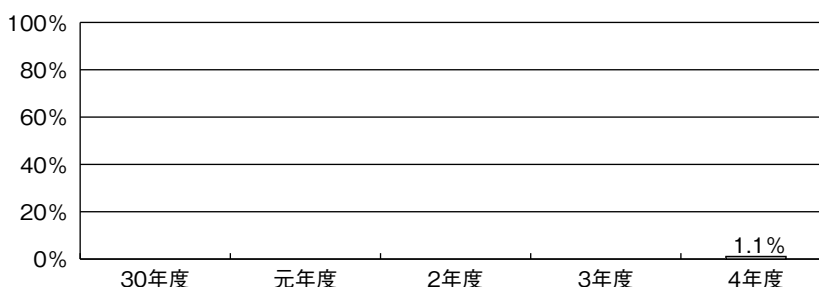
(1) 公立保育所整備事業費 8,539,800 円

(ア) 新吉保育園移転整備事業 8,539,800 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	地質調査、基本設計

[指標]

指標名：新吉保育園移転整備事業進捗率(令和4年度～6年度)
 指標説明：累計直接事業費／全体直接事業費



3 子ども・子育て給付事業費 8,577,690,611 円（保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、保育所、認定こども園、幼稚園を通じた給付を実施し、教育・保育の提供を行った。また、国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、令和4年9月から保育所及び認定こども園の18歳未満第2子の保育料を無償化するなど、市独自の保育料等の軽減を行うことで、子育て世帯への経済的支援を拡充した。さらに、令和4年4月から国の処遇改善に加えて保育士等の処遇改善を実施する施設に対して、市独自で1%程度上乗せして補助を行った。

今後も、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを支えるために、幼児期の教育・保育サービスを安定的に提供し、子どもの発達段階に応じて必要な時期に質の高い教育・保育を受けられる環境を整えるよう努める。

[実績及び成果]

(1) 子ども・子育て給付事業費 8,577,690,611 円

(ア) 法人保育所運営委託料 4,195,758,660 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
保育所 児童数	37園 延 62,471人	37園 延 61,039人	△ 2.3%
〃 (広域利用) 〃	3 延 15	3 延 26	—

(イ) 施設型給付費 3,555,748,222 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
認定こども園 児童数	22園 延 49,204人	22園 延 48,530人	△ 1.4%
〃 (広域利用) 〃	10 延 81	6 延 45	—
新制度移行幼稚園 〃	1 延 1,502	1 延 1,297	△13.6
〃 (広域利用) 〃	1 延 5	0 延 0	—

(ウ) 子育てのための施設等利用給付費 683,962,180 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
幼稚園 児童数	22園 延 26,699人	23園 延 24,383人	△ 8.7%
届出保育施設 〃	13 延 1,770	16 延 1,790	1.1

(エ) 私立幼稚園副食費補足給付補助金 10,384,598 円

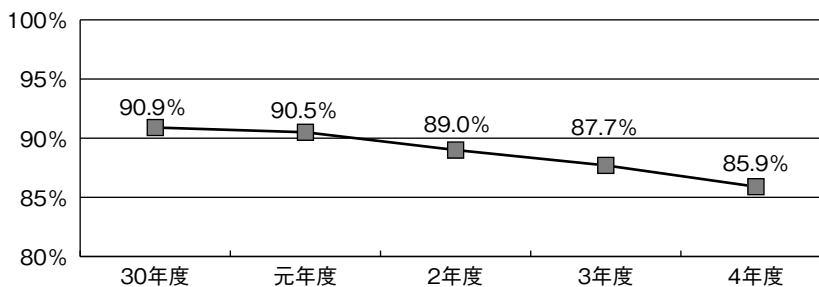
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
幼稚園 児童数	18園 延 4,245人	18園 延 4,039人	△ 4.9%

(オ) 保育所等職員処遇改善事業費補助金 131,836,951 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
保育所	37園 19,851,557円	37園 75,116,983円	3.8倍
認定こども園	22 14,859,472	22 55,587,528	3.7
新制度移行幼稚園	1 293,720	1 1,132,440	3.9

[指 標]

指 標 名：法人保育所等児童数充足率
 指標説明：延利用児童数／延定員



※施設型給付を行う認定こども園及び新制度移行幼稚園を含む

4 法人保育所・認定こども園運営支援事業費 2,544,719,485 円（保育課）

[総括]

令和4年度は、老朽化した園舎の大規模改修・増築・改築を行う3園に対して整備費の助成を行った。また、保育所及び認定こども園の18歳未満第2子の保育料の無償化に合わせて、第2子の副食費について月額4,500円を上限に助成を開始したほか、届出保育施設の利用料助成を第2子まで拡充し、子育て世帯への経済的負担の軽減を進めた。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防にかかる安全対策に必要な経費に対する助成を行うとともに、高騰する給食物資の購入費や光熱費に対する支援を行った。このほか、一時預かり事業や子育て支援センターの業務に専任で従事する保育士等に対して4%程度の賃金改善を行っている施設に対し、市独自で補助を行った。

今後も、教育・保育内容の充実及び施設の運営改善を図るとともに、良好な教育・保育環境を整備し、将来を担う子どもの健全な育成を促進するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所・認定こども園通常保育事業費 2,072,243,485 円

(ア) 法人保育所・認定こども園運営費補助金 1,827,006,765 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	園数	金額	園数	金額
人件費（特別支援保育含む）	59園	1,655,031,331円	60園	1,691,368,451円
管理費（特別支援保育含む）	51	17,698,000	50	23,269,000
施設補修工事費	3	9,789,000	2	4,792,000
元利償還金	3	5,843,600	2	3,523,250
土地賃借料	17	29,705,545	17	29,641,047
職員研修事業費	59	3,200,000	59	3,200,000
資格取得支援事業費	1	68,604	0	0
保育体制強化事業費	23	26,703,146	31	35,592,017
保育士支援システム導入費補助金	5	3,750,000	10	7,492,000
翻訳機導入費補助金	8	469,000	2	76,000
新型コロナウイルス感染症対策費	68	44,254,000	62	28,053,000
オンライン環境整備費補助金	50	3,900,000	—	—
計	—	1,800,412,226	—	1,827,006,765

(イ) 副食費給付費 158,034,680 円

区 分	令和3年度		令和4年度		比較
	園数	延人数	園数	延人数	
保育所	36園	延 5,702人	36園	延 18,052人	3.2倍
認定こども園	22	延 4,103	22	延 16,460	4.0
新制度移行幼稚園	1	延 151	1	延 674	4.5

※広域利用を含む

(ウ) 適合届出保育施設利用料助成事業費 220,000 円

利 用 人 数	令和3年度	令和4年度	比較
	—	延 44人	

(エ) 幼稚園教諭免許状更新講習事業費等 0 円

受 講 者 数	令和3年度	令和4年度	比較
	23人	—	

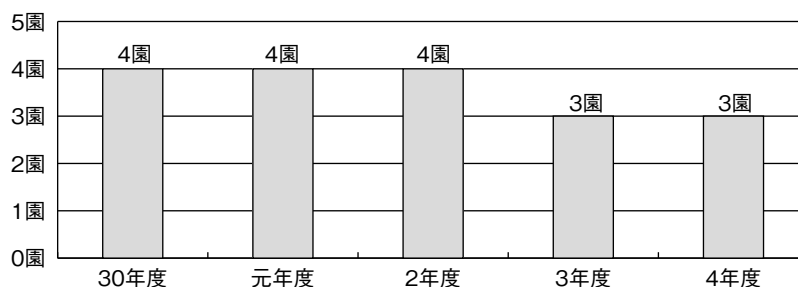
(2) 法人保育所・認定こども園整備費補助金 472,476,000 円

(ア) 建設費 472,476,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	前芝保育園 大規模改修 定員150人 鉄筋コンクリート造2階建・木造1階建 下条保育園 大規模改修・一部増改築 定員90人 鉄筋コンクリート造2階建 緑が丘こども園 増改築 定員200人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造2階建	こまどり保育園 大規模改修・一部増築 定員220人 鉄筋コンクリート造2階建 高山保育園 改築 定員60人 木造1階建 吉田方西保育園 大規模改修 定員240人 鉄筋コンクリート造2階建・鉄骨造1階建

[指 標]

指 標 名：法人保育所・認定こども園大規模改修等実施園数
指標説明：
〃



5 私立幼稚園運営事業費 48,378,257 円（保育課）

[総 括]

私立幼稚園運営費補助金について、施設の補修費のほか、幼稚園における教育環境の向上を図るため、園庭遊具や教材の購入費等の助成を行った。また、園児の健康維持を図るため、園児の健康診断に対する助成を行った。令和4年度は新たに第2子の副食費について月額4,500円を上限に助成を開始した。今後も保育所・認定こども園と併せ、幼稚園の子育てに関する専門的機能の活用と幼児教育環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 私立幼稚園運営費補助金 48,378,257 円

[運営費補助金]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	17園	19園	11.8%
利 用 人 数	2,145人	2,030人	△ 5.4
補 助 額	18,823,250円	19,571,800円	4.0

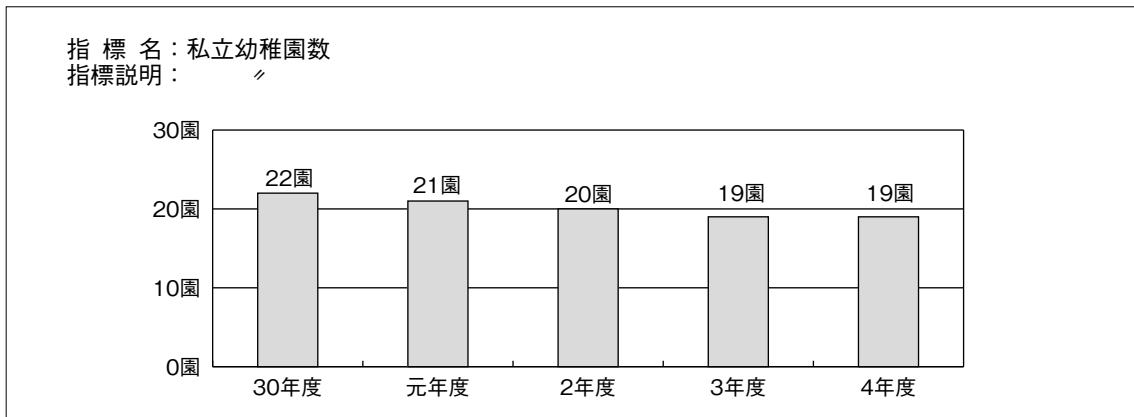
[園児健康診断補助金]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数		15園	16園	6.7%
実 施 人 数	内 科	1,898人	1,864人	△ 1.8
	歯 科	1,915	1,742	△ 9.0
補 助 額		1,866,040円	1,765,720円	△ 5.4

[副食費補助金]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数		18園	18園	0.0%
利 用 人 数		延 2,930人	延 10,335人	3.5倍
補 助 額		7,743,846円	27,040,737円	3.5

[指 標]



6 保育総合支援事業費 10,713,843 円（保育課）

[総 括]

仕事と子育てが両立しやすい環境づくりに取り組むため、待機児童対策の一環として、保育コンシェルジュが子ども未来館や交通児童館などでの出張相談を行うなど、保育所等に入園する前から入園に至るまでの保護者への継続的な支援の充実に取り組んだ。

また、保育士・保育所支援窓口においては、専任の法人保育所園長職経験者を配置し、SNSを用いた広報活動の拡大や、愛知県との就職支援研修会の共同実施などにより、就労希望者と保育所等のマッチングを図った。令和4年度は保育士確保対策として新たに保育士試験受験料の助成を開始したほか、従来から行っている就労相談について、窓口での対応に加えてオンラインでの対応も開始した。さらに、保育士を目指す学生を対象としたオンラインでの園見学会を実施し、保育士の魅力発信を行った。

今後も女性の就労増加に伴い、保育ニーズの増加が見込まれるため、保護者に対する両立支援体制の充実に図るとともに、保育士資格を有する未就労者への就労支援を強化していく。

[実績及び成果]

(1) 利用者支援事業費 3,516,803 円

	令和3年度	令和4年度	比 較
保育コンシェルジュが対応した保護者からの相談件数	691件	796件	15.2%

(2) 子育て環境総合支援事業費 7,197,040 円

(ア) 保育士・保育所支援窓口事業費 3,594,773 円

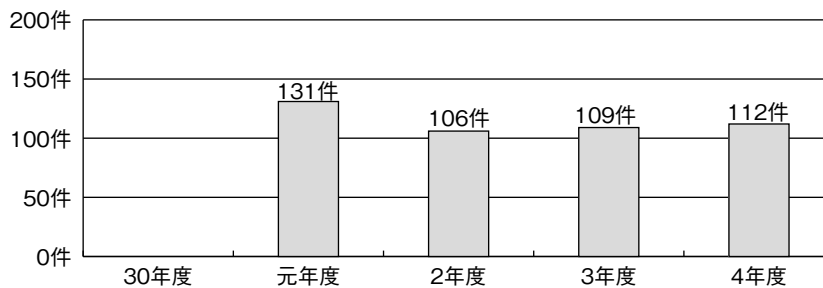
支 援 窓 口 に お け る 求 職 件 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	189件	175件	△ 7.4%

(イ) 資格取得受験費用補助金 12,700 円

保 育 士 試 験 受 験 費 用 助 成 件 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	—	1件	皆増

[指 標]

指 標 名：支援窓口における就労マッチング数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 地域子育て支援費 <地域における子育てへの支援>	409,238,170	119,502,969	0	5,077,057	284,658,144

1 交通児童館管理運営事業費 28,894,369円 (こども未来館)

[総括]

指定管理者による運営のもと、感染症対策を適切に実施したうえで、コロナ禍でも子どもたちが楽しめる行事や児童館まつりなどの規模の大きいイベントを積極的に開催したことにより、利用者数は前年度より大幅に増加した。今後も子どもの自由な発想を高めたり、遊びの楽しさを体験できる機会を提供しながら、乳幼児から中高生まで幅広い年齢層に利用され、健康でゆたかな情操を育む魅力ある遊び場となるよう、行事や施設の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 28,894,369円

[施設利用者]

区 分	令和3年度		令和4年度	
開 館 日 数	316日		317日	
個 人 利 用 者	延	177,282人	延	231,902人
団 体 利 用 者	132団体	延 2,826	131団体	延 2,707
計	延	180,108	延	234,609

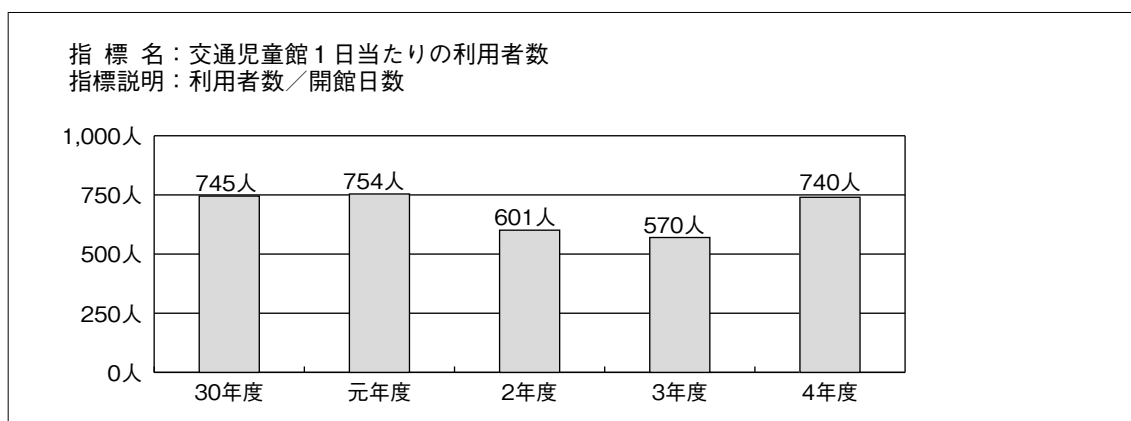
[遊具利用者]

区 分	令和3年度		令和4年度	
バ ッ テ リ ー カ ー	延	19,245人	延	19,848人
自 転 車	延	12,038	延	13,478
一 輪 車	延	1,201	延	1,108

[行事参加者]

区 分	令和3年度		令和4年度	
	実施回数	延参加者数	実施回数	延参加者数
す く す く 広 場	22回	271人	24回	600人
リトミックあそび	11	151	12	345
おやこ造形あそび	11	113	12	246
ベビWARAリズム	9	104	11	162
めざせ!わっぱなし	10	101	12	235
運 動 あ そ び	22	507	48	599
交 通 安 全 教 室	26	1,199	26	1,453
つ ど い の 広 場	145	8,124	148	8,424

[指標]



2 こども未来館管理運営事業費 228,389,167 円（こども未来館）

[総括]

子どもの健やかな成長及び市民の交流を目的に、子どもを中心とした様々な世代の人々がふれあう場と機会を提供し、多彩なイベントを開催した。行政が子育てプラザの運営と市民協働の推進を担い、指定管理者が体験・発見プラザと集いプラザの運営及び施設全体の維持管理を行い、それぞれの特性を活かした効率的な運営を行っている。令和4年度は、コロナ禍による影響が続く状況にあったが、感染症対策の適切な実施のもと創意工夫により様々なイベントを開催したほか、クラウドファンディングによって市電シミュレーターの改良を行うなど、利用者がより楽しめる施設運営に努めた。また、子育て支援の拠点施設として、子育ての負担軽減につながる事業を積極的に実施し、一時預かりにおいては、子育て家庭が安定して利用できるよう、低所得世帯に対し利用料の助成を行った。

今後も、まち空間リニューアルを見据え、より魅力ある施設としていくため、まちなかと連携したイベントの企画・実施をはじめ、市民協働による運営にも重点を置きながら、新たな利用者及びリピーターの確保に努めていく。

[実績及び成果]

[主なイベント開催状況]

		令和3年度	令和4年度
内	容	みんなでなごにこ	ハッピースマイルピクニック
		あそびゴコロ開発ラボ	来館者800万人記念セレモニー
		ラジオパーソナリティになろう	ここにこおばけ屋敷
		かえってきた!ここにこおばけ学校	古代まつり
		こどもまちなかクイズラリー	おやつギャグつめあわせ展
		おはなしおばさんのゆかいな世界展	ハロウィンルーム
		ここにこウインターイルミネーション	クリスマスマーケット
		移動動物園	いきものだもの展
		あかいろマルシェ	こども未来館相撲大会

(1) 施設管理事業費 126,837,530 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数		316日	314日	△ 0.6%
延利用者数	子育てプラザ	97,397人	115,586人	18.7
	体験・発見プラザ	167,839	201,949	20.3
	集 い プ ラ ザ	94,831	152,186	60.5
	計	360,067	469,721	30.5
1日平均利用者数		1,139	1,496	31.3

※子育てプラザのみ令和4年度は310日の開館

(2) 子育てプラザ活動事業費 39,762,716 円

区 分	令和3年度	令和4年度
子育てプラザ開催講座	65回 参加者 延 863人	53回 参加者 延 974人
子育てサポーター養成講座	8 参加者 91	10 参加者 187
チャイルドサポートプラン説明会	87 参加者 515	84 参加者 522
ここにこサークル	38か所 参加者 延 3,080	38か所 参加者 延 4,409
一時預かり事業	利用人員 延 801	利用人員 延 829
一時預かり利用者負担軽減事業	—	延 13
妊娠・出産・子育て総合相談窓口	505	423
母子健康手帳の交付	682 686冊	617 622冊

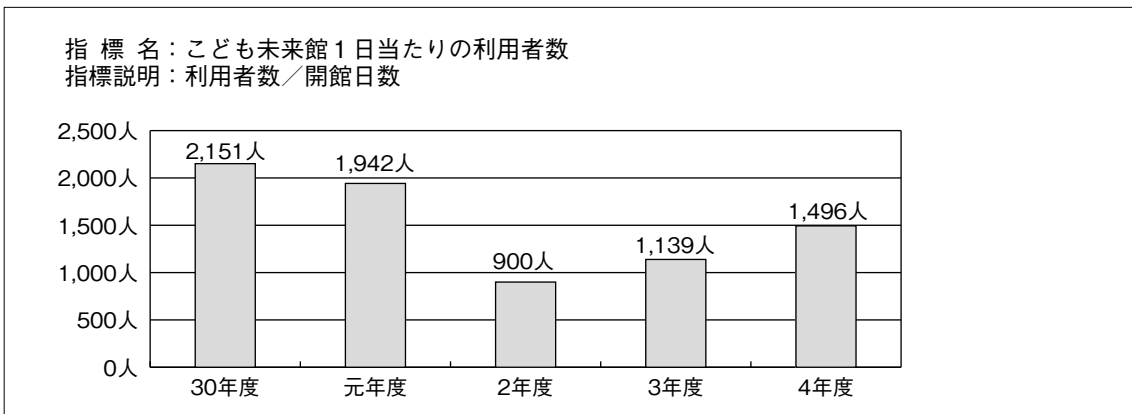
(3) 体験・発見プラザ活動事業費 2,648,919 円

区 分	令和3年度	令和4年度
体験セット貸出数	160セット 55,560件	186セット 67,337件
体験プログラム	88回 参加者 911人	121回 参加者 1,426人

(4) 企画活動事業費 2,631,605 円

実行委員会開催イベント	令和3年度		令和4年度	
	17回	参加者 11,259人	24回	参加者 16,011人

[指 標]



3 ミラまちこども館管理運営事業費 6,558,284 円 (こども未来館・保育課)

[総括]

ミラまちこども館内にある地域子育て支援センターにおいて、子育て親子が気軽にかつ自由に交流できる場を提供するとともに、育児相談や親子講座などを開催し、子育てに不安や悩みを持つ家庭に対する支援を行った。今後も地域や関係機関と連携を進め、施設の充実を図っていく。

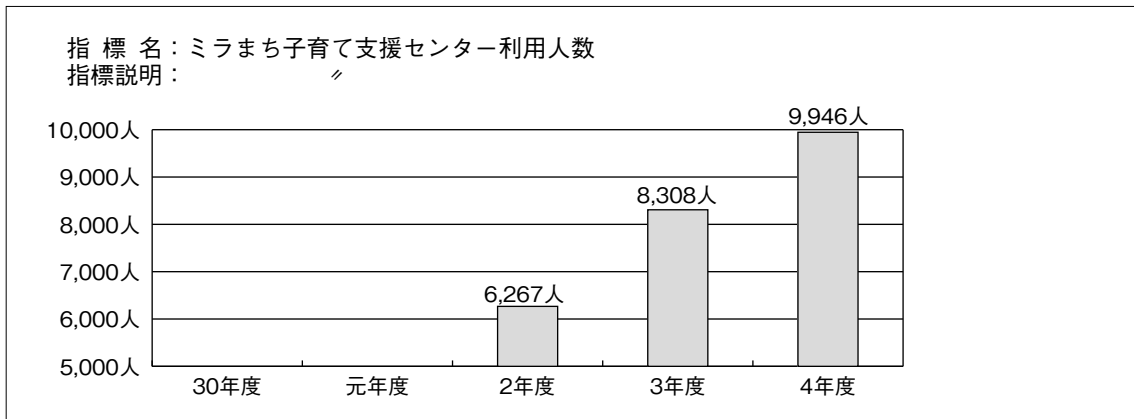
[実績及び成果]

(1) ミラまちこども館管理運営事業費 6,558,284 円

(ア) 地域子育て支援センター事業費 6,375,586 円

	令和3年度	令和4年度	比較
ミラまち子育て支援センター利用人数	延 8,308人	延 9,946人	19.7%

[指標]



4 児童育成事業費 54,947,536 円 (子育て支援課・こども未来館)

[総括]

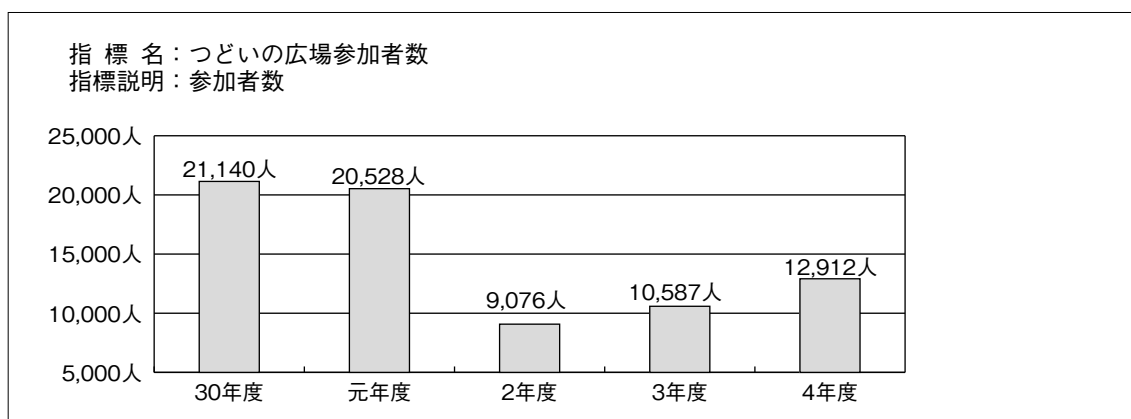
核家族化や共働きなどにより子育てに不安や負担を抱える家庭を支援するため、親子のふれあいの充実を促す幼児ふれあい教室や父親参加型のパパママ子育て講座を拡充するとともに、交流の場としてつどいの広場を開催した。また、ファミリーサポートセンター事業を実施し、ひとり親世帯等や多子世帯、多胎児世帯を対象に利用料の助成を行った。今後も子育てしやすい環境づくりのため、多様な子育てニーズに対応できるよう、各事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 児童育成事業費 54,947,536 円

区分	令和3年度	令和4年度
つどいの広場開催委託	3か所432回 参加者延10,587人	3か所433回 参加者延12,912人
ファミリーサポートセンター事業	会員数 2,073	会員数 2,052
	活動回数 4,907回	活動回数 3,592回
幼児ふれあい教室開催事業	23講座 参加者 1,692人	31講座 参加者 1,948人
パパママ子育て講座開催事業	3 参加者 169	14 参加者 663
赤ちゃんの駅登録施設数	270施設	276施設

[指標]



5 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 88,831,784 円（こども未来館・保育課）

[総括]

子ども・子育て支援新制度に基づき、共働き家庭に限らず、すべての子育て家庭を支援するため、一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業など、地域の様々な子育て支援を実施した。また、保育所及び認定こども園の長時間開所体制を充実させるため、11時間を超えて開所する施設に対する延長保育事業費補助金を市独自に拡充した。さらに、一時預かりを必要とする子育て家庭等が安定して一時預かりを利用できるよう、低所得世帯に対し利用料の助成を実施した。

今後も地域の実情に応じ、多様な子育てニーズを的確に把握するとともに、教育・保育施設等が持つ専門的機能を活用しながら未就学児と保護者に対して育児相談や遊びの場などを引き続き提供することにより、子育て支援事業の拡充に努める。

[実績及び成果]

(1) 法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費 88,831,784 円

(ア) 延長保育事業費補助金 7,700,000 円

区分	令和3年度	令和4年度	比較
施設数	11園	23園	2.1倍
利用人数	延 6,533人	延 11,382人	74.2%

(イ) 一時預かり事業費補助金 40,443,780 円

[一般型]

区分	令和3年度	令和4年度	比較
施設数	3園	3園	0.0%
利用人数	延 1,517人	延 1,462人	△ 3.6

[幼稚園型]

区分	令和3年度	令和4年度	比較
施設数	21園	20園	△ 4.8%
利用人数	延 26,531人	延 26,791人	1.0

(ウ) 一時預かり利用者負担軽減事業費 181,000 円

区分	令和3年度	令和4年度	比較
施設数	—	2園	皆増
利用人数	—	延 94人	皆増

(エ) 地域子育て支援センター事業費 35,373,000 円

[地域子育て支援センター運営委託料]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	4園	4園	0.0%
利 用 人 数	延 19,595人	延 19,645人	0.3

[地域子育て支援センター整備費補助金]

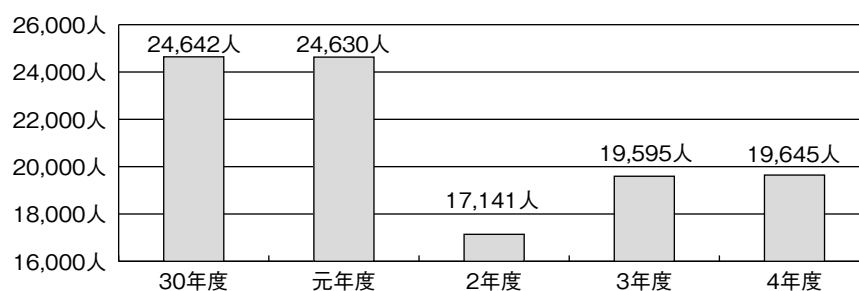
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	1施設	—	皆減
補 助 額	13,044,000円	—	皆減

(オ) 病児保育事業委託料 3,597,004 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
施 設 数	1施設	1施設	0.0%
利 用 人 数	延 36人	延 33人	△ 8.3

[指 標]

指 標 名：地域子育て支援センター利用人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 ひとり親家庭等支援費 <ひとり親家庭等への支援の充実>	1,517,075,976	659,492,529	0	30,100	857,553,347

1 ひとり親家庭等支援事業費 1,295,100,958 円 (子育て支援課)

[総括]

援護の必要な母子家庭について施設入所など必要な措置を行うとともに、ひとり親家庭の自立支援のため、就業に役立つ知識及び技能の習得や、養育費確保のための公正証書作成等への支援を行ったほか、ひとり親家庭等への経済的支援のため、国の制度である児童扶養手当や市の制度である母子父子福祉手当を支給した。また、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に加え、物価高騰による負担を軽減するため、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。さらに「ひとり親家庭のしおり」のリニューアルやLINEの配信及び生活支援コラムのHP掲載を行うなど、各種支援情報の発信に努めたほか、母子生活支援施設職員の処遇改善として、3%程度の賃金改善の措置を実施した。今後も支援を必要とするひとり親家庭等の生活の安定を図り、自立に向けた支援の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) ひとり親家庭等自立支援事業費 34,898,347 円

(ア) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業費 22,256,500 円

支給人数	令和3年度		令和4年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	20人		20人	

(イ) ひとり親家庭等養育費確保支援事業費 987,150 円

助成金支給人数	令和3年度		令和4年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	29人		53人	

(2) 児童扶養手当給付事業費 1,029,446,515 円

(ア) 手当費 1,026,550,010 円

区分	令和3年度		令和4年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
全部支給	14,255人	615,241,550円	13,569人	584,168,370円
一部支給	12,137	347,350,020	11,508	330,273,590
加算額				
2子加算	10,352	97,965,410	9,947	94,021,230
3子以降加算	3,295	19,318,090	3,086	18,086,820
計	—	1,079,875,070	—	1,026,550,010

(3) 母子父子福祉手当給付事業費 42,885,169 円

(ア) 手当費 42,724,000 円

対象児童数	令和3年度		令和4年度	
	延人数	支給額	延人数	支給額
	1,830人		1,808人	
支給開始				
1～3年目	月額2,300円		月額2,300円	
4～5年目	月額1,200円		月額1,200円	

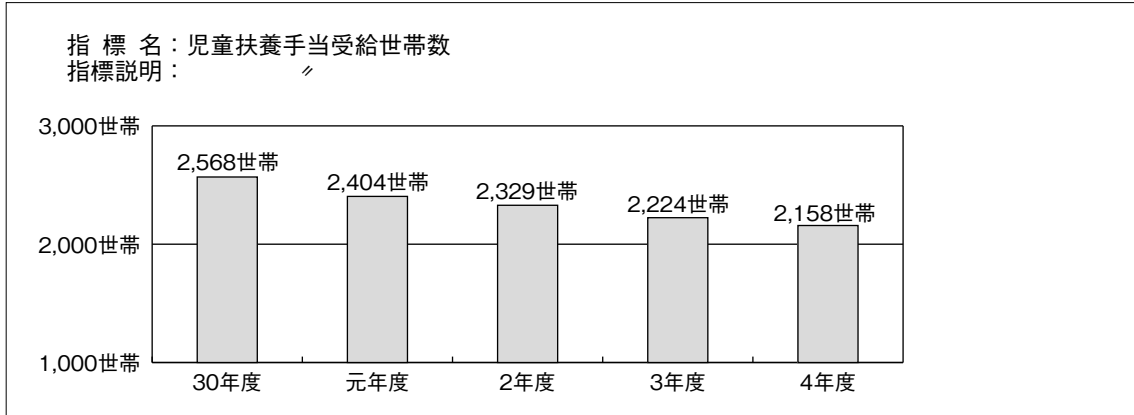
(4) 母子生活支援施設入所事業費 16,155,604 円

利用世帯数	令和3年度		令和4年度	
	延世帯	延人数	延世帯	延人数
	7施設	延45世帯	4施設	延32世帯

(5) 助産施設入所事業費 1,716,590 円

利 用 人 数	令和 3 年度	令和 4 年度
	5人	5人

[指 標]



2 母子父子家庭等医療費助成事業費 221,975,018 円（子育て支援課）

[総 括]

18歳到達年度末までの子どもを扶養しているひとり親家庭の医療費について、保険診療分の自己負担額を助成することにより、経済的な負担の軽減及び生活の安定に寄与した。今後も適正な医療費の助成を行い、ひとり親家庭に対する福祉の向上を図る。

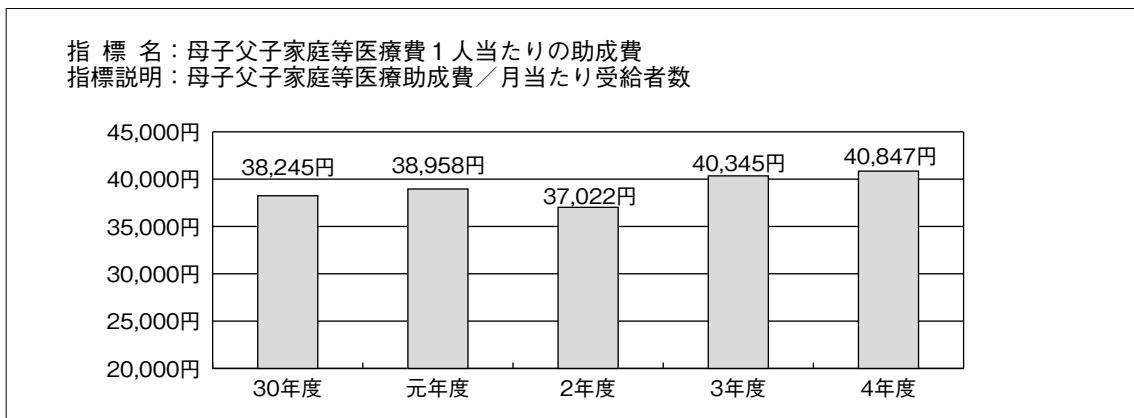
[実績及び成果]

(1) 母子父子家庭等医療費助成事業費 221,975,018 円

(ア) 医療助成費 218,856,229 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
受 給 者 数	延 66,358人	延 64,295人	△ 3.1%
受 診 件 数	延 74,315件	延 74,250件	△ 0.1
受 診 率	112.0%	115.5%	3.5ポイント

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日 療育支援費 <療育支援の推進>	638,569,151	3,923,000	0	226,590,744	408,055,407

1 高山学園運営事業費 158,972,073 円 (保育課)

[総括]

児童発達支援センターとして、心身の発達促進と障害の軽減のための療育を実施するとともに、保護者への養育援助を行った。令和4年度は、保護者が送迎バスの位置情報を確認することができ、バスが接近すると通知が届くアプリケーションを導入し、保護者及び児童の送迎時の負担軽減を図った。今後も良好な環境のもとで児童の成長を促すよう療育体制の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 管理運営事業費 42,500,808 円

[児童数]

通園児童数	令和3年度	令和4年度	比較
		延 480人	延 478人

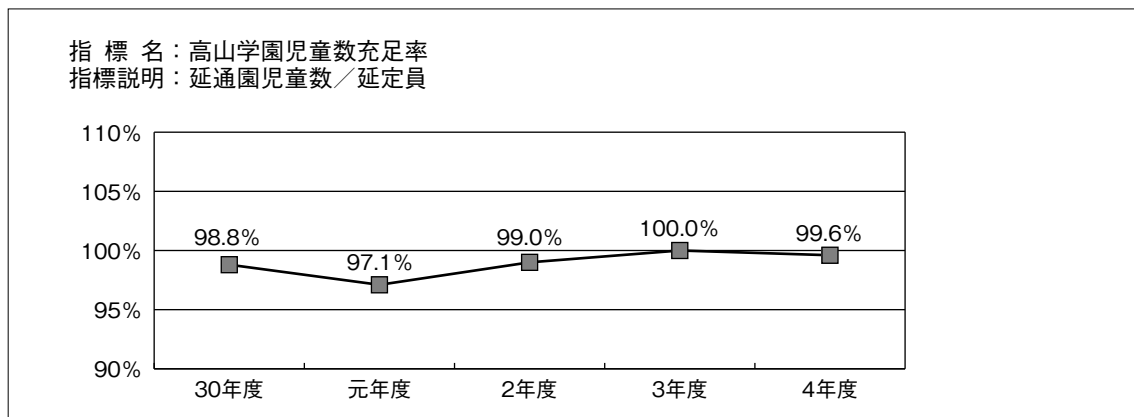
[相談支援数]

相談支援数	令和3年度	令和4年度	比較
		延 278人	延 287人

[施設整備費]

内 容	令和3年度	令和4年度
		調理室床材及び調理台嵩上げ修繕 トランポリン購入

[指標]



2 こども発達センター管理運営事業費 479,597,078 円 (こども発達センター)

[総括]

児童精神科医師をはじめとした専門スタッフを配置し、相談・診療・通園の各種事業を実施した。令和4年度から通園事業のうち児童発達支援事業については、重症心身障害児以外も幅広く受入れしたことなどにより、利用者等の利便性の向上を図った。また、講演会・研修会を実施するなど、障害児支援につながる取組みを行った。今後も、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら、総合的な療育支援を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 136,262,872 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
開 館 日 数	247日	246日	△ 0.4%
相 談 件 数	延 1,753件	延 1,915件	9.2
診 療・リハビリ人数	延20,956人	延21,313人	1.7
通園事業利用者数	5,859	6,349	8.4

(2) 相談事業費 20,257,401 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
障害児等療育支援事業	3 施設 延1,466件	3 施設 延1,422件
講演会・研修会	47件 参加者 1,017人	56件 参加者 1,228人
プレイルーム支援事業	延3,036	延3,385

(3) 診療事業費 105,005,198 円

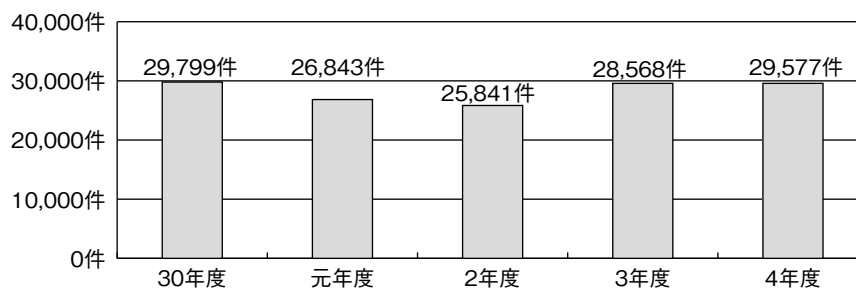
区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
小 児 科	延3,222人	延3,265人	1.3%
児 童 精 神 科	6,806	6,968	2.4
整形外科（水曜日）	414	401	△ 3.1
耳鼻いんこう科（火・金曜日）	716	684	△ 4.5
歯 科（木曜日午前）	603	593	△ 1.7
リハビリテーション	9,195	9,402	2.3

(4) 通園事業費 31,756,791 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
外来グループ療育事業	延5,045人	延5,627人	11.5%
重症心身障害児通園事業	530	538	1.5
居宅訪問型児童発達支援事業	7	6	△14.3
重症心身障害児(者)日中一時支援事業	277	178	△35.7

[指 標]

指 標 名：こども発達センター利用件数
 指標説明：相談件数＋診療・リハビリ人数＋通園事業利用者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 青少年健全育成費 <青少年の健全育成>	10,672,162	0	0	0	10,672,162

1 子ども・若者健全育成事業費 2,850,986円 (子育て支援課・こども若者総合相談支援センター)

[総括]

青少年の非行・被害防止に取り組む市民運動をはじめとした啓発活動や、各小中学校区青少年健全育成会への支援を通じ、小中学生への健全育成活動を積極的に実施した。今後も引き続き青少年健全育成のつどいを開催し、地域で活躍する青少年や青少年育成団体の紹介を行うことによって健全育成に対する意識啓発を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者育成事業費 190,986円

(ア) 青少年問題協議会委員 54,000円

区 分	令和3年度	令和4年度
青少年問題協議会開催数	1回	1回

(イ) 子ども・若者健全育成啓発費 136,986円

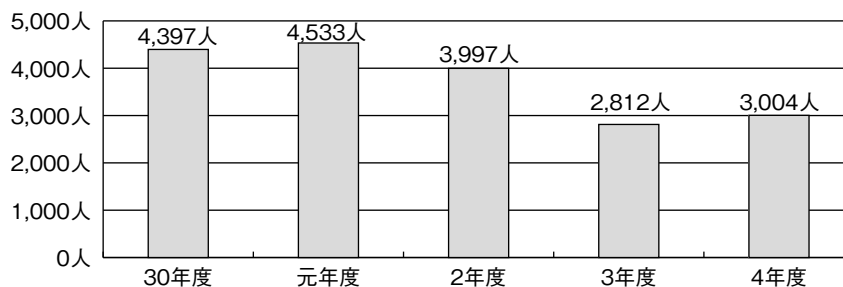
区 分	令和3年度	令和4年度
青少年だより 「ちぎりの子ども」発行部数	31,000部	31,000部

(2) 青少年健全育成事業補助金 2,660,000円

区 分	令和3年度	令和4年度
青少年健全育成会	22中学校区 52小学校区	22中学校区 52小学校区
補助金	2,660,000円	2,660,000円

[指標]

指標名：非行防止啓発活動への参加者数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 子ども・若者自立支援費 <困難を抱える子ども・若者への支援の充実>	19,574,223	9,301,000	0	2,150,000	8,123,223

1 子ども・若者自立支援事業費 18,387,747円 (こども若者総合相談支援センター)

[総括]

民間の支援団体に子ども・若者総合相談窓口の運営を委託し、子ども・若者及びその家族を対象に不登校、ひきこもりなどの相談・支援を行った。また、定時制・通信制高等学校合同説明会では、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、参加者への感染予防対策を講じたうえで開催し、不登校やひきこもりなどの理由から進路に悩む中高生への進路選択の支援を行った。さらに、ケアリーバー（施設退所児）支援では、社会的養護のケアを離れた若者について、食糧支援など自立した生活につながる支援を行った。今後も関係機関と連携し、一人ひとりの困りごとに寄り添った支援を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 子ども・若者自立支援事業費 18,387,747円
 (ア) 子ども・若者相談窓口運営事業費 18,300,000円

子ども・若者相談者数	令和3年度	令和4年度
		745人

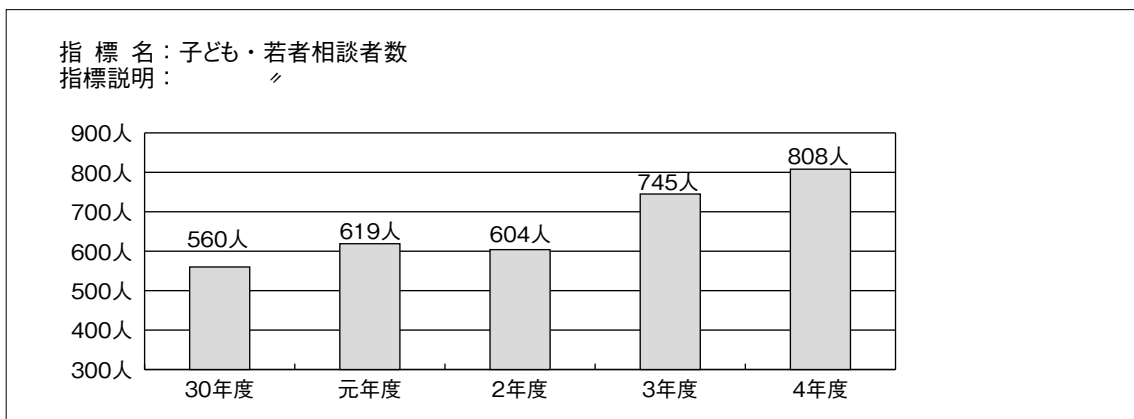
- (イ) 子ども・若者支援地域協議会運営費 84,489円

定時制・通信制高等学校 合同説明会参加者数	令和3年度	令和4年度
		376人(年2回)

- (ウ) ケアリーバー（施設退所児）支援事業費 3,258円

ケアリーバー（施設退所児） 支援者数	令和3年度	令和4年度
		—

[指標]



2 子どもの貧困対策事業費 1,186,476 円（子育て支援課）

[総括]

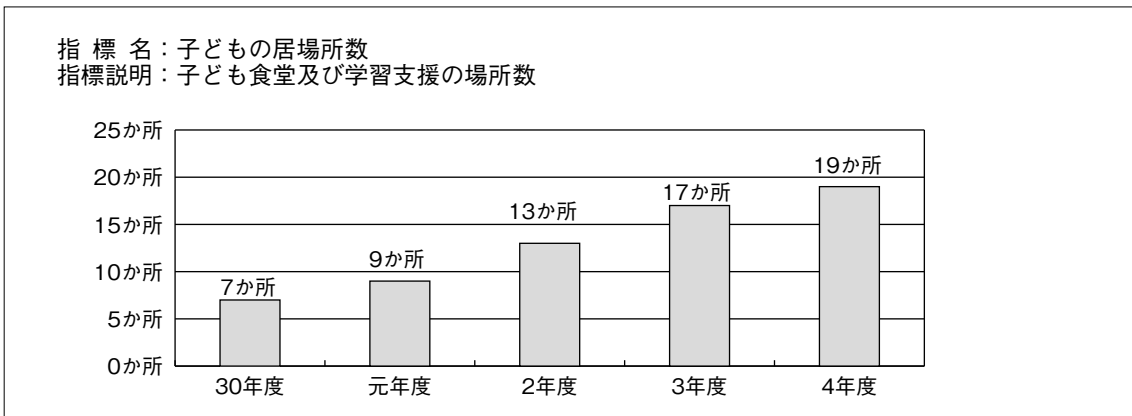
ひとり親世帯や多子世帯に対する支援として、子どもの居場所づくりやフードバンク等の取組みを行った。これらの取組みは、社会福祉協議会やNPO法人東三河フードバンク等の外部団体と連携して行うことで、より多くの方に対する支援へとつながったことから、引き続き関係機関と連携して支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 子どもの貧困対策事業費 1,186,476 円

子どもの居場所数	令和3年度	令和4年度
	17か所	19か所

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 生活保護費	4,372,556,155	3,204,610,388	0	60,464,204	1,107,481,563
2目 生活保護者等自立支援費 <生活保護者への継続的な自立支援>	4,048,390,098	3,113,023,619	0	60,464,204	874,902,275

1 生活保護者等援護事業費 4,043,365,098 円 (生活福祉課)

[総括]

最低限度の生活を保障し、自立助長を図るための支援を、生活保護受給者の状況に合わせて行った。就労が可能な方にはハローワークと連携した就労支援を、就労に向けた準備が整っていない方には就労準備支援員が寄り添い、きめ細やかな支援を行った。また、年金調査員1名を配置し、生活保護受給者が適切に年金を受給できるよう支援した。生活保護受給者に対する健康管理支援においては、地区担当員と保健師が連携して支援を行うとともに、受診後のフォローアップを行うことで、健康意識の向上や生活習慣病等の予防を図った。今後も生活保護受給者の自立のために包括的な支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生活保護扶助事業費 4,041,959,161 円

[扶助費内訳]

区 分	令和3年度			令和4年度		
	世帯	人員	金額	世帯	人員	金額
生活扶助	1,584世帯	1,934人	1,062,914,720円	1,747世帯	2,172人	1,159,840,446円
住宅扶助	1,622	1,959	562,753,988	1,774	2,188	613,374,438
教育扶助	56	99	8,409,310	76	126	10,628,092
介護扶助	452	462	98,480,019	462	474	108,175,399
医療扶助	1,633	1,911	1,902,703,416	1,769	2,092	2,076,664,362
出産扶助	年間1	1	105,600	年間1	1	217,480
生業扶助	33	39	3,552,047	40	45	4,200,383
葬祭扶助	年間65	65	6,961,279	年間85	85	9,855,121
保護施設事務費	月平均7	7	11,802,224	月平均10	10	14,431,917
就労自立給付金	年間10	10	375,025	年間18	18	659,280
進学準備給付金	年間3	3	500,000	年間2	3	900,000
計	—	—	3,658,557,628	—	—	3,998,946,918

※「世帯」、「人員」の実績は当該年度末現在の数値とする。(「出産扶助」、「葬祭扶助」、「保護施設事務費」、「就労自立給付金」及び「進学準備給付金」は除く)

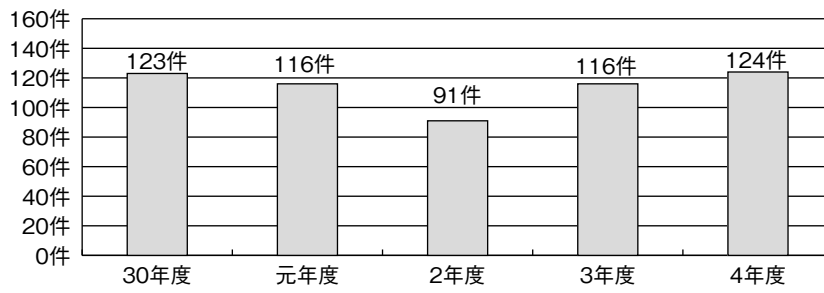
(2) 中国残留邦人生活支援事業費 1,405,937 円

受給世帯数	令和3年度		令和4年度		比較
	1世帯	2人	1世帯	2人	
	1世帯	2人	1世帯	2人	0.0%

[指 標]

指 標 名：自立件数

指標説明：保護廃止世帯数－死亡・失踪による廃止世帯数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 生活困窮者等自立支援費 <生活困窮者に対する包括的な自立支援>	101,934,650	91,586,769	0	0	10,347,881

1 生活困窮者等援護事業費 101,934,650円 (生活福祉課)

[総括]

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活困窮に関する相談件数が依然として高い傾向にある中、相談の内容を丁寧に聞き取り、個々の状況に合わせた制度を案内するなど適切に支援を行った。住まいに関する相談については、住居確保給付金や一時生活支援事業を就労支援と併せて案内し、生活の基盤である住居を確保した上で、安心して就職活動を行うことができるよう支援した。学習・生活支援事業においては、学習支援コーディネーターを2名に増員し、生徒だけでなく、保護者からの相談にも適切に応じることができるよう環境を整えた。また、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金については、対象となる方に案内が行き届くよう郵送でチラシを送付するなど周知に努めた。今後も増加が見込まれる生活困窮者に対し、関係機関と連携して迅速に支援を行っていく。

[実績及び成果]

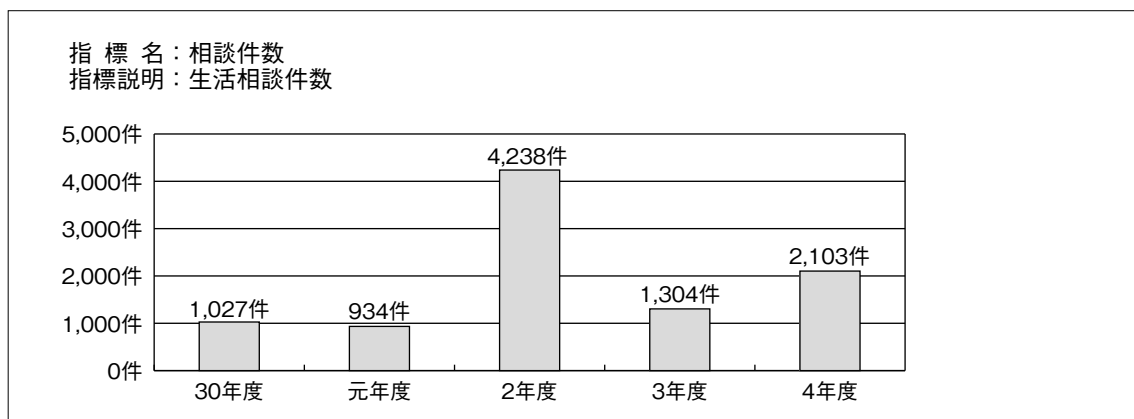
(1) 生活困窮者自立支援事業費 40,217,633円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	人 員	金 額	人 員	金 額
自立相談支援	163人	24,110,024円	165人	23,696,297円
住居確保給付金	74	14,538,640	67	9,966,800
一時生活支援	70	1,455,584	45	1,462,013
学習・生活支援	88	1,584,403	96	1,681,843
就労準備支援	6	2,965,293	5	3,410,680

(2) 旅費欠乏者移送費等事業費 3,045,501円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
移送人数	47人	42人	△10.6%
行旅死亡人	1	3	3.0倍

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4 款 衛 生 費	19,367,789,568	4,612,960,819	59,800,000	1,576,280,156	13,118,748,593
1 項 保 健 衛 生 費	9,781,631,137	4,532,576,569	40,800,000	524,249,181	4,684,005,387
2 目 健 康 づ くり 費 <健康的な暮らしの支援>	466,445,258	10,340,513	40,800,000	34,119,435	381,185,310

1 保健所・保健センター管理運営事業費 254,489,060 円 (健康政策課)

[総括]

保健・医療・福祉の総合拠点「ほいっふ」の中核施設として、こども発達センターや休日夜間急病診療所を含め、PFI事業契約に基づき施設の維持管理・運営を行った。今後も市民の健康と安全を守るため、施設の適正な維持管理・運営に努めるとともに、医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携強化を図りながら、機能の充実と施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

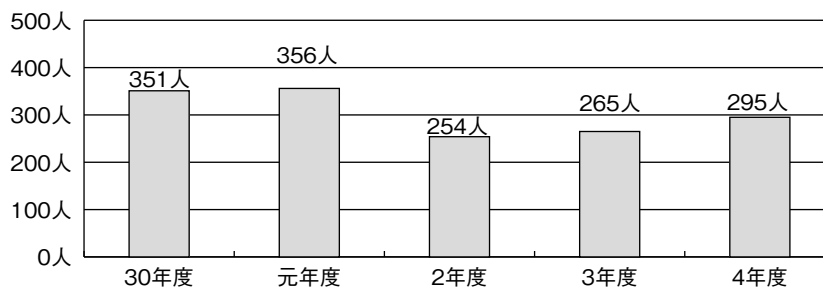
(1) 保健所・保健センター管理運営事業費 254,489,060 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	242日	243日	0.4%
利 用 者 数	延 64,198人	延 71,642人	11.6

[指 標]

指 標 名：保健所・保健センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数/開館日数



2 健幸なまちづくり事業費 14,571,302 円（健康政策課）

[総括]

働き世代の健康づくりを推進するため、民間企業と連携し、ICTを活用した糖尿病予防プログラムや店舗における野菜摂取の啓発を実施した。また、愛知県との共用ウォーキングアプリ「あいち健康プラス」を新たに導入し、スタンプラリー機能を活用したウォーキングイベントを開催したほか、健康の道「二川里山・森林浴コース」のルートを誰もが気軽に歩きやすいルートへ変更し、「二川さくら並木コース」としてアプリ上に表示させることで、楽しみながら健康づくりができる機会を提供した。

さらに、「健康とよはし推進計画（第2次）」の評価、次期計画策定及び今後の事業展開に活用するため、健康づくりに関するアンケートを実施した。

今後も、行政や保険者、企業、教育機関等の様々な機関が連携し、ICTの利活用やナッジ等新しい要素を組み込んだ取組みにより、社会環境を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 健幸なまちづくり推進事業費 1,096,298 円

区 分	令和3年度	令和4年度
豊橋市健康づくり推進プロジェクト講演会	1回 36人	1回 58人
ICTを活用した健幸なまちづくり(糖尿病予防)	—	58

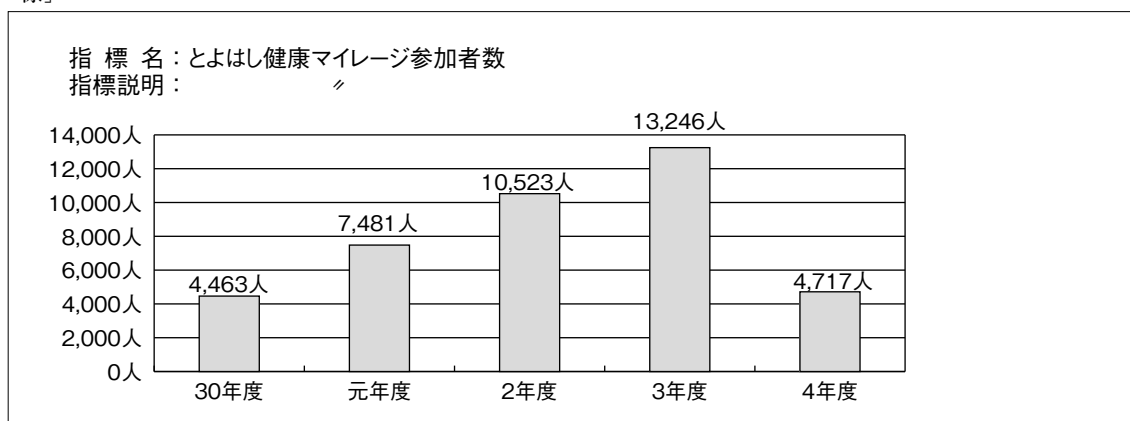
(2) 健康マイレージ推進事業費 12,426,411 円

区 分	令和3年度	令和4年度
とよはし健康マイレージ参加者数	13,246人	4,717人
ウォーキングイベント	2回 1,371	2回 1,226

(3) 健康経営推進事業費 1,048,593 円

区 分	令和3年度	令和4年度
とよはし健康宣言事業所	145事業所	160事業所

[指標]



※令和4年度は、新たに導入したウォーキングアプリ「あいち健康プラス」による参加者数を計上している。

3 健康づくり事業費

1,254,161 円（健康増進課・こども保健課）

[総括]

市民が健康の大切さに気づき、日常生活に健康づくりを取り入れることができるよう、運動プログラムの提供や、とよし健康マイレージアプリを活用した校区対抗のチャレンジマッチのほか、ウォーキングマップの作成等を通じて、地域主体の健康づくり活動の支援、健康に関する啓発などを行った。今後も市民への健康に関する動機づけとなるような取組みを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 学校保健連携事業費

126,865 円

区 分	令和3年度	令和4年度
学校保健委員会参加者数	2,311人	2,984人
訪問授業参加者数	953	1,158
食生活について考えよう受講者数	391	475
赤ちゃんふれあい体験	1校 参加者 82	2校 参加者 186

(2) 地域活動事業費

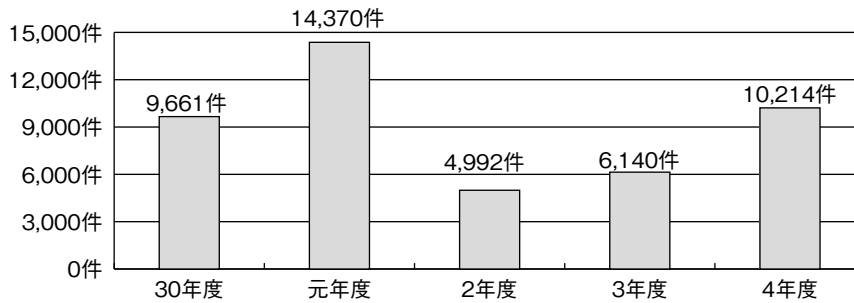
1,127,296 円

区 分	令和3年度	令和4年度
健康な地域づくり事業などの参加者数	2,403人	5,411人
校区対抗ウォーキングチャレンジマッチ(再掲)	14校区 1,103	52校区 3,320

[指標]

指標名：健康づくり事業への参加件数

指標説明：学校保健連携事業参加者数+地域活動事業参加者数



4 余熱利用施設管理運営事業費 193,096,517 円（健康増進課）

[総括]

健康増進と交流促進の場として幅広い市民の利用に供するとともに、省資源・省エネルギーに対する市民意識の向上を促すため、資源化センターの余熱利用施設（りすば豊橋）の維持管理・運営を行った。令和4年10月から新たに選定された指定管理者のもと、今後も施設の適正な維持管理・運営に努め、利用者の増加を図っていく。

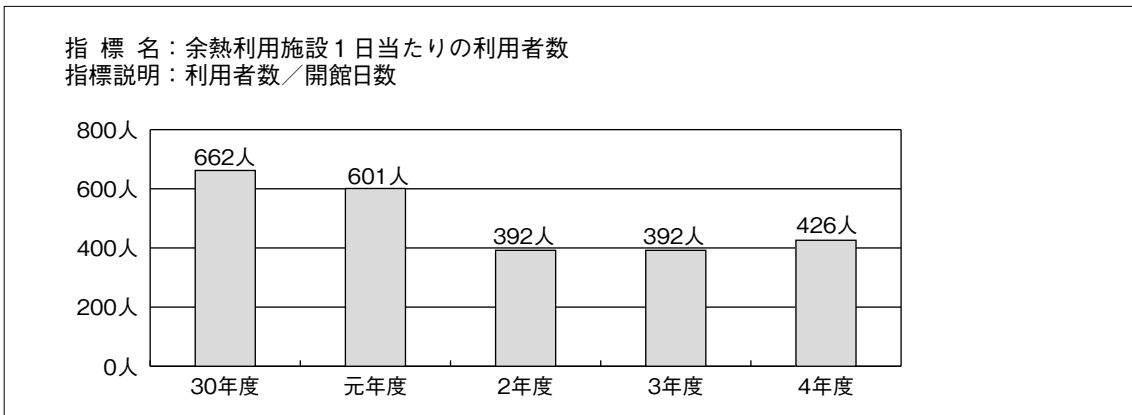
[実績及び成果]

(1) 余熱利用施設管理運営事業費 193,096,517 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度
温 水 プ ー ル	延 43,572人	延 51,349人
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	延 24,119	延 26,401
浴 場	延 47,714	延 45,677
無 料 開 放 ス ペ ー ス	延 625	延 1,290
そ の 他	—	延 394
計	延 116,030	延 125,111
開 館 日 数	296日	294日

[指 標]



5 歯科口腔保健推進事業費 1,903,495 円（健康増進課）

[総括]

「豊橋市歯科口腔保健推進計画」に基づき、オーラルフレイルに関する知識の周知・啓発をはじめ、生涯を通じた歯と口の健康のために定期的な歯科検診の受診とかかりつけ医を持つことを推奨するとともに、口腔保健推進のために歯科医療関係者等に対する情報提供や研修を実施し、資質向上に努めた。今後も関係機関と連携し、市民が生涯にわたり、自分の歯でおいしく食べることができるよう、歯科口腔保健の施策を推進していく。

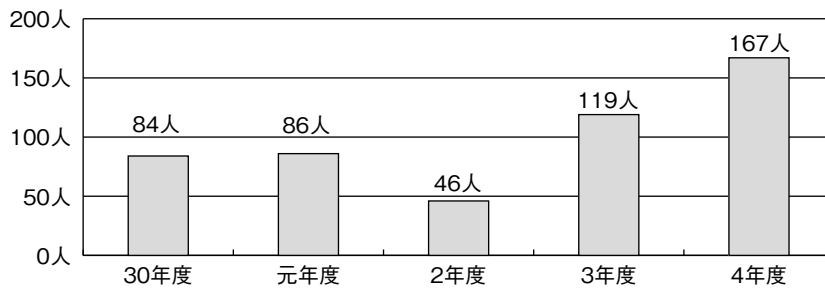
[実績及び成果]

(1) 口腔保健支援センター運営事業費 1,903,495 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	研修会の開催	3回	研修会の開催	3回
運営会議の開催	2	運営会議の開催	2	

[指 標]

指 標 名：豊橋市口腔保健支援センター研修会参加者数
指 標 説 明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 たばこ対策費 <たばこ対策の推進>	338,704	187,000	0	0	151,704

1 たばこ対策事業費 338,704 円 (健康政策課・健康増進課)

[総括]

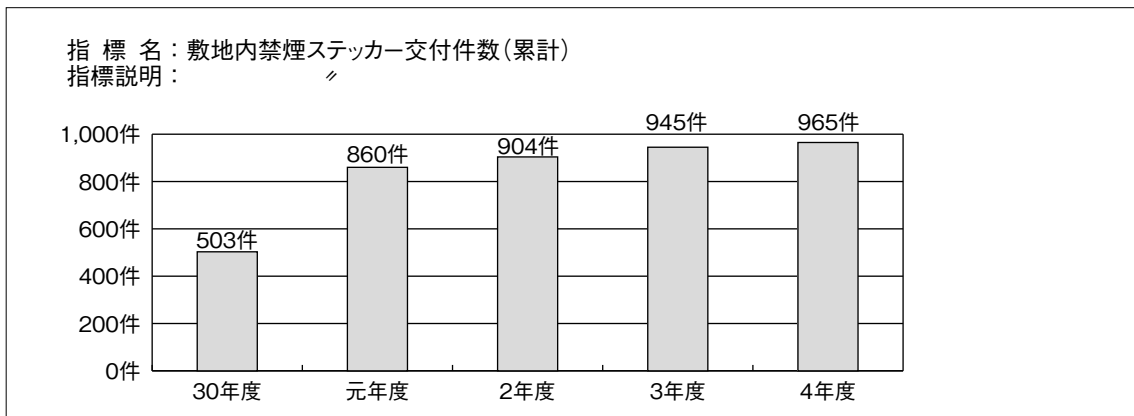
「改正健康増進法」及び「豊橋市受動喫煙防止条例」が令和2年に全面施行されたため、新規開設飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する説明会の実施や、市民及び施設管理者等向けリーフレットなどを作成し、受動喫煙対策に関する知識の普及や啓発に努めた。今後も受動喫煙の防止対策を推進し、望まない受動喫煙が生じない環境づくりをめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 受動喫煙防止対策事業費 160,409 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットやステッカーの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発	新規開設飲食店等へ受動喫煙防止に関する説明の実施 リーフレットや啓発グッズなどの作成、配布 事業所等への受動喫煙に関する啓発

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4日 疾 病 対 策 費 <疾病の予防対策の推進>	352,502,885	16,851,768	0	2,930,225	332,720,892

1 成人保健予防事業費 327,926,416 円 (健康増進課)

[総括]

生活習慣病を早期に発見し、健康寿命の延伸を図るため、各種がん検診と骨粗しょう症検診・歯周病検診等を実施した。集団検診会場において全ての種類のがん検診と特定健康診査を同時受診できる体制を整え、利便性を高めることで受診率の向上に努めた。また、子宮頸がんに関して分かりやすい4コマ漫画を作成したほか、市内大学での子宮頸がん検診の実施や、二十歳の集いにおけるチラシの配布など、若者をはじめとした市民への正しい知識の普及啓発に努めた。今後も検診の体制充実や精度管理に努め、病気の早期発見や生活習慣の改善につなげられるよう、保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 生活習慣病予防事業費 36,415,759 円

区 分	令和3年度	令和4年度
健康診査(生活保護受給者等)	90人	68人
骨粗しょう症検診	1,369	1,625
歯周病検診	2,333	2,325
眼科検診	1,437	1,463
肝炎ウイルス検査	625	575
集団健康教育	—	10コース

(2) がん予防事業費 289,604,144 円

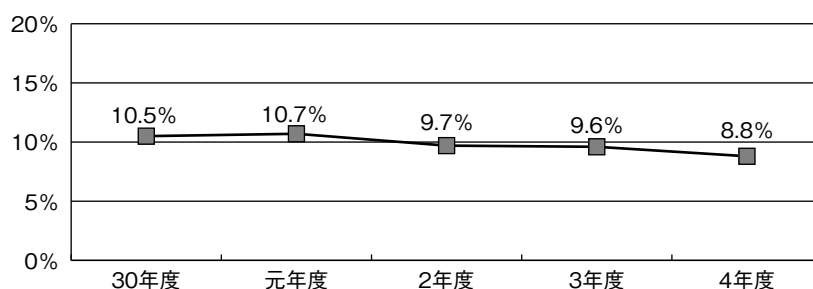
区 分	令和3年度	令和4年度
胃がん検診 (内:胃内視鏡検診)	7,750人 (3,707)	7,479人 (3,913)
大腸がん検診	19,935	19,772
肺検診(結核・肺がん)	22,665	22,623
子宮頸がん検診	8,154	7,706
子宮頸・体がん検診	930	—
乳がん検診	7,969	6,757
前立腺がん検診	1,127	1,075
がんセット検診(再掲)	13日間 965	18日間 4,150

(3) がん患者アピアランスケア支援事業補助金 1,906,513 円

区 分	令和3年度	令和4年度
医療用ウィッグ・乳房補正具 購入費補助金	—	101件

[指 標]

指 標 名：がん検診受診率(肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診分)
 指標説明：がん検診受診者数／検診対象者



2 精神保健対策事業費

1,849,512 円（健康増進課）

[総 括]

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修会や講演会は中止又は縮小したものもあるが、こころの不調で悩んでいる方とその家族が地域で安定した生活を送ることができるように、精神科医師や保健師等の相談は継続して行い、こころの健康の維持増進を図った。また、「豊橋市自殺対策計画」に基づき、SOSの出し方、受け止め方の市民向けの講演会等を実施し、自殺予防対策の周知を行うとともに、ゲートキーパー研修等を実施し自殺対策を支える人材育成を行った。

[実績及び成果]

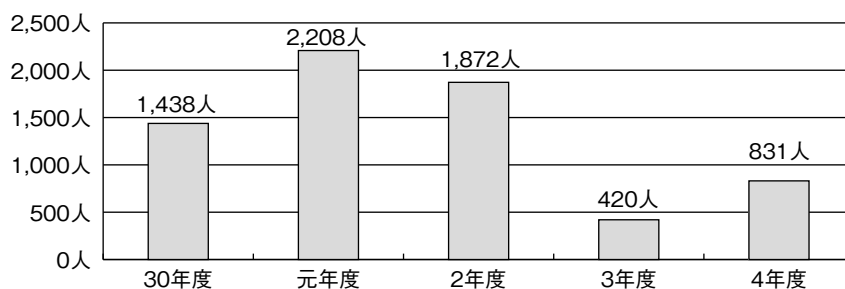
(1) 精神保健対策事業費

1,849,512 円

区 分	令和3年度	令和4年度
研修等を実施した回数	13回	39回
研修等を受けた人数	420人	831人

[指 標]

指 標 名：研修等を受けた人数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 感染症対策費 <感染症対策の推進>	5,390,147,146	3,962,705,097	0	112,705,397	1,314,736,652

1 予防接種事業費 2,999,336,264 円 (健康政策課・感染症対策室)

[総括]

感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の防止による、公衆衛生の向上を図るため、予防接種未接種者への個別通知を行うなど、接種を勧奨し、抗体保有率(接種率)の向上に努めた。HPVワクチンの積極的勧奨が再開となったため、ワクチンの供給・接種体制等を踏まえ、対象者に個別通知を行い、確実な周知に努めた。今後も予防接種法の改正や感染症の動向に的確かつ迅速に対応するとともに、周知を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 予防接種事業費 2,999,336,264 円
 (ア) 予防接種委託料等 1,143,689,379 円

区分	令和3年度		令和4年度	
	接種人員		接種人員	
定期 A類	4種混合	延 10,111人	延 9,596人	
	DPT(3種混合)	延 0	延 0	
	DT2期	2,994	2,853	
	不活化ポリオ	延 5	延 2	
	麻しん・風しん混合	5,577	5,250	
	日本脳炎	延 7,073	延 13,746	
	B C G	2,505	2,442	
	ヒブ	延 10,116	延 9,550	
	小児用肺炎球菌	延 10,096	延 9,565	
	子宮頸がん(定期)	延 1,769	延 1,452	
	子宮頸がん(キャッチアップ)	—	延 1,737	
	水痘	延 4,982	延 4,655	
	B型肝炎	延 7,504	延 7,123	
	風しん(追加対策)	882	349	
	任意 B類	ロタウイルス	延 6,565	延 6,271
インフルエンザ		64,254	67,116	
高齢者用肺炎球菌		2,592	2,329	
任意	おたふくかぜ	4,112	4,814	
	風しん(成人)	492	398	
	麻しん(追加対策)	83	—	

- (イ) 特別の理由による任意予防接種費補助金 57,440 円

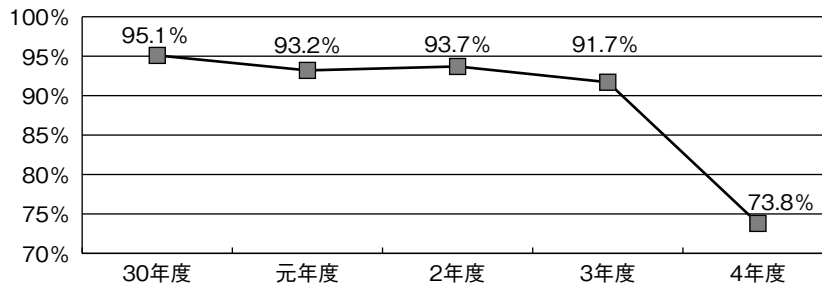
補助金	令和3年度		令和4年度	
		延 4人	44,000円	延 8人

- (ウ) 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1,855,589,445 円

新型コロナウイルス(臨時)	令和3年度		令和4年度	
		延 632,934人		延 387,243人

[指 標]

指 標 名：定期A類(20歳未満)予防接種率
指標説明：接種人員／接種対象者数



※令和4年度は、HPVワクチンの勧奨が再開し、対象者に個別通知を行ったことによる接種対象者数の増加が影響している。また、HPVワクチンのキャッチアップは、4年度から3年間の時限的措置のため含まれていない。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 母子保健推進費 ＜母子保健の推進＞	871,713,361	380,357,218	0	900,000	490,456,143

1 母子保健対策事業費 488,623,509 円 (こども保健課)

[総括]

産前・産後の心身の負担軽減のため、産後ケア事業、産前・産後サポート事業、多胎妊産婦サポーター事業などを実施した。また、保健事業を推進する新たな計画策定に向けて、「豊橋市母子保健推進計画 (第2次)」最終評価のために市民へアンケート調査を実施した。

今後も、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子保健事業の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 妊産婦保健事業費 324,262,580 円

区 分		令和3年度	令和4年度
母子健康手帳の交付		2,677冊	2,624冊
妊婦健康診査		延30,863人	延29,133人
妊産婦歯科健康診査		1,311	1,229
産婦健康診査		延 4,913	延 4,740
性と健康の相談センター事業		14回 延 2,419	16回 延 2,493
不妊・不育専門相談		延 51件	延 76件
産前・産後 サポート事業	パートナー型	延 421人	延 548人
	参加型	9回 延 64件	16回 延 100件
多胎妊産婦サポーター事業		延 0回	延 33回
妊娠・出産・子育て総合相談窓口		延 3,231件	延 3,139件
産後ケア事業		延 968日	延 996日

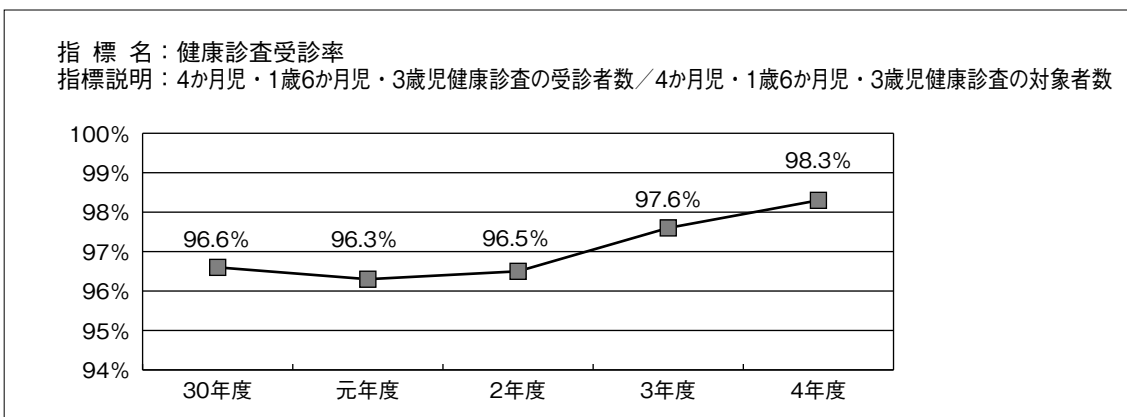
(2) 乳幼児保健事業費 119,588,149 円

区 分		令和3年度	令和4年度
乳児健康診査		延 4,853人	延 4,668人
新生児聴覚検査		2,210	2,129
4か月児健康診査		44回 2,494	40回 2,388
1歳6か月児健康診査		44 2,657	43 2,520
3歳児健康診査		45 3,164	45 3,100
2歳児歯科健康診査		1,574	1,353
未熟児・ハイリスク児等訪問指導		延 3,809	延 4,065
養育支援訪問指導		延 1,518	延 1,210
乳児家庭全戸訪問指導		1,742件	1,832件
乳幼児健康診査事後相談		45回 延 641	43回 延 562
乳幼児健康診査事後教室		33 延 369	40 延 485
離乳食講習会		47 延 388人	45 延 378人

(3) 不妊不育対策事業費 44,772,780 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
特定不妊治療費補助金	延 657件	164,112,023円	延 214件	43,114,681円
一般不妊治療費補助金	延 150	3,569,928	延 33	308,880
不育症検査費補助金	延 1	50,000	延 1	50,000

[指 標]



※分母を、令和2年度以前は年度当初の対象者数、3年度以降は当該月の対象者数の合計とする。

2 出産・子育て応援交付金交付事業費 256,451,626 円(こども保健課・子育て支援課)

[総 括]

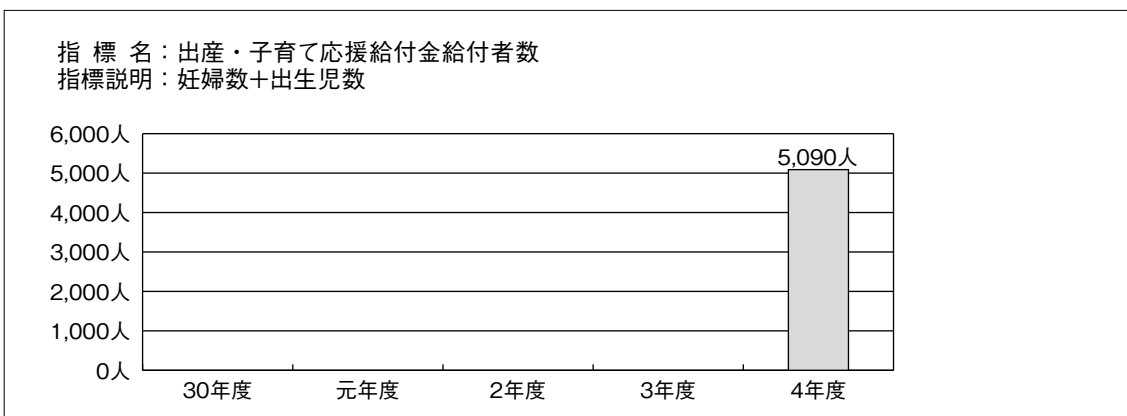
全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるように、これまでの相談や家庭訪問による支援に加え、出産・子育て応援給付金の給付を開始し、妊婦及び低年齢期の子育て世帯への経済的支援を一体的に実施した。

[実績及び成果]

(1) 出産・子育て応援交付金交付事業費 256,451,626 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
出産・子育て応援給付金	—	延 5,090人

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 保健医療体制費 <保健医療体制の充実>	776,527,371	92,802,000	0	204,128,826	479,596,545

1 看護専門学校事業費 302,019,225 円 (健康政策課)

[総括]

地域医療サービスを推進するため、看護師の養成を目的に学習環境の充実に努めた。コロナ禍において触診・聴診などの身体的接触を制限される中、学内実習において活用できるよう、臨床判断応力の育成のためのハイブリッドシミュレータを前年に引き続き新規に1台導入するとともに、手技育成のためのフィジカルアセスメントモデルを2台導入したほか、呼吸管理の基本である気管内吸引法を学習するため、吸引シミュレータを5台導入した。また、年度末には環境整備のため、教室棟の冷暖房を担う吸気式冷温水発生機を更新した。今後も地域医療の推進のため、看護師資格取得者数の増加をめざす。

[実績及び成果]

(1) 看護専門学校管理運営事業費 80,377,314 円

[運営状況]

区 分		令和3年度	令和4年度
看護第1科	学 生 数	116人 (定員120人)	116人 (定員120人)
	課 程	3年課程全日制	3年課程全日制
	修 業 年 限	3年	3年
看護第2科	学 生 数	118人 (定員120人)	121人 (定員120人)
	課 程	2年課程定時制	2年課程定時制
	修 業 年 限	3年	3年

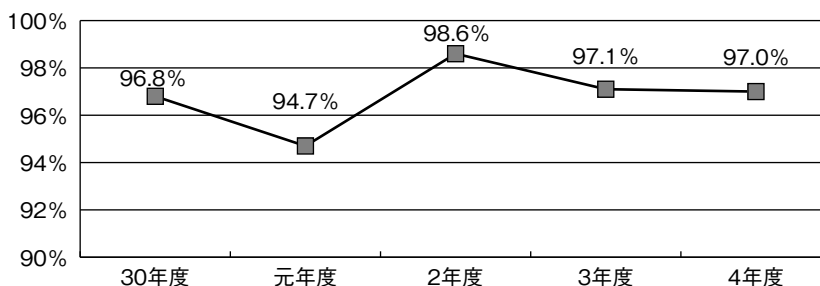
(ア) 非常勤講師報酬 4,153,500 円

(イ) 管理運営費 76,223,814 円

[指 標]

指 標 名：看護師国家試験合格率

指標説明：資格取得者数／看護第1科・看護第2科の受験者数



2 地域医療対策事業費

65,214,800 円（健康政策課・感染症対策室）

[総括]

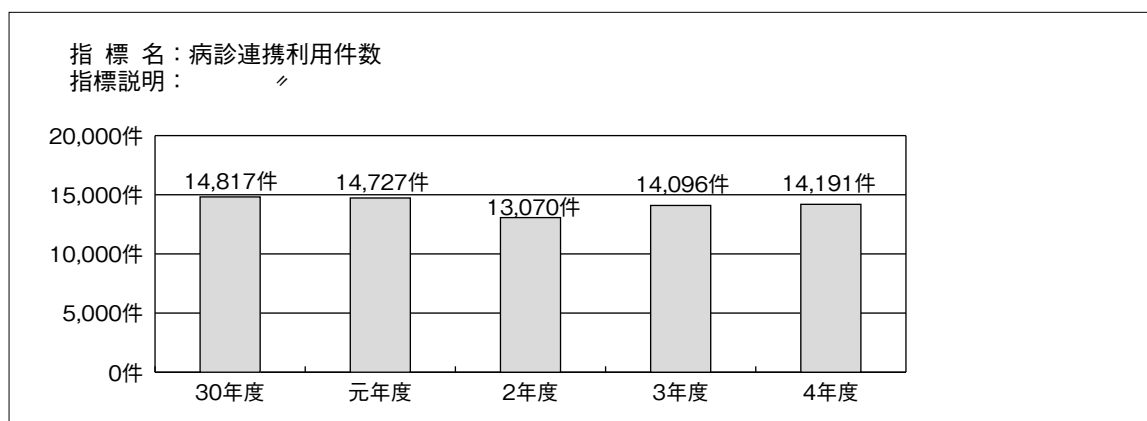
病院と診療所の機能分担を考慮した迅速かつ適切な医療サービスの提供を図るため、医師会の事業に対し助成を行った。今後も医師会と基幹病院との連携を深め地域医療体制の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 地域医療対策事業補助金 3,000,000 円

補助金	令和3年度	令和4年度
	3,000,000 円	3,000,000 円

[指標]



3 休日夜間診療対策事業費

403,315,511 円（健康政策課）

[総括]

第1次救急医療として、休日夜間急病診療所及び、休日夜間・障害者歯科診療所で初期医療等に対応するとともに、医師会等に助成することにより在宅輪番による緊急医制度を実施した。また、第2次救急医療として、東三河平坦部（4市）の病院群輪番により重症患者を受け入れた。さらに、休日・夜間における急病等に対応できるよう救急医療情報の照会、医療の確保に努めた。今後も第1次及び第2次救急医療体制を確保するため、医療機関との連携強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 休日夜間急病診療所管理運営事業費 320,427,942 円

[診療状況]

区分		令和3年度	令和4年度
患者数		7,806人	9,417人
内訳	内科	3,534	4,234
	小児科	4,272	5,183

〔時間帯別診療状況〕

区 分		令和3年度	令和4年度
昼 (休日)	診 療 日 数	71日	71日
	患 者 数	3,088人	3,913人
	1日当たりの患者数	43	55
夜 (毎日)	診 療 日 数	365日	365日
	患 者 数	4,718人	5,504人
	1日当たりの患者数	13	15

(ア) 指定管理料 319,573,407円

(イ) 施設管理費 854,535円

(2) 休日夜間・障害者歯科診療所管理運営事業費 36,021,749円

〔診療状況〕

区 分		令和3年度	令和4年度
休日・夜間	診 療 日 数	365日	365日
	患 者 数	1,017人	907人
	1日当たりの患者数	3	2
障害者	診 療 日 数	49日	47日
	患 者 数	387人	389人
	1日当たりの患者数	8	8

(ア) 指定管理料 36,021,749円

(3) 休日夜間診療対策事業費 9,172,800円

(ア) 休日夜間診療対策推進費補助金 9,127,800円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	患者数	補助金	患者数	補助金
医 師 会	14,757人	9,275,540円	15,953人	8,989,800円
柔 道 整 復 師 会	146	138,000	145	138,000
計	14,903	9,413,540	16,098	9,127,800

(イ) 休日夜間診療対策事務費 45,000円

(4) 愛知県救急医療情報システム運営事業費 136,480円

運 営 費 負 担 金	令和3年度	令和4年度
	106,120円	136,480円

(5) 救急医療第2次病院運営事業費 37,474,980円

〔救急医療第2次病院の診療状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度
医 療 機 関 数	7機関	7機関
回 数	437回	437回
患 者 数	3,639人	3,915人
1回当たりの患者数	8	9

(6) 適正受診普及啓発事業費

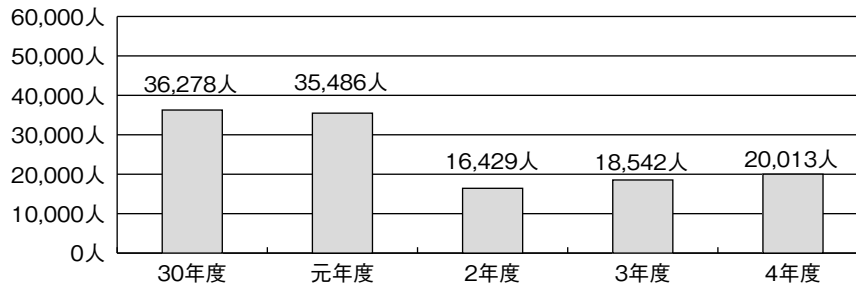
81,560 円

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
	啓発グッズ (小児救急ガイドブック) の作成及び配布	啓発グッズ (小児救急ガイドブック (ポルトガル語版)) の作成及び配布

[指 標]

指 標 名：第 1 次・第 2 次救急医療利用者数

指標説明：第 1 次救急医療患者数 + 第 2 次救急医療患者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 災害時医療体制費 <災害時医療体制の充実>	2,441,728	0	0	0	2,441,728

1 医療救護活動事業費 2,441,728円 (健康政策課)

[総括]

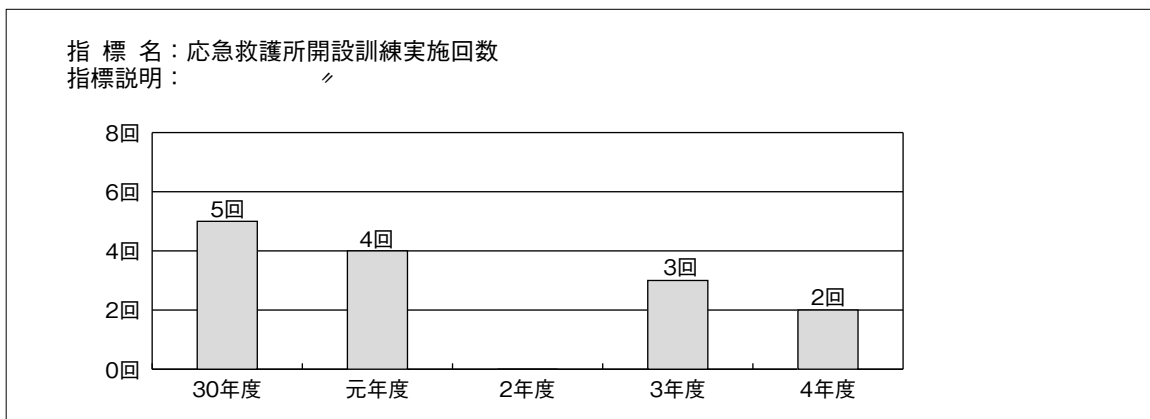
大規模災害時に迅速な医療救護活動を行うため、医師会、歯科医師会及び薬剤師会の三師会をはじめとした関係機関との連携・協力のもと、住民参加の応急救護所開設訓練を実施した。また、応急救護所の迅速な開設に向けて開設ルールを見直した。さらに、まちづくり出前講座を開催し、災害時の医療体制について啓発を行った。今後も保健所を拠点とする臨時救護基幹センターの体制整備を行い、大規模災害時の初動体制についてより実効性を高めるよう努めていく。

[実績及び成果]

(1) 医療救護活動事業費 2,441,728円

内 容	令和3年度	令和4年度
	応急救護所開設訓練の実施 3回 ※新型コロナの影響により自治会 主体の縮小した内容で実施 LINEWORKSを活用 保健医療衛生班の活動体制の整備 まちづくり出前講座の開催 7回	応急救護所開設訓練の実施 2回 防災訓練等での応急救護所啓発 5回 LINEWORKSを訓練で活用 臨時救護基幹センター運営訓練の実施 1回 まちづくり出前講座の開催 11回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 環境衛生対策費 <環境衛生対策の推進>	10,071,312	120,000	0	0	9,951,312

1 環境衛生指導事業費 3,605,312 円 (生活衛生課)

[総括]

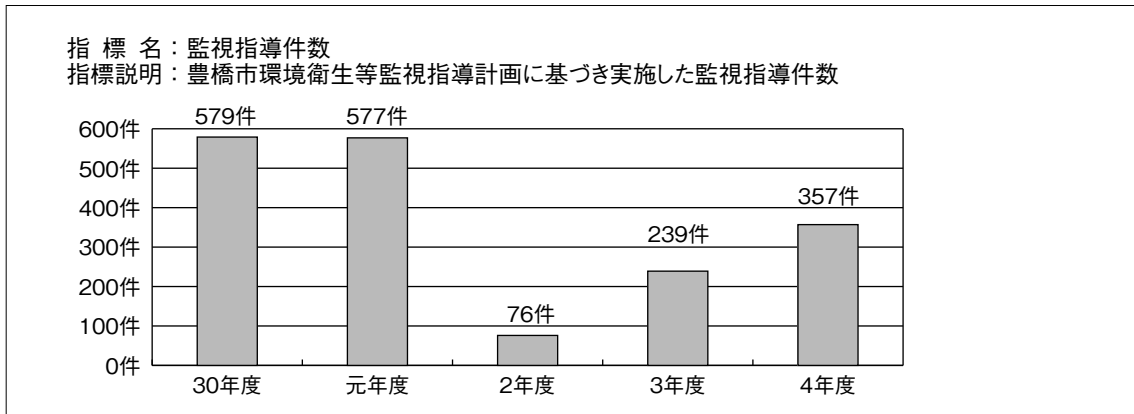
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた環境衛生施設に対する立入検査を再開し、可能な限り実施した。また、集客施設における新型コロナウイルス対策として、空気環境測定や換気指導を行う「換気の見える化事業」を実施した。今後も、「豊橋市環境衛生等監視指導計画」に基づく監視指導を実施し、環境衛生施設の衛生水準の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 営業施設等指導事業費 3,605,312 円

区 分	令和3年度	令和4年度
監視指導件数	239件	357件

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 斎 場 費 ＜斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理＞	259,208,629	121,000	0	39,104,690	219,982,939

1 斎場事業費 259,208,629円 (福祉政策課)

[総括]

PFI手法により整備した斎場において、指定管理者のノウハウ等を活用し円滑な運営を行った。今後も火葬需要が増加しても、利便性が低下しないよう円滑な運営を行っていく。

[実績及び成果]

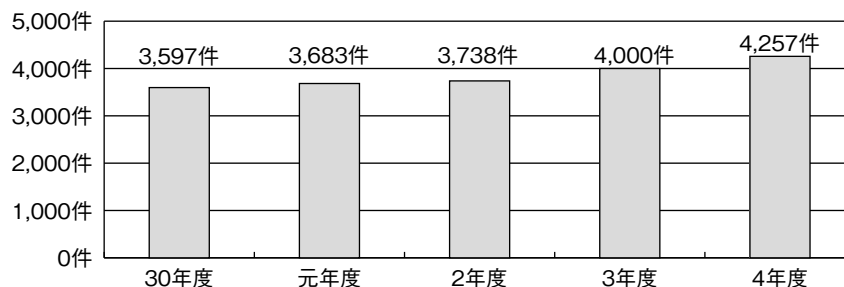
(1) 斎場管理運営事業費 259,208,629円

[斎場使用状況]

区 分		令和3年度	令和4年度
火 葬	大 人	3,994体	4,248体
	小 人	6	9
	計	4,000	4,257
	死 産 児	37	46
	愛 玩 動 物	1,782件	1,837件
多 目 的 室	1	2	
遺 体 安 置 室	29	56	

[指標]

指標名：斎場火葬件数
指標説明：大人及び小人の火葬件数の合計



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11日 墓 苑 費 〈斎場の円滑な運営並びに墓地の適切な管理〉	37,780,700	0	0	28,408	37,752,292

1 墓苑事業費 37,780,700円 (福祉政策課)

[総括]

向山霊苑をはじめ市営墓地5か所の適正な維持管理を行った。今後も墓地需要の把握と、利用者が快適に使用できるよう墓地の適正な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

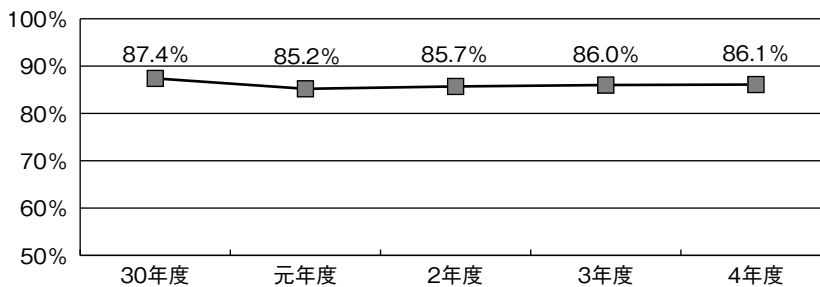
(1) 市営墓地管理運営事業費 (墓地区画数 12,426 区画) 37,780,700円

[墓地使用許可状況]

区 分		令和3年度	令和4年度
向山霊苑	普通墓地(再貸出)	26区画	15区画
梅田川霊苑	普通墓地	26	31
飯村墓地	普通墓地(再貸出)	23	28
	修景墓地(再貸出)	0	1
	納骨堂	1年許可	24室
3年許可		22	16
野依台墓地	普通墓地(再貸出)	3区画	0区画
東細谷墓地	普通墓地(再貸出)	1	2

[指標]

指標名：墓地貸出率
指標説明：貸出済数/全体区画数



※令和元年度に返還区画の再整備を実施したため、91区画増加

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12目 動物愛護管理推進費 <動物愛護管理の推進>	40,202,677	0	0	103,000	40,099,677

1 動物管理指導事業費 32,471,534 円 (生活衛生課)

[総括]

人と動物が共生する住みよいまちの実現のため、「豊橋市動物愛護管理推進計画」に基づき、動物の愛護及び管理に対する理解や適正飼養などの推進を図った。令和4年度は、飼い主のいない猫による生活環境の悪化を抑制するため、地域猫不妊去勢手術費補助金の補助頭数を増加するなど支援を拡充するとともに、本活動に対する理解を深めるために、自治会長や市民向けに広報紙やリーフレットを活用するなど周知に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた動物愛護週間のイベントを再開し、動物に対する市民の理解と関心を深めることに努めた。

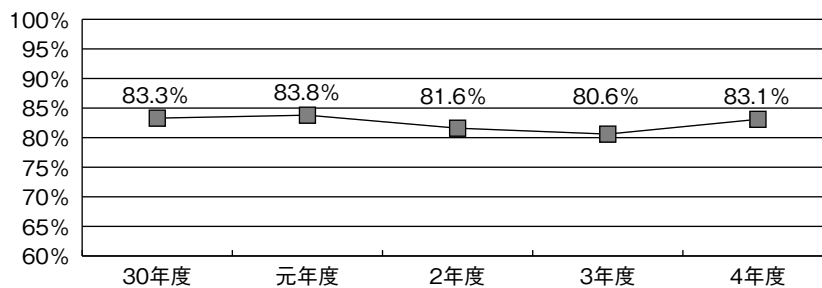
[実績及び成果]

(1) 動物管理指導事業費 32,471,534 円

区 分		令和3年度	令和4年度
犬 登 録 頭 数		23,432頭	23,102頭
狂犬病予防注射実施頭数	集合注射	1,313	1,306
	診療施設	17,581	17,899
	計	18,894	19,205
狂犬病予防注射実施率		80.6%	83.1%
地域猫不妊去勢手術補助金		184頭 1,445,000円	231頭 2,921,500円
譲 渡 率	犬	35.7%	82.4%
	猫	40.5	51.0
動物愛護講習等への参加者数		895人	1,002人

[指 標]

指 標 名：狂犬病予防注射実施率
 指標説明：狂犬病予防注射実施頭数 / 犬登録頭数



2 動物愛護センター（仮称）整備事業費 7,731,143 円（生活衛生課）

[総括]

令和4年度は、「豊橋市動物愛護センター（仮称）基本計画」に基づき、計画地や主要機能、施設・設備の内容、規模などを明らかにするため、「豊橋市動物愛護センター（仮称）整備基本計画」を策定するとともに、計画地の測量を行った。

[実績及び成果]

(1) 動物愛護センター（仮称）整備事業費 7,731,143 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	・豊橋市動物愛護センター（仮称）基本計画の策定 ・先進自治体センターの現地調査	・豊橋市動物愛護センター（仮称）整備基本計画の策定 ・計画地の測量 ・先進自治体センターの現地調査

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13目 食品安全対策費 <食品の安全対策の強化>	47,665,878	422,000	0	0	47,243,878

1 食品衛生指導事業費 13,076,861 円 (生活衛生課)

[総括]

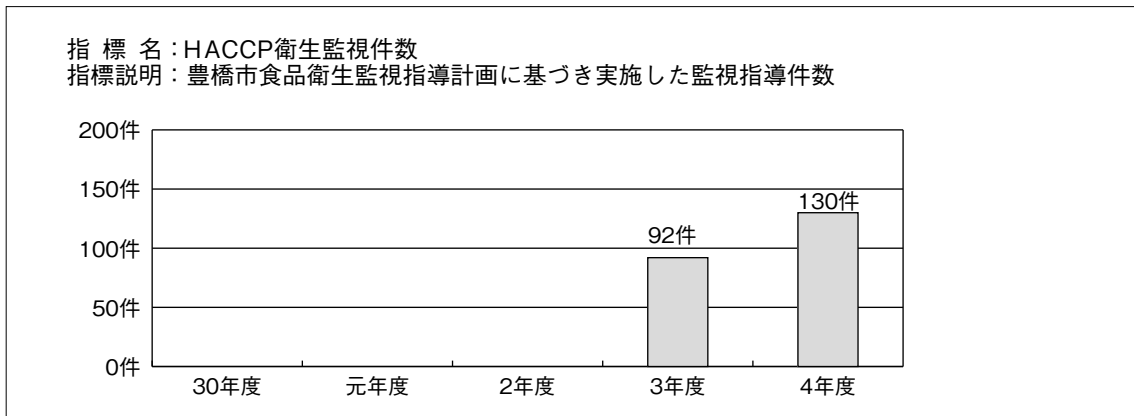
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた食品等取扱施設に対する立入検査を再開し、可能な限り実施した。また、豊橋市ええじゃないかHACCP推進事業の継続実施により事業者の自主衛生管理を支援し、食中毒や異物混入等の食品事故防止を図った。今後も、「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づき、食品衛生の確保に努める。

[実績及び成果]

(1) 食品衛生指導事業費 13,076,861 円

区 分		令和3年度	令和4年度
監視指導件数		2,893件	3,153件
H A C C P 衛 生 監 視 件 数		92	130
豊橋市ええじゃないか H A C C P 推 進 事 業	相談窓口対応施設数	13施設	3施設
	導入確認施設数	8	2

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14目 食肉検査費 <食品の安全対策の強化>	182,510,011	528,000	0	88,513,590	93,468,421

1 食肉衛生検査指導事業費 171,194,684 円 (食肉衛生検査所)

[総括]

株式会社東三河食肉流通センターに搬入される獣畜のと畜検査、食肉中の残留動物用医薬品等検査を実施した。と畜検査情報は、健康な家畜生産のため、生産現場へ還元した。

また、令和3年6月より、HACCPに沿った衛生管理が義務化されたことに伴い、微生物試験や監視によりと畜場の衛生管理状況を検証し、その結果に応じ改善指導した。

今後も検査体制の充実を図るとともに、衛生管理状況の監視指導を継続することで、と畜場の衛生水準を高め、市民が安心して消費することができる安全で衛生的な食肉の供給を図る。

[実績及び成果]

(1) 食肉安全管理事業費 50,591,536 円

区 分		令和3年度	令和4年度	
と畜検査	検査頭数	207,905頭	213,061頭	
	内訳	牛	7,628	7,820
		馬	0	0
		豚	200,275	205,238
		めん羊	1	0
山羊		1	3	
残留動物用医薬品等検査	検査件数	13,632件	14,649件	

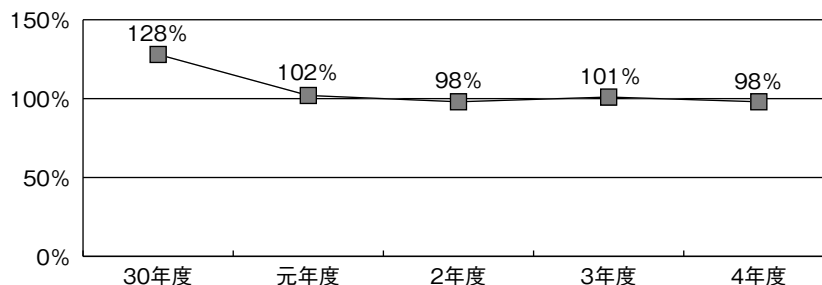
(2) と畜場衛生指導事業費 2,080,804 円

区 分	令和3年度	令和4年度
微生物試験件数	240件	240件
監視回数	244回	243回

[指標]

指標名：「豊橋市食品衛生監視指導計画」達成率(食肉衛生検査所分)

指標説明：「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく監視等の実施件数/同計画件数(食肉衛生検査所分)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 環 境 費	6,644,862,187	80,384,250	19,000,000	1,052,030,975	5,493,446,962
2目 低炭素型社会促進費 <低炭素型社会の促進>	21,104,016	87,000	0	0	21,017,016

1 低炭素型社会推進事業費 4,854,016 円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

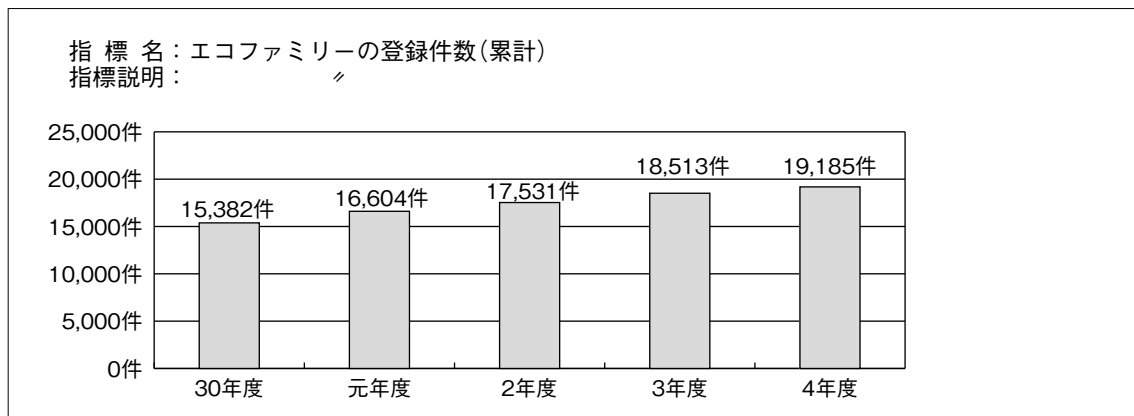
ゼロカーボンシティの実現に向け、市民の理解度の向上を図るため、次世代自動車の展示等を活用したイベントを開催したほか、Instagramを活用した分かりやすい情報発信を行った。また、省エネルギー対策として公共施設に緑のカーテンを設置し、市民や事業者への啓発を行った。今後も効果的かつ市民・事業者が取り組みやすい節電・省エネ対策の啓発を行い、ゼロカーボンの推進を図っていく。

[実績及び成果]

区 分	令和3年度	令和4年度
エコファミリー登録件数	982件	672件
公共施設における緑のカーテンの設置箇所数	125施設	125施設

- (1) 低炭素型社会管理事務費 232,395 円
- (2) 低炭素型社会活動事業費 4,621,621 円

[指 標]



2 次世代自動車等普及促進事業費 16,250,000 円（ゼロカーボンシティ推進課）

[総括]

化石燃料の消費を抑制し、自動車からの温室効果ガスの排出量を削減するため、市民・事業者が購入する次世代自動車等（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車など）の購入費用の一部助成を行った。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら、次世代自動車等の普及促進を図っていく。

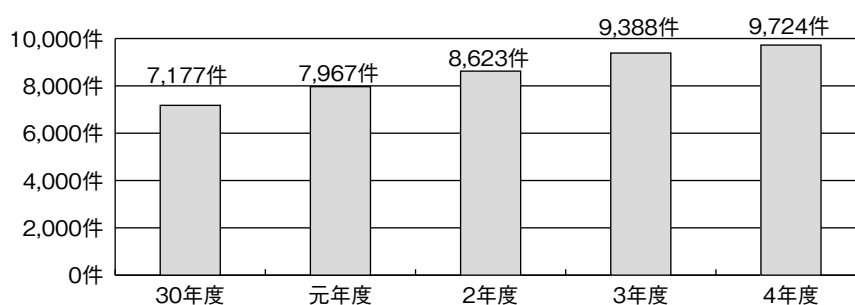
[実績及び成果]

(1) 次世代自動車購入等補助金 16,250,000 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
電 気 自 動 車	33件	1,980,000円	182件	10,920,000円
プラグインハイブリッド自動車	58	1,740,000	96	2,880,000
燃 料 電 池 自 動 車	9	1,800,000	6	1,200,000
住 宅 用 充 給 電 設 備	4	200,000	7	350,000
外部給電装置同時購入加算	0	0	0	0
太陽光発電設備設置済み加算	8	160,000	41	820,000
電 動 バ イ ク	3	60,000	4	80,000
電動アシスト自転車	650	5,200,000	—	

[指 標]

指 標 名：電気自動車、電動バイク、電動アシスト自転車購入等への助成件数(累計)
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 再生可能エネルギー利用促進費 <再生可能エネルギーの利用促進>	56,067,913	8,888,000	0	1,300,000	45,879,913

1 再生可能エネルギー活用推進事業費 7,746,913円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

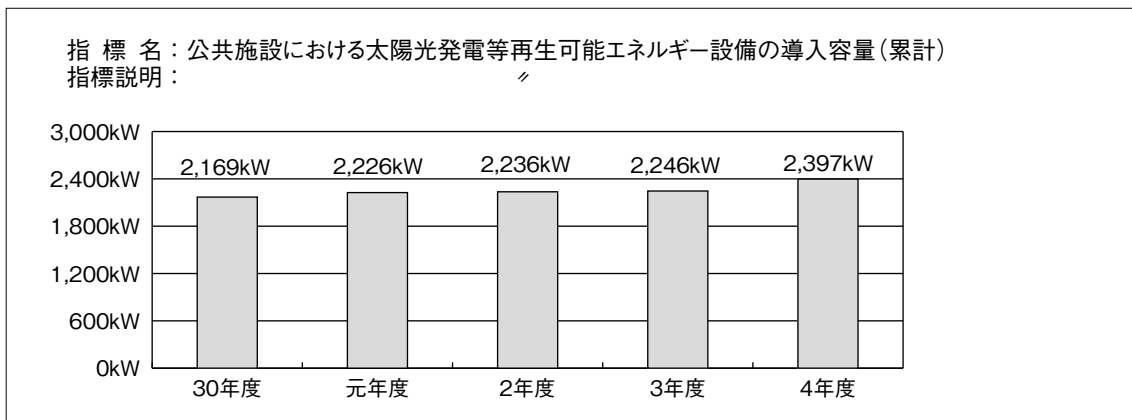
温室効果ガスの排出削減に寄与する再生可能エネルギーの導入促進や効率的な利用を推進するため、市内事業者を対象にアンケート調査を行い、調査結果を踏まえたセミナーを開催し、ゼロカーボンへの意識の醸成を図った。また、公共施設における民設・民営の太陽光パネル設置（P P A事業）を実施し、市民館等避難所への電力供給を開始したほか、新たに公共施設の駐車場等を活用した大規模施設での事業の公募を実施した。今後も再生可能エネルギーの活用及びエネルギーの地産地消を推進していくため、公共施設への再生可能エネルギーの導入のほか、市民・事業者に対するより効果的な普及啓発に取り組んでいく。

[実績及び成果]

- (1) 再生可能エネルギー活用推進事業費 7,378,593円
- (2) エネルギー地産地消推進事業費 368,320円

区 分		令和3年度	令和4年度
太陽光発電等再生可能エネルギー設備を導入した公共施設	施設数	1施設	16施設
	導入容量	10kW	151kW

[指 標]



2 再生可能エネルギー導入促進事業費 48,321,000 円（ゼロカーボンシティ推進課）

[総括]

住宅や事業所からの温室効果ガスの排出量を削減するため、住宅への創エネ・蓄エネ・省エネ設備の導入に対し設置費用の一部助成を行ったほか、新たに事業者が自家消費を目的として導入する太陽光発電設備等の設置費用の一部助成を開始した。今後も国・県の動向や社会情勢を勘案しながら、再生可能エネルギーの普及促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 家庭用エネルギー設備等導入費補助金 46,580,000 円

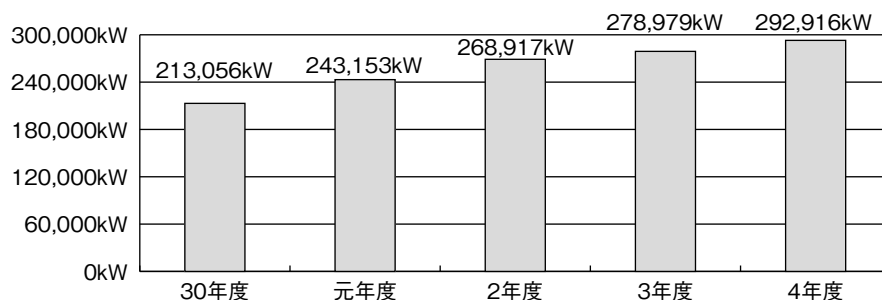
区 分	令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額
太陽光発電設備	59件	2,652,000円	78件	3,623,000円
燃料電池	115	4,600,000	143	5,720,000
リチウムイオン蓄電池	202	12,697,000	249	15,426,000
太陽光発電設備パワーコンディショナー	—	—	40	1,961,000
ペレットストーブ	1	30,000	—	—
太陽熱利用設備	16	340,000	15	310,000
地中熱利用設備	5	500,000	3	300,000
ネットゼロエネルギーハウス(ZEH)	48	7,680,000	52	8,320,000
一体的導入	77	9,240,000	91	10,920,000

(2) 市内事業者太陽光発電設備等導入費補助金 1,741,000 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額
太陽光発電設備	—	—	3件	1,359,000円
蓄電池	—	—	4	382,000

[指標]

指標名：再生可能エネルギー設置導入容量(累計)
 指標説明：再生可能エネルギー設備(太陽光、風力、水力、バイオマス)の導入容量の合計 kW(累計)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 気候変動適応策推進費 <気候変動への適応策の推進>	1,148,900	0	0	0	1,148,900

1 気候変動適応策推進事業費 1,148,900円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

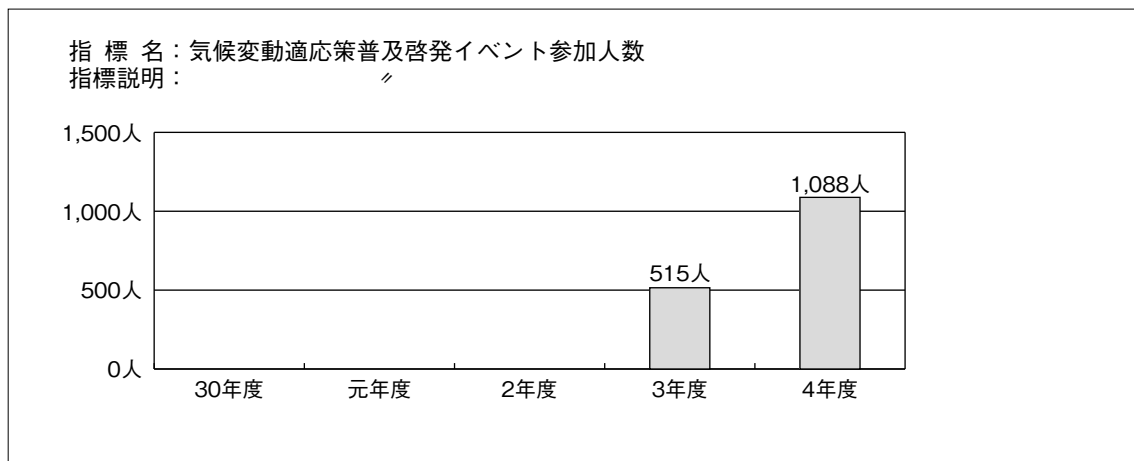
気候変動による環境への影響に関心を持ち理解を深めるため、「とよはし版クールチョイス」による普及啓発をはじめ、市民が気軽に足を運べる公共施設において、家庭でできる地球温暖化に対する緩和策や適応策の実践事例等を紹介した啓発用パネルを活用したイベントを開催した。今後も市民・事業者への「気候変動への適応」に関する理解度を深めるため、イベント等を通じてより分かりやすく行動変容につながる普及啓発を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 気候変動適応策推進事業費 1,148,900円

区 分	令和3年度	令和4年度
参 加 人 数	515人	1,088人
開 催 回 数	2回	2回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 生物多様性保全費 <生物多様性の保全>	3,998,414	0	0	100,000	3,898,414

1 自然環境保全対策事業費 3,998,414 円 (環境保全課)

[総括]

「第3次豊橋市環境基本計画」(豊橋市生物多様性地域戦略)に基づき、表浜海岸に上陸・産卵するアカウミガメの実態調査並びにトンボ、メダカ及び希少植物のモニタリング調査等を実施するとともに、ボランティア等とも連携し、表浜自然観察会の開催、自然環境啓発冊子の頒布、並びにアカウミガメ保護啓発用ポスター及び動画の制作と掲示・上映を実施したほか、アルゼンチンアリに加えて、アカミミガメの駆除活動を行った。汐川干潟の保全に関しては、田原市と連絡会や自然観察会を開催したほか、地元中学校・自然保護団体などとともに汐川干潟の保全実践活動を実施した。今後も、自然環境及び生物多様性の保全に努めていく。

[実績及び成果]

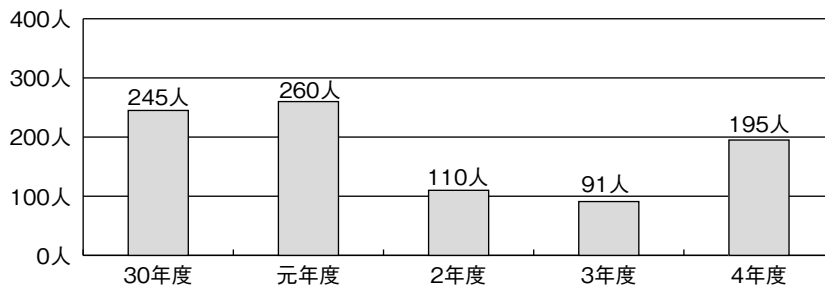
(1) 自然環境保全推進事業費 3,998,414 円

区 分	令和3年度	令和4年度
アカウミガメ実態調査	上陸期間 6.15～8.22 上陸回数 16回 産卵巣数(産卵成功率) 8巣(50%)	上陸期間 5.26～8.9 上陸回数 37回 産卵巣数(産卵成功率) 19巣(51%)
アカウミガメ保護啓発イベント	・表浜自然観察会 開催1回 参加者数 42名 ・530のまち環境フェスタ 開催1回 参加者数 1,200名	・表浜自然観察会 開催2回 参加者数 96名 ・竜宮探検 開催1回 参加者数 6名 ・530のまち環境フェスタ 開催1回 参加者数 1,230名
生態系ネットワークづくり懇話会	開催2回	開催3回
有害鳥獣捕獲許可	135件	111件
愛がん飼養登録	0	0
汐川干潟自然観察会	開催1回 参加者数 49人	開催2回 参加者数 93人
汐川干潟保全連絡会	2回(うち、1回は書面開催)	1回
汐川干潟保全実践活動	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート	地元の中学校や保護団体との協働による干潟保全実践活動及び連携サポート
自然環境啓発等	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び懸垂幕掲示	自然環境啓発冊子頒布、環境月間パネル展示及び訪問授業の開催
外来種駆除対策	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除	アルゼンチンアリ調査・薬剤駆除、アカミミガメ駆除

[指 標]

指 標 名：自然環境保全啓発活動参加者数

指標説明：汐川干潟自然観察会参加者数＋表浜自然観察会参加者数＋竜宮探検参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 環境対策費 <大気・水環境の保全>	142,872,180	55,175,000	0	580,000	87,117,180

1 発生源対策推進事業費 7,166,217円 (環境保全課)

[総括]

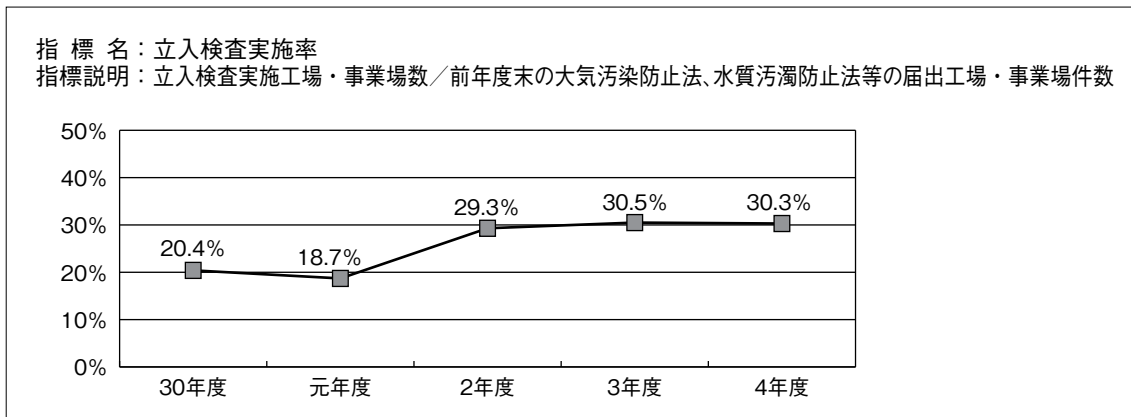
大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に基づく規制対象工場・事業場に対し立入検査を実施し、規制基準の遵守状況の確認と基準超過の工場・事業場への指導を行った。今後も工場・事業場に対し、規制基準を遵守するよう指導・啓発を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 事業場監視指導事業費 7,166,217円

区 分	令和3年度		令和4年度	
立 入 件 数	大気関係	109件	大気関係	84件
	悪臭関係	29	悪臭関係	22
	騒音・振動関係	45	騒音・振動関係	48
	水質関係	225	水質関係	229
	土壌関係	7	土壌関係	8

[指 標]



2 環境調査事業費

51,494,045 円（環境保全課）

〔総括〕

生活環境の保全と健康の保護を図るため、環境汚染物質の調査測定を実施した。今後も複雑、多様化する環境汚染物質への対応を図るとともに、環境監視体制を精査し、効率的かつ効果的な調査測定に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 大気環境調査事業費

26,023,753 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
大気汚染常時監視測定	今橋町 始め6か所	二酸化硫黄(3か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(6か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(6か所)、微小粒子状物質(5か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等	今橋町 始め5か所	二酸化硫黄(2か所)、二酸化窒素(5か所)、浮遊粒子状物質(4か所)、光化学オキシダント(5か所)、一酸化炭素(1か所)、風向・風速(5か所)、微小粒子状物質(4か所)、微小粒子状物質成分(1か所)等
有害大気汚染物質調査	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等	今橋町 大崎町 大岩町	ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、水銀、ニッケル等
ダイオキシン類環境調査	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類	今橋町 大崎町 原町	ダイオキシン類

備品購入	令和3年度		令和4年度		
	微風向風速計発信器	2台	エアサンプリングポンプ	6台	ハイボリウムエアサンプラー

(2) 水環境調査事業費

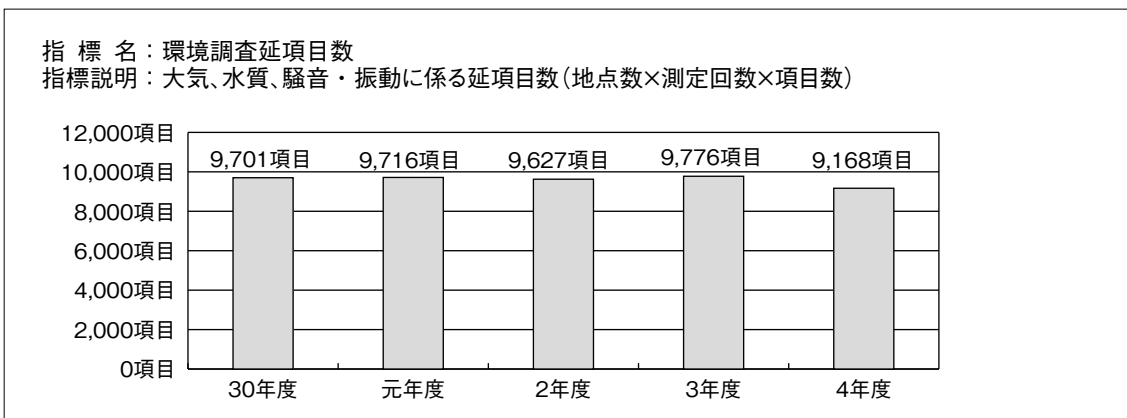
21,642,292 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	調査場所	調査項目	調査場所	調査項目
河 川	28 河川 33 か所	pH、DO、BOD、SS等	28 河川 31 か所	pH、DO、BOD、SS等
海 域	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等	新西浜沖 始め4か所	pH、DO、COD等
地 下 水	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等	向山大池町 始め6か所	カドミウム、全シアン等
ダイオキシン類環境調査	水質7か所 土壌1か所	ダイオキシン類	水質7か所 土壌1か所	ダイオキシン類

(3) 生活環境調査事業費 3,828,000 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	調 査 場 所	調 査 項 目	調 査 場 所	調 査 項 目
自動車騒音 等 測 定	環境基準の調査8か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等	環境基準の調査9か所 要請限度の調査4か所	自動車騒音レベル、 道路交通振動レベル等

[指 標]



3 環境保全推進事業費 705,230 円 (環境保全課)

[総 括]

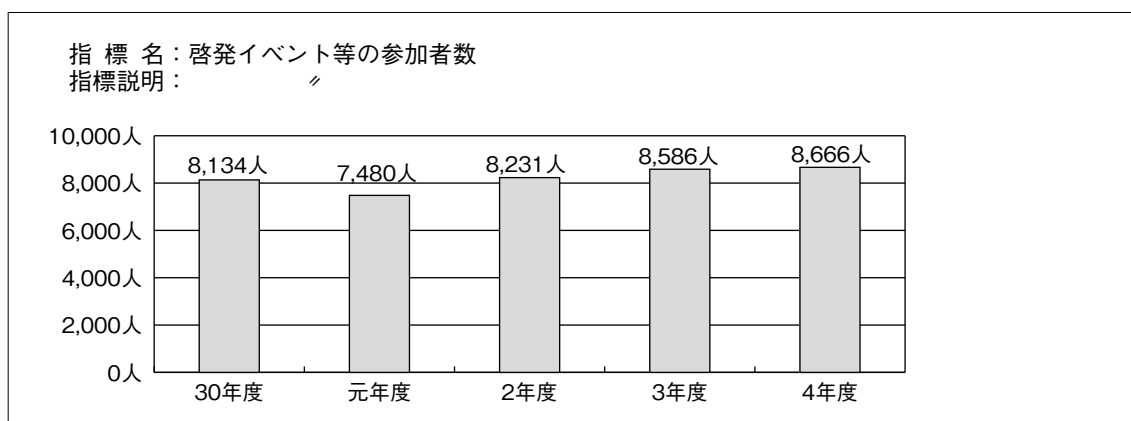
大気環境の保全のため、市民や協定締結事業者等に対し、エコドライブなどの大気汚染防止啓発を行った。また、三河湾を含めた水環境を保全するため、環境イベント等において、日常生活における排水対策の必要性を啓発した。今後も市民や企業などが、主体的に環境保全対策に取り組み、大気環境や水環境の保全に関する意識がより浸透するよう事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 環境保全啓発事業費 705,230 円

内 容	令和3年度	令和4年度
大気環境保全啓発	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 123事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発525名 ・公用車へ啓発用マグネット貼付256台	エコドライブ等の推進 ・事業者等への啓発 130事業所 ・530のまち環境フェスタ内での啓発699名 ・公用車へ啓発用マグネット貼付261台
水環境保全啓発	啓発イベント等の参加者数 8,586 人 ・530のまち環境フェスタ ・カーフリーデー2021 ・その他講習会、イベント	啓発イベント等の参加者数 8,666 人 ・豊橋みなとフェスティバル ・530のまち環境フェスタ ・その他講習会、イベント

[指 標]



4 浄化槽対策事業費 79,429,025 円（廃棄物対策課）

[総 括]

水環境の保全の観点から生活排水の適正処理を促進するため、単独処理浄化槽及び汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換者に対して補助対象となる基数を大幅に増やし設置費及び撤去費の一部を助成した。また、浄化槽台帳整備のため、浄化槽の設置状況の調査を行うとともに、浄化槽の適正な維持管理に関する指導啓発を実施した。

[実績及び成果]

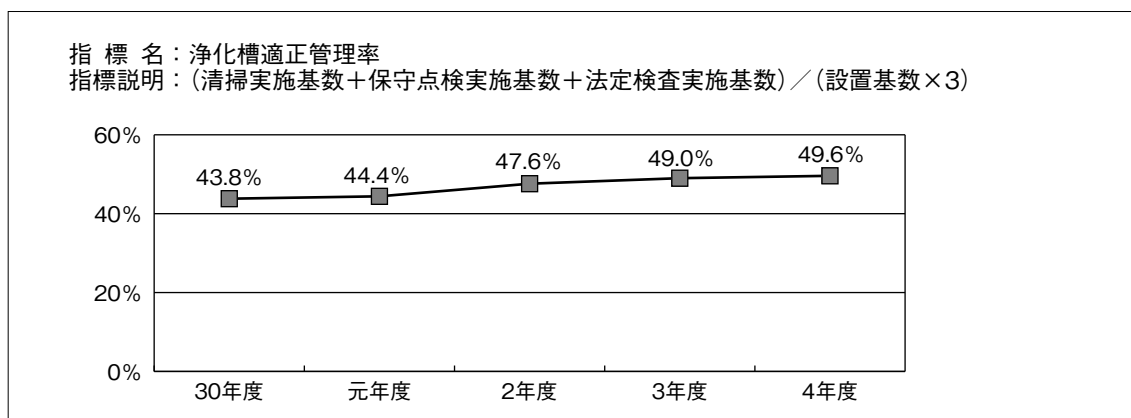
(1) 浄化槽指導事業費 4,689,595 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
浄化槽設置届等	646件	778件	20.4%
法定検査指導	3,921	1,025	△73.9

(2) 浄化槽設置費補助金 74,739,430 円

内 容		令和3年度	令和4年度
浄化槽設置費補助	基数	36基	100基
	金額	16,277,000円	38,648,000円
単独処理浄化槽等撤去費補助	基数	27基	92基
	金額	2,430,000円	8,280,000円
宅内配管工事費補助	基数	—	100基
	金額	—	27,811,430円

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 ごみ減量推進費 <ごみ減量・リサイクルの推進>	54,168,854	0	0	7,135,571	47,033,283

1 ごみ減量推進事業費 54,168,854 円 (ゼロカーボンシティ推進課)

[総括]

雑がみ分別おとし袋のサイズやデザインをリニューアルするとともに、「てまえどり」を呼び掛けるポップや、家庭から発生する食品ロスを減らすための取組みを掲載したマグネットを作成し、市内の小売店等に無料で配布するなど、雑がみ分別や食品ロス削減について、主に事業者を通じて市民への周知・啓発を実施した。また、吉本興業グループと連携し、環境に配慮した取組みを行う市内企業や学生等を取り上げた番組をBSよしもとで放送し、本市のごみ減量や資源循環の取組みについて情報発信を行うとともに、環境フェスタで「お笑いLIVE・SDGsクイズ大会」を開催するなど、分かりやすく楽しい学びの機会を提供した。今後もごみ減量及び資源化を推進し、循環型社会の構築をめざす。

[実績及び成果]

(1) 地域資源回収事業費 39,917,336 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較	
地域資源回収団体奨励金	実施団体	303団体	298団体	△ 1.7%
	実施回数	2,219回	2,210回	△ 0.4
	回収量	4,256 t	4,092 t	△ 3.9
リサイクルステーション	古紙回収量	283	269	△ 4.9

(2) ごみ減量啓発事業費 9,111,346 円

区 分	令和3年度	令和4年度
啓発事業への参加者数	2,021人	1,674人

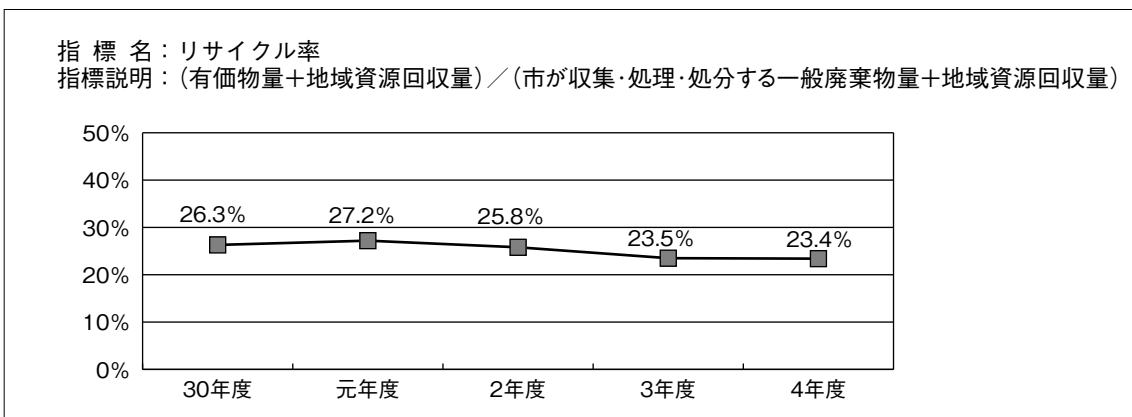
(3) 環境にやさしいライフスタイル推進事業費 640,172 円

区 分	令和3年度	令和4年度
給水器設置補助金	1件 85,000円	0件 0円

(4) 530運動環境協議会補助金 4,500,000 円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 ごみ収集費 <廃棄物の適正処理の推進>	552,919,448	4,727,250	5,900,000	13,531,479	528,760,719

1 家庭廃棄物収集事業費 552,919,448円 (収集業務課)

[総括]

地域環境の保全及び資源の有効利用を図るため、飛散防止ネットや生ごみ用コンテナの貸与などによりごみステーションの適正管理に努めるとともに、不適切なごみの持ち出しを防止するため、啓発チラシを作成し自治会を通じて周知したほか、資源物の持ち去り行為に対しては巡回パトロールを行った。また、大きなごみ戸別収集受付や資源化センター等への家庭ごみの直接搬入予約受付などに対応する「家庭ごみコールセンター」の設置に向け、予約システム導入などの準備に取り組んだ。

今後もごみの分別精度を高めるための指導・啓発や問題の多いごみステーションなどの適正化を進め、効果的かつ効果的な家庭ごみ収集体制の確保に努めていく。

[実績及び成果]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較	備 考
家庭 ごみ 収集 量	も や す ご み	46,590 t	47,086 t	1.1%	週2回収集
	生 ご み	13,563	12,927	△4.7	週2回収集
	プラマークごみ	4,353	4,420	1.5	週1回収集
	こ わ す ご み	4,034	3,665	△9.1	4週毎収集
	危 険 ご み	182	177	△2.7	4週毎収集
	う め る ご み	916	802	△12.4	8週毎収集
	大 き な ご み	351	334	△4.8	戸別収集
	資源(びん・カン)	3,304	3,237	△2.0	週1回収集
	〃(ペットボトル)	529	523	△1.1	週1回収集
	〃(布類)	1,116	1,076	△3.6	8週毎収集
	計	74,936	74,247	△0.9	
ステーション数		5,372か所	5,419か所	0.9	
死体処理数	犬	65匹	67匹	3.1	
	猫等	2,516	2,216	△11.9	
	計	2,581	2,283	△11.5	
ふれあい収集実施世帯数		468世帯	514世帯	9.8	

(1) ごみ収集事業費 535,003,043円

- (ア) 収集業務費 479,245,749円
- (イ) 施設整備費 8,129,000円
- (ウ) 車両管理費 47,628,294円

内 容	令和3年度	令和4年度
	ごみ収集車 2台 普通貨物自動車 1台	ごみ収集車 1台

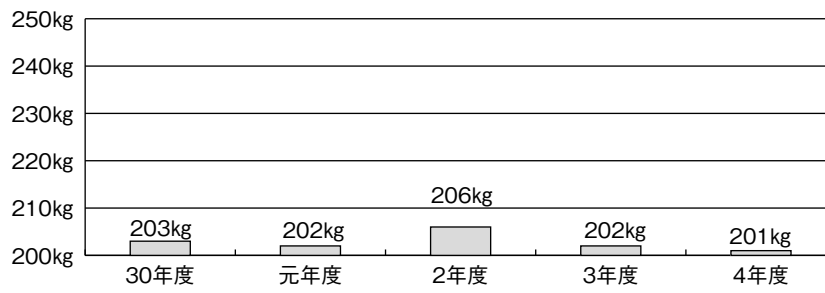
(2) ごみ収集指導啓発事業費 1,223,495円

(3) 大きなごみ戸別収集事業費 16,692,910円

[指 標]

指 標 名：1人当たりの家庭ごみ収集量

指標説明：家庭ごみ収集量／年度末豊橋市人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 廃棄物処理処分費 ＜廃棄物の適正処理の推進＞	4,239,043,495	0	0	1,023,438,185	3,215,605,310

1 資源化センター事業費 3,735,389,320円 (資源化センター)

[総括]

市民から排出された「もやすごみ、こわすごみ、大きなごみ、びん・カン、ペットボトル、プラマークごみ、危険ごみ」及び市内業者より排出された「紙くず、木くず、繊維くず」等を適正に処理した。また、最終処分場で掘り起こした「仮埋立ごみ」を適正に焼却処理した。今後もリサイクルや溶融スラグ等の利用を促進し、ごみの安定処理に努めていく。

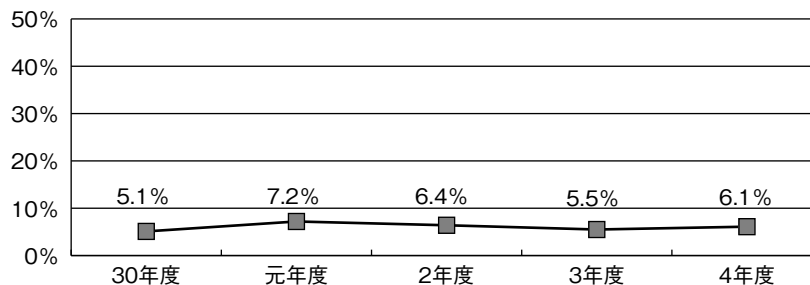
[実績及び成果]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
ごみ焼却処理量 (内：最終処分場掘起しごみ量)	112,549 t (6,410)	102,154 t (2,610)	△ 9.2% (△59.3)
ごみ再利用処理量 (内：危険ごみ処理量) (内：剪定枝チップ等生産量)	12,807 (182) (553)	13,013 (177) (445)	1.6 (△ 2.7) (△19.5)
こわすごみ(西部)処理量	4,019	3,561	△11.4
びん・カン等処理量	3,304	3,237	△ 2.0
ペットボトル処理量	529	523	△ 1.1
プラマークごみ処理量	4,353	4,420	1.5

- (1) ごみ焼却処理事業費 2,442,375,331円
- (2) ごみ再利用事業費 228,987,592円
- (3) 資源ごみ処理事業費 115,543,386円
- (4) プラスチックごみ処理事業費 76,250,148円

[指標]

指標名：資源化センター施設の残さ率
 指標説明：埋立処理する焼却処理施設・再利用処理施設・資源リサイクルセンターの残さ率



2 埋立処理事業費 145,122,873 円 (埋立処理課)

[総括]

平成 30 年度に資源化センターの炉の故障に伴い発令されたごみ処理非常事態宣言により仮埋立されたもやごみの掘起しを行ったほか、市民から日常生活に伴って排出される廃棄物について適正に処理した。また、分別精度の向上やスラグの有効利用等により、残容量率の減少抑制に努めた。仮埋立ごみの処分終了後は、既に埋め立てられた廃棄物を掘り起こして分別し、溶融や再埋立をするなど減容に取り組み、最終処分場の延命を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 埋立処理事業費 145,122,873 円
- (ア) 埋立関連工事費 10,693,100 円

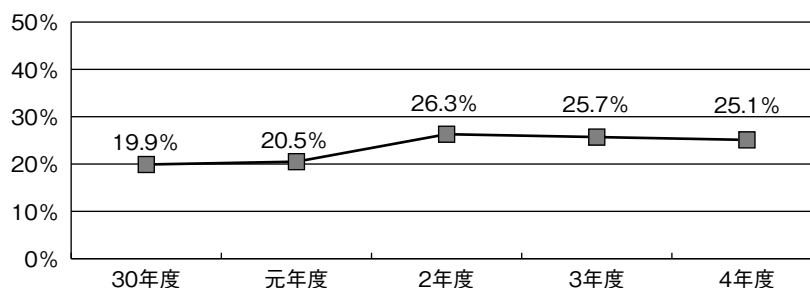
内 容	令和 3 年度		令和 4 年度	
	施設整備工事	3件	施設整備工事	2件
農地補修工事	1	農地補修工事	1	

- (イ) 仮埋立ごみ掘起処理処分事業費 7,651,964 円
- (ウ) 管理運営費 126,777,809 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
一般廃棄物処分量	12,636 t (10,305m ³)	12,716 t (10,598m ³)	0.6% (2.8%)
産業廃棄物処分量(公共)	335 (558)	288 (480)	△14.0 (△14.0)
処分実績量(()内覆土含む)	12,971 (10,863)	13,004 (11,078)	0.3 (2.0)

[指 標]

指 標 名：最終処分場残容量率
 指標説明：残容量 / 全体容量 (全体容量 2,008,000m³)



※令和元年度の残容量率は、残容量を埋立容量の累計値から現況測定値に置き換えて算出

※令和 2 年度に埋立処分計画高を見直したことにより、全体容量を 1,850,000 m³から 2,008,000 m³に変更

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 ごみ処理施設整備費 ＜安全で安定したごみ処理施設の整備＞	322,296,862	5,507,000	13,100,000	1,261,468	302,428,394

1 豊橋田原ごみ処理施設整備事業費 322,296,862 円 (施設建設室)

[総括]

豊橋田原ごみ処理施設の整備に向けて、「環境影響評価書(変更)」を公表し、都市計画(変更)を決定した。また、本施設整備の準備工事として資源化センター水処理施設改修工事及び資源化センター西工場棟スロープ拡幅工事を実施するとともに、DBO手法による豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業の契約を締結した。今後も既存施設の安全かつ安定的な稼働に留意しながら、新施設の整備事業を計画的に進めていく。

[実績及び成果]

(1) ごみ処理施設整備等事業費 322,296,862 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価準備書(変更)の公表 ・都市計画(変更)の案の公表 ・循環型社会形成推進地域計画(第2期)の策定 ・豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業の入札公告

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11目 廃棄物適正処理対策費 <廃棄物の適正処理の推進>	30,844,042	6,000,000	0	4,277,882	20,566,160

1 一般廃棄物対策事業費 14,906,411 円 (廃棄物対策課)

[総括]

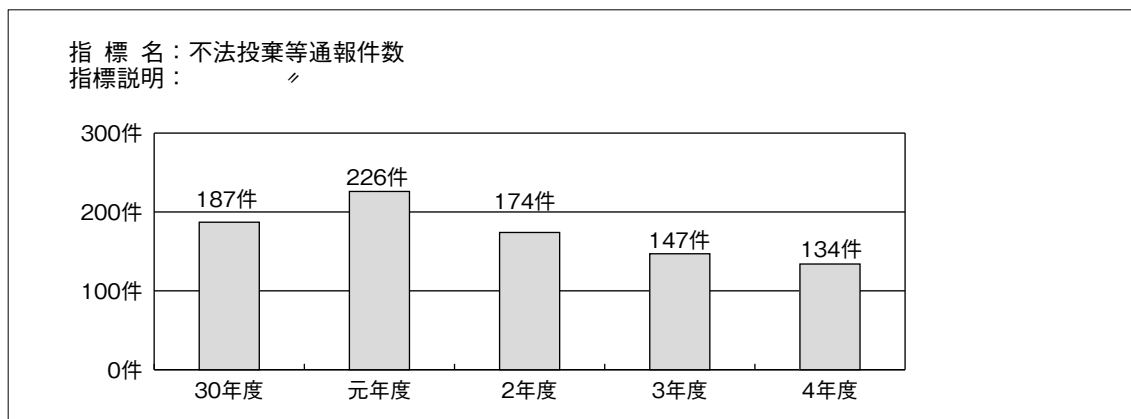
一般廃棄物処理業の許可事務、廃棄物投入許可証の交付事務のほか、不法投棄対策や事業系ごみ対策を行った。不法投棄対策としては、監視カメラや看板の設置により未然防止を図るとともに、警備会社による市内全域の休日、夜間、早朝の監視を行い、早期発見・早期対応に努めた。事業系ごみ対策としては、市内の事業者向けに「事業系ごみ適正処理セミナー」の開催や、「事業系ごみ適正処理啓発事業」を実施するなど事業系ごみの処理方法等について周知した。また、令和2年4月に施行された「豊橋市不良な生活環境の解消に関する条例」に基づき、いわゆる「ごみ屋敷」の原因者等に対し、不良な生活環境の解消に向け生活相談や見守り等の福祉的・社会的支援を行った。今後も一般廃棄物の適正処理推進に向けた取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 一般廃棄物対策事務費 14,906,411 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
不法投棄等通報	147件	134件	△ 8.8%
一般廃棄物収集運搬業許可	18	0	皆減
廃棄物投入許可	518	1,815	3.5倍
不良な生活環境相談件数	143	121	△15.4%

[指 標]



2 産業廃棄物対策事業費

15,937,631 円（廃棄物対策課）

[総括]

産業廃棄物の適正処理を推進するため、苦情対応や立入記録を庁内型GISで管理し、効率的、統一的に指導・監視するとともに、産業廃棄物処理施設について、職員による監視が困難な夜間の監視を警備会社に委託し、監視体制の強化を図った。また、重点的な取組みとして、多量排出事業者への指導・助言や電子マニフェストの普及啓発を行った。「豊橋市産業廃棄物処理施設及び汚染土壌処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」に基づき、事業者の事業計画に係る手続きの進捗状況を市ホームページで公開し、広く情報提供を行うことにより、産業廃棄物処理施設等に対する住民理解の向上を図ることで紛争の予防に努めた。平成28年8月に施行された改正PCB特別措置法に基づきPCB含有機器等を所有する疑いのある事業所等への立入をさらに強化し、処理期限内の適正処理指導を実施した。

[実績及び成果]

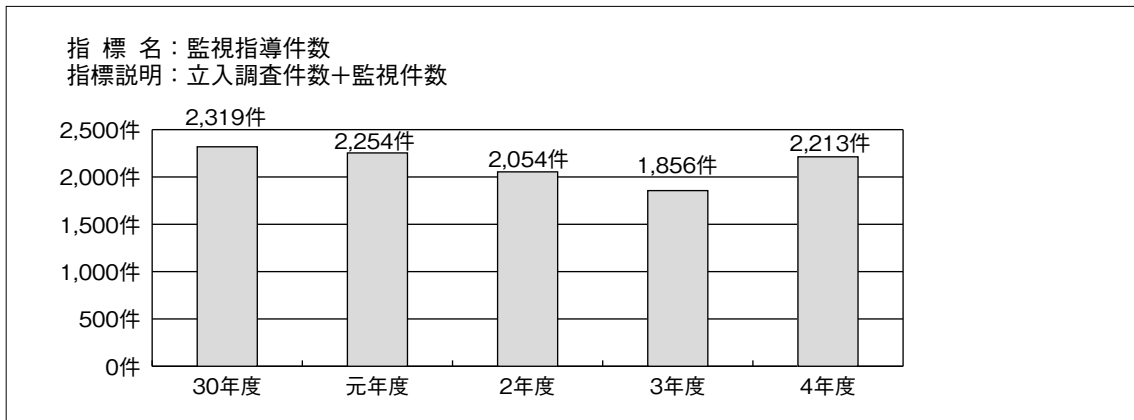
(1) 産業廃棄物処理等許可事務費 139,213 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
産業廃棄物関係申請書等受付	5,552件	5,998件	8.0%

(2) 産業廃棄物指導監督事務費 15,798,418 円

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
監視指導件数	1,856件	2,213件	19.2%
立 入 調 査	836	1,193	42.7
施 設 等 監 視	1,020	1,020	0.0

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 款 労 働 費	285,248,371	3,954,000	0	196,160,870	85,133,501
1 項 労 働 費	285,248,371	3,954,000	0	196,160,870	85,133,501
2 目 就 業 促 進 費 <雇用の安定と人材確保>	100,759,340	3,954,000	0	46,160,870	50,644,470

1 職業訓練センター事業費 5,603,613 円 (商工業振興課)

[総括]

職業訓練センターでは、円滑な職業訓練のため適正な運営管理を行った。今後も技能労働者の訓練の充実と利用者数の増加をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 職業訓練センター管理運営事業費 4,403,613 円

[施設利用者]

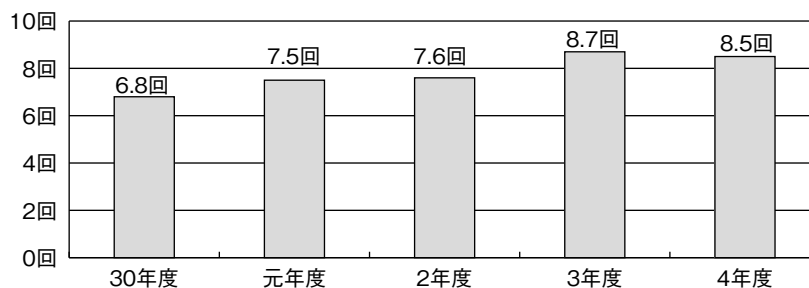
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	299日	302日	1.0%
利 用 者 数	延 24,548人	延 22,946人	△ 6.5

[普通職業訓練の普通課程訓練生数]

内 容	科 目	令和3年度	令和4年度	比 較
		木 造 建 築 科	5人	7人
	建 築 板 金 科	3	3	0.0
	造 園 科	5	2	△60.0
	木 工 科	0	0	0.0
	計	13	12	△ 7.7

[指 標]

指 標 名：職業訓練センター1日当たりの教室利用回数
 指標説明：教室利用回数／開館日数



2 就業促進事業費

19,174,160 円（商工業振興課）

[総括]

若者の市内企業への就業と定着を促すため、学生を対象とした合同企業説明会や面接体験会などを行い、若者と企業の出会いの場を創出した。また、中小企業の人材不足解消のため、中途採用・新卒採用の就職サイト掲載費用の助成、働きやすい職場づくりの重要性を啓発するセミナーの開催や、職場環境整備への助成など、雇用の促進と定着につながる支援を実施した。今後も、学生と市内企業の出会いの場や、誰もが働きやすい環境づくりへの支援策の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 若年者就職支援事業費 40,000 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	若者就職サポート塾in豊橋 第1回 4.22 第2回 6.24 第3回 2.8 第4回 3.15 新型コロナウイルス感染拡大により回数減			若者就職サポート塾in豊橋 第1回 4.21 第2回 5.19 第3回 6.23 第4回 9.2 第5回 2.13 第6回 3.15
高校生企業説明会 開催日 12.9			高校生企業説明会 開催日 12.6	
高校生面接体験会 開催日 12.9 参加延 506人			高校生面接体験会 開催日 12.6 参加延 432人	

(2) 雇用確保安定事業費 17,834,160 円

(ア) 大型運転免許等取得支援補助金 2,653,000 円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		31 件	2,571,000 円	29 件

(イ) 雇用環境整備事業費 5,550,960 円

〔女性あんしん職場づくり補助金〕 5,471,000 円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		5 件	4,361,000 円	7 件

〔雇用定着促進啓発事業費〕 79,960 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	ダイバーシティ雇用促進啓発セミナー 受講者数 36人			雇用定着促進啓発セミナー 受講者数 256人
働きやすい職場づくりセミナー 参加企業 延 24社 第1回 5.13 第2回 12.10				
コンサルタントによる伴走支援 参加企業 2社				

(ウ) 若者を呼び込むための奨学金返還支援事業費 3,642,200 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		25 件	3,630,000 円	24 件

(エ) 就職サイト掲載費補助金 894,000 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		3 件	600,000 円	6 件

(オ) 首都圏人材確保事業費 2,800,000 円

〔U I J ターン就業奨励金〕 200,000 円

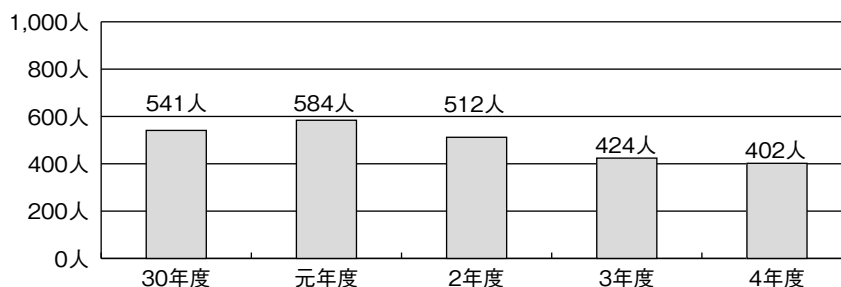
補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		2 件	200,000 円	2 件

〔移住支援事業費補助金〕 2,600,000 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
		1 件	1,000,000 円	3 件

[指 標]

指 標 名：中学、高校卒業就職者数
 指標説明：中学、高校を卒業し、市内事業所に就職した人数



3 とよはし産業人材育成センター管理運営事業費 75,981,567 円（商工業振興課）

〔総括〕

地域産業を支える人材の育成による地域経済の持続的な成長と地域産業の基盤強化のため、令和4年4月1日に「とよはし産業人材育成センター」を開館し、労働安全衛生法に基づく各種講習会や無人航空機操縦士試験の現地試験の受入等を実施した。今後も、広報活動や施設整備等を推進し、地域の産業人材育成拠点の一つとして、各種セミナーや研修、ドローン講習等を通じた人材育成の充実により、地域産業の基盤強化を図っていく。

〔実績及び成果〕

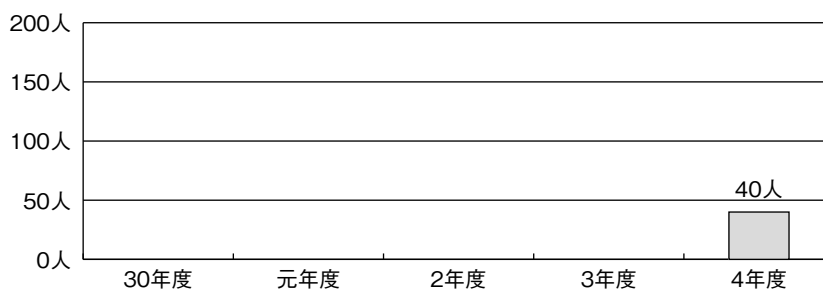
(1) とよはし産業人材育成センター管理運営事業費 75,981,567 円

〔施設利用者〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	—	246日	皆増
利 用 者 数	—	延 9,878人	皆増

〔指 標〕

指 標 名：とよはし産業人材育成センター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 労働者福祉費 <労働者の福祉の充実>	158,768,083	0	0	150,000,000	8,768,083

1 労働者会館管理運営事業費 153,594 円 (商工業振興課)

[総括]

労働者の福祉の増進及び文化の向上並びに雇用の促進を図る施設として、適正な管理運営を行った。今後も利用者が安心・快適に利用できるよう努めていく。

[実績及び成果]

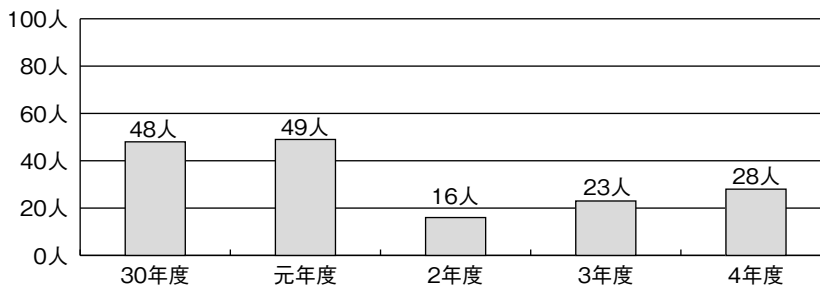
(1) 労働者会館管理運営事業費 153,594 円

[施設利用者]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	347日	347日	0.0%
利 用 者 数	延 7,869人	延 9,699人	23.3

[指 標]

指 標 名：労働者会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



2 労働者福祉対策事業費

7,777,789 円（商工業振興課）

[総括]

勤労者が安心して働くための相談窓口の設置や、労働者福祉を充実させるための活動に対し支援を行った。今後も労働者福祉において有意義な事業を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 労働者文化体育事業費補助金 4,517,289 円

補助金	令和3年度	令和4年度
	5,130,000円	4,517,289円

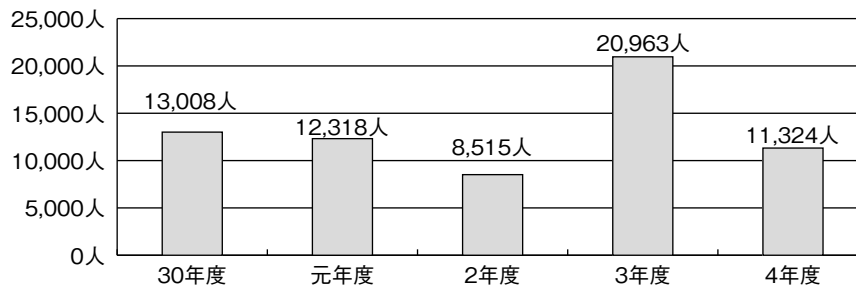
- (2) 労働者福祉サービスセンター事業費補助金 2,250,500 円

補助金	令和3年度	令和4年度
	2,181,200円	2,250,500円

[指標]

指標名：文化・体育事業等への参加延人数

指標説明：労働者文化体育事業参加者延人数＋労働福祉団体事業参加者延人数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6 款 農 林 水 産 業 費	1,796,196,917	476,893,136	211,000,000	17,195,310	1,091,108,471
1 項 農 林 水 産 業 費	804,842,152	316,690,186	0	14,383,036	473,768,930
3 目 農 業 経 営 力 強 化 費 < 農 業 者 の 経 営 力 の 強 化 >	174,695,458	141,848,988	0	10,650	32,835,820

1 農業生産流通事業費 164,267,405 円 (農業支援課)

[総括]

有害鳥獣による農産物被害の拡大を防ぐため、地域住民が主体となった駆除団体の組織化を進め、適切で安全な駆除活動が実施できるよう支援を行った。また、農家の経営安定を図るため、各種の助成を行った。今後も、農家の健全な経営に資するよう支援に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 2,631,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成	豊橋市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進事務に対する助成
補 助 金	2,700,000円	2,631,000円

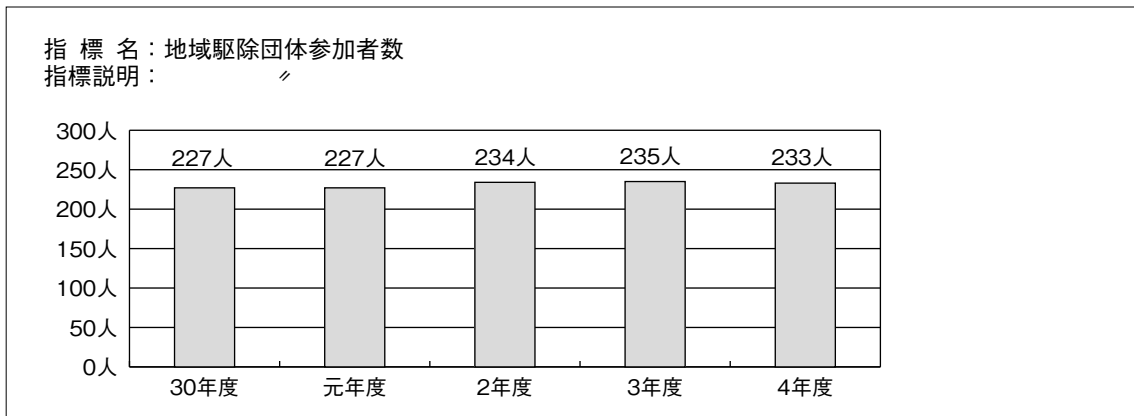
(2) 農作物鳥獣被害防止事業費 6,471,650 円

区 分	令和3年度	令和4年度
地域駆除団体数	8団体	8団体
安全講習会の開催	1回	2回

(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業補助金 5,849,383 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	生産者が負担する経費の一部に対する助成	生産者が負担する経費の一部に対する助成
補 助 金	5,800,572円	5,849,383円

[指 標]



2 農業環境対策事業費

1,215,600 円（農業支援課）

[総括]

環境負荷要因となり得る化学肥料や農薬等の各種資材の適正な使用を支援することで、環境負荷の低減及び農作物の安全確保に配慮した農業の普及を推進した。また、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による水稲への食害を防止するため支援を行った。今後も化学肥料等の適正使用を支援し、環境に配慮した農業の普及に努めていく。

[実績及び成果]

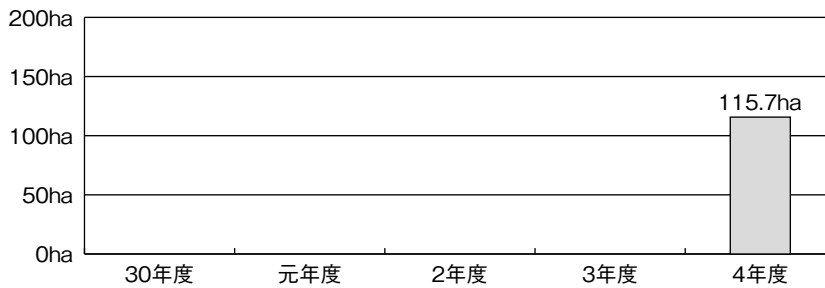
(1) 水田農業支援事業費

528,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	スクミリンゴガイの防除対策に関する実証試験に要する経費の一部を助成	スクミリンゴガイの防除対策に関する実証試験に要する経費の一部及び防除対策として使用する薬剤購入費の一部を助成
実 証 試 験	1件	1件
薬 剤 散 布	—	15

[指 標]

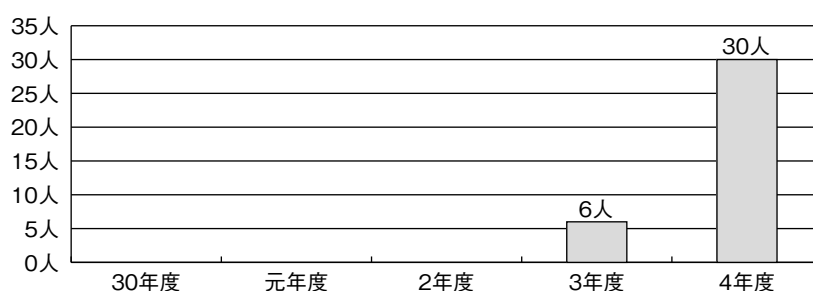
指 標 名：スクミリンゴガイの防除を目的として薬剤散布を支援した面積(累計)
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 農業者確保育成費 <農業者の確保・育成>	30,486,489	11,250,000	0	2,908,000	16,328,489
1 農業人材確保育成事業費 24,682,489円 (農業企画課・農業支援課・農業委員会事務局)					
[総括]					
農業人材の確保・育成を図るため、認定農業者や認定新規就農者制度の普及啓発、関係団体と連携した女性農業者の活動支援に取り組むとともに、農業者の経営安定及び農業後継者の就農を促進するため、各種の助成を行った。また、農福連携推進のため、福祉関係者と農業関係者共同の研修会や意見交換会、検討会議を開催した。本市農業の発展のため、今後も担い手の確保・育成に努めていく。					
[実績及び成果]					
(1) 担い手育成事業費 516,267円					
区 分		令和3年度	令和4年度		
農業経営改善計画等の認定件数		128件	122件		
(2) 農業人材力強化総合支援事業費補助金 11,250,000円					
区 分		令和3年度	令和4年度		
内 容		経営開始直後の新規就農者に対する助成	経営開始直後の新規就農者に対する助成		
補 助 金		2,783,649円	11,250,000円		
(3) 農業人材確保環境整備事業費 11,418,300円					
区 分		令和3年度	令和4年度		
内 容		認定農業者の家族等が大型特殊免許を取得するための費用や、認定農業者の後継者が就農する際の設備投資等に対する助成、及び中心経営体等から経営移譲を受けた後継者の経営発展に向けた取組みに対する助成	認定農業者の家族等が大型特殊免許を取得するための費用や、認定農業者の後継者が就農する際の設備投資等に対する助成、及び中心経営体等から経営移譲を受けた後継者の経営発展に向けた取組みに対する助成		
補 助 金		6,084,200円	11,418,300円		
(4) 女性農業者育成研修事業費 36,333円					
区 分		令和3年度	令和4年度		
研修会等の実施回数		2回	2回		
(5) 農福連携推進事業費 1,246,000円					
内 容		令和3年度 福祉関係者と農業関係者共同の研修会及び意見交換会を実施、検討会議の開催	令和4年度 農福連携の現地見学会及び意見交換会を実施、検討会議の開催		
(6) 農業後継者花嫁花婿対策推進事業補助金 215,589円					
区 分		令和3年度	令和4年度		
内 容		結婚相談会、婚活セミナー、男女交流会、お見合いの開催	男女交流会の開催		
補 助 金		242,882円	215,589円		

[指 標]

指 標 名：新規就農者数(累計) ※令和3年度以降
 指標説明：〃



2 次世代農業推進事業費 5,804,000 円（農業企画課）

[総 括]

全国でも有数の先端施設園芸が集積する本地域における生産性の向上や農業後継者の育成等の課題に対処するため、植物工場の管理者等先端的な農業を担う次世代人材の育成に対し助成した。また、次世代を担う小学生から大学生までを対象にふるさと農業講座を実施した。今後も、本市農業の持続と更なる発展のため、先端農業技術の普及促進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代「農力」UP アカデミー事業費 5,804,000 円

(ア) 次世代「農力」UP アカデミー事業補助金 5,700,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び小学生から大学生までを対象としたふるさと農業講座を実施	全国でも最先端の技術を有する本市農業を担う人材の育成・確保に取り組むため、地域における植物工場等先端農業技術者の育成及び市民講座を開催
補 助 金	8,353,913円	5,700,000円

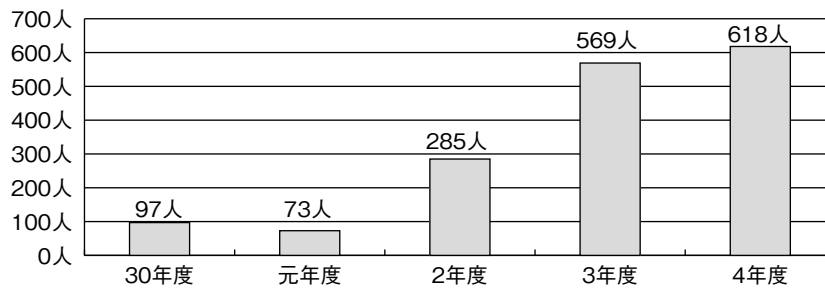
(イ) 次世代農業者育成事業費 104,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ふるさと農業講座の実施校数	—	12校

[指 標]

指 標 名：講座等参加者数

指標説明：次世代「農力」UP事業講座受講者数+ふるさと農業講座受講者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 産地競争力強化費 <競争力の高い産地づくりの推進>	179,427,652	142,749,000	0	2,100,350	34,578,302

1 農産物ブランド化推進事業費 9,711,001円 (農業企画課)

[総括]

豊橋産農産物の需要や消費の拡大を図るため、首都圏等においてフェアやマルシェなどでPRを実施したほか、消費宣伝事業等に対する助成を行った。今後も本市農産物の長をわかりやすく消費者に伝えながら、より効果的なプロモーションを継続して行っていく。

[実績及び成果]

(1) 農産物ブランド化推進事業費 9,711,001円

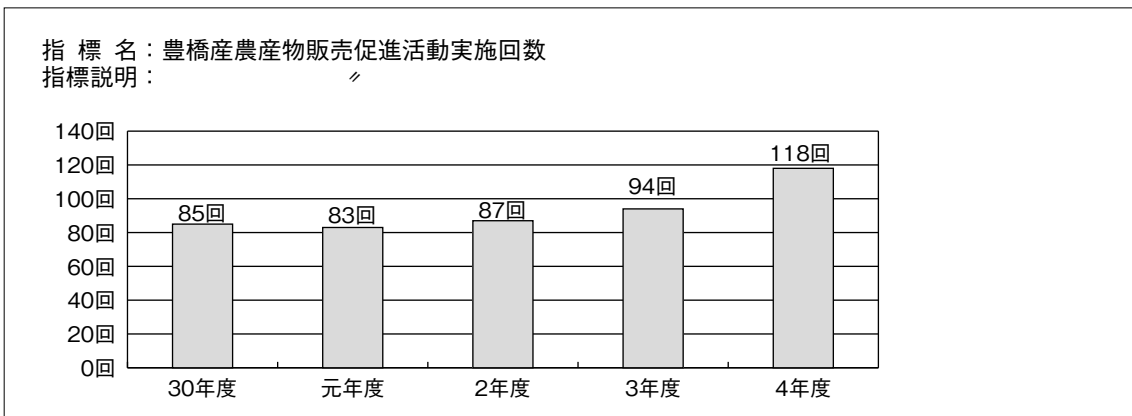
(ア) 豊橋産農産物販売促進事業補助金 3,600,000円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業	産地交流事業、販売促進事業、消費宣伝事業、商品開発・ブランド化事業、食育・花育事業
事 業 費	3,606,696円	7,989,458円
補 助 金	1,800,000	3,600,000

(イ) 豊橋産農産物PR事業費 6,111,001円

	令和3年度	令和4年度
内 容	首都圏を中心とした豊橋フェアの開催、JA全農が運営するレストラン及びメルセデスミーレストランでのPRなど	首都圏における豊橋フェアの開催やマルシェの実施、JA全農が運営するレストラン及びメルセデスミーレストランでのPRなど

[指標]



2 豊橋田原広域農業推進事業費 2,607,000 円（農業企画課）

[総括]

豊橋田原地域における農業の活性化を目的として、農産物輸出と食農教育を推進するとともに、ファーマーズマーケットの活動を推進した。今後も広域連携に基づく各種事業を継続的に実施することにより地域農業の活性化を推進していく。

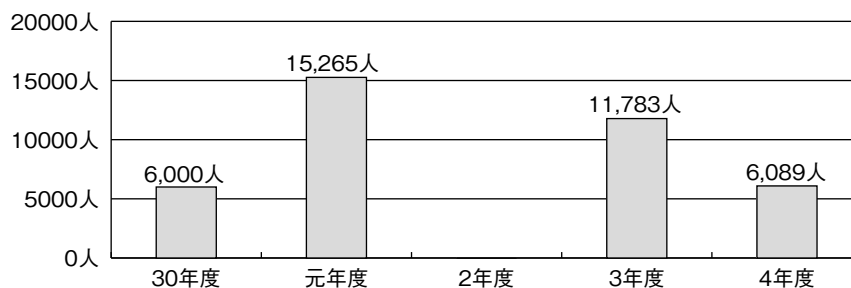
[実績及び成果]

(1) 豊橋田原広域農業推進会議負担金 2,607,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
事業主体	豊橋田原広域農業推進会議	豊橋田原広域農業推進会議
内 容	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、食農教育のための三遠ネオフェニックスとのPR動画作成、海外向け販売促進用の動画作成、香港の常設店舗における販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証及び残留農薬検査など	農産物収穫体験、食農教育推進フォーラムの開催、海外向け販売促進用の販促資材作成、香港・タイ・マレーシアにおける販売促進活動、ファーマーズマーケット活動推進のための販促資材の作成、タイ向け農産物輸出に向けた規格認証及び残留農薬検査など
事業費	5,985,231円	8,014,567円
負担金	3,001,000	2,607,000

[指標]

指標名：豊橋田原食農教育推進フォーラム参加人数
 指標説明：〃



3 海外販路開拓推進事業費 2,420,324 円（農業企画課）

[総括]

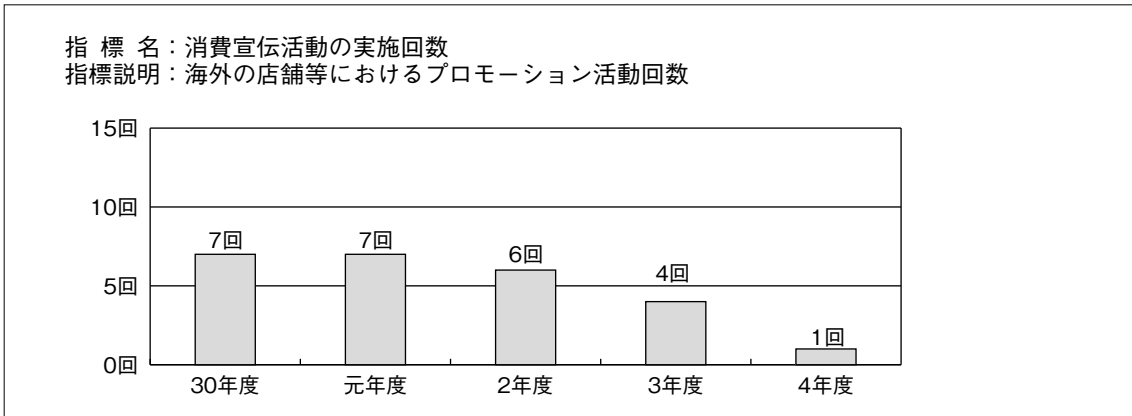
シンガポールへの既存品目を継続して輸出するとともに、販促資材を活用したPRを行った。また、田原市、浜松市との三遠南信連携により、米国向け花きの販促資材を制作した。海外販路の開拓には継続的な取組みが必要となるため、今後も引き続き効果的な事業の推進に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋産農産物海外販路開拓事業費 2,420,324 円

		令和3年度	令和4年度
内	容	マレーシア、シンガポールへの常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、ミニトマトの船便輸送試験の実施など	シンガポールへの常設店舗への既存品目の輸出継続、販促資材を活用したPR、米国向け花きの販促資材制作など

[指標]



4 農業経営高度化事業費 158,351,400 円（農業支援課）

[総括]

栽培技術の高度化と経営規模の拡大を促進することを目的に、次世代施設園芸愛知県拠点のほか、農業者が行う農業機械のリース導入等に対して支援した。今後も農業経営の高度化を促し、産地競争力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金 16,675,400 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成	次世代施設園芸愛知県拠点の管理運営に対する助成
補 助 金	16,675,400円	16,675,400円

(2) 産地生産基盤パワーアップ事業補助金 88,228,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	農業機械のリース導入等に対する助成	農業機械のリース導入等に対する助成
補 助 金	10,263,000円	88,228,000円

(3) 豊橋市あいち型産地パワーアップ事業補助金 9,166,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	—	農業機械、施設等の導入等に対する助成
補 助 金	—	9,166,000円

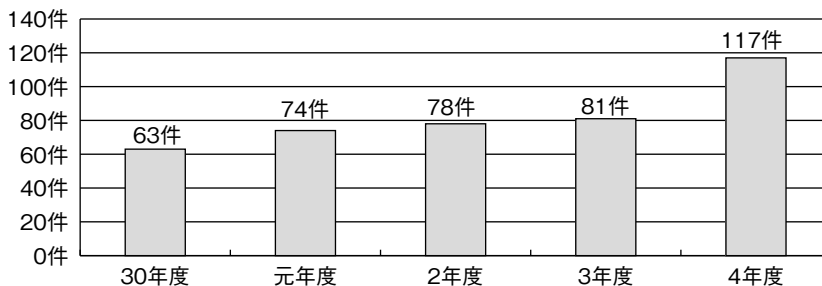
(4) 施設園芸省エネルギー化施設設備整備事業補助金 44,282,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
内 容	—	省エネ化に寄与する設備導入等に対する助成
補 助 金	—	44,282,000円

[指 標]

指 標 名：先端技術を活用した園芸施設等の普及に対する支援件数(累計)

指標説明：国・県の支援により栽培技術の高度化を推進するための施設整備等を行った農業者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 地産地消推進費 <地産地消の推進>	26,232,198	4,597,999	0	7,424,518	14,209,681

1 道の駅食農拠点推進事業費 13,643,199円 (農業企画課)

[総括]

開駅4年目となる道の駅「とよはし」では、農業者の6次産業化商品の開発支援・販売促進や地元農産物の購買促進のためSNS等での発信を行ったことなどにより来場者数224万人を達成した。

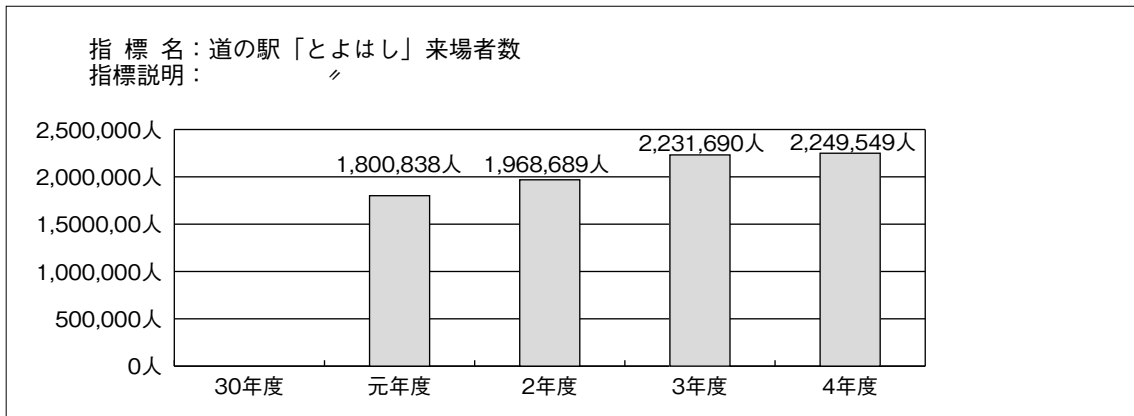
今後も食と農の拠点として、多様で魅力的なサービスの提供、市内外への情報発信を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 道の駅食農拠点推進事業費 13,643,199円

内 容	令和3年度	令和4年度
	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、SNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信	6次産業化のセミナー開催や商品開発支援、フリーペーパーやSNS等を利用し、道の駅「とよはし」から豊橋の食と農の魅力を発信

[指標]



2 都市農村交流促進事業費 7,514,561 円（農業支援課）

[総括]

市民が土に親しみ生産の喜びを体験することで農業への知識や理解を深める機会を提供するため、市民ふれあい農園の管理運営を行った。今後も市民の農業への理解及び関心を高めるための事業や農産物の消費拡大を図るための事業を行っていく。

[実績及び成果]

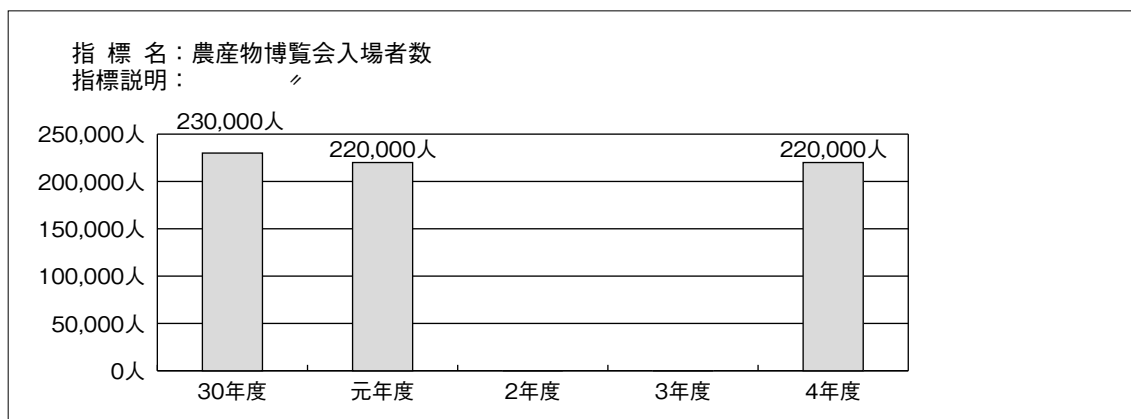
(1) 市民ふれあい農園事業費 4,814,561 円

区 分	令和3年度	令和4年度
農園利用者数	235人	236人
栽培講習会の開催	2回	4回

(2) 農産物博覧会振興補助金 2,700,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
開催期間	—	10.15～10.16
開催場所	—	豊橋公園
事業費	—	2,970,000円
補助金	—	2,700,000

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 森林・海岸保全費 <治山・治水対策の充実>	54,105,342	0	0	118,180	53,987,162

1 森林環境整備推進事業費 7,729,252 円 (農業支援課)

[総括]

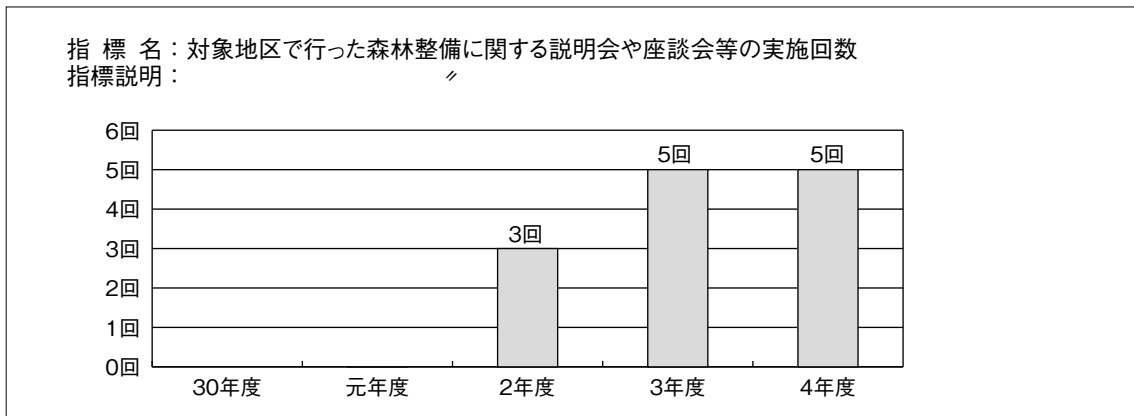
森林所有者の高齢化などにより、手入れの行き届かない人工林の把握及び健全化を推進するため、市内3か所の対象地区について森林整備事業実施に向けた森林所有者との事前調整や現地調査、令和5年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析を行った。今後も、本市が主体となって人工林の適正管理に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 森林環境整備推進事業費 7,729,252 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	対象地区の森林整備事業実施に向けた現地調査、令和4年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析	対象地区の森林整備事業実施に向けた現地調査、令和5年度以降に実施する森林管理の意向調査及び分析

[指標]



2 市民ふれあいの森管理事業費 956,696 円 (農業支援課)

[総括]

北部地域に位置する吉祥山を、登山や林業体験などの活動や森林浴など市民の憩いの場として利用できるよう施設の維持管理や登山道の整備を行った。今後も、健康登山や植物観察など利用目的の多様化に応じた施設維持を図っていく。

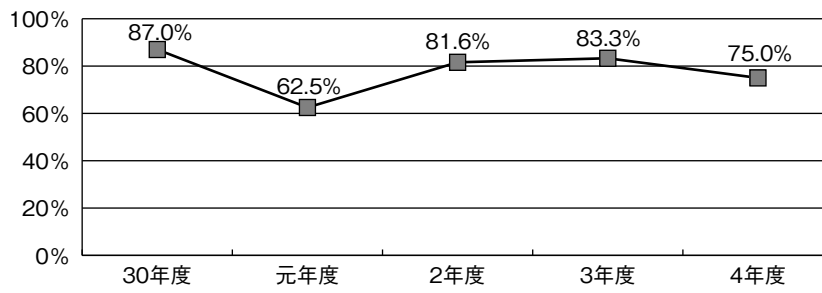
[実績及び成果]

(1) 市民ふれあいの森管理事業費 956,696 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	草刈、浄化槽保守管理	草刈、浄化槽保守管理

[指 標]

指 標 名：市民ふれあいの森利用者満足度
指標説明：アンケート満足者数／アンケート総数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 農地整備費	991,354,765	160,202,950	211,000,000	2,812,274	617,339,541
2目 農業生産基盤整備費 <農業生産を支える基盤の充実>	856,450,178	160,202,950	211,000,000	2,700,000	482,547,228

1 かんがい排水整備事業費 85,738,440 円 (農地整備課)

[総括]

農業用排水施設の機能を強化することにより、水資源の有効利用と農業経営の安定化を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 県営かんがい排水事業補助金 38,994,228 円

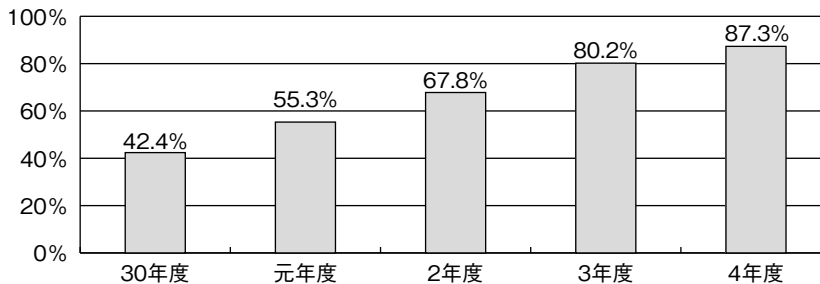
区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
二回地区	239,999,075円	52,520,210円	72,999,816円	11,284,298円
神野新田地区	429,899,570	42,897,892	277,099,300	27,709,930

(2) 県営かんがい排水事業負担金 3,239,940 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
牟呂明治地区	—	—	32,399,400円	3,239,940円

[指標]

指標名：県営かんがい排水事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成27年度～令和9年度)



※牟呂明治地区追加に伴う全体直接事業費見直しのため、30年度～3年度指標を再計算

(3) 単県土地改良事業補助金 35,490,990 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
土地改良区への補助	244,207,700円	39,540,470円	218,056,300円	35,490,990円

(4) 土地改良施設維持管理事業補助金 8,013,282 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
用水機維持管理事業補助金	75,134,000円	7,513,400円	96,476,000円	7,763,282円
土地改良施設維持管理 適正化事業補助金	2,000,000	200,000	2,500,000	250,000

2 ため池等整備事業費 100,803,534 円（農地整備課）

[総括]

ため池の適切な状態を維持し安全対策と機能保持を図った。今後もため池施設の適正な維持管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) ため池等維持管理適正化事業費 5,663,700 円

内 容	令和3年度	令和4年度
工 事 費	3,155,900円	3,098,700円
負 担 金	2,535,000	2,565,000

(2) ため池維持補修事業費 76,972,391 円

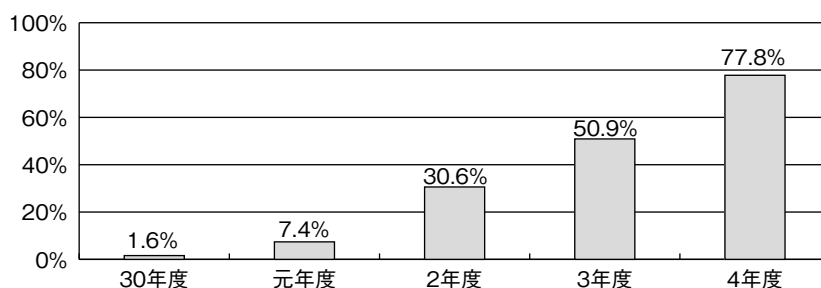
内 容	令和3年度	令和4年度
除 草 委 託	239,420㎡	248,680㎡

(3) 県営防災ダム事業負担金 16,747,885 円

区 分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
嵩山池地区	77,599,300円	8,535,923円	59,454,500円	6,539,995円
影色池地区	30,999,834	3,409,981	—	—
ひょうたん池地区	29,999,200	3,299,912	30,800,000	3,388,000
三太郎池地区	7,260,000	1,161,600	61,999,000	6,819,890

[指標]

指標名：県営防災ダム事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和6年度）



※影色池地区事業完了に伴う全体直接事業費見直しのため、30年度～3年度指標を再計算

(4) 県営湖岸堤防事業負担金 1,419,558 円

区 分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
神野新田3期地区	199,859,000円	27,980,260円	10,139,700円	1,419,558円

3 ほ場整備事業費 157,043,549 円（農地整備課）

[総括]

ほ場整備により農地の集団化と利用集積を行い、農業生産性を高め農業経営の安定化を図った。今後もほ場整備事業推進のため、地元や関係機関とより連携して事業を進めていく。

[実績及び成果]

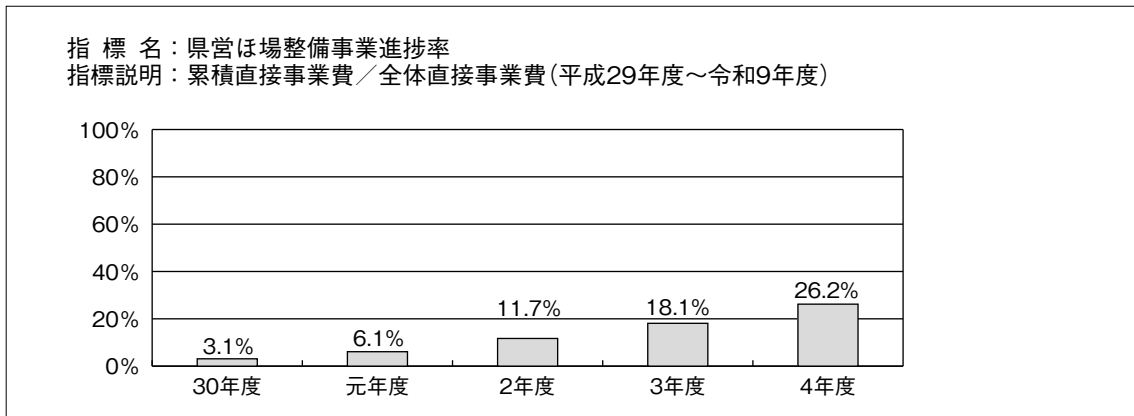
(1) 県営ほ場整備事業補助金 41,860,518 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	補助金	事業費	補助金
三郷地区	379,999,020円	25,972,755円	426,998,927円	33,021,265円
東細谷地区	279,858,674	4,322,477	420,138,748	8,839,253

(2) 県営ほ場整備事業負担金 115,183,031 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三郷地区	379,999,020円	37,594,551円	426,998,927円	41,808,195円
東細谷地区	279,858,674	46,979,063	420,138,748	73,374,836

[指標]



※三郷地区、東細谷地区事業費変更に伴う全体直接事業費見直しのため、30年度～3年度指標を再計算

4 農道整備事業費 6,277,040 円（農地整備課）

[総括]

農道整備を推進し、農作物運搬効率の向上、農業経営の安定及び農村生活環境の向上を図った。今後も県及び各関係機関との調整を密に行い、事業進捗を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 農道維持補修事業費 6,277,040 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		舗装工等 一式

5 農村保全活動推進事業費 195,863,600 円（農地整備課）

[総括]

地域資源（農用地・水路・農道等）の保全管理などの地域の共同活動に対し支援を行い、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図った。今後も、活動に関する指導、助言を行い、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能の適切かつ十分な発揮につなげていく。

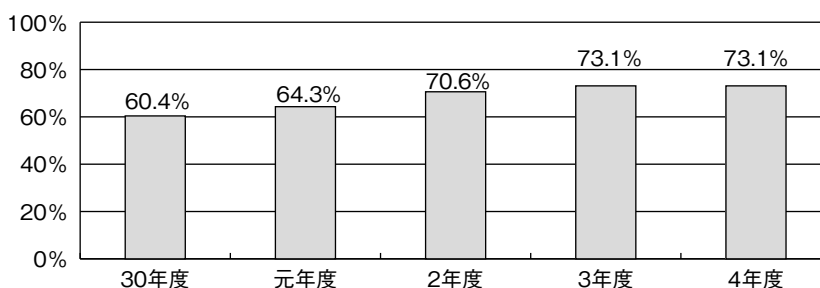
[実績及び成果]

(1) 農村保全活動推進事業費 195,863,600 円

内 容	令和3年度	令和4年度
活動組織数	35組織	35組織
事業費	189,313,976円	195,863,600円

[指標]

指標名：対象農用地面積に対する活動面積の比率(カバー率)
 指標説明：活動面積／対象農用地面積(市内農振農用地区域内の農用地面積)



6 農業用排水機場整備事業費 136,135,307 円（河川課）

[総括]

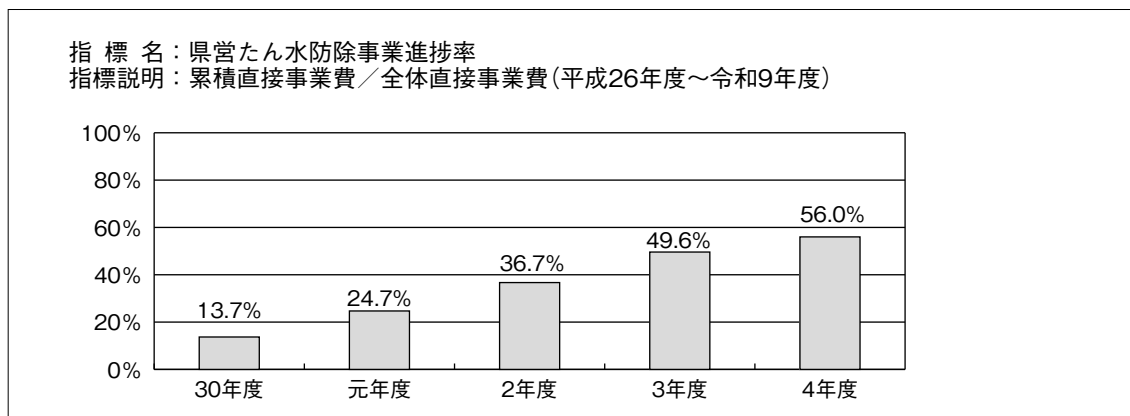
施設の老朽化に伴い能力が低下した排水機場、排水路等を更新することにより、農地のたん水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図った。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 県営たん水防除事業負担金 70,311,010 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
新清須地区	265,997,946円	39,899,691円	159,999,202円	23,999,880円
新高師地区	209,417,000	31,412,550	67,685,220	10,152,783
野依地区	321,102,496	41,743,324	26,403,896	3,432,506
新梅敷地区	70,399,341	9,151,914	99,999,542	12,999,940
三郷地区	141,119,400	18,345,522	151,737,700	19,725,901

[指標]



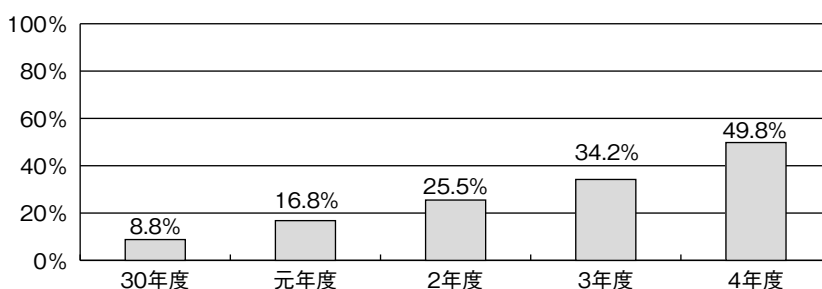
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、30年度～3年度指標を再計算

(2) 県営緊急農地防災事業負担金 38,623,365 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
大村東地区	71,244,800円	10,686,720円	94,559,300円	14,183,895円
大村西地区	72,242,500	10,836,375	162,929,800	24,439,470

[指標]

指標名：県営緊急農地防災事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成28年度～令和7年度)



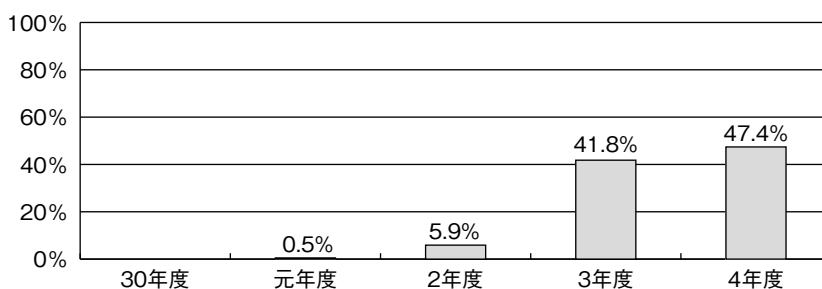
※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、30年度～3年度指標を再計算

(3) 農業水利施設保全対策事業負担金 8,202,832 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
豊橋西部地区	274,819,600円	52,215,724円	35,173,600円	6,682,984円
八王子地区	—	—	7,999,200	1,519,848

[指標]

指標名：農業水利施設保全対策事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和元年度～6年度)



※各地区の事業費変更に伴う全体直接事業費の見直しのため、元年度～3年度指標を再計算

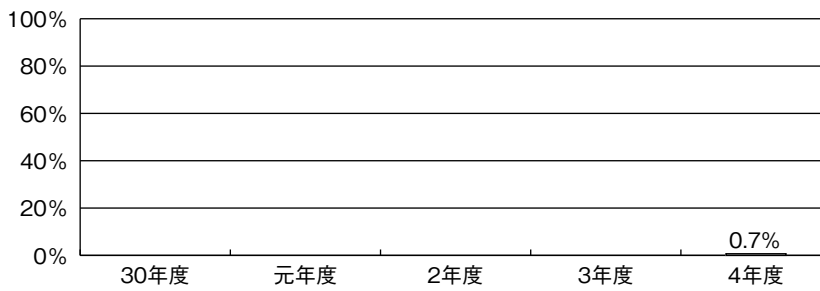
(4) 用排水施設整備事業負担金 2,887,500 円

区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
	事業費	市負担金	事業費	市負担金
三協排水路地区	—	—	13,750,000円	2,887,500円

[指 標]

指 標 名：用排水施設整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(令和4年度～10年度)



- (5) 緊急農地防災事業費 15,615,600 円

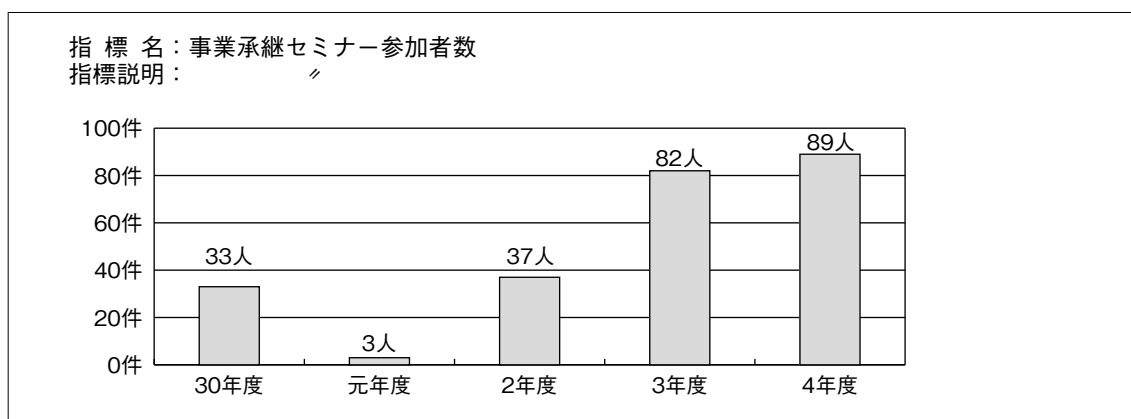
地 区 名	令和3年度	令和4年度
緑 地 区	組立水路工 一式	組立水路工 一式

- (6) たん水防除事業計画調査事業費 495,000 円

地 区 名	令和3年度	令和4年度
杉 山 地 区	—	計画調査 一式

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,772,190,904	451,905,996	0	1,140,813,139	1,179,471,769
1 項 商 工 費	2,772,190,904	451,905,996	0	1,140,813,139	1,179,471,769
2 目 経営力強化支援費 <経営基盤の強化と人材育成への支援>	1,649,973,538	415,733,747	0	1,037,120,500	197,119,291
1 中小企業振興事業費 330,391,487 円 (産業政策課・商工業振興課)					
[総括]					
中小企業の経営基盤強化のため、事業承継や人材育成などの事業継続に向けた支援を行った。また、企業BCP (事業継続計画) 等の普及・啓発を目的として、策定を促すためのセミナーや策定に係る経費に対して支援を行った。今後も継続して中小企業の経営基盤の強化を図るとともに、業態転換などの新たなチャレンジを支援していく。					
[実績及び成果]					
(1) 設備投資等支援事業費 136,213,091 円					
(ア) 中小企業振興助成金 135,799,360 円					
助 成 金		令和3年度		令和4年度	
		194件	165,849,880円	158件	135,799,360円
(2) 事業承継支援事業費 171,024 円					
セミナー受講者数		令和3年度		令和4年度	
		会場受講	延 46人	会場受講	延 48人
		WEB受講	延 36	WEB受講	延 41
(3) 企業BCP策定支援事業費 160,000 円					
(ア) 企業BCP等策定推進事業費 40,000 円					
内 容		令和3年度		令和4年度	
		セミナー開催	延 95人	セミナー開催	延 76人
(イ) 企業BCP等策定支援事業費補助金 120,000 円					
補 助 金		令和3年度		令和4年度	
		5件	150,000円	4件	120,000円
(4) 中小企業関係団体等補助金 5,486,011 円					
(ア) 商業団体共同事業補助金 204,000 円					
補 助 金		令和3年度		令和4年度	
		6団体	643,000円	4団体	204,000円
(5) 新ビジネスチャレンジ応援補助金 1,764,000 円					
補 助 金		令和3年度		令和4年度	
		—		11件	1,764,000円
(6) マイナポイントを活用した消費活性化事業費 32,414,875 円					
内 容		令和3年度		令和4年度	
		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施	

[指標]



2 制度融資事業費 1,279,317,860 円（商工業振興課）

[総括]

中小企業に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小企業が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や小規模企業等振興資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資資金預託金 1,036,000,000 円

[預託金合計]

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 額		1,468,000,000円	1,036,000,000円	△29.4%
融 資 枠		5,244,000,000円	3,858,000,000円	—
融 資 実 績	件数	780件	653件	△16.3
	金額	3,199,601,000円	2,598,321,000円	△18.8
融 資 実 績 率		61.0%	67.3%	6.3ポイント

(ア) 小口事業資金預託金 509,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		508,000,000円	509,000,000円	0.2%
融 資 枠		1,524,000,000円	1,527,000,000円	—
融 資 実 績	件数	149件	66件	△55.7
	金額	953,380,000円	568,970,000円	△40.3
融 資 実 績 率		62.6%	37.3%	△25.3ポイント

(イ) 経営安定資金預託金 100,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		560,000,000円	100,000,000円	△82.1%
融 資 枠		1,680,000,000円	300,000,000円	—
融 資 実 績	件数	30件	14件	△53.3
	金額	210,200,000円	68,200,000円	△67.6
融 資 実 績 率		12.5%	22.7%	10.2ポイント

(ウ) 小規模企業等振興資金預託金 250,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		280,000,000円	250,000,000円	△10.7%
融 資 枠		1,680,000,000円	1,500,000,000円	—
融 資 実 績	件数	457件	424件	△ 7.2
	金額	1,515,671,000円	1,430,950,000円	△ 5.6
融 資 実 績 率		90.2%	95.4%	5.2ポイント

(エ) 中心市街地商業活性化資金預託金 25,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		32,000,000円	25,000,000円	△21.9%
融 資 枠		96,000,000円	75,000,000円	—
融 資 実 績	件数	2件	0件	皆減
	金額	10,000,000円	0円	皆減
融 資 実 績 率		10.4%	0.0%	△10.4ポイント

(オ) 創業支援資金預託金 127,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		67,000,000円	127,000,000円	89.6%
融 資 枠		201,000,000円	381,000,000円	—
融 資 実 績	件数	136件	141件	3.7
	金額	492,350,000円	506,960,000円	3.0
融 資 実 績 率		245.0%	133.1%	△111.9ポイント

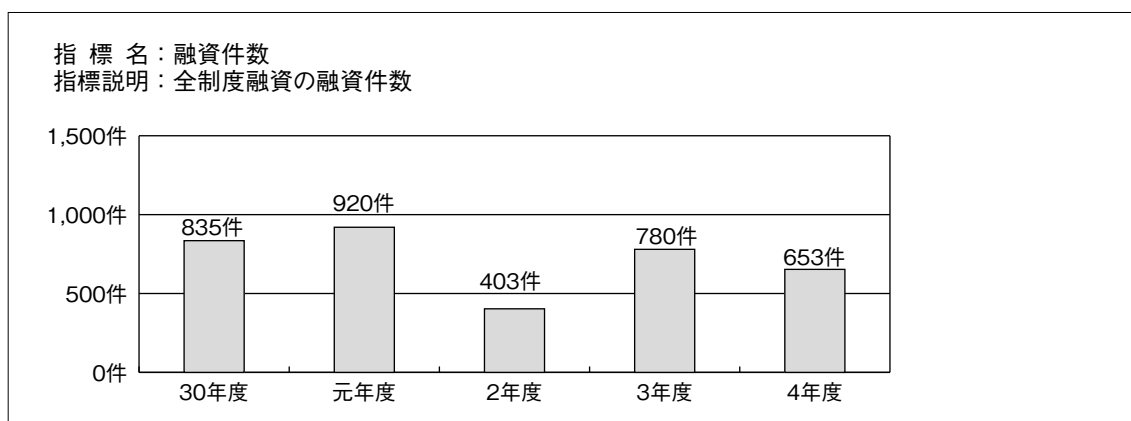
(カ) 中小企業団体共同事業資金預託金 7,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		7,000,000円	7,000,000円	0.0%
融 資 枠		21,000,000円	21,000,000円	—
融 資 実 績	件数	0件	0件	0.0
	金額	0円	0円	0.0
融 資 実 績 率		0.0%	0.0%	0.0ポイント

(キ) 小規模事業資金預託金 18,000,000 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		14,000,000円	18,000,000円	28.6%
融 資 枠		42,000,000円	54,000,000円	—
融 資 実 績	件数	6件	8件	33.3
	金額	18,000,000円	23,241,000円	29.1
融 資 実 績 率		42.9%	43.0%	0.1ポイント

[指 標]



3 人材育成事業費 34,711,547円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総 括]

市内企業の事業活動を支えるため、情報関連技術や生産関連技術等に関する研修を実施した。また、本市をはじめ様々な機関が一体となって行う人材育成事業等の取組みに対して助成したほか、南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援した。今後も産業を支える人材の育成や交流を進める取組みを行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 人材育成支援事業費 25,814,888円
 (ア) 中小企業人材育成支援研修事業費 23,754,984円

セミナー受講者数	令和3年度	令和4年度
	197人	154人

- (2) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,150,000円

補助金	令和3年度	令和4年度
	3,150,000円	3,150,000円

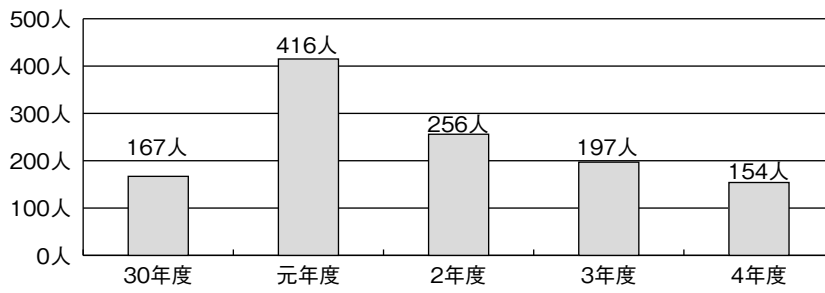
- (3) 学生の学びと交流空間運営事業費 5,746,659円

内 容	令和3年度	令和4年度
	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援	大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援したほか、企業の魅力発見・発信講座を実施

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加者数

指標説明：中小企業人材育成支援研修参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 新事業創出費 <スタートアップの促進と新たなビジネスモデルの創出支援>	223,692,906	11,000,000	0	56,580,482	156,112,424

1 新事業創出事業費 223,692,906円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

海外ECサイト等を活用した販路の構築支援、衛星データを活用したサービス創出のための実証実験への支援、スタートアップと市職員の協働による地域課題の解決に向けた実証実験の実施、農業者・地域企業・研究者とスタートアップとの共創プロジェクトづくり、ものづくり・夢づくり支援事業による起業支援などの、新たなビジネス創出につなげる様々な取組みを行った。また、特色ある技術を持った事業者が活躍し、地域における新産業を創出するため、産学連携等による新技術または新製品開発に向けた研究開発の取組みに対して助成した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 海外ECサイト販路構築事業費 2,503,928円

内 容	令和3年度	令和4年度
	個別相談及び海外ECサイト販売戦略講座等の実施 ・海外ECサイト事業登録事業者数 12社	

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 35,434,446円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
		35,651,703円

(3) オープンデータビジネス創出事業費 13,819,800円

内 容	令和3年度	令和4年度
	データポータルサイト及びデジタルサイネージの運用管理、公共交通運行情報システムの機能拡張及び運用管理	

(4) 衛星データ利活用促進支援事業補助金 6,717,952円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
		6,696,161円

(5) 官民一体型新ビジネス創出事業費 8,000,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
	スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施	

(6) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
		20,800,000円

(7) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 50,535,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
		52,599,480円		50,535,000円

(8) スタートアップ支援事業費 62,247,482円

(ア) アグリテック実証支援事業費 32,114,940円

内容	令和3年度		令和4年度	
	—			農業者・農業関係企業等の課題解決に資する製品開発に取り組むスタートアップとの共創プロジェクトを創出

(イ) 共創コミュニティ創出支援事業費 18,368,415円

内容	令和3年度		令和4年度	
	—			スタートアップと、そのチャレンジを応援する地域事業者等からなるコミュニティをつくり、両者の共創を促進

(ウ) 研究シーズスタートアップ支援事業補助金 11,760,127円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	—			11,760,127円

(エ) スタートアップ創出プログラム参加支援補助金 4,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	—			4,000円

(9) ものづくり・夢づくり支援事業費 15,708,000円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 2,003,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	18件	1,931,000円	23件	2,003,000円

(イ) 販路開拓支援事業費補助金 5,349,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	27件	5,199,000円	27件	5,349,000円

(ウ) 起業支援事業費補助金 6,356,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	26件	6,827,000円	30件	6,356,000円

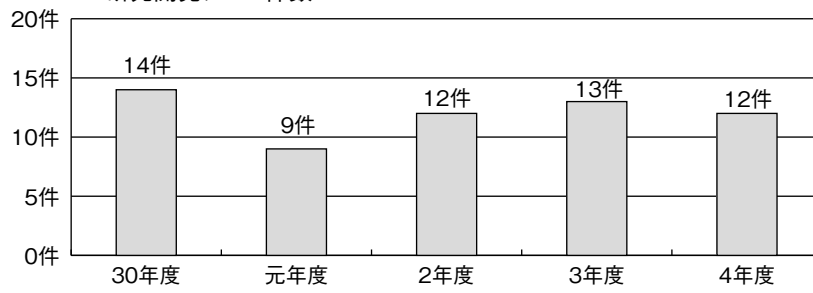
(エ) 「ものづくり博2022in東三河」開催費補助金 2,000,000円

補助金	令和3年度		令和4年度	
	—			2,000,000円

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数

指標説明：イノベーション創出等支援事業及び衛星データ利活用促進支援事業(令和2年度～)の
研究開発テーマ件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 <産業集積の促進>	268,049,432	0	0	9,435,000	258,614,432

1 企業誘致推進事業費 268,049,432 円 (産業政策課)

[総括]

首都圏で開催された展示会や県主催の産業立地セミナーに参加するなど、市外、県外の企業に対し、積極的な誘致活動を行い、豊橋東インターチェンジ工業用地については全ての用地の売却先が決定した。

また、用地を必要としない企業誘致として、サテライトオフィス誘致補助金によりオフィスの誘致を進めた。さらに、市内企業のニーズ把握のため、情報交換会を行った。加えて、内陸での産業用地の需要が高まっているため、豊橋新城スマート I C (仮称) 開設予定地付近において、新たな産業用地確保に向けた調査を行った。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 1,919,432 円

内 容		令和3年度		令和4年度	
立地企業情報交換会	開催日	7.13	7.16	7.4	7.12
	場 所	リサーチパーク	石巻地区	明海地区	神野地区・御津2区
	出席企業数	6社	9社	16社	11社
東三河5市企業誘致 推進連絡会議	事業実績	○メッセナゴヤ出展 11.10～11.13 ポートメッセなごや ○2022国際ロボット展出展 3.9～3.12 東京ビッグサイト		○ものづくり博2022in東三河出展 6.17～6.18 豊橋市総合体育館 ○モノづくりフェア2022出展 10.5～10.7 マリンメッセ福岡 ○メッセナゴヤ出展 11.16～11.18 ポートメッセなごや ○テクニカルショウヨコハマ2023出展 2.1～2.3 パシフィコ横浜	
サテライトオフィス誘致補助金		4社	3,930,000円	3社	965,000円

(2) 企業立地促進奨励金 257,660,000 円

奨 励 金	令和3年度		令和4年度	
		45件	352,903,000円	42件

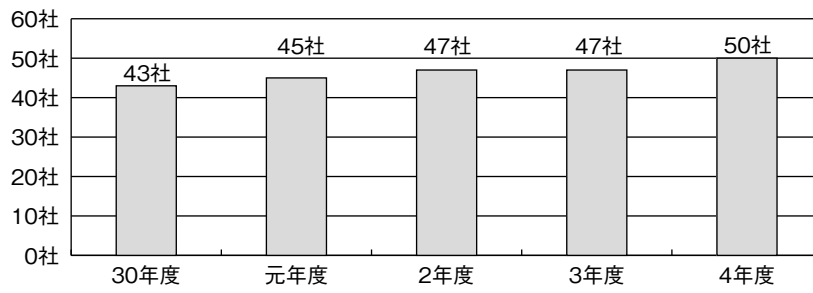
(3) 産業拠点形成事業費 8,470,000 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
		配水管布設工事委託業務 廃棄物処理等業務		産業用地整備計画策定調査委託業務

[指 標]

指 標 名：産業用地における立地企業数(累計)

指標説明：豊橋市、愛知県企業庁及び豊橋市土地開発公社が分譲する産業用地に立地した企業の数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 目 まちなかにぎわい創出費 <まちなかにぎわいの創出>	40,756,660	15,556,000	0	0	25,200,660

1 まちなかにぎわい創出事業費 13,578,255 円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やクリスマスマーケット、初開催となるおさんぽマルシェ等を商店街や他の団体のイベントと連携し開催した。また、リノベーションまちづくりを進めるため、空き物件の活用に向けた事業提案会等を行った。今後も中心市街地で活躍する関係者や団体と連携・協力しながら、まちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 7,824,850 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
とよはしクリスマス マーケットの開催	開催期間	12.16~12.25 10日間	開催期間	12.16~12.25 10日間
	来場者数	延 22,500人	来場者数	延 31,500人
おさんぽマルシェの 開催	開催回数	0回	開催回数	2回
豊橋駅南口駅前広場、 まちなか広場使用実績	使用件数	75件	使用件数	113件
	使用日数	91日	使用日数	126日

(2) エリアプラットフォーム負担金 800,000 円

負 担 金	令和3年度	令和4年度
	—	800,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000 円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
	1件	500,000円	1件	500,000円

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 3,958,405 円

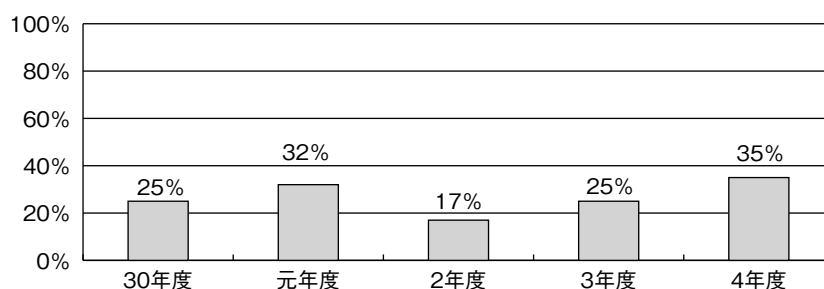
内 容	令和3年度		令和4年度	
歩行者天国の実施	実施回数	0回	実施回数	4回
	来場者数	0人	来場者数 (連携イベント含む)	延 116,000人

(5) リノベーションまちづくり推進事業費 495,000 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
ワークショップ等の実施	実施回数	4回	実施回数	3回
	参加者数	延 141人	参加者及び聴講者数	計 62人

[指 標]

指 標 名：公共空間の年間稼働率
 指標説明：豊橋駅南口駅前広場またはまちなか広場が稼働している日の年間稼働率



2 TMO支援事業費 27,178,405 円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業やまちなかインキュベーション事業への支援を行った。また、民間活力とノウハウを活かしてにぎわいを創出するため、TMOが開催する広場でのイベントや豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ等のイルミネーション装飾への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業の集積やにぎわい創出のための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 共通駐車券事業補助金 454,000 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
	1件	466,000円	1件	454,000円

(2) まちなかインキュベーション事業補助金 7,792,000 円

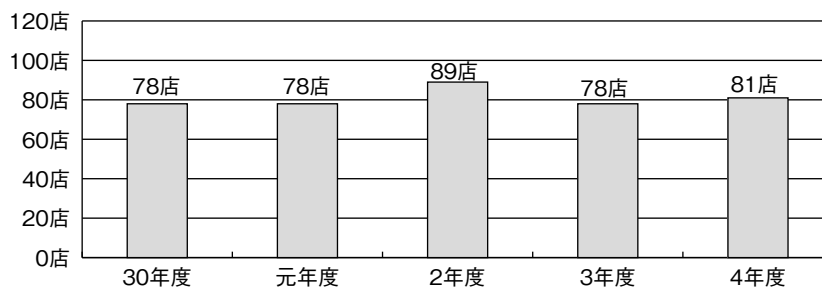
補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
	19件	9,580,000円	20件	7,792,000円

(3) 官民連携まちなかにぎわい創出事業補助金 18,932,405 円

補 助 金	令和 3 年度		令和 4 年度	
	—		1件	18,932,405円

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 観光振興費 <観光資源の魅力づくり>	76,100,549	0	0	5,906,800	70,193,749

1 まつり・イベント支援事業費 57,320,105 円 (観光プロモーション課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりは、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、3年ぶりに開催し、縮小規模でありながらも延べ60万人と多くの人出につながった。春まつり・花しょうぶまつりについても通常開催し、昨年以上のにぎわいとなった。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,520,105 円

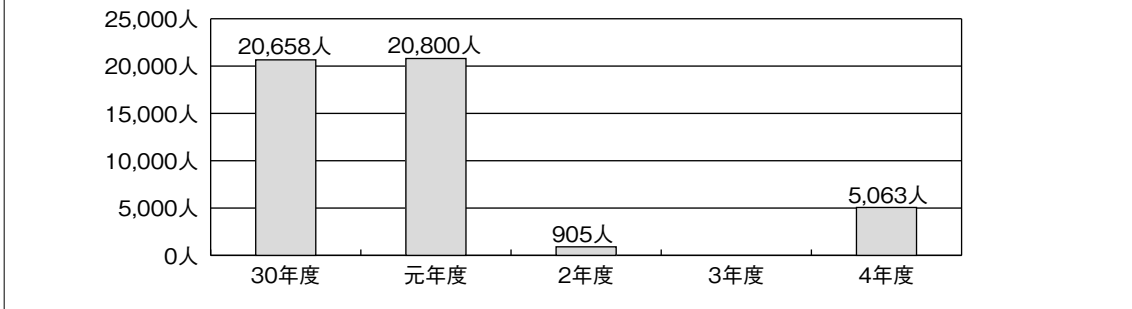
行 事 内 容			令和3年度	令和4年度
春まつり	さくらまつり	期 間	4.1~4.4 3.15~3.31 (21日間)	4.1~4.3 3.14~3.31 (21日間)
		場 所	豊橋公園	豊橋公園
		来場者数	延25,000人	延30,000人
	つつじまつり	期 間	—	4.16~5.5 (20日間)
		場 所	—	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	—	延2,500人
	うめまつり	期 間	2.4~3.6 (31日間)	2.3~3.5 (31日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	延20,000人	延30,000人
		補 助 金	3,042,428円	6,209,105円
花しょうぶまつり	期 間	5.26~6.8 (14日間)	5.25~6.7 (14日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	延40,000人	延100,000人	
	補 助 金	2,678,107円	4,311,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 46,800,000 円

区 分	令和3年度	令和4年度
開 催 日	—	10.15~10.16 (2日間)
会 場 数	—	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 18会場
行 事 数	1行事	29行事
総 人 出 数	—	延600,000人
総 参 加 団 体 数	—	約391団体
補 助 金	553,504円	46,800,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数(令和2年度はオンライン総おどり)
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 観光情報発信費 〈誘客につながるプロモーションの推進〉	167,245,961	9,616,249	0	27,501,800	130,127,912

1 観光プロモーション推進事業費 70,781,905 円 (産業政策課・観光プロモーション課)

[総括]

道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を推進するため、サイクリングイベントを実施した。また、本市の産業をPRするため、豊橋駅構内東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを実施した。海外向けのプロモーションとして、台湾現地旅行会社に対するセールスコールの実施や台湾向け繁体字Facebookページの開設及び運営による情報発信を行った。さらに、ポケモン化石博物館開催との連携事業としてポケモンマンホール「ポケふた」の設置やスタンプラリー等を実施した。

今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につながるプロモーションを展開していく。

[実績及び成果]

(1) 観光プロモーション推進事業費 70,781,905 円

(ア) 推進活動費 2,664,879 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	—	—

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,825,779 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		車両 {フォルクスワーゲン} 及びものづくり技術 {株式会社アイセロ} の紹介展示

(ウ) 手筒花火放揚 8,000,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—
観光プロモーション実施回数 ※ () は日数	—	2 (2)

(エ) 訪日外国人観光客誘致 1,461,999 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		・オンラインメディア等を活用した情報発信 ・大台南国際旅展へのブース出展 ・台湾現地旅行会社へ対するセールスコール及び台湾台南市政府や観光協会と連携した相互の観光情報発信

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 44,893,808 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」への掲載 返礼品件数：2,958件	

(カ) 道の駅「とよはし」を拠点としたサイクルツーリズムの推進 5,177,660 円

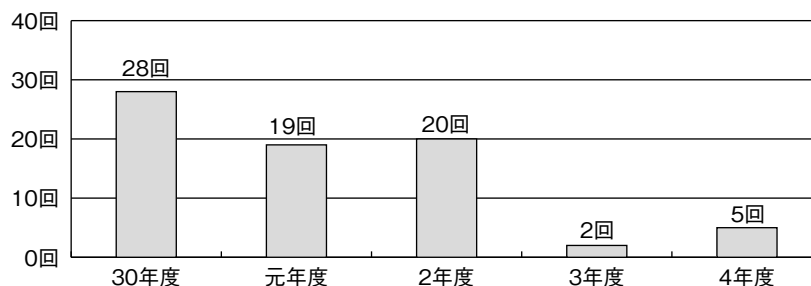
内 容	令和3年度	令和4年度
	道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を充実させるため、サイクリストのための工具ステーションを整備したほか、スタンプラリー等のサイクリングイベントを実施 ・サイクリングイベント 2回(2日)	
観光プロモーション実施回数 ※()は日数	2(2)	3(148)

(キ) 自然史博物館と連携した観光プロモーション 5,757,780 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	

[指標]

指標名：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数
指標説明：〃



2 観光宣伝事業費

26,196,418 円（観光プロモーション課）

[総括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌等による情報発信や観光案内所、道の駅「とよはし」でPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

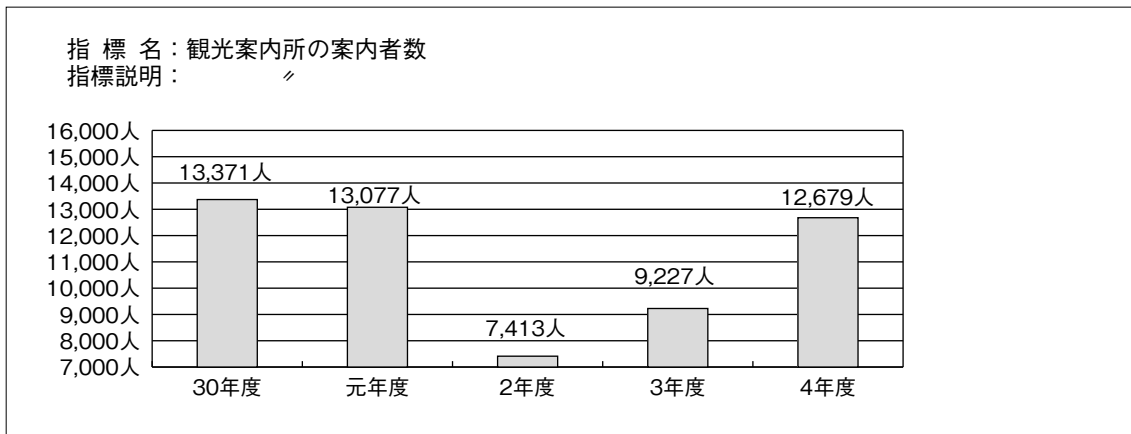
(1) 観光PR活動推進事業費 16,284,574 円

豊橋市への来訪者数	令和3年度	令和4年度	比較
	延 3,580,996人	延 4,441,526人	24.0%

(2) 観光案内所運営事業費 9,911,844 円

案内者数	令和3年度	令和4年度	比較
	延 9,227人	延 12,679人	37.4%

[指標]



3 映像作品活用誘客推進事業費

38,016,613 円（観光プロモーション課）

[総括]

大河ドラマ「どうする家康」の放送を機に、本市が徳川四天王の筆頭格酒井忠次ゆかりの地であることの認知度の向上と本市への観光誘客を図るため、酒井忠次のオリジナルフレーム切手等の製作・販売を行った。また、一般社団法人とよはしフィルムコミッションへ負担金を支出し、映画やドラマ等豊橋でのロケ活動を支援することで、作品を通じて本市の魅力を発信した。今後も映像作品を活用した本市のPRを図っていく。

[実績及び成果]

(ア) 大河ドラマと連動した誘客事業費 1,150,069 円

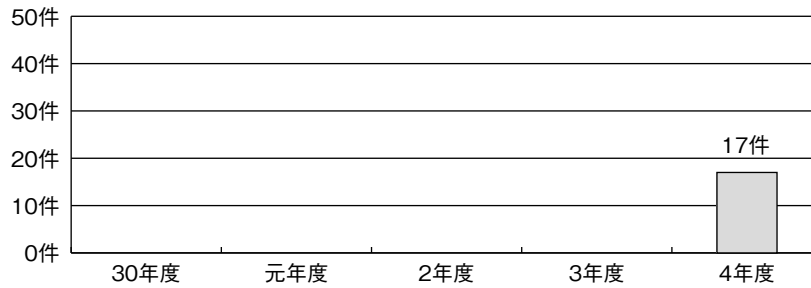
内 容	令和3年度	令和4年度
	—	・酒井忠次のオリジナルフレーム切手等の製作、販売(800セット製作)

(イ) 映像作品を活用した地域活性化事業費 36,866,544 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	・一般社団法人とよはしフィルムコミッションへの負担金の支出によるロケ支援（17件） ・豊橋まつりに合わせ、東三河と福島市の吹奏楽部の高校生による合同演奏会を実施

[指 標]

指 標 名：一般社団法人とよはしフィルムコミッションロケ支援件数 ※令和4年度以降
指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,439,744,601	2,833,681,426	2,900,800,000	992,878,078	7,712,385,097
1 項 道 路 橋 梁 費	4,161,917,688	672,578,005	1,330,300,000	345,516,091	1,813,523,592
2 目 幹 線 道 路 整 備 費 ＜ 幹 線 道 路 の 整 備 ＞	841,066,434	395,202,000	369,100,000	44,544,754	32,219,680

1 幹線道路建設促進対策事業費 74,678,535 円 (道路建設課)

[総括]

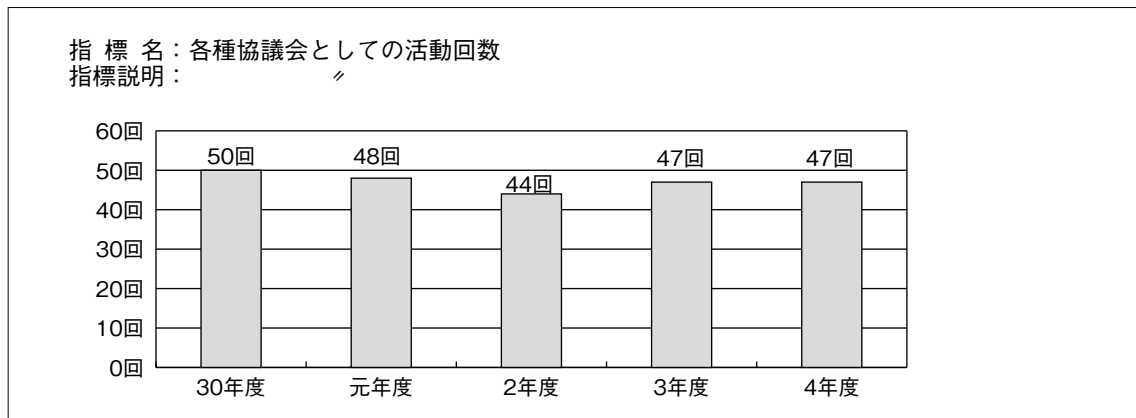
広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、人数制限等の新型コロナウイルス感染症対策を実施し、継続的に要望活動等を行った。豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業については、詳細設計を継続して行うとともに、盛土に必要な土の仮置場を一部確保した。豊橋新城スマート IC (仮称) 周辺土地利用検討事業については、土地利用構想策定に向け、住民ワークショップを 5 回開催した。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化し、地域と一体となって広域幹線道路の整備の促進を図るとともに、スマート IC の整備及び北部地域の活性化に向けた取組みを推進する。

[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,235,070 円

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加

[指 標]



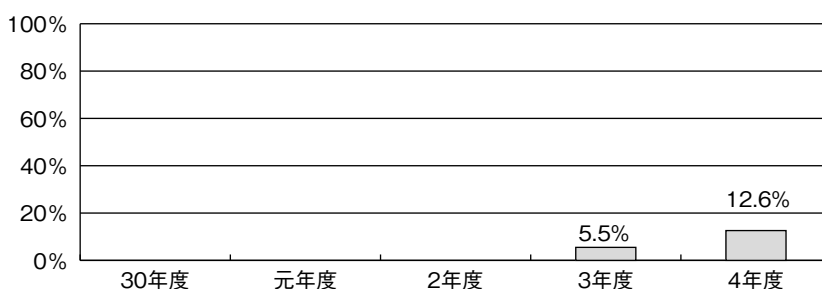
(2) 豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業費 73,277,771 円

(国庫補助事業 55,378,000 円 市単独事業 17,899,771 円)

	令和 3 年度	令和 4 年度
ス マ ー ト IC	詳細検討 詳細設計 —	— 詳細設計 盛土材仮置場の確保

[指標]

指標名：豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度～）



(3) 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用検討事業費 165,694円

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	豊橋新城スマートIC(仮称)土地利用構想策定委託業務 住民ワークショップ開催(5回)

2 幹線市道整備事業費 679,698,486円（道路建設課）

[総括]

大岩町・小松原町55号線及び明海町・老津町28号線は、用地取得とともに、道路改良工事を進めた。また、一色町・王ヶ崎町1号線については、第1工区の整備を完了した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を推進する。

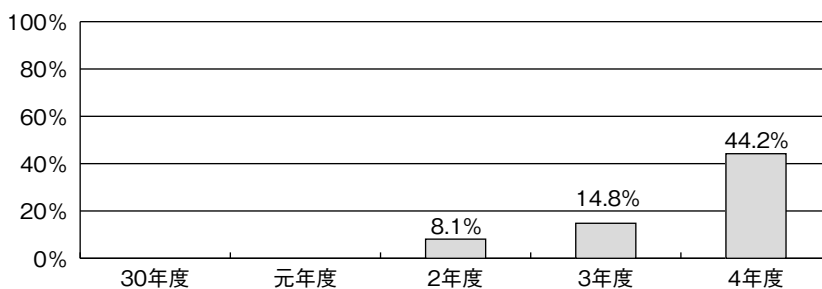
[実績及び成果]

(1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 248,318,874円
 (国庫補助事業 232,318,000円 市単独事業 16,000,874円)

道 路 改 良 (第4工区)	令和3年度	令和4年度
	延長 — 用地 280.23㎡ 補償 建物等	延長 73m 用地 3,823.00㎡ 補償 建物等

[指標]

指標名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和2年度～6年度）

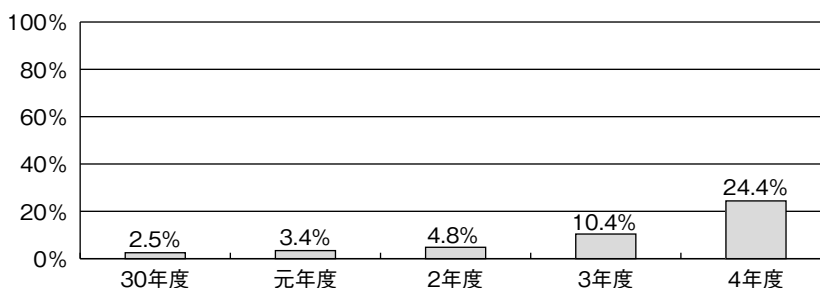


(2) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 394,695,712 円
 (国庫補助事業 382,726,000 円 市単独事業 11,969,712 円)

道 路 改 良	令和 3 年度	令和 4 年度
	詳細設計 延 長 194m 用 地 1,567.80㎡ 補 償 工作物等	—

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～）

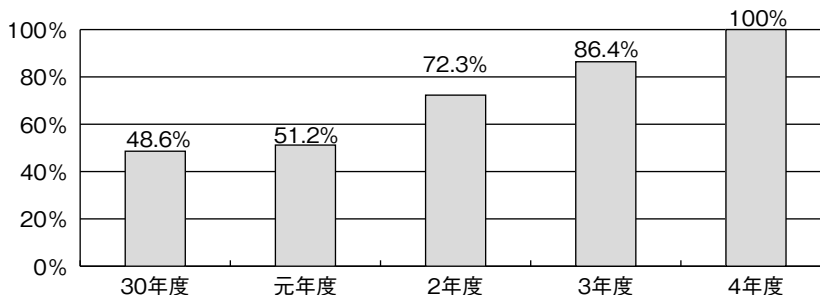


(3) 一色町・王ヶ崎町 1 号線整備事業費 36,683,900 円
 (国庫補助事業 33,900,000 円 市単独事業 2,783,900 円)

道 路 改 良	令和 3 年度	令和 4 年度
	延 長 230m	延 長 129m

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和4年度）



3 都市計画道路整備事業費 86,689,413 円（道路建設課）

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、弥生町線の用地取得とともに、道路改良工事を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

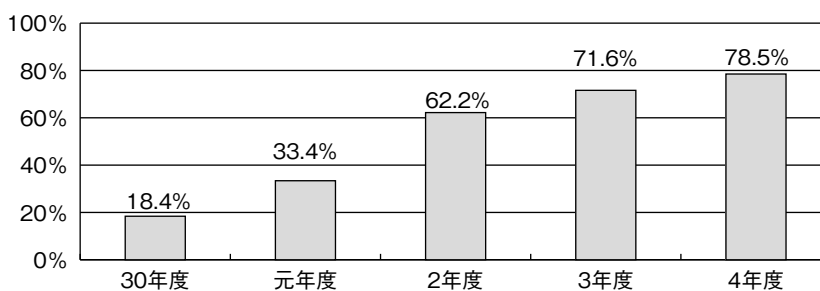
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 86,689,413 円
 (国庫補助事業 78,256,365 円 市単独事業 8,433,048 円)

道 路 改 良	令和3年度		令和4年度	
	延 長	131m	延 長	174m
用 地	1,048.07㎡	用 地	330.70㎡	
補 償	建物等	補 償	建物等	

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和6年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 交通環境保全費 <交通環境の保全>	2,170,526,133	233,829,005	934,800,000	101,738,042	900,159,086

1 自由連絡通路等管理事業費 210,865,004 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTリアンデッキなどを維持管理した。また、施設の長寿命化計画に基づき、ペDESTリアンデッキの防水工事を実施したほか、ペDESTリアンデッキ及び駅前地下道等の定期点検を実施し、施設の長寿命化計画の見直しも行った。今後も施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 194,318,334 円

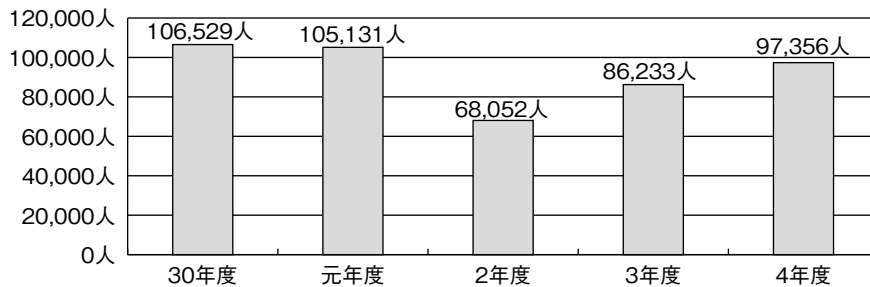
1日当たりの利用者数	令和3年度	令和4年度	比較
		81,863人	92,551人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,546,670 円

1日当たりの利用者数	令和3年度	令和4年度	比較
		4,370人	4,805人

[指標]

指標名：豊橋駅・二川駅1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数/日数



2 自転車等駐車場管理運営事業費 106,180,342 円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。指定管理者の提案事業により、場内照明の段階的なLED化を行ったほか、施設の長寿命化計画に基づき、豊橋駅東口地下エリア(北ゾーン)の天井剥落防止工事、豊橋駅東口地下エリア及び西口地下エリアの電気設備修繕等を行うなど、安全安心な施設づくりを行った。今後も、進学などを機に駅を利用する人に向けた定期利用の呼び掛けを継続し、利用者の確保に努めるほか、施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 66,297,137 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 4,200 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,407台	2,417台	0.4%
自 転 車	定 期	1,959	1,992	1.7
	一 時	312	289	△ 7.4
ミニバイク	定 期	105	102	△ 2.9
	一 時	31	34	9.7

(イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		10台	8台	△20.0%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	9	7	△22.2

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 26,321,559 円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		859台	889台	3.5%
自 転 車	定 期	700	710	1.4
	一 時	115	128	11.3
ミニバイク	定 期	38	44	15.8
	一 時	6	7	16.7

(イ) 自転車・ミニバイク（白河エリア） 収容台数 419 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		253台	263台	4.0%
自 転 車	定 期	93	98	5.4
	一 時	64	68	6.3
ミニバイク	定 期	26	25	△ 3.8
	一 時	13	14	7.7
自動二輪車 (原付2種含む)	定 期	43	42	△ 2.3
	一 時	14	16	14.3

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 13,561,646 円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370 台

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		340台	316台	△ 7.1%
自 転 車	定 期	259	241	△ 6.9
	一 時	37	40	8.1
ミニバイク	定 期	34	27	△20.6
	一 時	9	8	△11.1

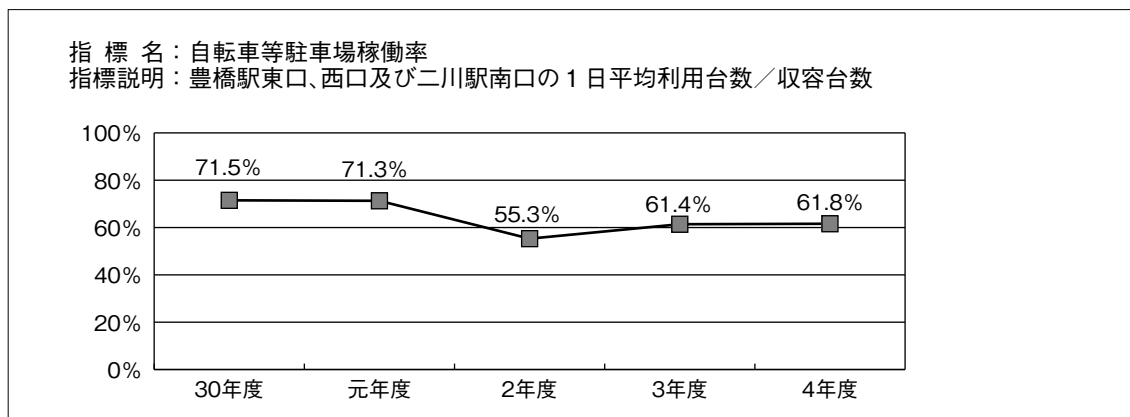
(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	26台	29台	11.5%

(ウ) 自動車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
	5台	7台	40.0%

[指 標]



3 道路施設等維持管理事業費 387,345,058 円（道路維持課）

[総 括]

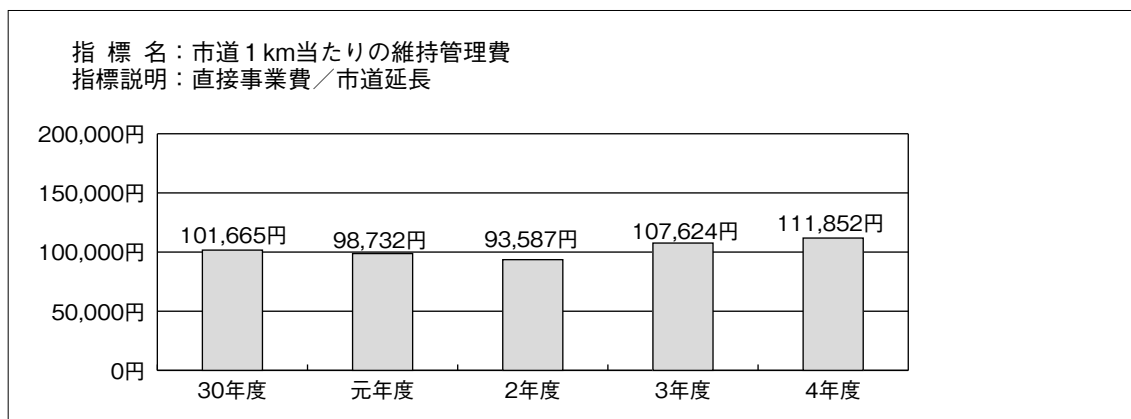
生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。今後も修繕等の迅速な対応に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 387,345,058 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
道 路 清 掃	81路線 延長 165.0km	63路線 延長 144.0km
道 路 側 溝 清 掃	47か所 〃 4,429m	55か所 〃 3,870m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
花田跨線橋擁壁補強	延長 40.67m	延長 39.47m

[指 標]



4 道路等維持改良事業費 334,240,500 円 (道路維持課)

[総 括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

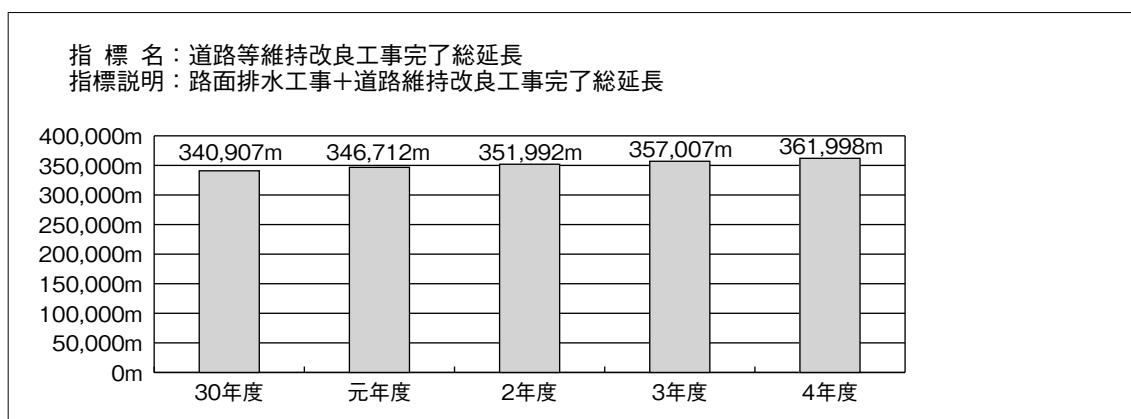
(1) 路面排水整備工事費 319,958,100 円

路 面 排 水	令和 3 年度		令和 4 年度	
	市内一円	延長 4,388m	市内一円	延長 4,445m
	市街地	〃 602 雨水浸透型側溝等設置	市街地	〃 500 雨水浸透型側溝等設置

(2) 道路維持改良工事費 14,282,400 円

道 路 維 持 改 良	令和 3 年度		令和 4 年度	
	1 件	延長 25m	1 件	延長 46m

[指 標]



5 道路舗装事業費 704,592,900 円（道路維持課）

[総括]

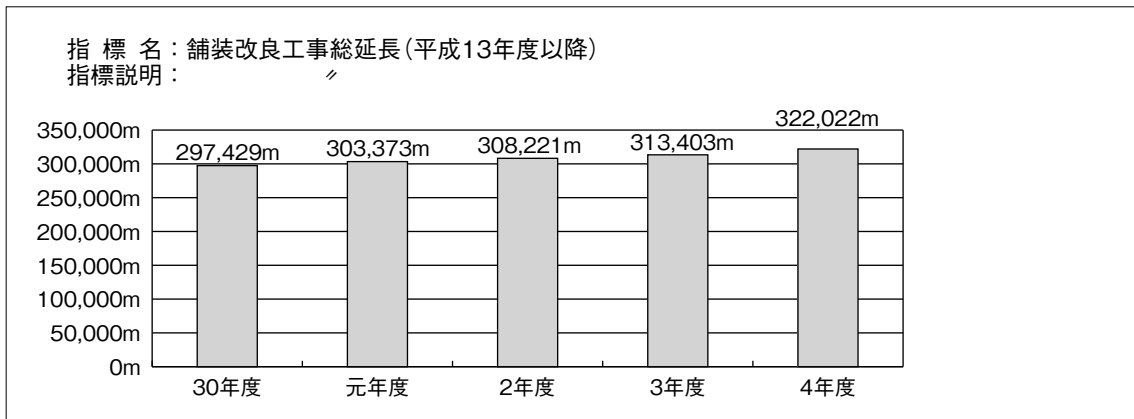
未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 704,592,900 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
舗装新設	延長 269m	面積 645㎡	延長 449m	面積 894㎡
舗装改良	〃 5,182	〃 31,174	〃 8,619	〃 53,051
舗装修繕	〃 9,829		〃 10,261	
路面性状調査	—		〃 55,150	

[指標]



6 橋梁整備事業費 296,192,782 円（道路建設課）

[総括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、「豊橋市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を行った。今後も道路の安全安心を確保するため、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

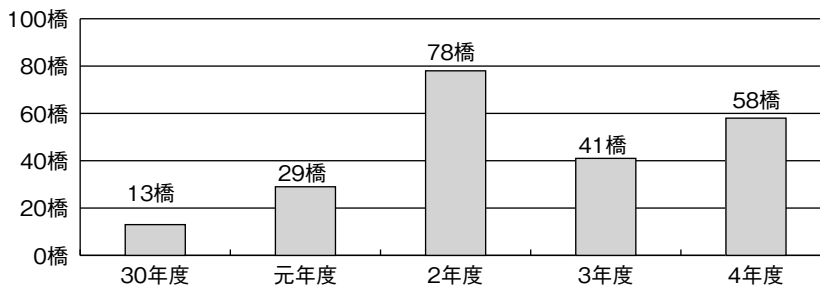
[実績及び成果]

(1) 橋梁長寿命化事業費 296,192,782 円
 (国庫補助事業 240,849,455 円 市単独事業 55,343,327 円)

内 容	令和3年度	令和4年度
計 画	豊橋市橋梁長寿命化修繕計画改定	—
定期点検	桜橋始め 193橋	榎瀬橋始め 297橋
補修(国庫補助)	切反ヶ谷橋始め 41	鷺田橋始め 58
補修(市単独)	畑ヶ田7号橋始め 13	城下橋始め 11

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：〃



7 道路環境整備事業費 6,893,700 円 (道路維持課)

[総 括]

歩道修繕を行い、段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

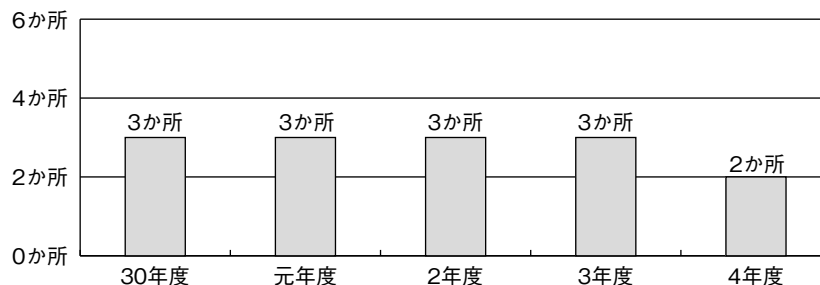
[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,893,700 円

歩 道 修 繕	令和 3 年度	令和 4 年度
	3 か所	2 か所

[指 標]

指 標 名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数
 指標説明：〃



8 狭あい道路拡幅整備促進事業費 6,174,357 円（土木管理課）

[総括]

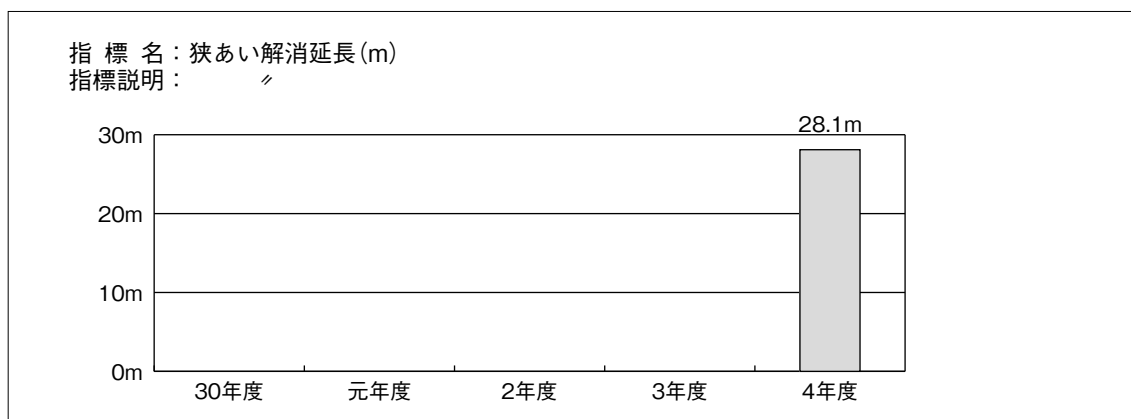
市内全域の幅員 4 m 未満の狭い道路のうち、建築基準法に定めるいわゆる「みなし道路」（第 42 条第 2 項）に面した道路用地寄附に対し、市が主体となり、測量、各種登記、道路拡幅工事を行った。今後も国の交付金を活用しながら、災害が発生しても緊急車両が目的地へ速やかに到着できる安全安心な交通環境整備に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 狭あい道路拡幅整備促進事業費 6,174,357 円

	令和 3 年度	令和 4 年度
狭あい解消延長	—	28.1m
拡幅工事延長	—	87.8
測量	—	2件
登記	—	2

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設の整備>	414,169,258	43,547,000	26,400,000	14,487,100	329,735,158

1 交通安全施設整備事業費 81,729,401 円 (道路建設課)

[総括]

石巻西川町・石巻中山町1号線は、土地評価及び物件調査を行った。飯村町・大岩町47号線ほかは、自転車道等の整備を完了した。自転車通行空間整備事業は、「豊橋市自転車活用推進計画」に定めた優先整備路線において、自転車通行空間の整備を行った。高師町・岩屋町22号線は、用地取得とともに、通学路における歩道の整備を進めた。今後も通学路などの安全を確保するため、道路状況等を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

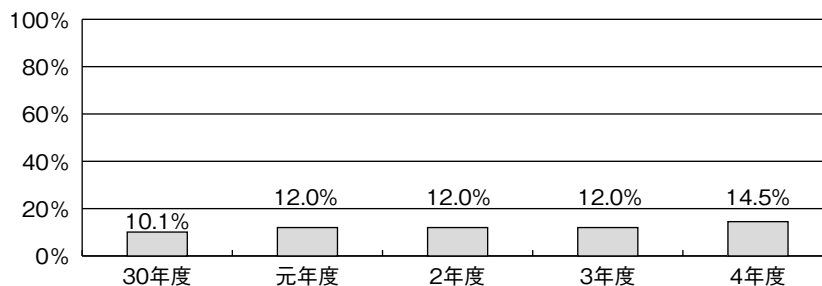
[実績及び成果]

- (1) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 11,348,700 円
(国庫補助事業 10,280,001 円 市単独事業 1,068,699 円)

自転車道等設置	令和3年度	令和4年度
	—	土地評価 物件調査

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～)



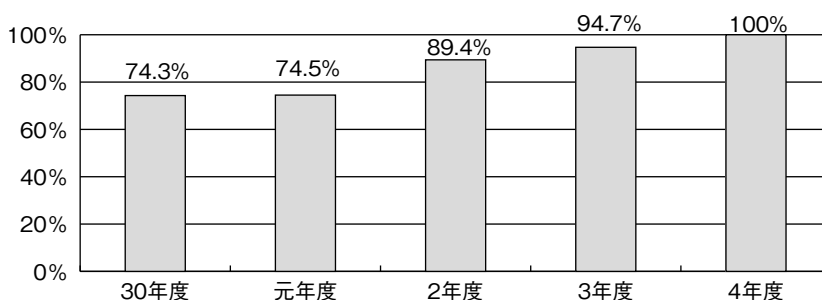
※総事業費の見直しにより再計算

- (2) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 24,603,700 円
(国庫補助事業 14,600,000 円 市単独事業 10,003,700 円)

自転車道等設置	令和3年度	令和4年度
	延長 — 用地 103.17㎡ 補償 建物等	延長 85m 用地 — 補償 —

[指 標]

指 標 名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～令和4年度）

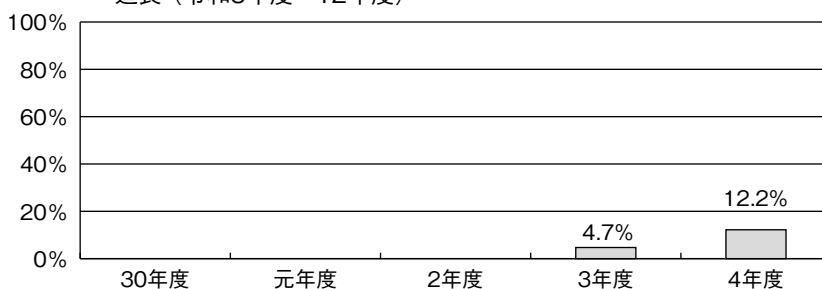


- (3) 自転車通行空間整備事業費 24,732,400 円
 (国庫補助事業 21,000,000 円 市単独事業 3,732,400 円)

内 容	令和3年度	令和4年度
調 査 設 計 路 面 標 示 等	自転車ネットワーク整備計画改定 延 長 993m	— 延 長 1,619m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／令和12年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線
 延長（令和3年度～12年度）

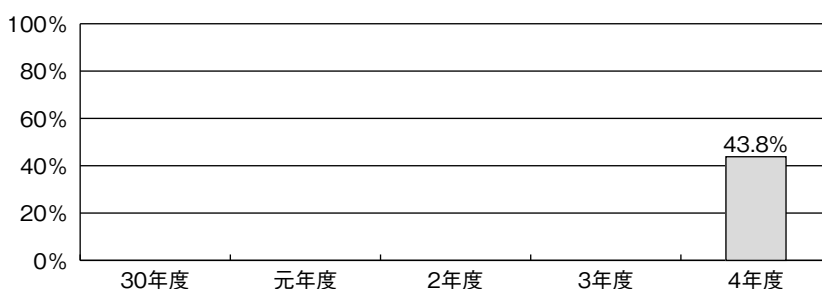


- (4) 高師町・岩屋町22号線歩道設置事業費 21,044,601 円
 (県費補助事業 19,800,000 円 市単独事業 1,244,601 円)

	令和3年度	令和4年度
道 路 改 良	—	延 長 86m 用 地 121.22㎡

[指標]

指標名：高師町・岩屋町22号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和4年度～5年度）



2 交通安全施設維持改良事業費 332,439,857 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等に対し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡などの設置・修繕により安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 199,086,800 円

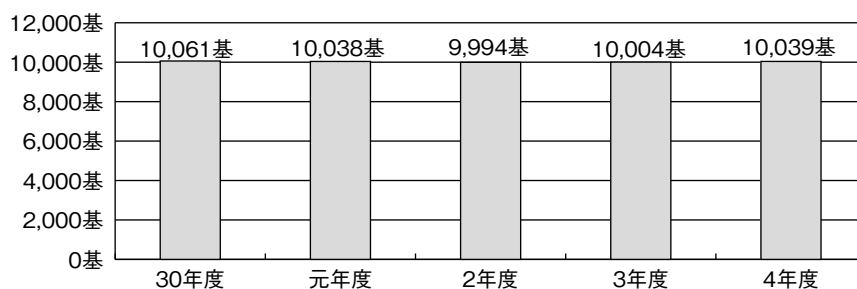
内 容	令和3年度	令和4年度
道路照明柱建替	71基	81基
交差点等安全カラー標示	10か所	10か所
防護柵設置	延長 333m	延長 271m
道路反射鏡設置	72基	71基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 56,209m	延長 54,235m
横断歩道橋修繕	橋脚修繕 1橋	薄層カラー舗装 1橋

(2) 交通安全施設維持事業費 133,353,057 円

道路付属物塗裝修繕	令和3年度	令和4年度
	7基	7基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,034,324,549	203,265,787	233,100,000	36,670,896	561,287,866
2目 水辺環境保全費 <親しまれる自然環境の保全>	358,632,677	0	99,200,000	0	259,432,677

1 河川水路等維持管理事業費 358,632,677円 (河川課)

[総括]

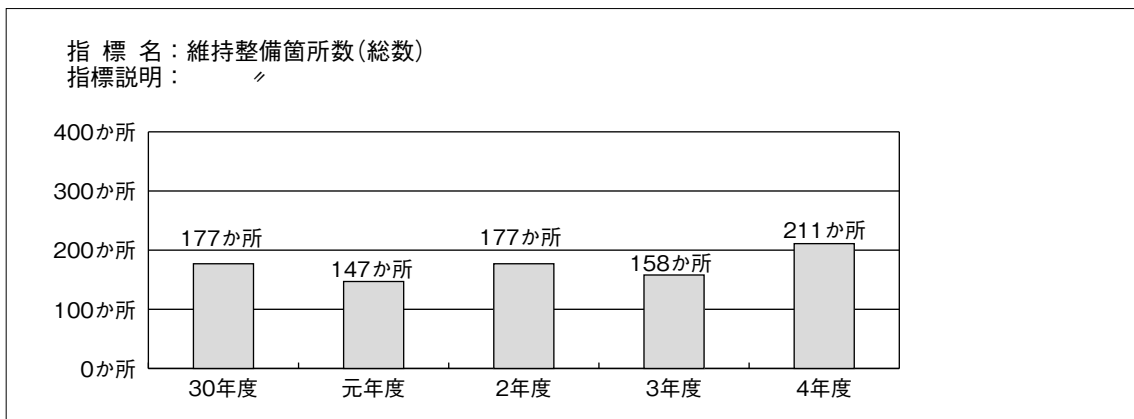
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 358,632,677円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	補修	54か所		66か所
除草	70	41,816㎡	73	38,747㎡
浚渫	34	3,213㎡	72	7,575㎡

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水・土砂災害対策費 <治山・治水対策の充実>	510,369,395	203,265,787	133,900,000	28,923,024	144,280,584

1 河川施設等維持管理事業費 273,324,367円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 38,864,600円
- (2) 排水機場維持管理事業費 160,332,091円
- (3) 樋門等操作委託事業費 3,705,992円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 70,421,684円

2 河川水路等改良事業費 61,007,126円 (河川課)

[総括]

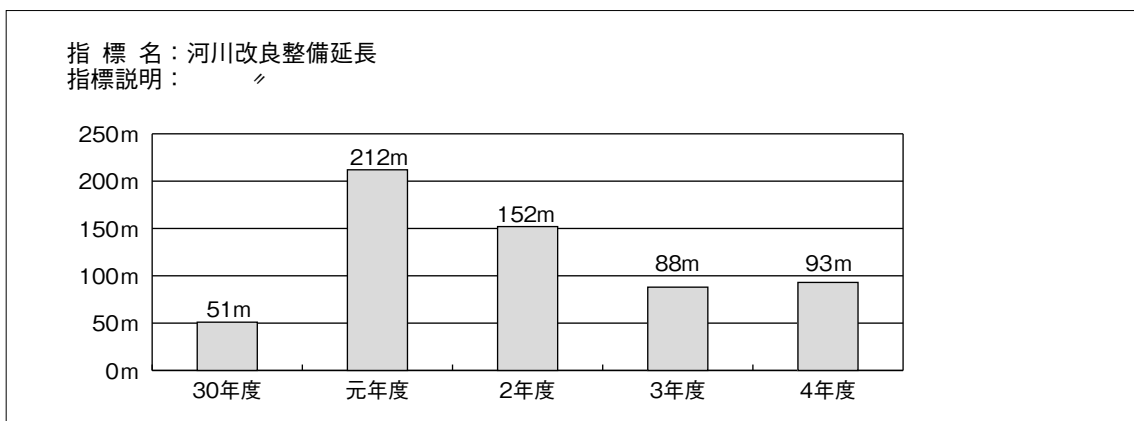
氾濫による被害を防止するため、流下能力を高めるとともに、老朽化した河川・水路の改良工事を行った。今後も改良事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 43,329,410円

河 川 改 良	令和3年度		令和4年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		88m		93m

[指標]

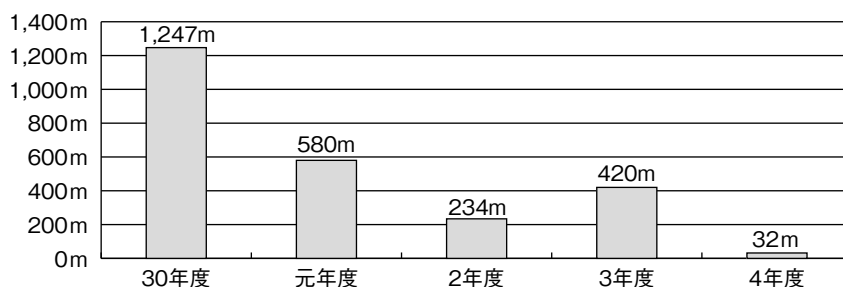


- (2) 水路改良事業費 8,391,543円

水 路 改 良	令和3年度		令和4年度	
	工 事	延長	工 事	延長
		420m		32m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



(3) 水路改良受託事業費 9,286,173 円

3 大雨浸水対策事業費 163,995,700 円 (河川課)

[総 括]

大雨や集中豪雨にともなう水路等の氾濫による浸水被害を防止するため、水路の改良や管きよの敷設などの工事を行った。今後も浸水対策事業の進捗を図る。

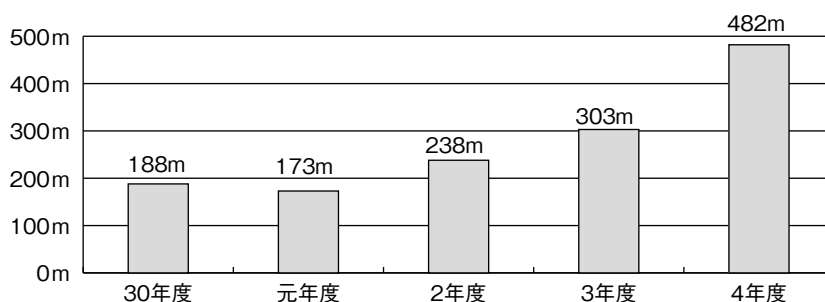
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 163,995,700 円

浸 水 対 策	令和 3 年度	令和 4 年度
	工 事 延長 303m	工 事 延長 482m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



4 土砂災害対策事業費 4,639,202 円（河川課）

[総括]

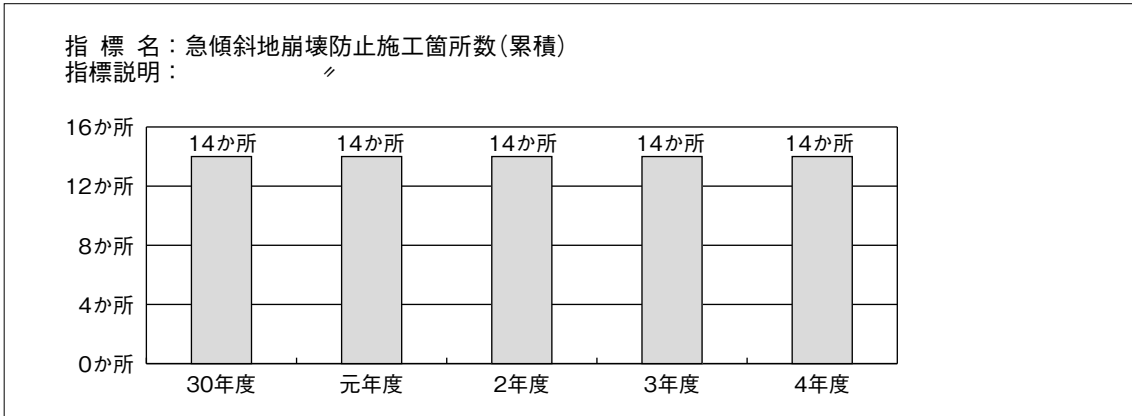
がけ崩れの危険のある区域として、愛知県が指定した急傾斜地崩壊危険区域について崩壊防止工事を実施した。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 4,639,202 円

事業主体	区分 地区名	令和3年度		令和4年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	28,159,078円	2,815,907円	46,392,020円	4,639,202円

[指標]



5 洪水ハザードマップ作成事業費 7,403,000 円（河川課）

[総括]

洪水浸水想定区域図等に基づき、豊川流域、紙田川・境川のハザードマップを作成した。今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 洪水ハザードマップ作成事業費 7,403,000 円

河川名	令和3年度	令和4年度
	梅田川（印刷） 佐奈川・音羽川	豊川流域（作成） 紙田川・境川（作成）

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,666,395,529	442,212,480	437,700,000	387,827,410	398,655,639
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	866,420	0	0	0	866,420

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 866,420円 (建築指導課)

[総括]

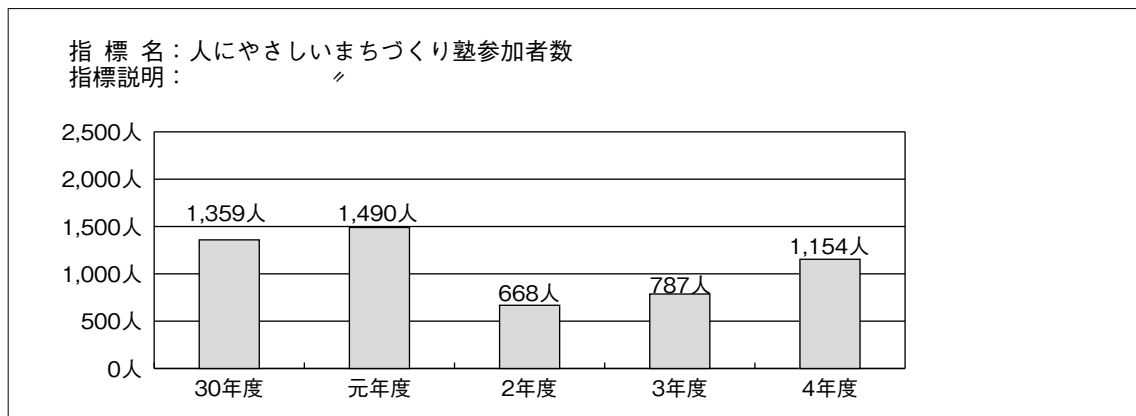
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、中学校、高等学校等で開催した。従来の開催形式にとらわれず講座を実施することで、「人にやさしいまちづくり塾」の開催回数及び参加者数が増加した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづくり啓発講座」を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 866,420円

啓発事業開催回数	令和3年度	令和4年度	比較
		19回	21回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	1,225,426,602	427,080,000	437,700,000	290,341,843	70,304,759

1 住宅維持管理事業費 398,307,054 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うために、計画的な工事、修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 334,852,844 円

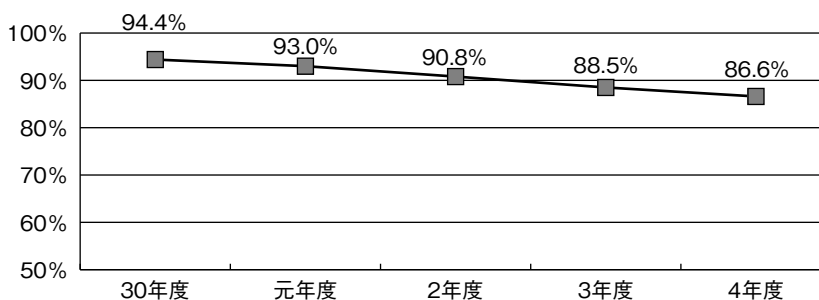
住宅管理戸数 (年度末)	令和3年度	令和4年度
		3,851戸

(2) 住宅維持補修事業費 63,454,210 円

工 事 内 容	令和3年度	令和4年度
屋 上 防 水	空池	中野
エ レ ベ ー タ ー 更 新	才ノ神	才ノ神
浴 室 改 修	才ノ神	才ノ神
取 り 壊 し	城山	—
遊 具 改 修	新多米	才ノ神、富本、多米、忠興、小鷹野
手 す り 設 置	—	空池

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

824,543,400 円（住宅課）

[総括]

西口住宅建替工事（第2期）がしゅん工し、既存入居者の移転を行うとともに、植栽工事を行った。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費

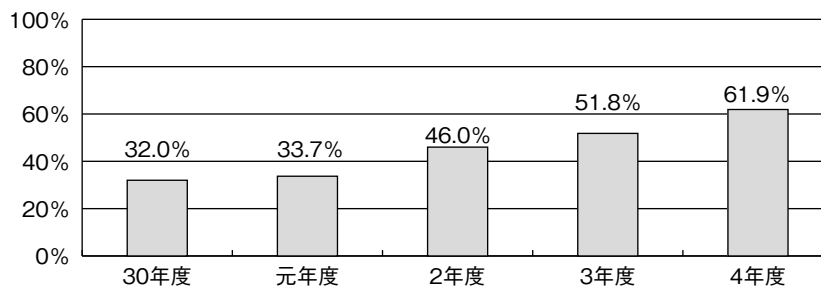
824,543,400 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	建設工事（第2期） 集会所建設工事	建設工事（第2期）しゅん工 植栽工事 移転補償

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和9年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 ＜空家対策の推進＞	16,951,601	8,399,000	0	0	8,552,601

1 空家対策推進事業費 16,951,601円 (建築物安全推進課)

[総括]

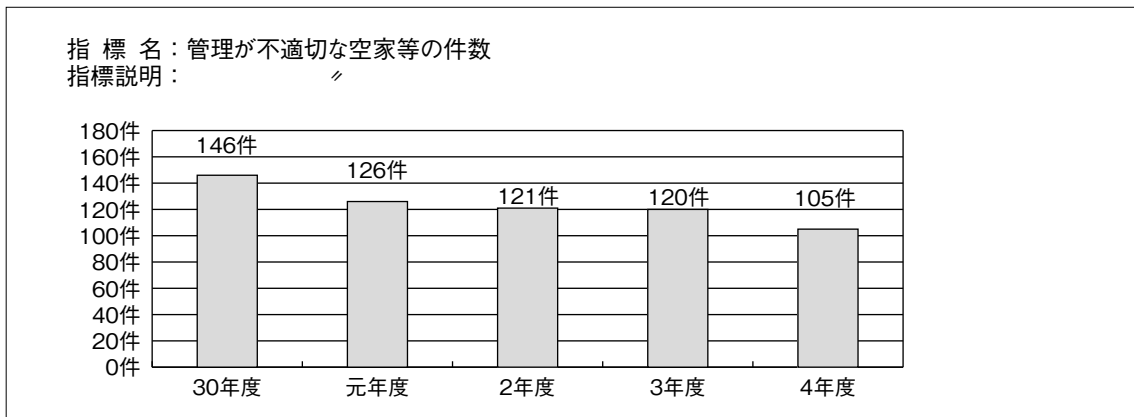
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金により、倒壊危険空家及び老朽空家の解体を促進した。今後も、管理が不適切な空家の所有者への助言や倒壊危険空家等の除却支援を行うとともに、空家等対策に関する業務等の提供ができる事業者を募る協力事業者登録制度等、官民連携による新たな手法も用いて市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 16,951,601円

区 分	令和3年度	令和4年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	3件	2件	45件
空家利活用改修費補助金補助件数	0	1	8
空家解体促進費補助金補助件数	55	53	251

[指 標]



※件数は、各年度末現在。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	9,446,780	0	0	0	9,446,780

1 建築指導事務費 9,446,780円 (建築指導課)

[総括]

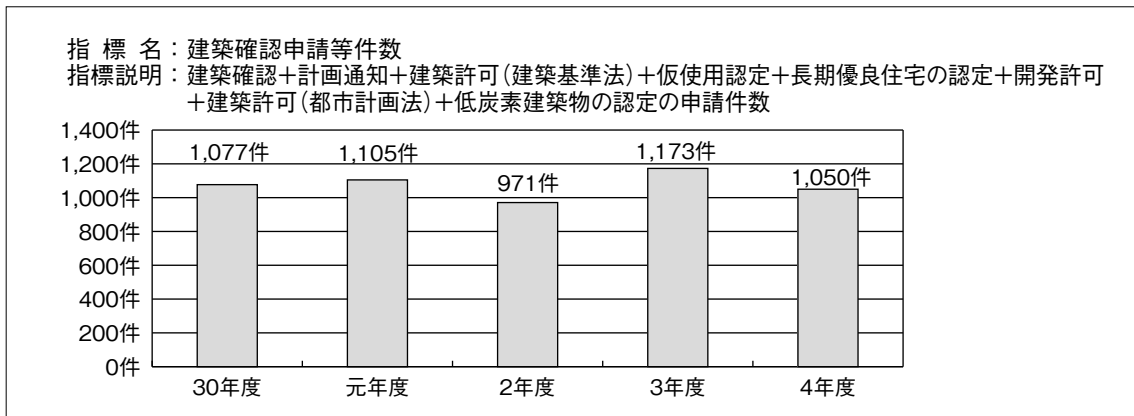
建築基準法に基づく申請のうち、「確認申請」は民間確認検査機関への申請が定着したことにより、令和3年度と同等の件数となった。一方、より性能が高いものとして認定される長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」及び都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、確認申請の全体件数が減ったため減少した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 9,446,780円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和3年度	令和4年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	7件	9件	28.6%
	計 画 通 知	19	21	10.5
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	14	10	△28.6
	仮使用認定申請	0	1	皆増
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	833	741	△11.0
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	18	10	△44.4
	建 築 許 可 申 請	228	229	0.4
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	54	29	△46.3

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	99,143,611	143,000	0	906,582	98,094,029
1目 港湾振興対策費 <ものづくり産業を支える港づくり>	73,915,776	143,000	0	27,510	73,745,266

1 港湾関連対策事業費 24,534,106円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望や三河港の利用促進に向けた企業ヒアリング活動を行うとともに、ものづくり博2022 in 東三河への出展、さらには3年ぶりに三河港ポートセミナーを開催し三河港のPR及び利用促進を呼びかけた。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、完成自動車及びコンテナ取扱量の維持・増加を図った。

令和4年の完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来30年連続で日本一を記録した。コンテナ貨物の取扱量については、引き続き世界的な物流の混乱や海上運賃の高騰の影響に加え、中国・ベトナム航路の抜港などの影響により更に低下した。

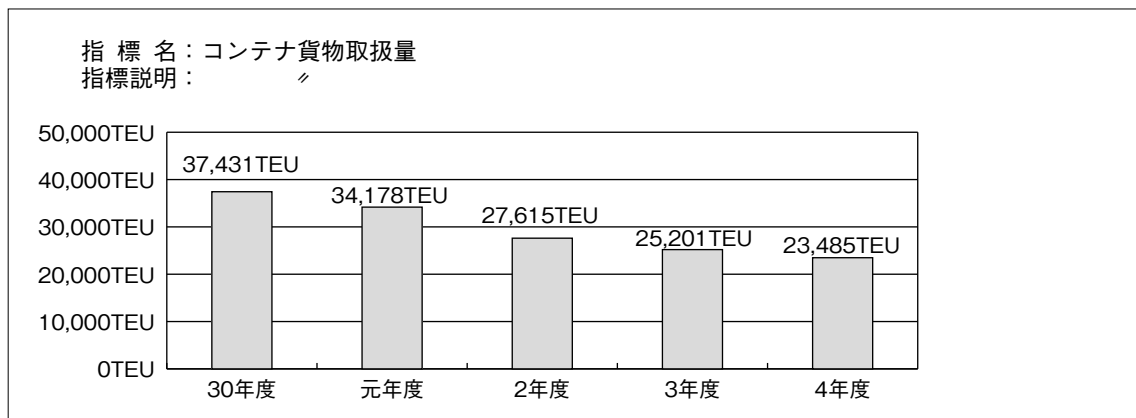
今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成制度や定期航路のさらなる周知、ポートセールス活動を強化するとともに、総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,724,106円
- (2) 三河港振興会負担金 18,810,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	6,000,000	8,000,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	6,320,000	10,210,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 みなとにぎわい創出費 <港のにぎわいの創出>	25,227,835	0	0	879,072	24,348,763

1 みなとにぎわい創出事業費 238,550円 (みなと振興課)

[総括]

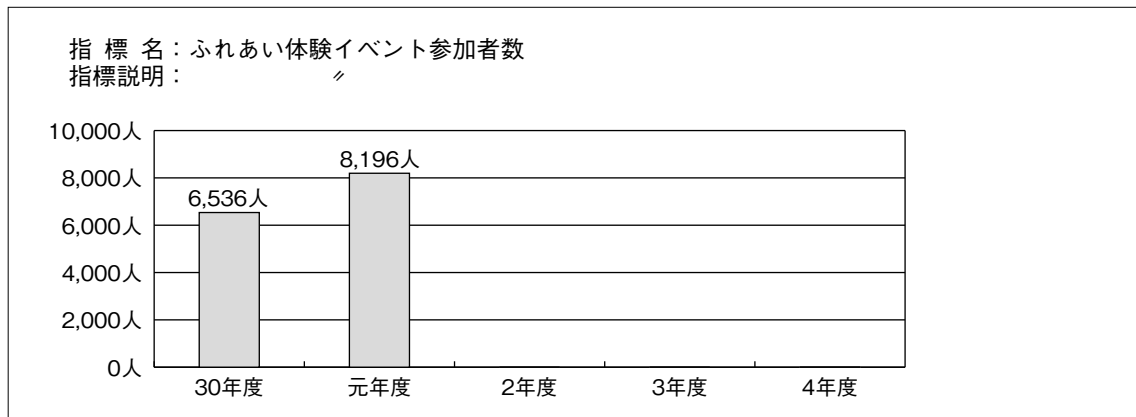
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カメラリアを拠点に様々なイベントを実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てのイベントを中止した。今後は、アフターコロナにおいて、インポーターや臨海部企業と再開に向けての調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 238,550円

内 容	令和3年度	令和4年度
イベント開催数	0回	0回
イベント参加者数	0人	0人

[指標]



2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 19,589,285円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和4年度も、基本的な感染防止対策や展示物の一部撤去を継続しつつ、小学校の社会科見学の受け入れなどを行った。今後も、適切なサービスの提供や展示内容の刷新を図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

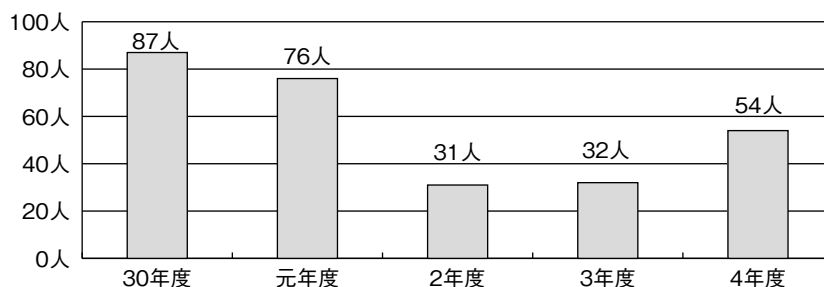
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 19,589,285円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	358日	358日	0.0%
利 用 者 数	延 11,457人	延 19,473人	70.0

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 港イベント事業費 5,400,000 円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。今後も、港湾関連団体やインポーターの協力を得ながら港の重要性について理解を深める場を提供していく。

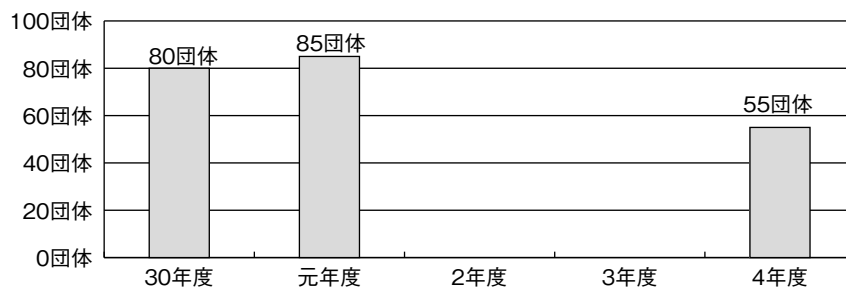
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 5,400,000 円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
	0円	5,400,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	4,277,229,246	1,252,891,540	479,100,000	56,396,927	2,488,840,779
2目 公園・緑地づくり費 <地域に根差した公園・緑地づくり>	1,021,095,362	203,686,000	187,700,000	22,247,531	607,461,831

1 公園施設維持管理事業費 692,040,555 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 548 か所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣の修復を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 418,317,776 円

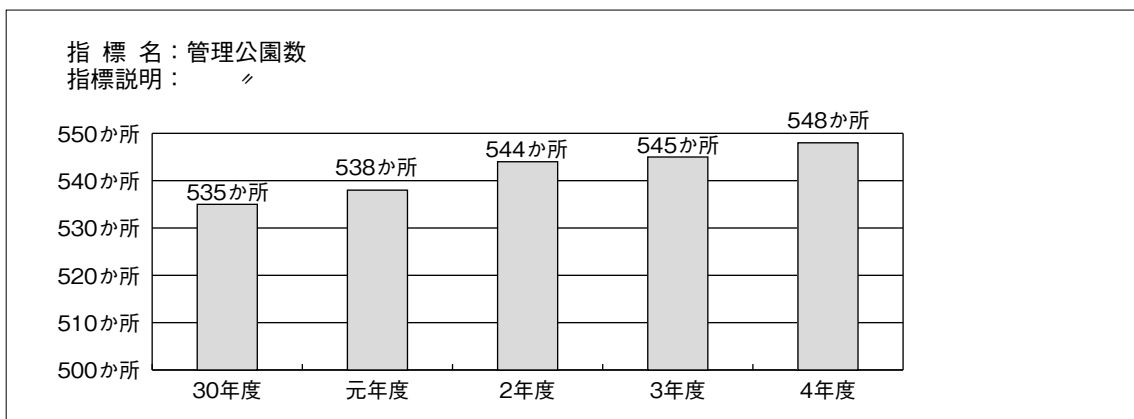
除草清掃・施設管理委託等	令和3年度	令和4年度
		高師緑地始め545か所

(2) 公園修繕事業費 273,722,779 円

(国庫補助事業 193,770,000 円 市単独事業 79,952,779 円)

内 容	令和3年度	令和4年度
照明灯修繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊具補修	若宮第3ちびっこ広場ほか	高洲町ちびっこ広場ほか
諸施設及び塗装修繕等	向山緑地ほか	岩屋緑地ほか
外柵修繕	坪ノ谷公園ほか	三本木中央公園ほか
照明灯更新	万場緑地ほか	緑ヶ丘公園ほか
遊具更新	内田公園ほか	大脇公園ほか

[指標]



2 公園緑地整備事業費

205,368,900 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、汐田公園、松島公園の整備を行った。また、三ツ山公園の再整備を進めた。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街区公園等整備事業費

205,368,900 円

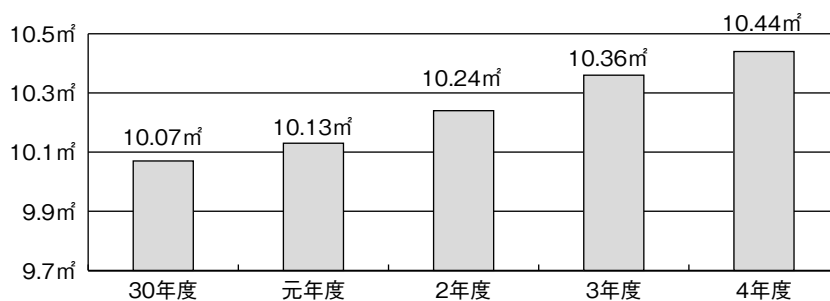
(国庫補助事業 203,240,000 円 市単独事業 2,128,900 円)

公園名	令和3年度	令和4年度
	汐田公園ほか 遊具広場整備等	松島公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積

指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動推進費 <緑化・美化活動の推進>	398,347,256	30,423,700	0	7,918,000	360,005,556

1 緑化維持管理事業費 352,392,013 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 205,720,291 円

路 線 名	令和3年度	令和4年度
		菰口町・旭町1号線始め280路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 134,195,353 円

公 園 名	令和3年度	令和4年度
		牛川遊歩公園ほか

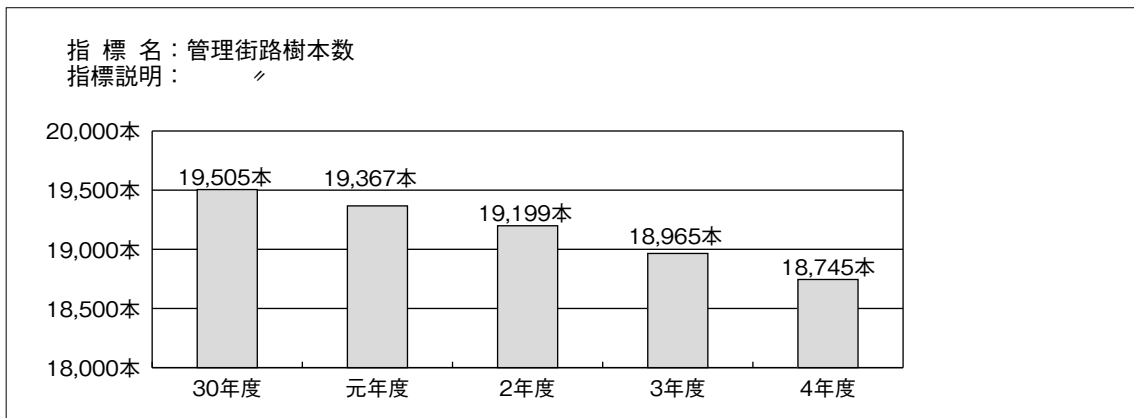
(3) 街路樹等維持補修事業費 9,016,700 円

路 線 名	令和3年度	令和4年度
		植田町・大崎町1号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 3,459,669 円

内 容	令和3年度	令和4年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 20,799,951 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜守講座等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹等の植え替えを行い再生を図った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 17,410,001 円

(県費補助事業 17,410,001 円)

内 容	令和3年度		令和4年度	
				牛川通41号線
			高木植栽 ヤマボウシ	13本
			高木植栽 ハナミズキ	2
	飯村北46号線		飯村北9号線	
	高木植栽 ヤマボウシ	37本	高木植栽 カワヅザクラ	14
			飯村南1号線	
			高木植栽 カワヅザクラ	15

(2) 公園樹等緑化推進事業費 809,950 円

(県費補助事業 797,710 円 市単独事業 12,240 円)

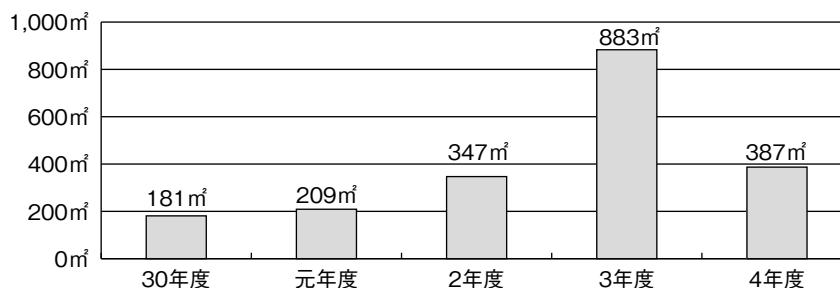
内 容	令和3年度		令和4年度	
			岩屋緑地	
	高木植栽 サクラ	28本	向山緑地	
			高木植栽 サクラ	5本
			向山緑地	
	高木植栽 サクラ	5		

(3) 民有地緑化推進事業補助金 2,580,000 円

内 容	令和3年度		令和4年度	
		0件	2件	287.7㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
 指標説明：〃



3 公園等維持管理事業費

23,833,030 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。緑のアダプト制度の登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

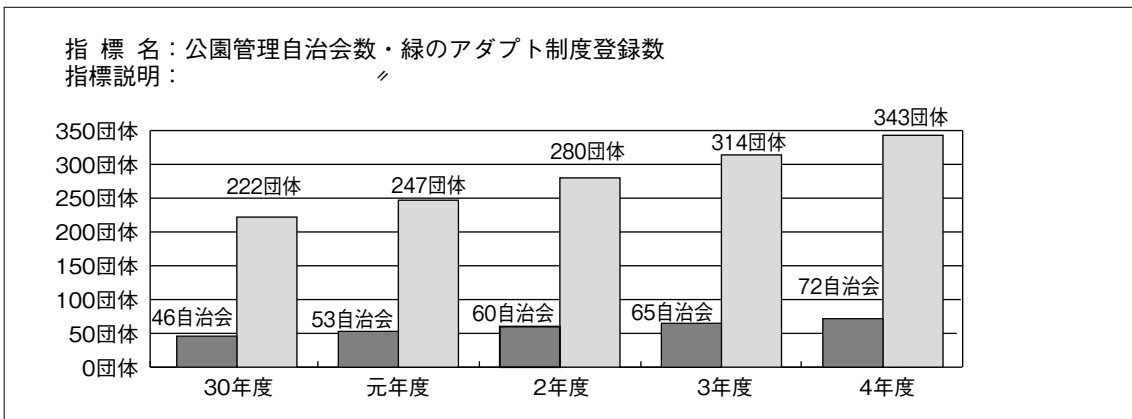
[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費

23,833,030 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
公園管理自治会数	65自治会	72自治会
緑のアダプト制度登録数	314団体	343団体

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 まとまりのある都市構造形成費 <まとまりのあるまちの形成>	87,346,699	975,000	0	0	86,371,699

1 まとまりのある都市構造推進事業費 87,346,699円 (都市計画課)

[総括]

都市再生特別措置法の改正を受け、「豊橋市立地適正化計画」において防災指針の策定を進めるとともに、同計画に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行った。また、市街化調整区域内既存集落の地域コミュニティの維持に向けた現状調査及び分析を行った。

[実績及び成果]

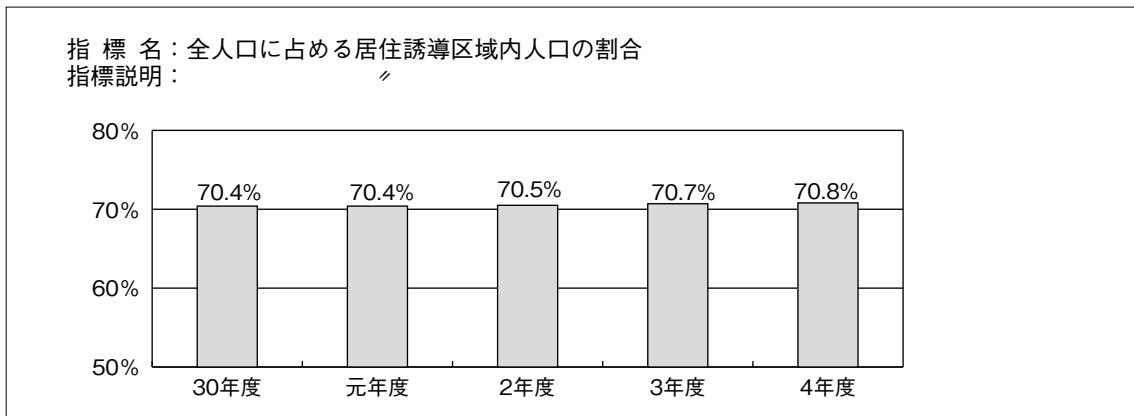
(1) 都市計画事務費 19,891,543円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務			豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務 市街化調整区域内既存集落の現状調査・分析

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 54,841,000円

補 助 金	令和3年度		令和4年度	
		171件	28,026,000円	395件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなか整備費 <魅力あるまちなかの整備>	1,260,747,437	902,579,000	291,400,000	1,250,474	65,517,963

1 再開発推進事業費 318,290円 (まちなか活性課)

[総括]

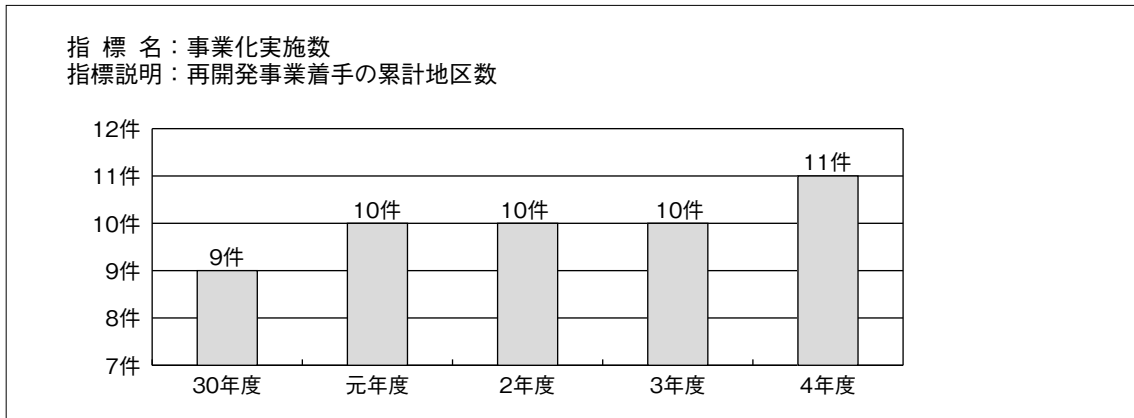
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業、豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業において、事業者に対する指導・助言を行った。また、広小路一丁目北地区において、再開発を推進する準備組合に助言などを行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 318,290円

事業費	令和3年度	令和4年度
		301,750円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 1,241,400,000円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業、豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業及び豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業の事業者に対して支援等を行った。また、再開発事業の検討段階である広小路一丁目北地区の再開発準備組合に対して支援等を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 735,400,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
		東棟建築工事、西街区解体工事等

(2) 豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費 451,800,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
		調査設計、建築工事

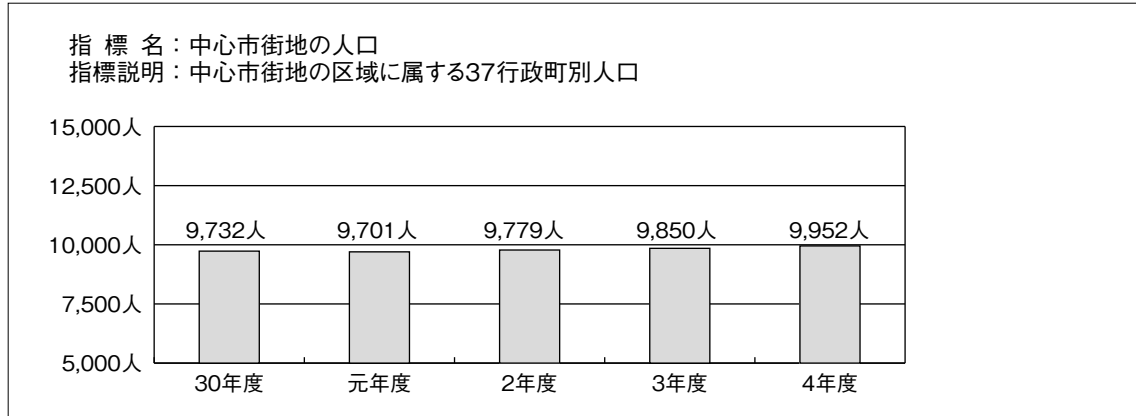
(3) 豊橋花園商店街地区優良建築物等整備事業費 47,600,000円

内 容	令和3年度	令和4年度
		—

(4) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 6,600,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋広小路一丁目北地区 コーディネート委託業務	

[指 標]



3 中心市街地環境整備事業費 105,383 円（まちなか活性課）

[総 括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前広場の再整備に向けた関係者へのヒアリング調査や事業手法の調査検討などを行った。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 105,383 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化に向けた関係者との調整等	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,507,687 円（まちなか活性課）

[総 括]

「中心市街地活性化基本計画」の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

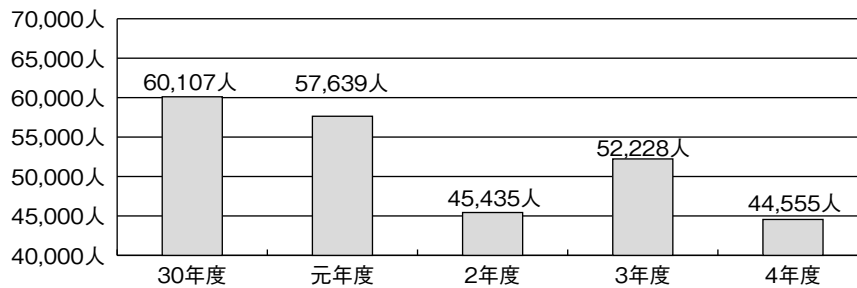
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,507,687 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	中心市街地通行量調査	

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



5 まちなか広場管理事業費 5,288,494 円 (まちなか活性課)

[総 括]

まちなか広場を快適に利用し、滞在することができる空間となるよう維持管理を実施した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場管理事業費 5,288,494 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	植栽管理・清掃委託等	植栽管理・清掃委託等

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちづくり景観形成費 <地域らしくこちよ景観の形成>	4,574,428	0	0	984,655	3,589,773

1 まちづくり景観推進事業費 4,574,428円 (都市計画課)

[総括]

景観法に基づく「豊橋市景観計画」に沿って、地域の景観に調和した建築行為等の規制・誘導を行った。また、二川宿景観形成地区において、景観に配慮した建築行為に対する助成を行い、歴史的なまち並み景観形成を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 1,173,773円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物等の指定 2件			景観計画に沿った規制・誘導 景観重要建造物の指定 3件

(2) まちづくり景観形成助成金 2,416,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,416,000円

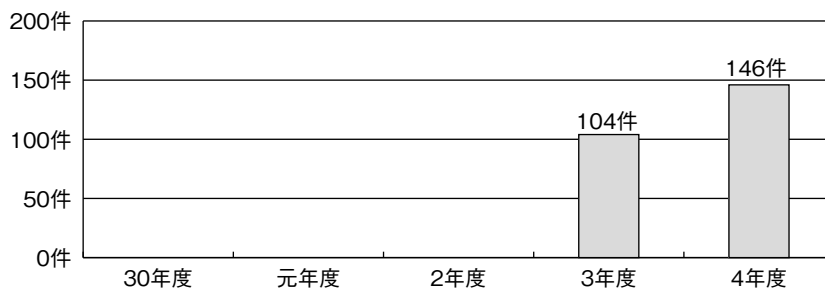
助 成 金	令和3年度		令和4年度	
		2件	308,000円	2件

(3) 屋外広告物対策事業費 984,655円

区 分	令和3年度	令和4年度
許 可 件 数	1,965件	2,277件
違反広告物撤去件数	48	42

[指 標]

指 標 名：良好な景観形成の助言件数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 公共交通維持活性化費 <公共交通の維持と活性化>	267,875,857	86,760,000	0	5,095,807	176,020,050

1 公共交通活性化事業費 4,103,383 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、MaaSアプリとタクシー配車アプリの連携によるMaaS環境の整備や駅前輪場の整備に対し助成したほか、乗合事業運転士確保支援事業を行った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 公共交通活性化事業費 4,103,383 円

(ア) サイクル&ライド駐輪場整備事業費補助金 740,990 円

駐 輪 台 数	令和3年度		令和4年度	
		60台		30台

(イ) ユニバーサルデザインタクシー導入補助金 300,000 円

導 入 台 数	令和3年度		令和4年度	
		5台		2台

(ウ) 路線バス利用促進事業費 54,600 円

バスの乗り方講座を 開催した路線数	令和3年度		令和4年度	
		1路線		1路線

(エ) モビリティマネジメント推進費等 2,590,293 円

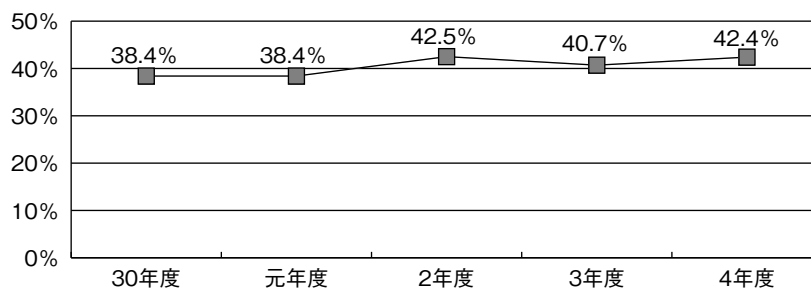
[路線バス等運転士確保支援事業]

内 容	令和3年度	令和4年度
説明会参加者数	8人	9人
採用者数	3	1

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



2 公共交通対策事業費 260,327,714 円（都市交通課）

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となりコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。このほか、交通結節点への新たな移動手段を検討するため、県境をまたぐ企業シャトルバスを活用した企業シャトル BaaS 社会実験を実施した。今後もコロナ禍以降の新しい生活様式に対応した公共交通の安全・安心な運行の維持確保を支援するとともに、利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 260,327,714 円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業費補助金 12,976,716 円

実施箇所	令和3年度	令和4年度
	単路部（東田～競輪場前間）	

(イ) バス運行対策費補助金 87,000,000 円

補助路線数	令和3年度	令和4年度
	13路線	13路線

(ウ) 企業シャトル BaaS 社会実験事業負担金 624,000 円

企業シャトルバスの 延べ利用者数 （豊橋市）	令和3年度	令和4年度
	—	147人

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運営事業補助金 32,319,442 円

本格運行地区	令和3年度	令和4年度
	東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区	東部地区、北部地区、南部地区、 前芝地区、川北地区

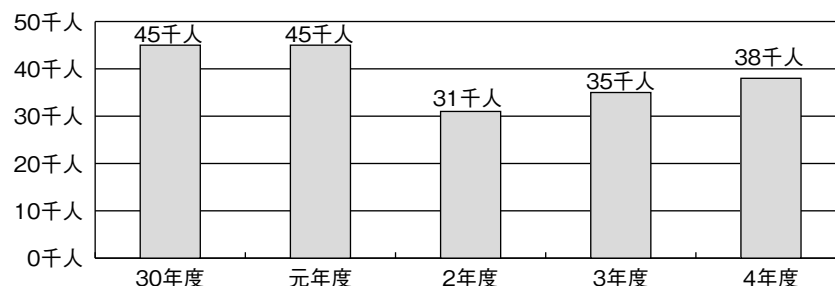
(オ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 915,375 円

運営団体数	令和3年度	令和4年度
	7団体	7団体

(カ) 公共交通利用促進費等 912,490 円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数
 指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	1,555,122	465,840	0	0	1,089,282

1 自転車活用推進事業費 1,555,122円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取組みとして、デジタルサイクリングマップを作成するとともに、それを活用したサイクルラリーイベントを実施した。今後も市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 1,555,122円

(ア) 渥美線サイクルトレインPR事業 92,400円

内 容	令和3年度	令和4年度
	ステッカー等添付 10駅、10編成	

(イ) サイクルツーリズムの推進 1,373,387円

イベント参加人数	令和3年度	令和4年度
	—	37人 (2日間)

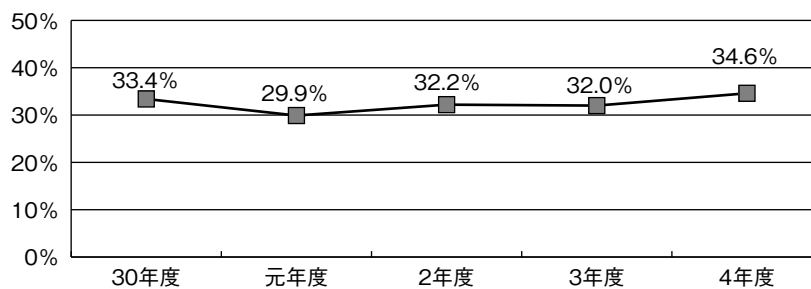
(ウ) 自転車活用推進費 89,335円

内 容	令和3年度	令和4年度
	自転車活用推進委員会等の開催	

[指 標]

指 標 名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,138,892,431	225,093,000	420,600,000	165,560,172	327,639,259
2目 市街地整備費 <まとまりのあるまちの形成>	994,586,966	225,093,000	420,600,000	135,527,966	213,366,000

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 144,359,966 円 (区画整理課)

[総括]

令和4年度をもって全ての道路築造、宅地造成及び建物等の移転・移設補償が完了した。今後も地権者の理解を得ながら、事業の完了に向け換地計画を策定し、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 144,359,966 円
(国庫補助事業 37,034,000 円 市単独事業 107,325,966 円)

(ア) 道路築造費 31,124,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	延長	1,680m

(イ) 宅地造成費 10,134,200 円

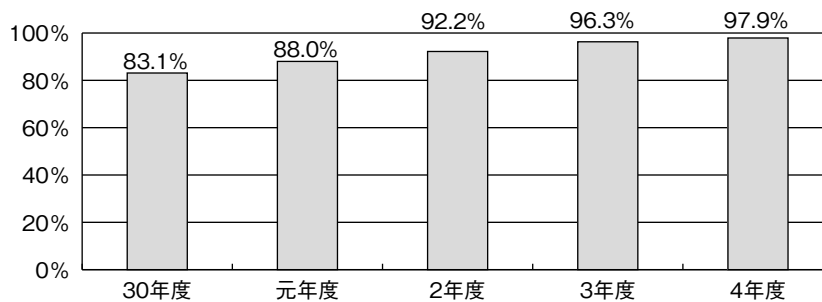
内 容	令和3年度	令和4年度
	面積	8,263㎡

(ウ) 補償費 6,296,938 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	建物 1戸 工作物、電柱 水道管移設 371m	

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和7年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 850,227,000 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導等を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 414,613,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 406,738,000 円

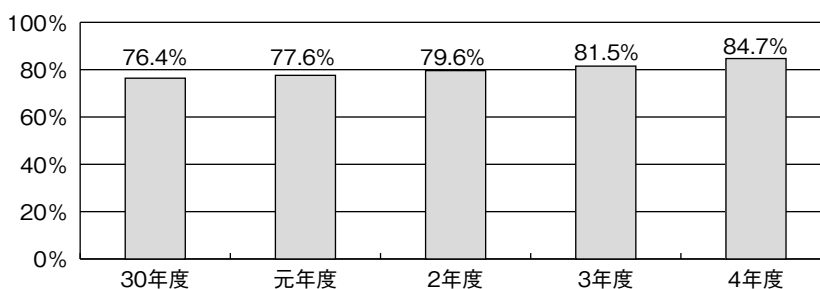
補助金	令和3年度	令和4年度
	161,428,000円	406,738,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 7,875,000 円

負担金	令和3年度	令和4年度
	0円	7,875,000円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費（平成7年度～令和16年度）



※令和4年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 435,614,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 426,877,000 円

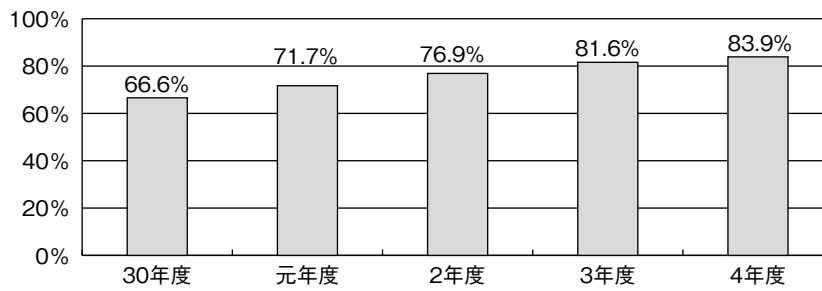
補助金	令和3年度	令和4年度
	651,724,000円	426,877,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 8,737,000 円

負担金	令和3年度	令和4年度
	5,343,500円	8,737,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和11年度)



※令和4年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,462,094,767	36,654,000	115,400,000	154,721,303	3,155,319,464
1 項 消 防 費	3,462,094,767	36,654,000	115,400,000	154,721,303	3,155,319,464
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	703,341,372	19,884,000	115,400,000	138,208,853	429,848,519

1 消防署所施設管理事業費 70,769,951 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図るため、建設後 50 年を経過する南消防署大清水出張所の大規模改修工事に着手するとともに、老朽化した浄化槽の切替工事を行った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 70,769,951 円

(ア) 南消防署大清水出張所大規模改修工事

3 年継続事業 総事業費 236,000,000 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造 2 階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	935.16㎡

(イ) 南消防署大清水出張所浄化槽切替工事 16,346,000 円

2 通信指令事業費 242,746,114 円 (通信指令課)

[総括]

迅速かつ的確な出動指令により、災害による被害の軽減を図るとともに、救急事案における緊急度判定基準に基づく口頭指導を実施し、傷病者の重症化防止を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する口頭指導を実施し感染拡大の防止に努めた。今後も消防通信指令システム全体更新及び消防救急デジタル無線設備更新へ向けた計画を推進するとともに、東三河各市消防本部と連携し、通信指令体制の強化を図っていく。

[実績及び成果]

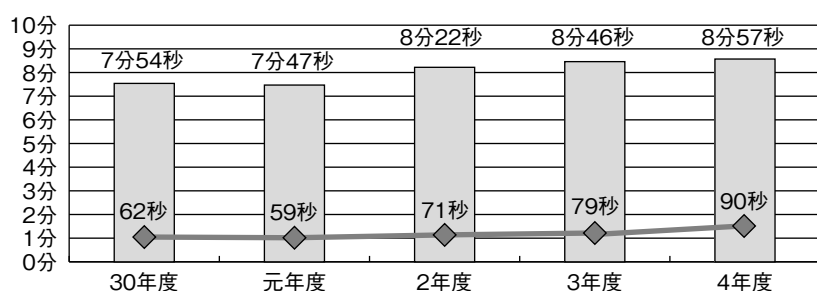
(1) 通信指令事業費 242,746,114 円

[受信内訳]

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	20,091件	22,995件	14.5%
固 定 電 話	5,487	5,605	2.2
携 帯 電 話	10,582	12,866	21.6
I P 電 話	4,022	4,524	12.5

[指標]

指標名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着までに要した時間(平均)
 指標説明：所要時間/件数



※折れ線部分は受信から指令までに要した時間(平均)

3 警防活動費 6,987,266 円 (消防救急課)

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各消防本部や警察等の関係機関と連携し、大規模火災を想定した訓練等を実施するなど、災害対応力の強化を図っていく。

[実績及び成果]

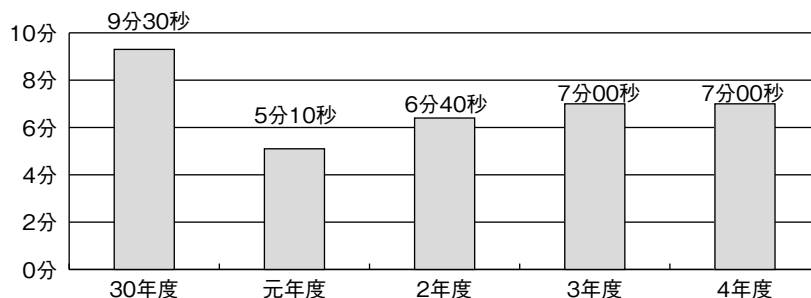
(1) 警防活動費 6,987,266 円

[火災発生状況]

区分	令和3年度	令和4年度	比較
出火件数	100件	121件	21.0%
り災棟数	51棟	68棟	33.3
り災世帯	53世帯	41世帯	△22.6
り災人員	121人	93人	△23.1
焼損面積(建物)	1,323㎡	1,122㎡	△15.2
損害額	101,236千円	58,721千円	△42.0

[指標]

指標名：火災出動から放水開始までの時間(木造一般住宅火災(市街地))(平均)
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

133,567,259 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、消防団員募集ポスターの作成や SNS を活用した情報発信など、消防団 PR 事業を行い消防団員の確保に努めた。

また、豊橋市消防団組織等改善協議会を開催し、消防団や市民の意見を集約したなかで消防団の今後の在り方について広く協議を行った。今後も市民の期待に応え続ける持続可能な消防団組織の構築と地域防災力の向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 125,324,859 円

[災害出動・公務活動人数]

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
災 害 出 動	2,143人	2,263人	5.6%
公 務 活 動	3,533	6,215	75.9

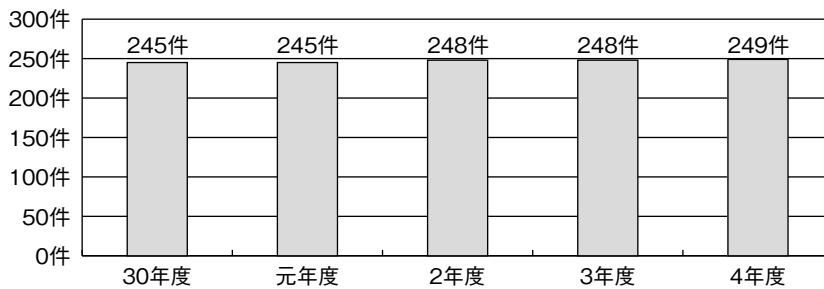
(2) 消防団交付金 8,242,400 円

[交付金内訳]

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
消 防 団 交 付 金	386,017円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,754,400	6,754,400
消防はしご登り保存会交付金	0	0
計	7,828,417	8,242,400

[指 標]

指 標 名 : 「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数
 指標説明 :



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	35,122,681	10,681,000	0	2,000,000	22,441,681

1 救急事業費 28,169,823 円 (消防救急課)

[総括]

救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、医療機関との連携強化を進めたほか、本部日勤救急隊の運用を開始し、救急体制の強化を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する適切な感染防止対策を講じるため、老朽化した高圧蒸気滅菌器を更新するなど救急活動体制の維持に努めた。応急手当の普及啓発については、感染状況を鑑み適切な感染防止対策を行い各種救急講習を実施した。今後も救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し、救急救命体制の充実強化を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 27,030,971 円

研修派遣内訳		令和3年度	令和4年度
救 急 救 命 士	救 急 救 命 士 養 成	2人	2人
	包 括 運 用 教 育 講 習	6	4
	気 管 挿 管 運 用 試 験	2	2
	薬 剤 投 与 運 用 試 験	6	4
	処 置 範 囲 拡 大 追 加 講 習	3	5
救 急 隊 員 資 格 取 得		10	9

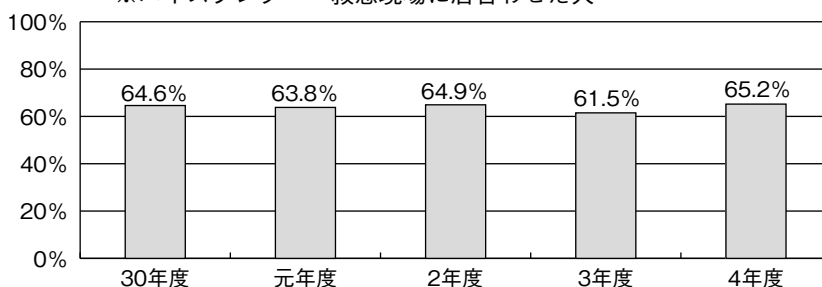
救急発生状況内訳		令和3年度	令和4年度	比 較
急	病	10,476件	12,369件	18.1%
一	般 負 傷	2,107	2,320	10.1
交	通 事 故	994	991	△ 0.3
労	働 災 害	125	176	40.8
運	動 競 技	76	121	59.2
加	害	40	34	△15.0
そ	の 他	1,808	1,851	2.4
計		15,626	17,862	14.3
(内：コロナ陽性者搬送)		(341)	(796)	(2.3倍)

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,138,852 円

救命講習内訳		令和3年度	令和4年度	比 較
応	急 手 当 指 導 員	60人	35人	△41.7%
応	急 手 当 普 及 員	76	67	△11.8
普	通 救 命	1,100	1,218	10.7
上	級 救 命	52	78	50.0
そ	の 他 講 習	290	335	15.5
救	命 入 門 コ ー ス	3,203	5,458	70.4
計		4,781	7,191	50.4

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 6,952,858 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。また、静岡県熱海市土石流災害での活動経験を踏まえ、対応資機材を新たに追加整備するとともに、「消防活動の協力に関する協定」を締結した東三建設業協会が所有する大型重機を活用した連携訓練を実施するなど、土砂災害救助体制の強化を図った。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図っていく。

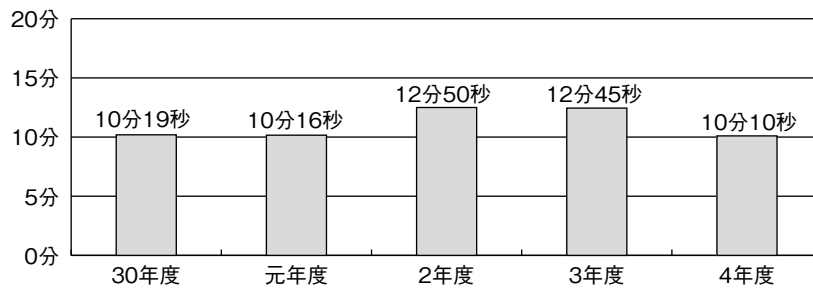
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 6,952,858 円

救助発生状況内訳		令和3年度	令和4年度	比 較
火 災	建 物 火 災	28件	37件	32.1%
	建 物 火 災 以 外	6	8	33.3
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	43	45	4.7
	水 難 事 故	8	6	△25.0
	自 然 災 害	2	1	△50.0
	機 械 に よ る 事 故	7	7	0.0
	建 物 等 に よ る 事 故	69	87	26.1
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	4	2	△50.0
	破 裂 事 故	0	0	0.0
そ の 他 の 事 故	97	79	△18.6	
計		264	272	3.0

[指 標]

指 標 名：現場到着から生存者の救助完了までの時間(平均)
指標説明：救助隊の現場到着から生存者の救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	13,121,712	0	0	899,100	12,222,612

1 火災予防対策事業費 13,121,712円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し、高齢者宅へ設置するリユース事業を継続実施するとともに、作成した高齢者向けの防火冊子を活用し、戸別訪問や防火教室において啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き、住宅火災や火災による高齢者の人的被害の低減を図るため、火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び消防法違反対象物の是正指導を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 火災予防啓発事業費 8,988,262円

啓 発 区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	2回	10回	5.0倍
講 習 会	11	9	△18.2%
老人クラブ防火教室等	2	8	4.0倍
女性防火クラブ研修等	6	9	50.0%
少年消防クラブ防火教室等	22	29	31.8

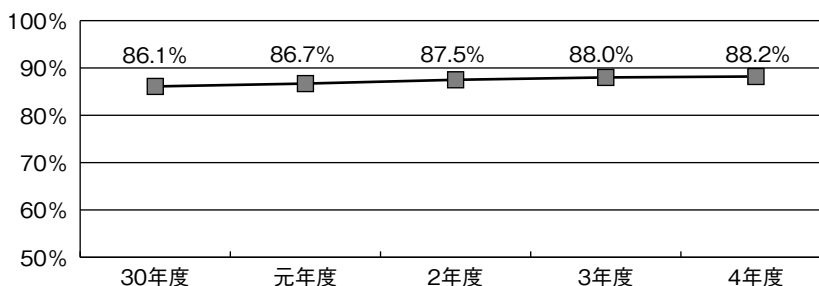
(2) 街頭消火器設置費等補助金 4,133,450円

補 助 内 訳	令和3年度	令和4年度	比 較
消 火 器 更 新	606本	771本	27.2%
収 納 箱 更 新	171か所	103か所	△39.8
薬 剤 更 新	1本	4本	4.0倍
消 火 器 新 規 設 置	33か所	25か所	△24.2%
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	11本	6本	△45.5
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	6	6	0.0

[指 標]

指 標 名 : 住宅用火災警報器設置率

指標説明 : /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	16,893,094,605	3,353,822,606	2,810,800,000	2,096,612,145	8,631,859,854
1項 教 育 総 務 費	2,555,610,771	303,711,992	0	136,044,003	2,115,854,776
3目 豊かな学び推進費 <豊かな学びの推進>	721,400,809	139,387,702	0	9,104,484	572,908,623

1 教育諸活動支援事業費 122,331,301 円 (学校教育課)

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、子どもたちが郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語ることができるよう、郷土学習を進めた。また、新入学児童・発達障害児童生徒のいる学校に支援員を配置することによって、子どもたちがスムーズな学校生活を送れるよう、学級担任をサポートしていく体制づくりを行った。今後も子どもたちがいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 4,984,191 円

区 分		令和3年度	令和4年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日	中止	10.15~10.16
	補助金	0円	3,539,550円
子どものための科学展開催費補助金	開催日	10.30~11.30	11.1~11.30
	来場者数	12,671人	14,608人
	補助金	356,319円	977,273円
小柴記念賞補助金	応募点数	2,742点	1,898点
	補助金	343,591円	467,368円

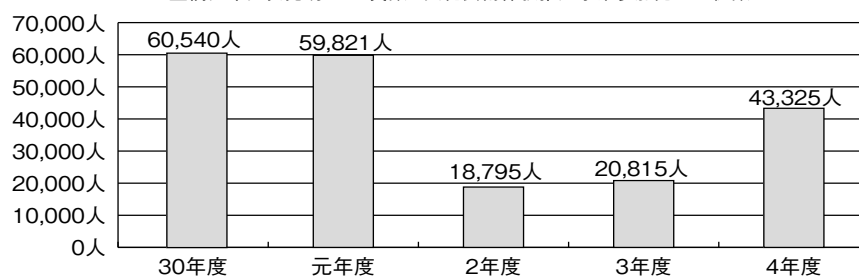
(2) 教育活動支援事業費 117,347,110 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員	67人	支援員	67人
体育的部活動支援事業費		9,508,038円		12,588,756円
学校体育連盟補助金	1団体	7,552,133	1団体	10,536,836
中学校東海・全国大会出場補助金	16校(80人)	1,955,905	16校(133人)	2,051,920
文化的活動支援事業費	31	2,533,968	37	4,874,680
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 81人	400,000	クラブ員 83人	400,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒 0	196,780	参加児童生徒1,110	1,614,400
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 7	1,345,800	部活動指導者 9	1,962,080

[指 標]

指 標 名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数
+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数
+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



2 生徒指導対策事業費

3,204,520 円（学校教育課）

[総 括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費

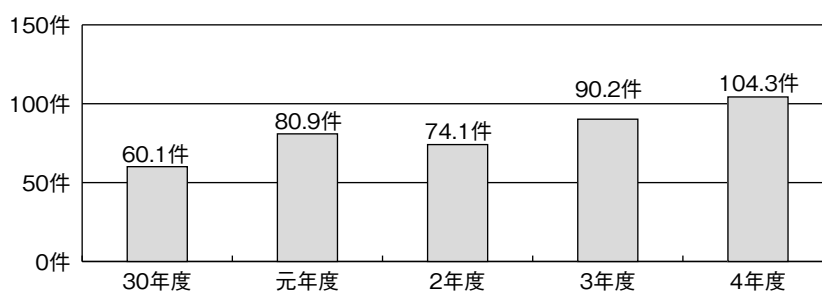
3,127,860 円

区 分	令和3年度	令和4年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきをデータにて全中学校へ配布

[指 標]

指 標 名：1校当たりのいじめ、暴力行為等の認知件数

指標説明：いじめ、暴力行為等の認知件数/小中学校数(74校)



3 授業・学習支援事業費 28,605,476 円（学校教育課）

[総括]

子どもたちへの効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も子どもたちの豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 4,733,552 円

学校貸出冊数	令和3年度	令和4年度
	8,497冊	7,701冊

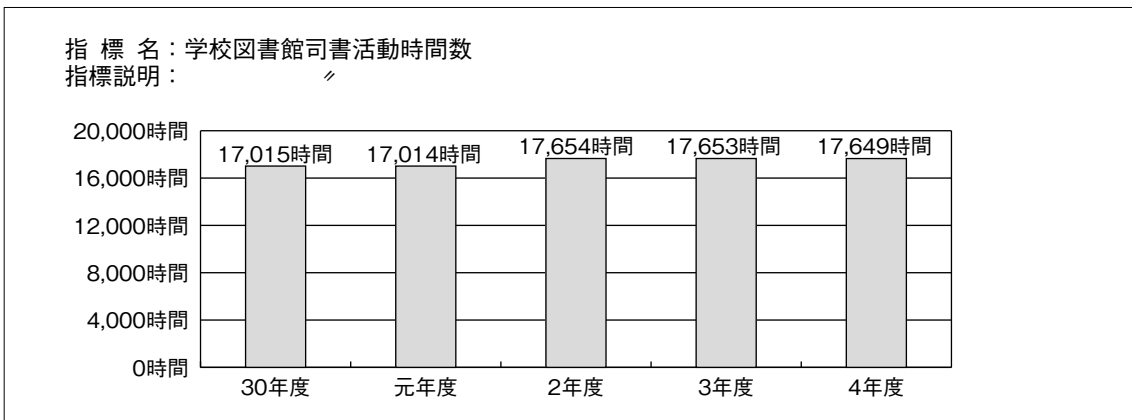
(2) 学校図書館活動推進事業費 23,740,940 円

司書配置	令和3年度	令和4年度
	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 130,984 円

図書購入	令和3年度	令和4年度
	71冊	50冊

[指標]



4 学力・体力向上推進事業費 21,921,028 円（学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスを行った。

[実績及び成果]

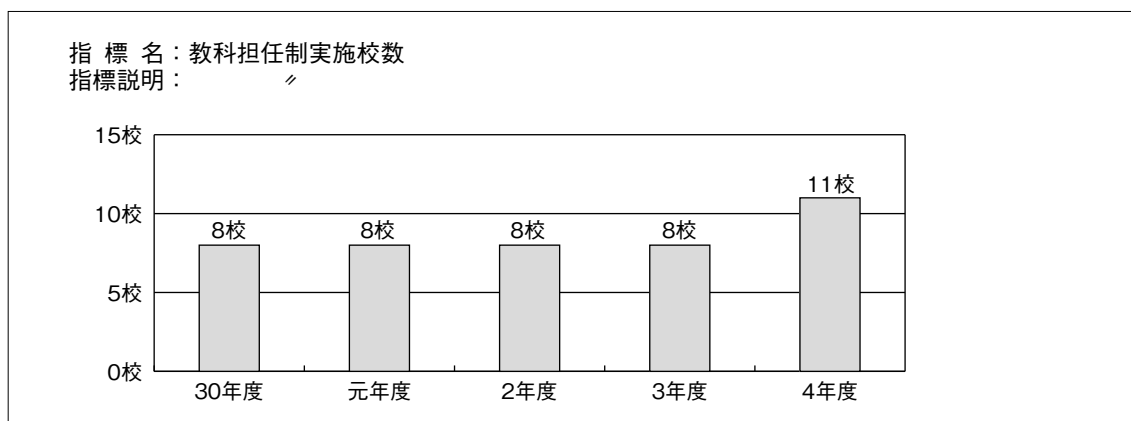
(1) 学力向上支援事業費 21,484,508 円

教科担任の非常勤講師人数	令和3年度	令和4年度
	5人	6人

(2) 体力向上支援事業費 436,520 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	スポーツトレーナーを小学校(14校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施	スポーツトレーナーを小学校(25校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



5 学びの連携推進事業費 68,620 円 (教育政策課・学校教育課)

[総 括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、令和5年度に小中一貫教育を導入する中学校区において、めざす子ども像や方策を地域の特色に合わせて設定し、導入に向けた準備を進めた。また、異校種間における教育活動の連携と系統化を図るため、授業参観や情報交換など異校種の学習内容や指導方法の共有を図った。

[実績及び成果]

(1) 学びの連携推進事業費 68,620 円

(ア) 小中一貫教育推進事業費

小中一貫教育を導入した中学校区数	令和3年度	令和4年度
	2校	4校

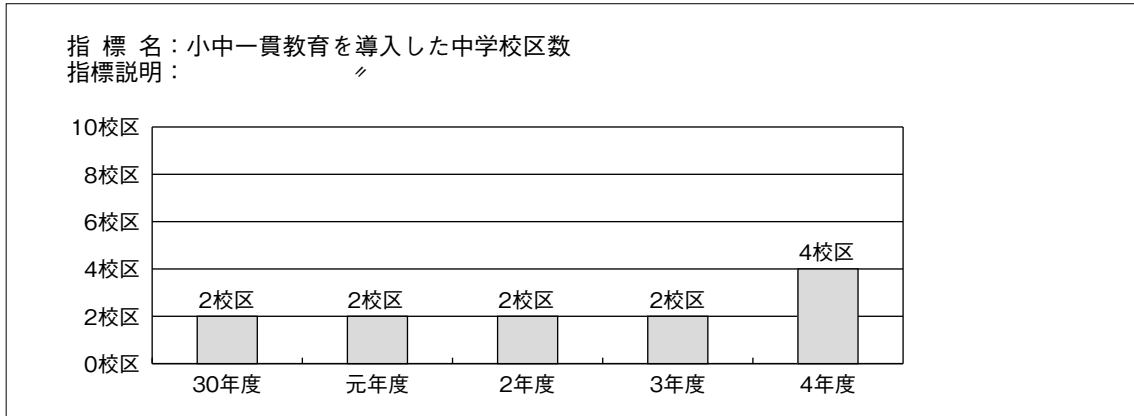
(イ) 小中高特連携教育推進事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(4回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(5回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)

(ウ) 幼年期教育研究事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	幼年期教育研修会の開催 幼年期だよりの発行（4回） 小学校紹介DVDの作成 年長児就学先調査の実施	

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 127,785,069 円（学校教育課）

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント（SA）や外国人英語指導員（ALT）を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生にはSAと年間20時間、5・6年生にはALTと年間35時間の協働授業を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働授業を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校の「イマージョン教育コース」では、日本人教員と外国人指導員によるチーム・ティーチングにより、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図った。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 127,785,069 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和3年度		令和4年度	
		74校	24人	74校

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和3年度		令和4年度	
		52校	延 4,728時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		2日間	70人	2日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		0日間	0人	3日間

(オ) スーパー英語チャレンジ費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		2日間	70人	2日間

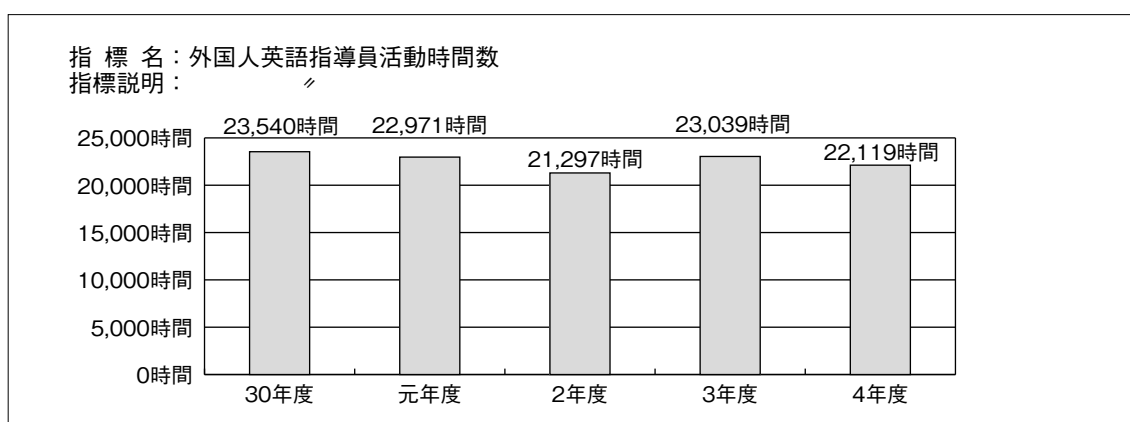
(カ) トリードスーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		0日間	0人	0日間

(キ) イマージョン教育推進費

内 容	令和3年度		令和4年度	
		1校	136人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 319,854,265 円 (学校教育課)

[総 括]

タブレットを活用した多様な学習活動を実施するため、新たに ICT 支援員を配置した「GIGA サポートセンター」を設置し、学びの支援体制を強化した。また、オンラインの出前講座を立ち上げ、延べ 25,000 人の子どもたちがオンライン授業に参加した。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 319,854,265 円

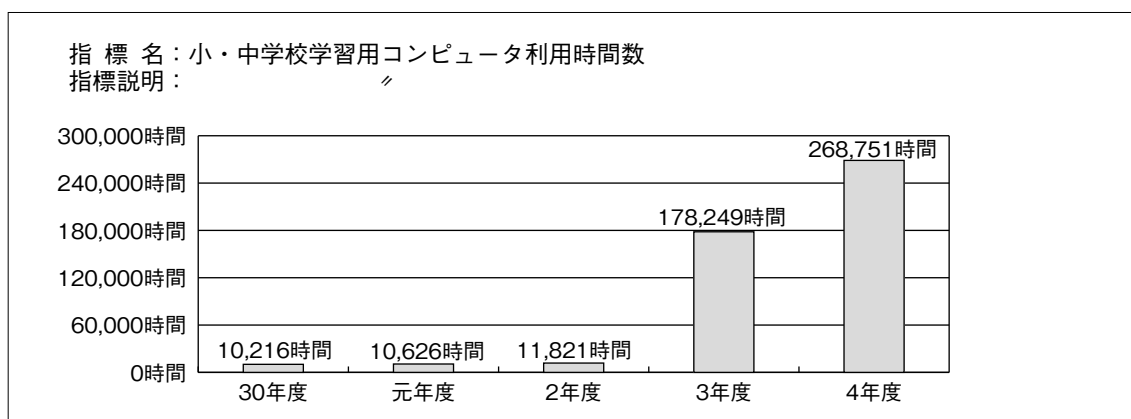
(ア) 小・中学校コンピュータ活用事業費 319,755,265 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	学習用コンピュータ・タブレット費(小)	24,777台	173,804,257円	24,777台
学習用コンピュータ・タブレット費(中)	12,589	70,303,296	12,589	72,346,557
コンピュータネットワークシステム費		76,087,233		60,212,475
学校図書館管理用コンピュータ費(小)	52台	5,203,389	52台	6,061,332
学校図書館管理用コンピュータ費(中)	22	2,173,211	22	2,516,028
GIGAサポートセンター運営費		—	2人	6,905,991

(イ) 分身ロボットを活用した教育支援の実施 99,000 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	分身ロボットによる支援費	1台	396,000円	1台

[指 標]



8 体育施設等有効活用事業費 63,595,122 円（教育政策課）

[総 括]

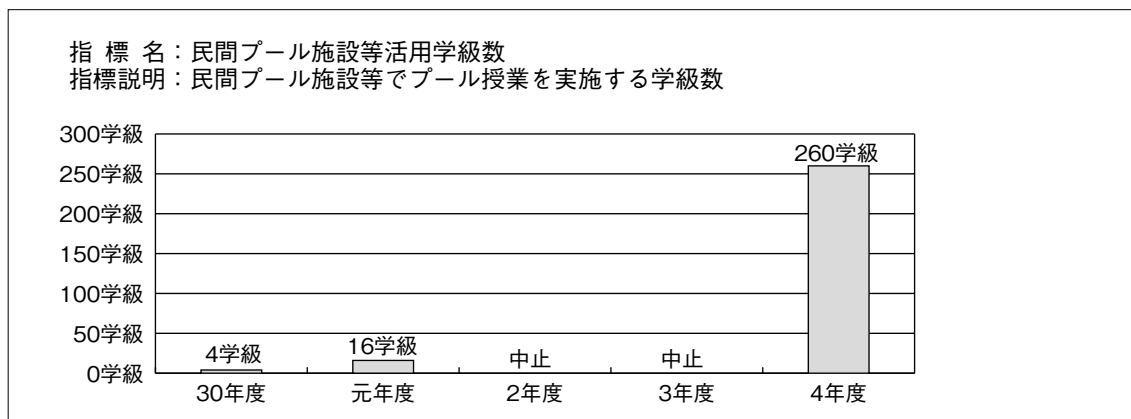
児童数の減少及び施設の老朽化における学校プールのあり方を検討する中で、民間プール施設等を活用した水泳授業のモデル校を拡大し、インストラクターと教員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図った。今後もモデル校を拡大し、民間プール施設等の活用による水泳授業の実施可能性について検証を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 民間プール等活用モデル事業費 63,595,122 円

実施学校数(学級数)	令和3年度	令和4年度
	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止	19校(260学級)

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育環境充実費 <教育環境の充実>	217,411,131	26,295,535	0	6,829,000	184,286,596

1 私学振興事業費 30,451,589円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に通う生徒の就学を支援するため、授業料に対する市独自の助成を上乗せするとともに、通信制高等学校も補助対象に加え、家庭の教育費負担のさらなる軽減を図った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 8,639,000円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,226人	6,226,000円	3,315人	6,315,000円
外国人学校(2校)	333	2,833,000	324	2,324,000
計	3,559	9,059,000	3,639	8,639,000

※令和3年度の外国人学校への補助は3校

(2) 私立高等学校等支援事業費 21,812,589円

(ア) 私立高等学校授業料補助金 20,741,540円

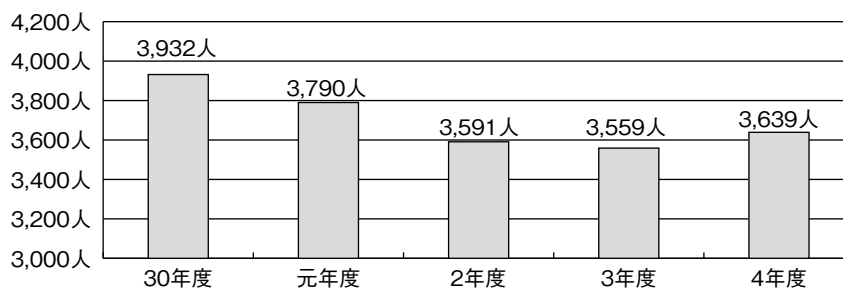
内 容	令和3年度		令和4年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	1,634人	15,568,200円	1,595人	20,741,540円

(イ) 私立専修学校等授業料補助金 824,400円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	56人	690,000円	47人	824,400円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

11,338,062 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、37人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

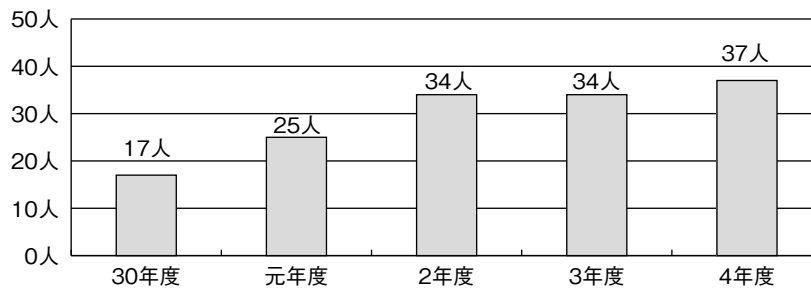
[実績及び成果]

(1) 奨学金給付事業費 11,338,062 円

受給者数	令和3年度	令和4年度
	34人	37人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 教職員研修費 <教職員の力量向上>	96,643,712	0	0	0	96,643,712

1 現職研修事業費 3,213,816 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

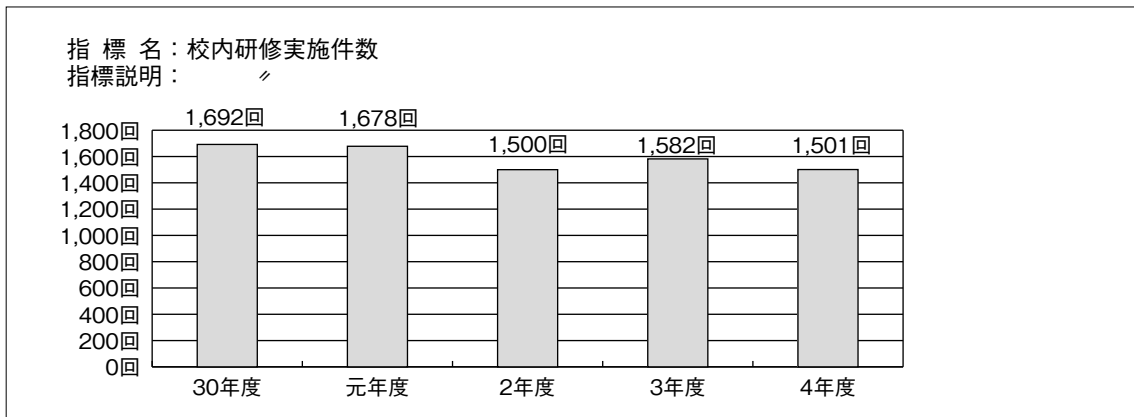
(1) 指定校研究費補助金 1,194,391 円

区 分	令和3年度	令和4年度
指 定 校	9校	9校
補 助 金	1,199,336円	1,194,391円

(2) 現職研修委員会補助金 2,019,425 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	38研究部	38研究部
基 本 研 修	2,819人	8,481人
補 助 金	1,948,798円	2,019,425円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 93,429,896 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い、学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新制の発展的解消を受け、効果的な研修体制の構築を目的とし、基本研修・職務研修等の各種研修の内容を充実させ教員の資質の向上を図った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,373,847 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 10,204人	延 7,448人	△27.0
一 般 施 設 利 用 者 数	延 4,554	延 5,379	18.1
計	延 14,758	延 12,827	△13.1

[各種活動]

区 分	令和3年度	令和4年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	66時間 参加人員 623人	66時間 参加人員 679人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 601本	映像教材貸出 450本

(2) 教職員研修事業費 5,572,292 円

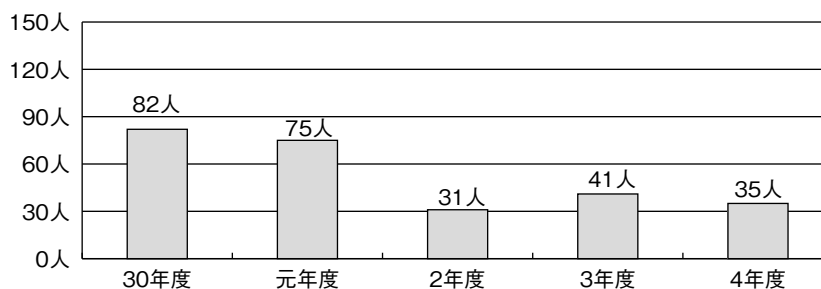
区 分	令和3年度	令和4年度
基 本 研 修	94回 参加人員 2,819人	94回 参加人員 2,326人
職 務 研 修	61 〃 2,328	61 〃 2,328
課 題 ・ 専 門 研 修	33 〃 2,711	33 〃 3,410
社 会 連 携 研 修	1 〃 97	1 〃 88

(3) 教員免許状更新講習事業費 0 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	19講座 受講人員 203人	—

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくり>	4,572,039	0	0	0	4,572,039

1 学校づくり推進事業費 4,429,629円 (学校教育課)

[総括]

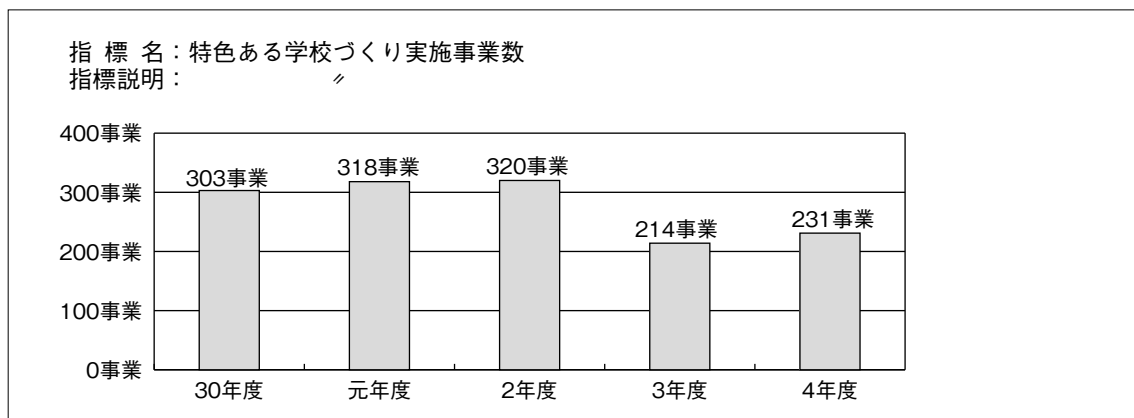
「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある子どもたちを育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。今後も各学校において、環境、福祉、国際、平和などをテーマに地域に根ざした学びを展開し、SDGs、ESDの推進を図るとともに、補助金を活用して特色ある教育活動の充実につなげていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 4,429,629円

区 分	令和3年度		令和4年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	33校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	4,269,713円	74校	4,429,629円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育活動支援費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	228,749,209	47,308,000	0	0	181,441,209

1 教育相談事業費 204,500,678 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、日本語指導が必要な児童生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒への対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 115,238,779 円

区 分	令和3年度	令和4年度
外国人児童生徒教育相談コーナー	相談件数 2,839件	相談件数 2,676件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 13人 学校巡回 14	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	派遣時間 延 4,766時間	派遣時間 延 4,748時間
登録バイリンガルボランティア	〃 延 1,694	〃 延 1,796

(2) 教育相談活動事業費 35,943,703 円

区 分	令和3年度	令和4年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 5,229件	相談件数 2,786件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 5,197	〃 6,431
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 797	〃 802
心 理 判 定 員	〃 477	〃 488
メンタルフレンド	派遣回数 169回	派遣回数 186回

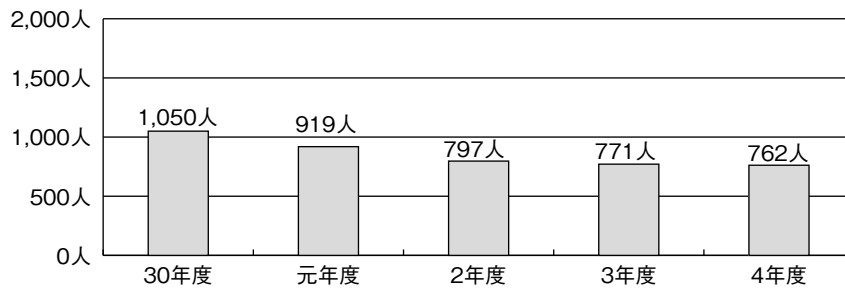
(3) 不登校対策支援事業費 53,318,196 円

区 分	令和3年度	令和4年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 191日 延 3,698人	3か所 189日 延 3,388人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 15	非常勤講師 15
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 4・8・10月 3回	担当者学習会 4・8・10月 3回
	補助金 101,230円	補助金 53,990円

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数

指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 市立学校教育活動推進費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	477,739,465	74,433,755	0	54,747,556	348,558,154

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 246,434,169円 (教育政策課)

[総括]

ハローワークをはじめとした関係諸機関・企業との連携を強化するとともに、引き続き学校内にある農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習や企業等での体験学習など、就労支援体制の充実を図ったことにより、多数の産業科の卒業生が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めているほか、校内では、心理カウンセラーを配置し、児童、生徒、保護者の問題解決の手助けを行った。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 166,823,258円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 級 数	50学級	52学級
児 童 ・ 生 徒 数	271人	288人

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	一般補修工事	

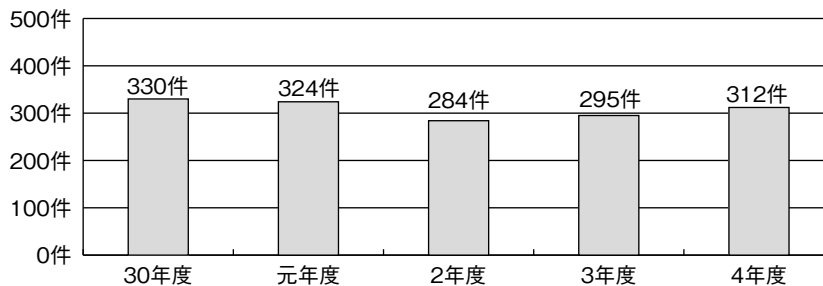
(2) 教育活動事業費 69,839,069円

区 分	令和3年度		令和4年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,984冊		2,047冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	127台	8,849,775円	132台	8,767,110円
企業向け学校見学会実施回数	1回		1回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	1		2	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	6		11	

[指 標]

指 標 名：くすのき相談センター対応件数

指標説明：〃



2 市立高等学校教育推進事業費 138,363,777 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、学習用コンピュータを更新するなど、環境整備に努めた。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど、特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 22,298,255 円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	637人	627人

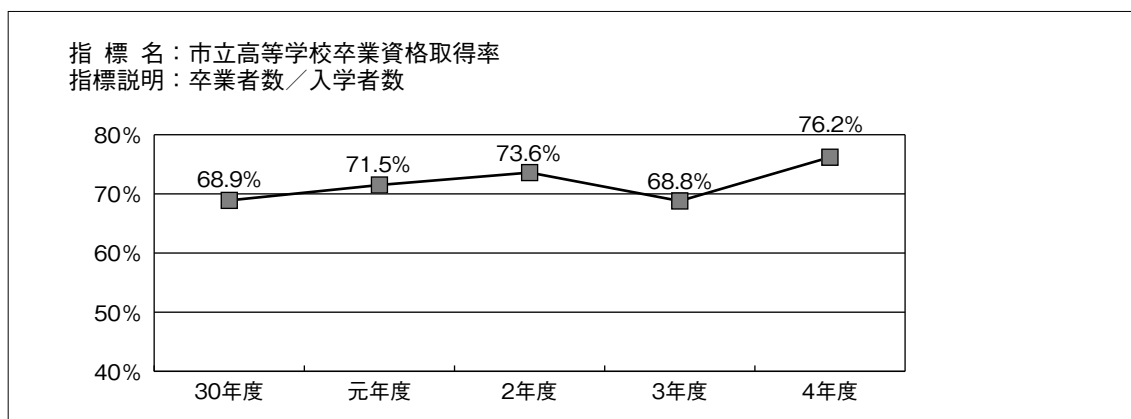
〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 70,879,314 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	6,072冊		6,160冊	
定時制教育教科書給与費	15人	77,726円	14人	69,171円
学 習 用 コ ン プ ュ ー タ 費	42台	1,668,216	42台	2,078,340
心理カウンセラー相談開催日数	76日		59日	
キャリア教育実施回数	6回		12回	
外国人生徒教育支援日数	236日		237日	

〔指標〕



3 市立高等学校整備事業費 7,216,000 円（教育政策課）

〔総括〕

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、老朽化した高架水槽の取替工事を実施した。

〔実績及び成果〕

(1) 市立高等学校整備事業費 7,216,000 円

- (ア) 高架水槽取替工事

4 家政高等専修学校教育推進事業費 85,725,519 円（教育政策課）

〔総括〕

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かな支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 4,650,587 円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	96人	95人

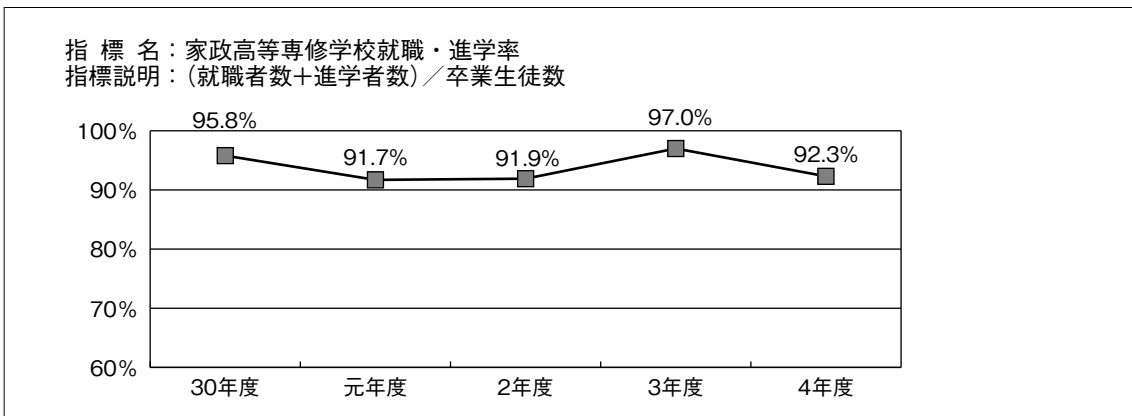
〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 25,457,224 円

区 分	令和3年度	令和4年度
学校図書館蔵書数	2,720冊	2,756冊
学習用コンピュータ費	41台 2,290,200円	41台 2,290,200円
心理カウンセラー相談開催日数	24日	24日
キャリア教育実施回数	10回	13回

〔指標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自然史博物館費 ＜自然史博物館の充実＞	247,297,300	2,175,000	0	60,413,626	184,708,674

1 自然史博物館事業費 159,586,991 円 (自然史博物館)

[総括]

自然についての正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだ。大型映像では「ダイナソーミュージアム」等の上映、ワークショップ、解説会、企画展等の教育普及活動を実施するとともに、特別企画展「ポケモン化石博物館」を開催した。今後も新型コロナウイルス感染防止対策に取り組み、博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 39,646,604 円

区 分	令和3年度	令和4年度
ワークショップ等	26回 参加人員 769人	50回 参加人員 1,077人
出前授業等	65 〃 1,848	63 〃 1,713
大型映像	810 観覧者数 29,719	630 観覧者数 27,763
企 画 展	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 77,902人 4.17～5.23 (33日間) 「第17回自然史博物館自由研究展」 〃 65,152 11.6～11.28 (20日間) 「干支展 寅」 〃 55,461 12.18～1.16 (23日間) 「美しい砂の世界 - 日本の砂、世界の砂、地層の砂 -」 〃 60,447 2.19～3.20 (26日間)	「新蔵資料 / 学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 109,234人 4.9～5.8 (30日間) 「表浜の自然」 〃 60,533 5.14～6.12 (30日間) 「切手になった昆虫」 〃 31,717 6.18～7.17 (30日間) 「Iron-Dinos:鉄の恐竜展」 〃 89,723 9.6～10.10 (35日間) 「第18回自然史博物館自由研究展」 〃 30,260 11.12～12.4 (23日間) 「干支展 卯」 〃 56,231 12.17～1.22 (37日間)

(2) 調査研究活動事業費 4,471,229 円

区 分	令和3年度	令和4年度
博物館資料	製作委託 鳥類等の剥製骨格標本製作 13点	鳥類等の剥製骨格標本製作 9点
	採集・寄贈 30,962点 (総数 585,719点)	473点 (総数 586,192点)
	図書等 1,480冊 (総数 46,328冊)	742冊 (総数 47,070冊)
研究発表(調査研究)	60件	37件

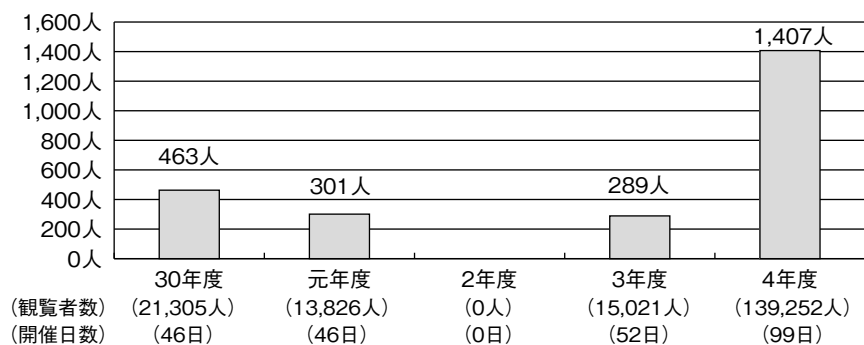
(3) 特別企画展開催事業費

24,093,303 円

区 分	令和3年度	令和4年度
特 別 企 画 展	「地球は昆虫であふれている」	「ポケモン化石博物館」
	7.9～9.5 (52日間)	7.16～11.6 (99日間)
	展示数2,000点 観覧者数15,021人	展示数170点 観覧者数139,252人
関 連 行 事	1. 記念講演会①「害虫との戦いや虫ケア用品(殺虫剤)の開発」 参加人員 40人 2. 記念講演会②「希少昆虫の守り方」 〃 28 3. 記念講演会③「昆虫がヤバイ」 〃 — 4. ワークショップ「夜の動物園で昆虫を観察しよう」 〃 34	1. 記念講演会①『「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学』 参加人員 60人 2. 記念講演会②「化石化のメカニズムをさぐる」 〃 52 3. 記念講演会③「小さな化石の最新研究」 〃 30 4. ワークショップ「化石クリーニング体験」(2回) 〃 13 5. 「ポケモン化石博物館」開催記念プレミア解説会(3回) 〃 410 6. 「ポケモン化石博物館」展示解説(11回) 〃 1,450 7. オンライン授業『「ポケモン化石博物館」で化石を学ぼう!』 〃 15,000

[指 標]

指 標 名：特別企画展1日当たりの観覧者数
 指標説明：観覧者数／開催日数



2 自然史博物館施設管理事業費 87,221,720 円（自然史博物館）

[総括]

新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として館内からのオンライン授業など実施のため、無線LAN整備を行った。また、標本などを適正に管理・保管するため、収蔵庫の標本棚の増設や野外恐竜模型の修繕などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 87,221,720 円

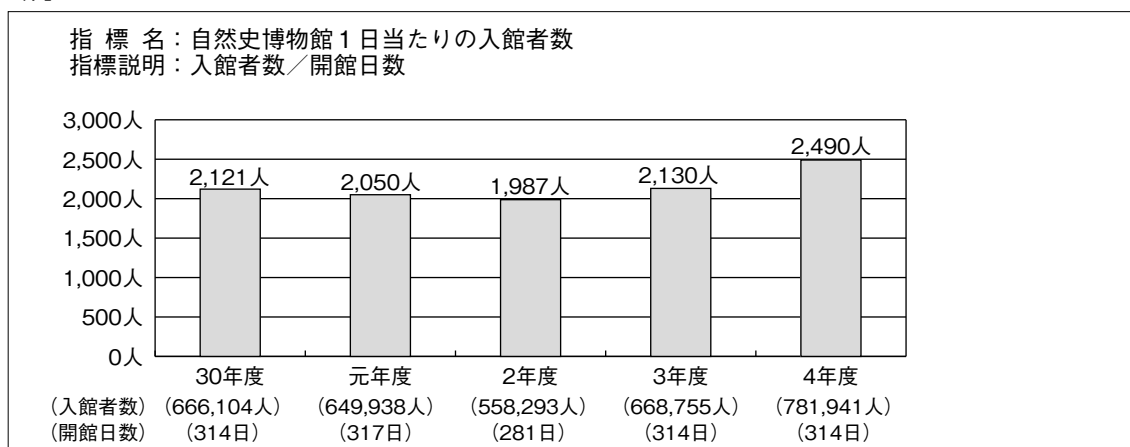
[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
開館日数	314日	314日	0.0%
入館者数	延 668,755人	延 781,941人	16.9

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	ガラパゴス物語展示室、化石を知るコーナー、講堂前廊下空調取替修繕	無線LAN整備、自然史博物館会議室等空調修繕、野外恐竜模型（イグアノドン・デイノニクス・パキケファロサウルス）修繕

[指標]



3 石巻自然科学資料館運営事業費 488,589 円（自然史博物館）

[総括]

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

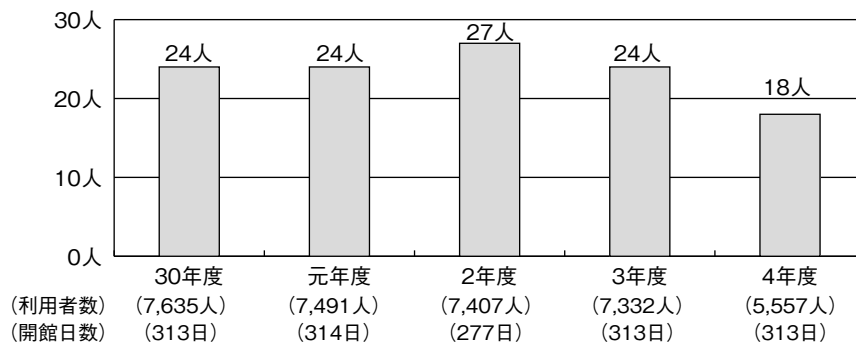
[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 488,589 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
開館日数	313日	313日	0.0%
利用者数	延 7,332人	延 5,557人	△24.2

[指 標]

指 標 名：石巻自然科学資料館 1 日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 科学教育センター費 <科学教育センターの充実>	94,968,220	14,112,000	0	4,441,568	76,414,652

1 科学教育センター事業費 57,904,224 円 (科学教育センター)

[総括]

市内全校の小学校4年生を対象とした実験学習やプラネタリウム学習などについて、感染症対策を徹底したうえで実施したほか、とよはし科学月間(11月)に、様々な実験展示やワークショップで空を飛ぶ物の仕組みを紹介した「そらを飛ぶもの大実験」を目玉企画として開催したことにより、子どもから大人まで幅広く科学教育の振興を図ることができた。

また、これまで来館機会の少なかった大人を対象とした科学講座として、「夜空に奏でる歌物語ジャズ&プラネ」や「大人のための天体望遠鏡実験」などを開催し、好評であった。

今後も新たな生活様式に対応しながら、サイエンス・ボランティア等と協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター事業費 19,931,045 円

[各種活動]

区 分	令和3年度		令和4年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	6月～10月	参加人員 3,559人	5月～11月	参加人員 3,571人
プラネタリウム投映	821回	観覧者数 22,593	837回	観覧者数 25,702
学 習 教 室	4月～3月(72回)	参加人員 1,583	4月～3月(101回)	参加人員 2,288
星 空 観 望 会	5月～3月(8)	〃 273	5月～11月(6)	〃 978
展 示 会	4月～3月(7)	入場者数104,263	4月～3月(9)	入場者数 95,053

(2) 地下資源館事業費 1,543,219 円

[各種活動]

区 分	令和3年度		令和4年度	
学 習 教 室	4月～3月(461回)	参加人員10,685人	4月～3月(393回)	参加人員 9,847人
小学生サイエンス アイデア作品展	10.1～11.30(52日間) 展示点数479点 入場者数17,951		10.1～11.30(52日間) 展示点数466点 入場者数19,137	
企 画 展	10月～11月	〃 12,464	10月～11月	〃 13,693
展 示 会	10月～3月(1回)	〃 33,841	10月～3月(1回)	〃 35,725

[指標]

指標名：実験・講座等参加者数
 指標説明：学習教室と星空観望会の参加者数



2 科学教育センター施設管理事業費 37,063,996 円（科学教育センター）

[総括]

老朽化した電気設備の修繕を行ったほか、プラネタリウム室へ向かう階段へ星空の階段アートを設置した。今後も教育環境の計画的な整備を行い、視聴覚教育センター・地下資源館の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 26,700,867 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
開館日数	310日	310日	0.0%
入館者数	延 78,903人	延 84,911人	7.6

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	プラネタリウム室冷暖房設備修繕、2階防火シャッター取替修繕、講堂南面サッシ防水修繕	進相コンデンサー取替修繕、プラネタリウム案内看板等設置

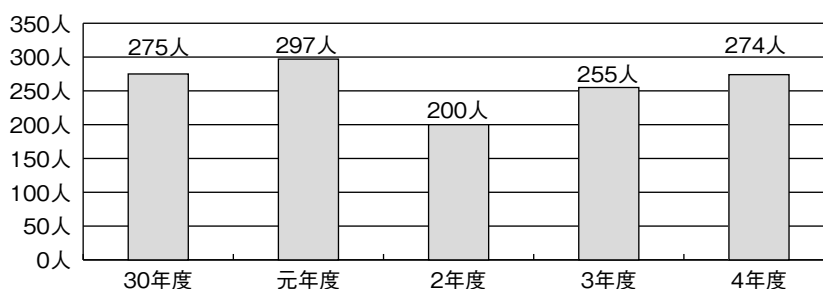
(2) 地下資源館施設管理事業費 10,363,129 円

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	展示室他パネル修繕、屋外コンクリート擁壁修繕	進相コンデンサー取替修繕、空調用温水ボイラー修繕、パネル展示修繕

[指標]

指標名：1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	5,532,543,617	1,228,814,979	2,075,100,000	655,630,777	1,572,997,861
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	5,532,543,617	1,228,814,979	2,075,100,000	655,630,777	1,572,997,861

1 小学校管理事業費 465,859,841 円 (教育政策課)

[総括]

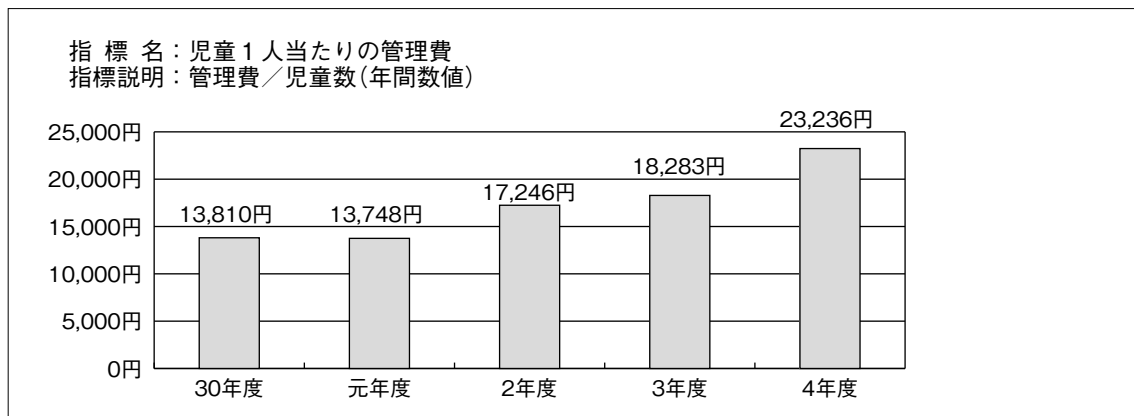
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 465,859,841 円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	852学級	848学級
児 童 数	20,454人	20,049人

[指標]



2 小学校教育推進事業費 360,347,819 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が児童と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症対策を行いながら児童の学びを保証するために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

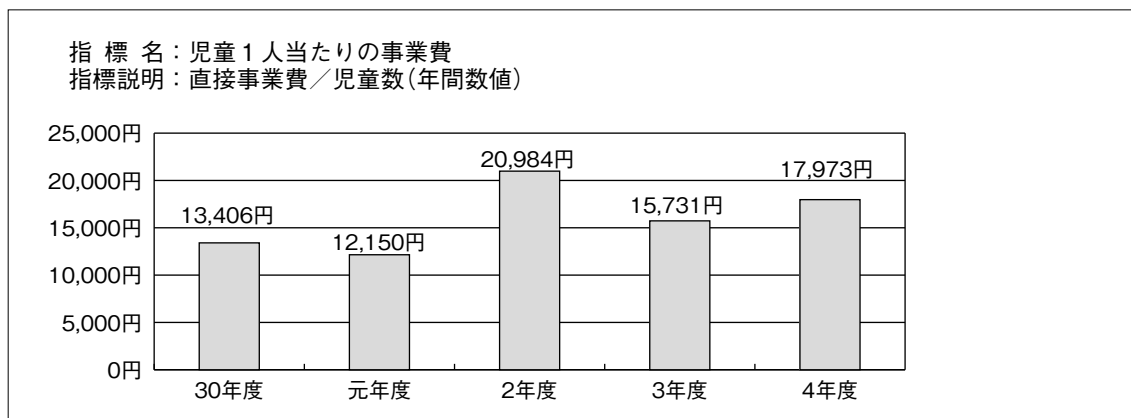
(1) 教育活動事業費 274,220,986 円

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	483,967冊	488,052冊
理科教育設備整備事業実施校数	18校	17校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 86,126,833 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
校務用コンピュータ費	1,308台	44,791,224円	1,308台	44,791,224円
校務支援システム費	1,308	41,311,109	1,308	41,335,609

[指 標]



3 小学校校舎等増改築事業費 1,180,000 円 (教育政策課)

[総 括]

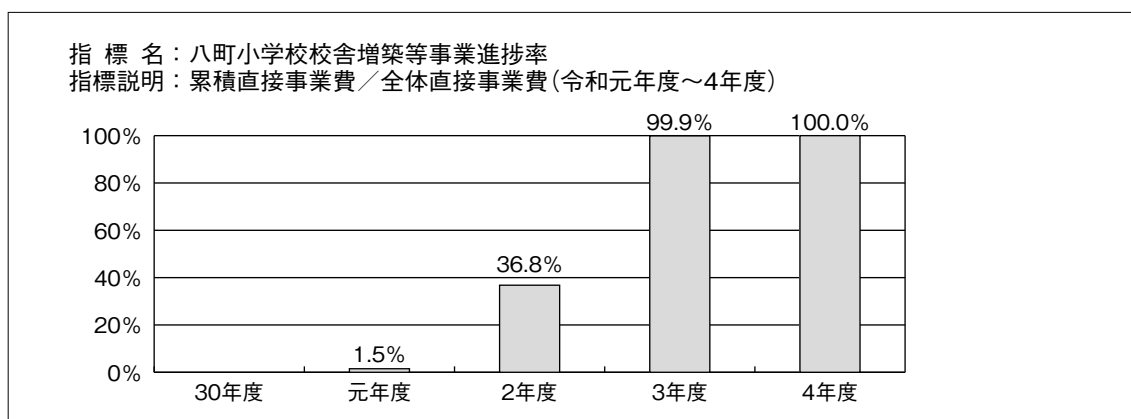
八町小学校では、イマージョン教育開始に伴う児童数増加による学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、校舎長寿命化改良工事、プール解体工事及び校舎増築工事を行った。

[実績及び成果]

(1) 八町小学校校舎増築等事業費 1,180,000 円

(ア) 仮設校舎の賃借

[指 標]



※令和 4 年度の全体事業費にて、元年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 3,218,222,111 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、東田小学校はじめ8校の校舎で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東田小学校校舎改良事業費 600,826,420 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 47,145,800 円
 (イ) 北校舎長寿命化改良工事 370,145,620 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 601,861,040 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,373㎡	外部・内部改修

- (ウ) 南校舎長寿命化改良工事 183,535,000 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 547,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,371㎡	外部・内部改修

- (2) 幸小学校校舎改良事業費 510,073,142 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 57,288,000 円
 (イ) 中校舎長寿命化改良工事 269,585,310 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 448,671,630 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,544㎡	外部・内部改修

- (ウ) 南校舎長寿命化改良工事 183,199,832 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 675,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,924㎡	外部・内部改修

- (3) 芦原小学校校舎改良事業費 357,087,940 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 19,184,000 円
 (イ) 校舎長寿命化改良工事 337,903,940 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 556,488,273 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,562㎡	外部・内部改修

- (4) 鷹丘小学校校舎改良事業費 349,748,939 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 17,489,780 円
 (イ) 校舎長寿命化改良工事 332,259,159 円
 3 年継続事業の最終年度 総事業費 546,020,659 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	3,038㎡

- (5) 向山小学校校舎改良事業費 528,870,783 円
 (ア) 仮設校舎の賃借等 64,702,000 円
 (イ) 北校舎長寿命化改良工事 379,458,783 円
 3 年継続事業の最終年度 総事業費 617,178,133 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	3,782㎡

- (ウ) 西校舎長寿命化改良工事 84,710,000 円
 3 年継続事業の 2 年度 総事業費 231,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造 2 階建	1,001㎡

- (6) 大清水小学校校舎改良事業費 229,855,725 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 46,200,000 円
 (イ) 南校舎長寿命化改良工事 183,655,725 円
 3 年継続事業の 2 年度 総事業費 553,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建	2,396㎡

- (7) 岩西小学校校舎改良事業費 446,490,462 円
 (ア) 北・中校舎長寿命化改良工事 446,490,462 円
 4 年継続事業の 3 年度 総事業費 1,026,600,000 円

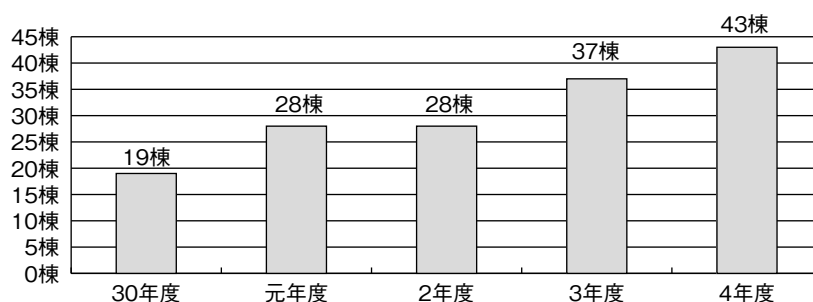
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建(北校舎) 鉄筋コンクリート造 3 階建(中校舎)	2,066㎡ 2,432㎡

- (8) 多米小学校校舎改良事業費 195,268,700 円
 (ア) 中・南校舎長寿命化改良工事 195,268,700 円
 4 年継続事業の 2 年度 総事業費 1,011,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造 3 階建(中校舎) 鉄筋コンクリート造 3 階建(南校舎)	1,996㎡ 1,874㎡

[指標]

指標名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



5 小学校環境整備事業費 1,095,219,800 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、7校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、4校においてトイレ大規模改造工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区分	令和3年度	令和4年度	
		規模等	学校名
(1) 校舎等改修事業費		928,004,563円	
長寿命化改良事業実施設計	一校	1校	飯村
長寿命化改良事業現況調査	—	4	豊、花田、磯辺、栄
電気設備改修工事	4	8	福岡、小沢、下地、西郷、植田、嵩山、石巻、賀茂
空調設備修繕	—	3	汐田、新川、西郷
トイレ洋式化工事	—	33	岩田、八町、松葉、松山ほか29校
体育館網戸設置工事	—	49	岩田、豊、東田、八町ほか45校
無線アクセスポイント機器購入	—	52	全校
階段昇降機購入	1	2	高師、下地
トイレ大規模改造工事	2	4	羽根井、老津、牟呂、二川
校舎外壁等改修工事	6	7	松山、野依、つつじが丘、前芝、下条、下地、汐田
校舎内装等改修工事	1	1	高師
(2) 運動場等整備事業費		109,025,400円	
大型複合遊具更新工事	一校	1校	野依
フェンス設置工事	—	1	二川
運動場整備工事	—	1	大村
フェンス改修工事	1	1	飯村
鉄筋コンクリート組立塀（万代塀）改修工事	—	1	牟呂
(3) 一般補修事業費		58,189,837円	
	52校	52校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,646,660,308	233,855,021	494,800,000	169,399,144	748,606,143
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	1,646,660,308	233,855,021	494,800,000	169,399,144	748,606,143

1 中学校管理事業費 286,105,158円 (教育政策課)

[総括]

中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふるさと納税」により、全国から楽器の寄附を受け入れ、中学校の音楽活動に活用した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

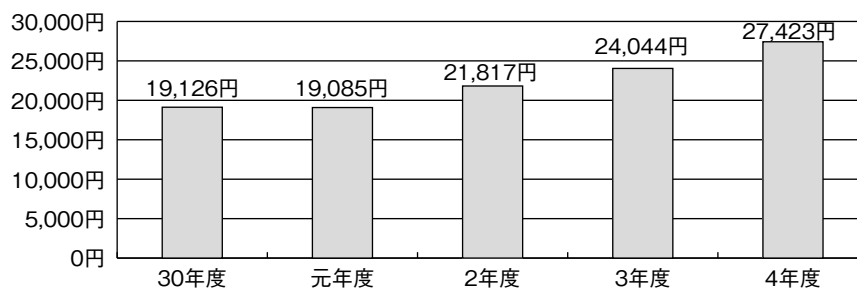
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 286,105,158円 (5月1日現在)

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	364学級	369学級
生 徒 数	10,383人	10,433人

[指標]

指標名：生徒1人当たりの管理費
指標説明：管理費/生徒数(年間数値)



2 中学校教育推進事業費 212,161,947円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教員が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症対策を行いながら生徒の学びを保证するために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

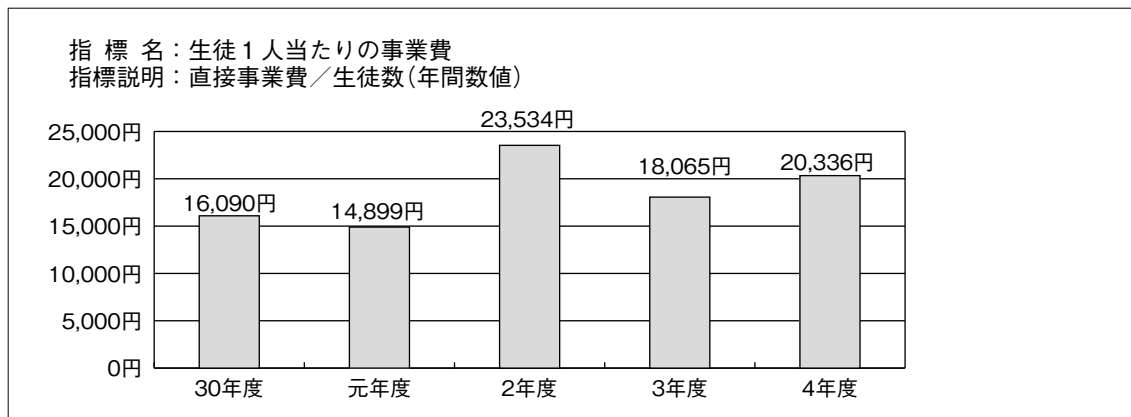
(1) 教育活動事業費 170,014,911円

区 分	令和3年度	令和4年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	321,083冊	320,889冊
理科教育設備整備事業実施校数	11校	11校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 42,147,036 円

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度	
校務用コンピュータ費	758台	24,659,856円	758台	24,659,856円
校務支援システム費	758	17,477,380	758	17,487,180

[指 標]



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 494,394,550 円 (教育政策課)

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、南部中学校武道場及び豊岡中学校はじめ 3 校の屋内運動場で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 南部中学校武道場改良事業費 172,954,100 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	武道場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造1階建	655㎡	外部・内部改修

(2) 豊岡中学校屋内運動場改良事業費 96,485,000 円

(ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 96,485,000 円

3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 252,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,071㎡	外部・内部改修

(3) 中部中学校屋内運動場改良事業費 118,279,650 円

(ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 118,279,650 円

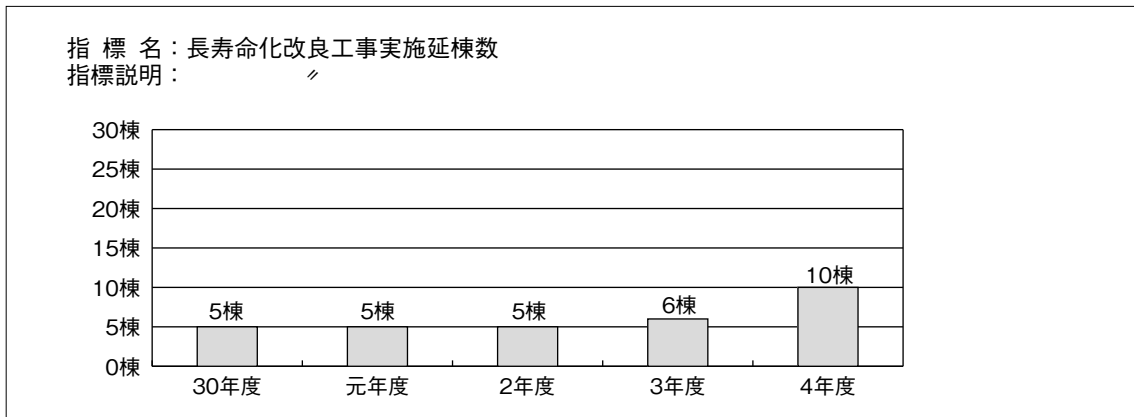
3 か年継続事業の 2 年度 総事業費 308,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,306㎡	外部・内部改修

- (4) 豊城中学校屋内運動場改良事業費 106,675,800 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 106,675,800 円
 3 か年継続事業の2年度 総事業費 307,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,302㎡	外部・内部改修

[指 標]



4 中学校校舎等大規模改造事業費 219,092,655 円（教育政策課）

[総 括]

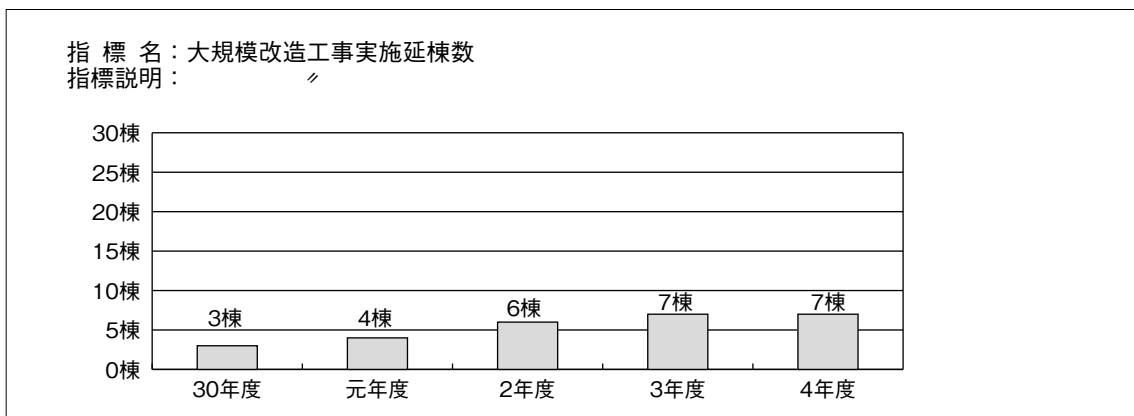
生徒が安心して学習できる環境づくりのため、本郷中学校校舎で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 本郷中学校校舎改造事業費 219,092,655 円
 (ア) 仮設校舎の賃借 9,059,000 円
 (イ) 南校舎大規模改造工事 210,033,655 円
 3 か年継続事業の最終年度 総事業費 345,898,245 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,916㎡	外部・内部改修

[指 標]



5 中学校環境整備事業費

263,491,331 円（教育政策課）

〔総括〕

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、東陵中学校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、南稜中学校で体育倉庫改築工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

〔実績及び成果〕

区 分	令和3年度	令和4年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	221,047,701円		
電気設備改修工事	3校	6校	東陽、高豊、中部、吉田方、北部、豊岡
下水管移設工事等	—	1	牟呂
図書室改修工事	—	1	南稜
体育倉庫改築工事	—	1	南稜
体育館網戸設置工事	—	16	東部、東陽、青陵、東陵、羽田、牟呂、吉田方、南部、南陽、本郷、北部、前芝、石巻、二川、五並、章南
無線アクセスポイント機器購入	—	22	全校
階段昇降機購入	—	2	中部、東陵
校舎外壁等改修工事	—	1	東陵
校舎内壁等改修工事	—	1	豊城
(2) 一般補修事業費	42,443,630円		
	22校	22校	全校

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	3,181,754,997	721,902,619	189,700,000	294,179,595	1,975,972,783
2目 生涯学習機会充実費 <多様な学習機会の充実>	592,670,962	37,185,000	155,900,000	36,224,898	363,361,064

1 生涯学習推進事業費 6,387,757 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多様な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 5,825,327 円

区 分	令和3年度			令和4年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	33	894人	148回	35	977人	170回	地区市民館ほか
専 門 コ ー ス	18	359	22	22	390	28	〃
高 齢 者 コ ー ス	20	728	110	22	977	134	〃
企 業 連 携 講 座	20	390	59	25	483	69	〃

(2) 生涯学習活動事業費 562,430 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 404,000 円

発 行 部 数	令和3年度	令和4年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 30,000 円

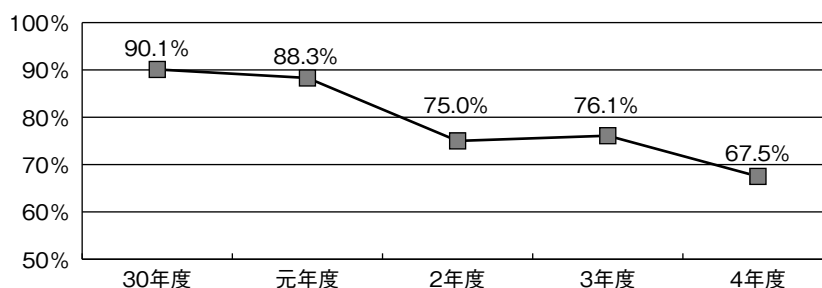
参 加 者	令和3年度	令和4年度
		0人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 128,430 円

参 加 者	令和3年度	令和4年度
		0人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
 指標説明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 299,507,157 円（生涯学習課）

[総括]

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに、適切に管理・運営し、利用促進に努めるとともに、新たな利用を促進するため、市内3大学を会場とした大学連携講座などをオンライン講座として全地区市民館に拡大して実施した。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地区市民館管理運営事業費（22館） 299,507,157 円

[利用状況]

区 分	令和3年度			令和4年度			比 較 (延利用人員) %
	延件数 件	延利用人員 人	延図書貸出 冊	延件数 件	延利用人員 人	延図書貸出 冊	
二川地区市民館	1,387	63,697	39,129	1,846	77,854	40,797	22.2
豊岡 〃	927	20,294	2,281	984	21,637	1,955	6.6
東陽 〃	1,147	22,996	4,634	1,378	27,714	4,174	20.5
南稜 〃	1,886	44,090	—	2,143	56,937	—	29.1
青陵 〃	1,809	67,183	48,297	2,053	74,950	51,352	11.6
杉山 〃	665	16,950	658	104	2,157	19	△87.3
石巻 〃	995	45,004	21,267	1,211	48,059	16,557	6.8
羽根井 〃	886	16,043	442	1,122	19,827	264	23.6
吉田方 〃	1,050	22,122	750	1,463	27,649	614	25.0
五並 〃	421	7,842	611	543	9,038	652	15.3
牟呂 〃	1,031	37,113	10,156	1,508	38,937	10,045	4.9
高豊 〃	421	16,978	138	709	20,980	212	23.6
北部 〃	1,013	18,442	8,213	1,054	21,636	6,236	17.3
南部 〃	1,340	61,593	26,581	1,475	61,922	26,420	0.5
豊城 〃	1,637	33,818	1,397	2,144	39,710	822	17.4
中部 〃	1,144	19,806	1,023	1,339	21,892	865	10.5
高師台 〃	1,280	22,783	2,263	1,592	30,499	2,462	33.9
東部 〃	820	17,225	1,018	883	18,441	1,175	7.1
東部地区市民館飯村分館	2,265	43,675	2,092	2,557	50,348	1,679	15.3
南陽地区市民館	1,027	18,292	583	1,349	23,193	489	26.8
本郷 〃	1,483	24,839	582	1,726	33,480	670	34.8
東陵 〃	1,231	31,104	2,439	1,490	35,551	2,024	14.3
計	25,865	671,889	174,554	30,673	762,411	169,483	13.5

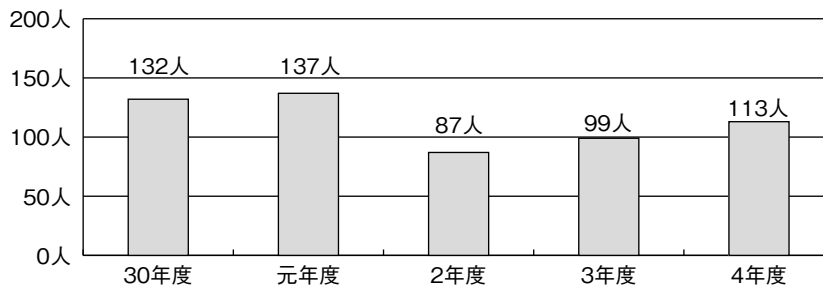
※杉山地区市民館は、施設の大規模改修工事に伴い、令和4年6月から令和5年3月まで休館

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	冷暖房機取替（二川・高豊・東部）	冷暖房機取替（二川・青陵・石巻・五並・北部・南部・南陽）

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 181,778,140 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、杉山地区市民館において大規模改修工事及び青陵地区市民館において予防保全工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|---------------|
| (1) 地区市民館整備事業費 | 181,778,140 円 |
| (ア) 大規模改修工事 (杉山) | 168,267,940 円 |
| (イ) 改修工事 (青陵) | 13,510,200 円 |

4 青少年教育施設管理運営事業費 104,997,908 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、ジュニアチャレンジ講座など自主事業を実施した。また、少年自然の家と野外教育センターでは老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、施設の一体的な管理運営を推進した。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 46,023,043 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
研 修 棟	延 8,068人	延 9,723人	20.5%
宿 泊 棟	延 47	延 193	4.1倍
運 動 広 場	延 3,681	延 3,733	1.4%
体 育 室	延 14,801	延 16,288	10.0
音 楽 室	延 1,743	延 2,665	52.9
大 研 修 室	延 4,924	延 7,400	50.3
多 目 的 室	延 1,745	延 1,771	1.5
そ の 他	延 6,939	延 6,671	△ 3.9
計	41,948	48,444	15.5

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	中央棟・研修棟高架水槽修繕	研修棟空調機取替修繕及び トイレ洋式化

(2) 少年自然の家管理運営事業費 15,873,238 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
管 理 棟（日帰り）	延 2,968人	延 3,437人	15.8%
宿 泊 棟	延 252	延 1,586	6.3倍
キ ャ ン プ 場	延 13	延 128	9.8
計	3,233	5,151	59.3%

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	体育館軒天補修等修繕	創作活動室空調設備等修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 26,304,790 円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比較
本 館（日帰り）	延 4,843人	延 6,066人	25.3%
宿 泊 室	延 713	延 3,880	5.4倍
計	5,556	9,946	79.0%

〔施設整備〕

内 容	令和3年度	令和4年度
	集会所引戸取替等修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,462,837円

〔利用状況〕

内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
利 用 者 数	延 667人	延 1,506人	2.3倍

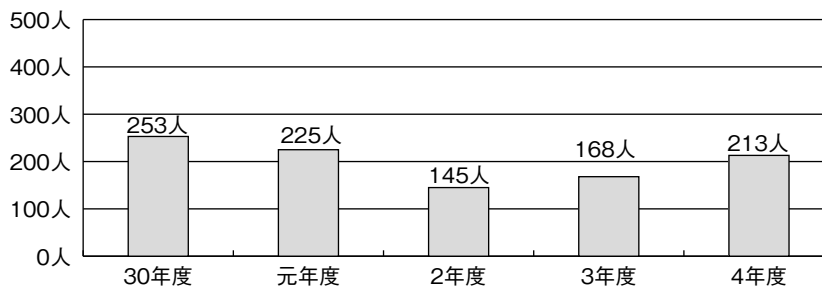
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 13,334,000円

〔利用状況〕

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
宿 泊 利 用	延 405人	延 887人	2.2倍
日 帰 研 修	延 2,758	延 3,216	16.6%
キ ャ ンプ 利 用	延 304	延 525	72.7
計	3,467	4,628	33.5
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 372	延 753	2.0倍

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域・学校・家庭の協働の推進＞	17,371,164	1,722,000	0	60,400	15,588,764

1 地域教育推進事業費 9,593,548円 (生涯学習課)

[総括]

地域の大人を講師として子ども向けに多様な体験活動等を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元する機会を提供した。今後も学校や地域と連携して、新たな講師の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 4,710,398円

(ア) 生涯学習推進セミナー事業費 144,000円

内 容	令和3年度		令和4年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	160人	5回	379人	12回	校区市民館ほか

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 454,500円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	22	2,001人	131回	17	1,767人	107回	校区市民館ほか

(ウ) 地域未来塾ステップ推進事業費 493,898円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	194人	22回	1	209人	22回	青少年センター

(エ) トヨッキースクール推進事業費 3,618,000円

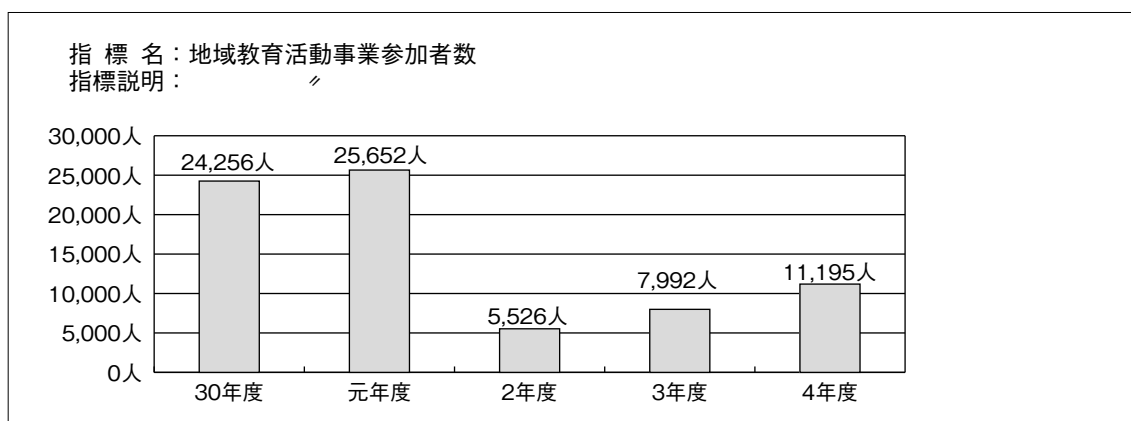
内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	30	5,637人	346回	35	8,840人	471回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 4,883,150円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
二十歳の集い	51	3,641人	46か所	51	3,431人	46か所	小学校ほか

※令和3年度は成人式として開催

[指 標]



2 家庭教育事業費 1,082,815 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー及び明るい家庭づくり推進大会等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 1,082,815 円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	19	325人	19回	16	364人	16回	地区市民館ほか
子育てお悩み解決塾	10	243	10	9	165	9	地区市民館ほか
子育て学習講座	28	1,575	28	29	1,523	29	小学校
思春期家庭教育講座	0	0	0	0	0	0	中学校

3 青少年交流活動促進事業費 390,361 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

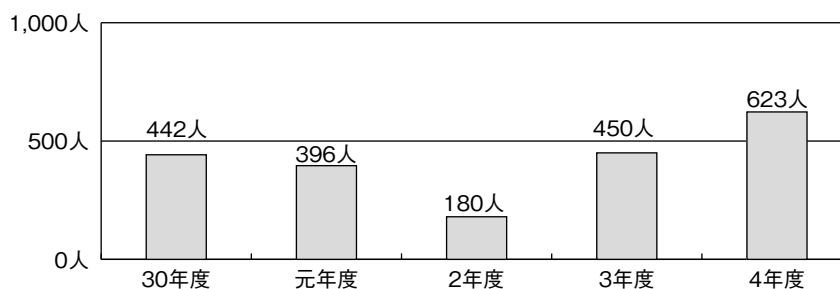
[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 390,361 円

内 容	令和3年度		令和4年度		
	回数	参加者	回数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	12回	377人	15回	507人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	4	73	3	46	少年自然の家
自然体験指導者養成プログラム	2	11	5	70	少年自然の家

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 放課後児童対策費 <放課後の学びと交流機会の充実>	1,064,559,418	563,568,619	3,900,000	156,493,860	340,596,939

1 放課後児童対策事業費 1,064,559,418円 (生涯学習課)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに4か所開設したほか、民営児童クラブ2か所の施設整備に対する助成を行うとともに、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを7か所開設した。また、児童クラブに従事する職員の処遇改善及び人材確保のため、3%程度の賃金引上げに係る費用の助成を行った。さらに放課後の新たな学びの場として、多彩な学びや交流機会を提供する「のびるん de スクール」を2学期より全小学校へと拡大した。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 474,374,329円

区 分	令和3年度		令和4年度	
事業費	55クラブ	416,376,771円	58クラブ	474,374,329円
年間利用者数	延	19,391人	延	20,985人

(2) 民営児童クラブ運営事業費 425,848,184円

区 分	令和3年度		令和4年度	
民営児童クラブ運営費補助金等	41クラブ	388,912,314円	40クラブ	411,855,990円
民営児童クラブ施設整備費補助金	2	3,639,000	2	684,000
民営児童クラブ利用料助成費	延 709人	12,429,120	延 734人	13,308,194

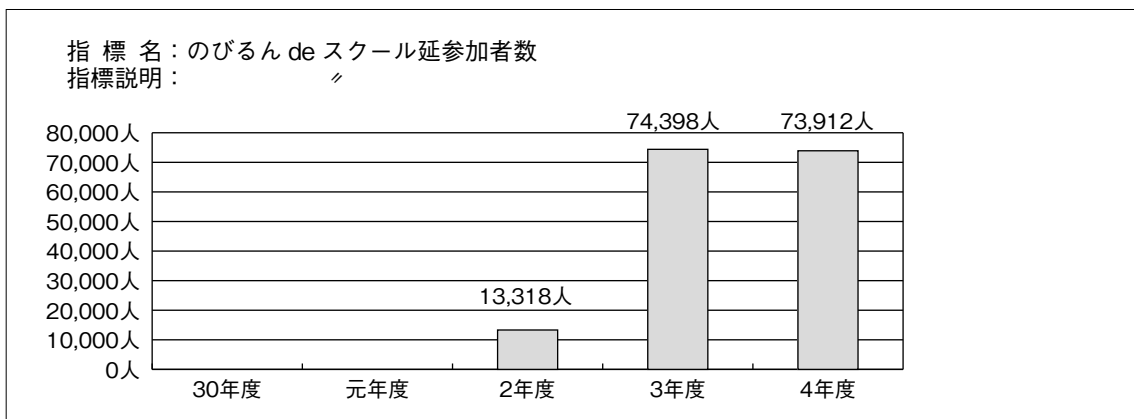
(3) 放課後子ども教室運営事業費 10,471,111円

内 容	令和3年度		令和4年度	
	6教室の開設		6教室の開設	

(4) のびるん de スクール運営事業費 153,865,794円

内 容	令和3年度			令和4年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	12	74,398人	2,385回	52	73,912人	2,291回	小学校ほか

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5日 図 書 館 費 < 図 書 館 の 充 実 >	744,204,933	3,551,000	0	2,832,914	737,821,019

1 中央図書館事業費 403,453,514 円 (図書館)

[総括]

図書館は令和5年1月15日に開館110周年を迎えた。図書館にゆかりのある110人が選んだおすすめの本110冊の展示や図書館の歴史、サービスから出題した110周年検定など、1年を通して様々な記念イベントや展示を行い、図書と人、知識と人、人と人がつながり、交流のきっかけとなる機会を提供することができた。また、徳川家康と東三河にちなんだ資料展や講演会を行い、郷土について知ってもらう機会を設けた。今後も「知の拠点」として、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費 | 11,462,263 円 |
| (2) 一般図書業務費 | 31,634,811 円 |
| (3) レファレンス業務費 | 1,770,968 円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 5,516,972 円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 722,526 円 |

[利用状況等]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	286日	289日	1.0%
入 館 者 数	延 276,960人	延 245,147人	△11.5
館 外 貸 出 人 数	延 270,894	延 359,013	32.5
館 外 貸 出 冊 数	延 863,585冊	延 855,562冊	△ 0.9
館外貸出人数(CD)	延 7,224人	延 7,534人	4.3
館外貸出点数(CD)	延 12,898点	延 13,481点	4.5
蔵 書 冊 数	695,029冊	697,161冊	0.3
()内は司文庫で再掲	(35,440)	(35,542)	(0.3)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,571点	6,266点	△ 4.6

※ Web から貸出延長した人数と冊数に関しては、全て中央図書館に計上した。

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
図 書	一 般	6,175冊	7,096冊	14.9%
	児 童	2,484	3,151	26.9
	参 考	205	168	△18.0
	郷 土	94	163	73.4
	司 文 庫	63	102	61.9
	計	9,021	10,680	18.4
逐次刊行物	雑 誌 等	237種	242種	2.1
	新 聞	24	24	0.0
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	67点	86点	28.4

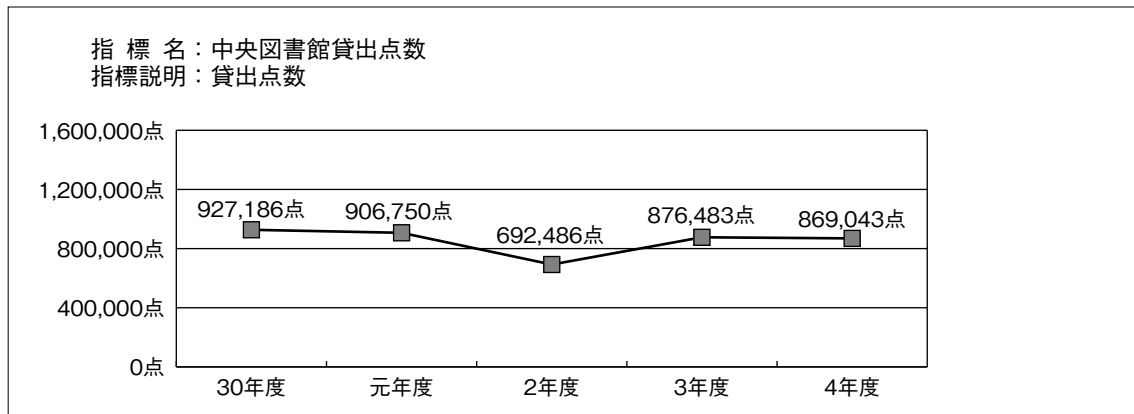
(6) 行事開催業務費

9,704,675 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	7回	延 28,614人	6回	延 17,994人
資 料 展 関 連 行 事	5	延 231	6	延 337
市 民 向 け 講 座	11講座	延 225	10講座	延 145
ボランティア等育成講座、研修	5	延 154	5	延 166
図書館子どもフェスタ		延 697		延 599
夏休み子どもフェスティバル		—		延 155
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	44回	配布人数 2,516 (絵本等)	40回	配布人数 2,416 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	20	延 1,054	30	延 2,248
おはなしのへや	117	延 1,393	219	延 2,668
調べ学習コンクール	36校	409	37校	277
情報発信コーナー展示	14回		18回	
外 部 連 携	5		5	
出 前 講 座	1	32	2	53
図書館開館110周年記念事業 (うち再掲)		—	34 (16)	延 13,268 延 11,297

※図書館開館110周年記念事業に関しては、全て中央図書館に計上した。

[指 標]



2 向山図書館事業費

37,212,634 円（図書館）

〔総括〕

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネットによる図書資料などの検索や予約の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、図書館開館 110 周年記念事業として、市民館まつりに出展し、おはなし会や仕掛け絵本展を行った。分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスを提供するように努める。

〔実績及び成果〕

(1) 配本業務費

32,244,395 円

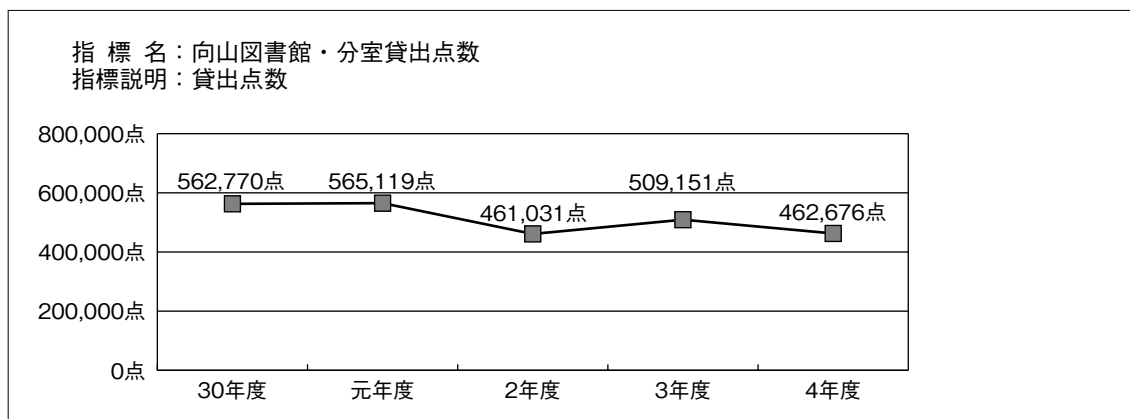
〔利用状況等〕

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
開 館 日 数		286日	289日	1.0%
入 館 者 数		延 113,804人	延 99,413人	△12.6
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 74,436	延 66,605	△10.5
	分 室	延 80,780	延 82,887	2.6
	計	延 155,216	延 149,492	△ 3.7
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 259,814冊	延 222,655冊	△14.3
	分 室	延 249,337	延 240,021	△ 3.7
	計	延 509,151	延 462,676	△ 9.1
蔵 書 冊 数		255,041	256,197	0.5

〔資料購入状況〕

区 分	内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
図 書	一 般	3,685冊	3,139冊	△14.8%
	児 童	3,113	4,447	42.9
	参 考	1	1	0.0
	郷 土	5	7	40.0
	計	6,804	7,594	11.6
逐次刊行物	雑 誌	47種	48種	2.1
	新 聞	10	10	0.0

〔指 標〕



3 大清水図書館事業費

35,521,439 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、読み聞かせや本に触れるきっかけとなるような講座を行うとともに、高校の部活動を紹介する企画展等を開催することにより、若年層の図書館利用の促進を図った。また、図書館開館 110 周年記念事業として、110 年前の図書館の様子やその当時の出来事を年表や写真、本を使って紹介する展示のほか、閉館後の館内でハロウィンをテーマとしたイベントなどを行った。今後も利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費

8,247,778 円

〔利用状況等〕

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
開 館 日 数	286日	289日	1.0%
入 館 者 数	延 216,770人	延 221,403人	2.1
館 外 貸 出 人 数	延 52,166	延 51,111	△ 2.0
館 外 貸 出 冊 数	延 243,315冊	延 226,304冊	△ 7.0
館 外 貸 出 人 数 (C D)	延 881人	延 815人	△ 7.5
館 外 貸 出 点 数 (C D)	延 1,433点	延 1,386点	△ 3.3
蔵 書 冊 数	77,466冊	80,735冊	4.2
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	784点	839点	7.0

〔資料購入状況〕

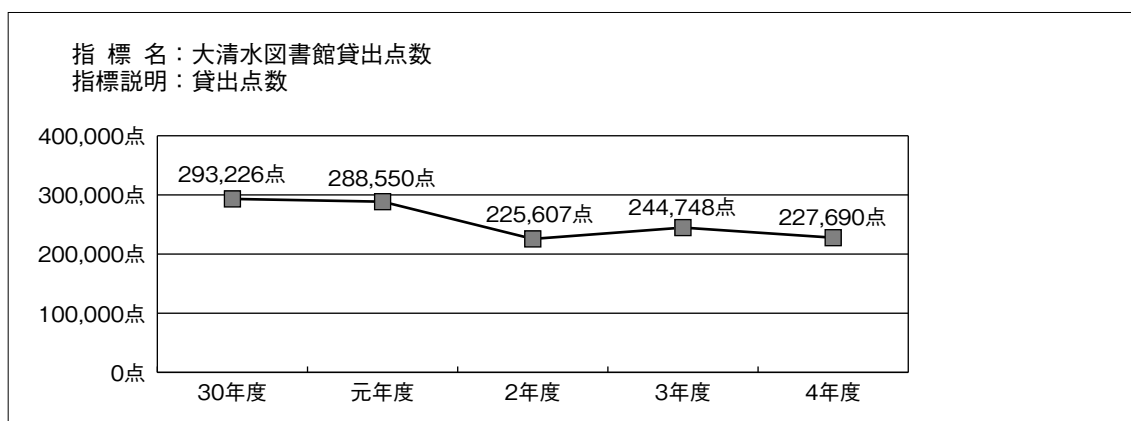
区 分	内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	比 較
図 書	一 般	2,387冊	2,080冊	△12.9%
	児 童	1,562	1,742	11.5
	郷 土	10	10	0.0
	計	3,959	3,832	△ 3.2
逐次刊行物	雑 誌 等	122種	116種	△ 4.9
	新 聞	11	11	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D	66点	55点	△16.7

(2) 行事開催業務費

34,687 円

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度
市 民 向 け 講 座	1回 延 21人	0回 延 0人
ミ ナ ク ル ま つ り	延 144	延 354
お は な し の へ や	42 延 358	84 延 921
出 前 講 座	1 延 24	2 延 166
外 部 連 携 展 示 等	4	10

[指標]



4 まちなか図書館事業費 201,713,706 円 (図書館)

[総括]

まちなか図書館は開館1周年を迎えた。基本的な図書館機能に加え、人と人との交流によって生み出される知識や情報、体験などを共有・発信できる新しいカタチの図書館として、図書館主催のイベントや講座だけでなく、外部との連携によるワークショップや企画展示などを開催することで、「ひととつながり、まちとつながる」図書館サービスを提供した。今後も知識や情報の発信・交流の場としての機能の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 図書業務費 16,853,454 円

[利用状況等]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	115日	339日	2.9倍
入 館 者 数	延 218,149人	延 586,703人	2.7
館 外 貸 出 人 数	延 46,100	延 135,095	2.9
館 外 貸 出 冊 数	延 161,235冊	延 471,769冊	2.9
蔵 書 冊 数	65,041	71,107	9.3%
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	90点	121点	34.4

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和3年度	令和4年度	比 較
図 書	一 般	24,835冊	4,435冊	△82.1%
	児 童	5,942	1,686	△71.6
	計	30,777	6,121	△80.1
逐次刊行物	雑 誌 等	304種	313種	3.0
	新 聞	16	16	0.0
視聴覚資料	D V D	90点	31点	△65.6

(2) 行事開催業務費

595,373 円

区 分	令和3年度	令和4年度
資 料 展	9回	18回
資 料 展 関 連 行 事	3 延 122人	13 延 635人
映 画 上 映 会	4 延 92	67 延 1,121
お は な し の へ や	38 延 921	97 延 2,459
まちなか図書館主催イベント	38 延 1,314	132 延 1,796
外 部 連 携	75 延 1,627	323 延 5,114
出 前 講 座	7 423	1 28

[指 標]

指 標 名：まちなか図書館貸出点数
 指標説明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	269,667,608	192,000	0	81,098,724	188,376,884

1 美術博物館事業費 260,093,967 円 (美術博物館)

[総括]

4～5月にコレクション展及び豊橋ハリストス正教会が所蔵する山下りん作のイコン（聖画像）などを紹介する小企画展を開催した。6月から改修工事のため一時休館したが、物資不足による工事遅延のため8～10月に再開館し、コレクション展示のほか、市内小中学校に呼びかけて1階展示室壁面に壁画を共同制作するプロジェクトを実施し、再休館直前に開催したクロージング・イベントで公開した。休館中は、コレクションを二川宿本陣資料館で出張展示する「びはく移動展Ⅰ」「びはく移動展Ⅱ」を開催したほか、市民を対象とする「びはく講座」の館外開催や市内小中学校を対象とする出前授業のプログラム数を増やすなど、アウトリーチ活動に重点を置いた。また、美術・歴史の魅力発信を推進するため、収蔵品データベースのホームページ公開やスマートフォンアプリによる音声ガイド及び展示品解説サービスの導入に向けて準備を行った。

令和6年3月の再開館までの間、引き続きアウトリーチ活動に力を注ぐとともに、美術博物館内の整備を計画的に進め、開館記念展に向けて調査研究を行うなどリニューアルオープンに合わせてソフト面でも刷新と充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 39,990,322 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	300日	106日	△ 64.7%
企 画 展	7件 延 67,014人	3件 延 38,321人	△ 42.8
共 催 展	5 延 4,665	2 延 2,967	△ 36.4
一 般 展	45 延 36,646	10 延 9,964	△ 72.8
テ ー マ 展 示	4 延 9,767	0 延 0	皆減
公 開 講 座 等	19 延 1,103	15 延 5,990	5.4倍
計	119,195	57,242	△ 52.0%

(2) 展覧会事業費 11,257,892 円

(ア) 展覧会開催事業費 10,906,892 円

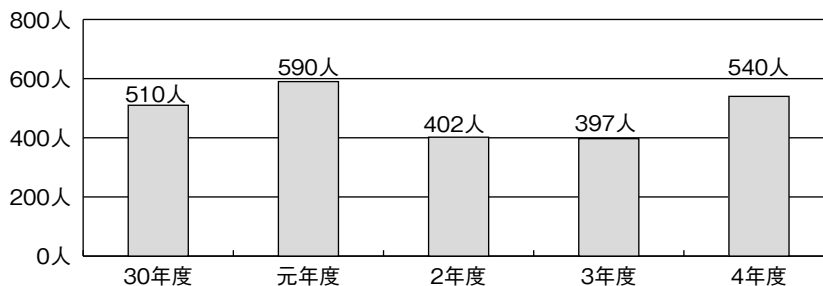
令和3年度		令和4年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第43回豊橋美術展	2,768人	第44回豊橋美術展	4,114人	48.6%
第71回豊橋市民展	2,716	—	0	皆減
プレイバック! 絵画コレクション名品展	2,249 (2回246人)	豊橋ハリストス正教会 山下りん作のイコン(聖画像)等展示	5,124 (—)	—
三沢厚彦 ANIMALS 2021 in TOYOHASHI	10,806 (6回470人)	びはく クロージング・イベント	8,949 (5回2,880人)	—
第8回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展 ～明日の日本画を求めて～	1,983 (1回103人)	びはく移動展Ⅰ 「こわい絵 in HONJIN」 ※二川宿本陣資料館	4,469 (3回208人)	—
郷土史家のコレクション ～橋良文庫と草間文庫～	3,403 (1回22人)	びはく移動展Ⅱ 「Life is Journey」 ※二川宿本陣資料館	2,066 (—)	—
芳年 激動の時代を生きた 鬼才浮世絵師	5,171 (3回148人)	—	—	—
常設展	37,918	常設展	20,134	△46.9
延650日	67,014 (13回989人)	延224日	44,856 (8回3,088人)	△33.1

※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

※豊橋市民展は、美術博物館大規模改修工事のため未実施

[指標]

指標名：美術博物館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数/開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,479,096 円（美術博物館）

[総括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和19年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、平成28年には収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に登録された。建設当時の趣を残す市内に唯一の木造校舎として魅力の発信、建物の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和4年度は前年度に比べ利用者数は減少したが、ロケーションや特色を活かした普及活動、季節の展示コーナーの新規設置等により、個人利用が引き続き広がりを見せている。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

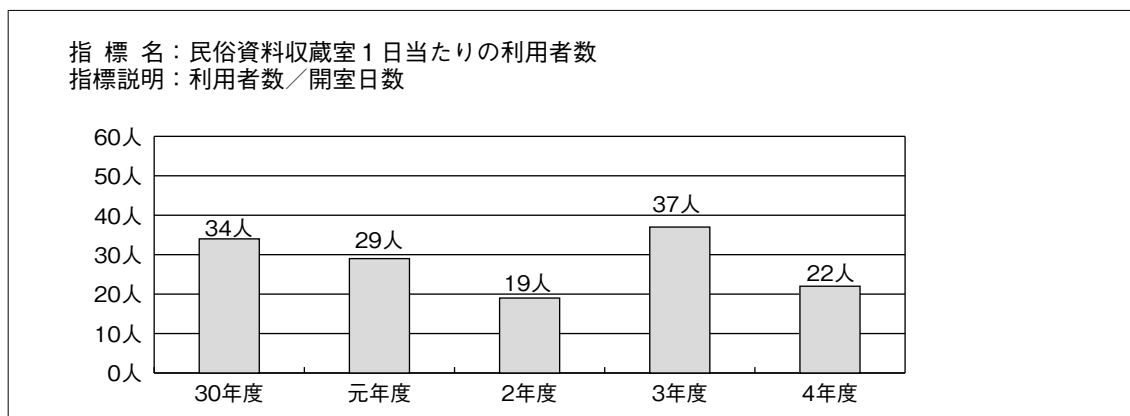
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,479,096 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 室 日 数	146日	136日	△ 6.8%
延 入 室 者 数	5,391人	3,041人	△43.6

[指 標]



3 美術博物館整備事業費 1,762,475 円（美術博物館）

[総括]

施設の長寿命化を図り、美術館・博物館資料の展示・保管に最適な施設として利用者が快適に利用できるよう、設計施工一括発注方式を採用した大規模改修整備工事を行った。令和4年度は物資不足のため工期延長となったが、今後は、改修工事を計画的に進め、資料の保存環境、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 美術博物館整備事業費 1,762,475 円

(ア) 美術博物館大規模改修工事 0 円

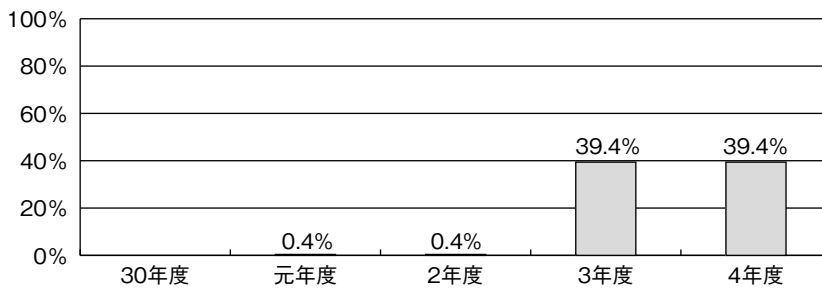
3 年継続事業の 2 年度 総事業費 1,522,500,000 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建	空調設備更新、来館者用エレベーター 新設、内装改修	5,317㎡

[指 標]

指 標 名：美術博物館整備事業進捗率

指標説明：実施事業費／総事業費(令和元年度～5年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 歴史資源保存活用費 <文化財の保護と次世代への継承>	100,265,902	677,000	6,500,000	9,000,400	84,088,502

1 二川宿本陣資料館事業費 70,314,474 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、牟呂村が発祥の地である幕末の民衆運動を取り上げた「ええじゃないか」、日本の名城や歴史舞台を精密な描写で描いた歴史考証イラストを展示した「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」、平成31年から令和4年にかけて寄贈された人形のコレクション展「おひなさまと武者人形 柴田コレクション」などの企画展のほか、恒例の「ひなまつり」をはじめ五節句のイベントなどを開催した。また、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだほか、文化・歴史の魅力発信を推進するため、スマートフォンアプリによる学芸員の音声案内や展示品の英語音声解説サービスを導入した。さらにガバメントクラウドファンディングでの寄附金を活用し、本陣主屋の漆喰塗替修繕を行った。

今後も集客を見込める魅力的かつ画期的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 31,225,919 円

[利用状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	310日	312日	0.6%
延 入 館 者 数	21,417人	26,845人	25.3

(2) 展覧会事業費 8,004,462 円

(ア) 展覧会開催事業費 5,730,259 円

令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
開館30周年記念「竹久夢二展」	4,854人	甦る名城 香川元太郎城郭原画展	3,002人
高師原・天白原演習場とその時代	1,665	—	—
島田市博物館所蔵「海野光弘展」	2,514	—	—
常設企画展 2回	3,095	企画展 3回	13,189
記念講演会等 2回	45	記念講演会等 2回	51
計	12,173	計	16,242

(イ) 五節句行事開催等事業費 1,349,029 円

令和3年度		令和4年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 1,415人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,271人
—	—	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(招き猫)」	参加者 18
琴のしらべ	参加者 11	琴のしらべ	24
ほんじん講座	受講者 6	ほんじん講座	受講者 13
本陣古文書講座(初級)	70	本陣古文書講座(初級)	61
七夕の節句	会期中入館者 770	七夕の節句	会期中入館者 949
夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 81	夏の夜の本陣体験 「本陣のおばけ屋敷」	参加者 83
本陣体験講座 「和本を作ろう」	9	本陣体験講座 「和本を作ろう」	11
菊の節句－重陽－	会期中入館者 482	菊の節句－重陽－	会期中入館者 470
本陣古文書講座(中級)	受講者 68	本陣古文書講座(中級)	受講者 72
本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	20	本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	13
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	10	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	11
—	—	本陣体験講座 「土人形絵付け体験(干支・雛人形)」	23
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 725	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 739
ひなまつり	6,025	ひなまつり	9,235
本陣句会	応募者 56	本陣句会	応募者 136

(3) 資料収集事業費 980,814 円

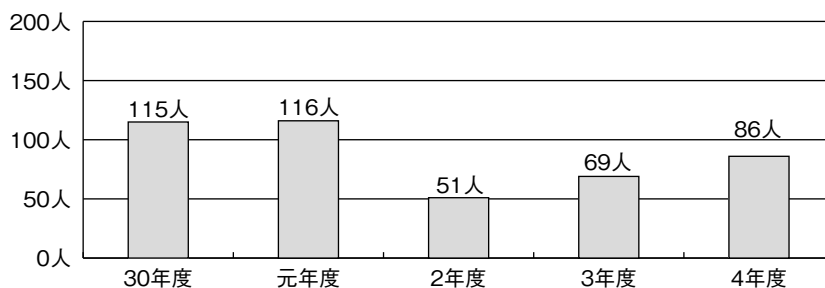
内 容	令和3年度	令和4年度
	東海道勝景従日本橋至荒井等 11点	増訂琉球入貢紀略等 7点

(4) 二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金 570,000 円

補 助 金	令和3年度	令和4年度
	0円	570,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1 日当たりの入館者数
指標説明：入館者数／開館日数



2 二川宿本陣資料館整備事業費 7,507,500 円（美術博物館）

[総 括]

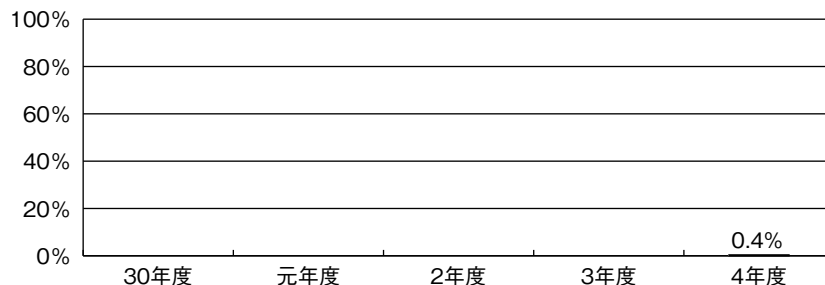
開館から 31 年経過する資料館の長寿命化と適切な維持管理、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上のため、令和 5 年度・6 年度の改修工事に向けて、実施設計を行った。

[実績及び成果]

- (1) 二川宿本陣資料館整備事業費 7,507,500 円
- (ア) 大規模改修実施設計 7,260,000 円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館整備事業進捗率
指標説明：実施事業費／総事業費(令和4年度～6年度)



3 商家「駒屋」事業費

22,443,928 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、駒屋横丁「駒屋であそびん」や和創作、煎茶体験や和菓子作り、二川宿本陣資料館と連携した「福よせ雛」などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めるとともに、ガバメントクラウドファンディングでの寄附金を活用し、漆喰塗替修繕を行った。今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費

22,443,928 円

〔利用状況〕

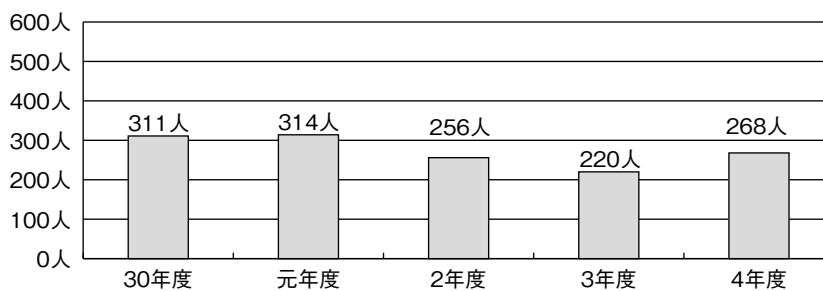
区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 館 日 数	310日	312日	0.6%
延 入 館 者 数	68,343人	83,531人	22.2

〔主なイベント開催状況〕

令和3年度		令和4年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
オーディオで遊ぼう	500人	駒屋の夜店	500人
駒屋横丁	2,837	駒屋横丁	4,540
ひなまつり	会期中入館者 14,095	ひなまつり	会期中入館者 18,961

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 文化財保護活動費 <文化財の保護と次世代への継承>	231,428,134	115,007,000	23,400,000	8,468,399	84,552,735

1 文化財保護事業費 231,428,134 円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、指定・登録文化財に関する各種調査や保護活動のほか、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入、市史跡・吉田城址の石垣解体修理に伴う確認緊急調査を実施するとともに、吉田城址を文化財として適切に保存し、魅力的な郷土の歴史資源として活用していくため、地元関係者、有識者と連携して保存活用計画を策定した。

今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 220,076,148 円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	三ツ山古墳の確認調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	西側古墓・西側北遺跡の発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	境松遺跡の発掘調査	

(エ) 吉田城址確認緊急調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	吉田城址の確認緊急調査	

(オ) 報告書作成業務

内 容	令和3年度	令和4年度
	埋蔵文化財調査報告書第156・157集の作成	

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	大蚊里貝塚・吉田城址ほかの試掘確認調査	

(キ) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和3年度	令和4年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(ク) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和3年度	令和4年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入

(ケ) 文化財保存活用地域計画策定準備

内 容	令和3年度	令和4年度
	計画策定に向けた市民アンケートの実施	計画策定に向けた文化財所有者アンケートの実施

(コ) 吉田城址保存活用計画策定

内 容	令和3年度	令和4年度
	—	市史跡吉田城址について保存活用計画を策定

(2) 文化財保存事業補助金 3,394,000 円

内 容	令和3年度	令和4年度
	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 赤岩寺重要文化財等防災施設整備 正圓寺木造地藏菩薩立像の修理	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 野依八幡社のシダレザクラ樹勢回復 作業

(3) 文化財活用事業費 7,957,986 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	「渡来人の墓・積石塚展」を開催	「石巻の縄文遺跡・玉川変電所遺跡と採集資料展」を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	現地見学（戦争遺跡めぐり・文化財めぐり）、勾玉づくりなど体験講座を開催	現地見学（戦争遺跡めぐり・文化財めぐり）、勾玉づくりなど体験講座を開催

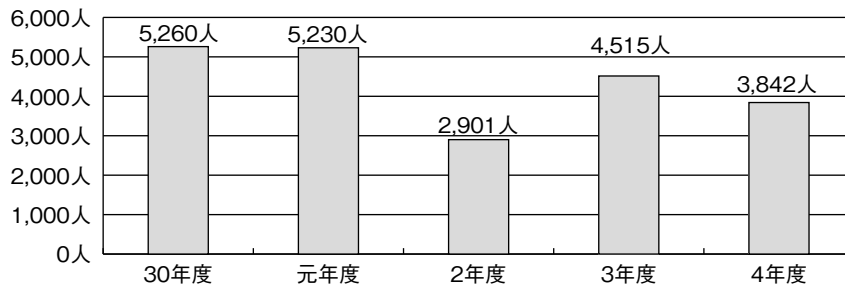
(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和3年度	令和4年度
	とよはしシンポジウム「縄文時代の魅力を探る」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置	吉田城址市史跡指定記念講演会、とよはしシンポジウム「石垣を守る・直す・魅せる！」を開催 埋蔵文化財説明看板の設置

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数

指標説明：文化財調査事業(発掘調査現地説明会等)参加者+文化財保存活用事業
(とよはし歴史探訪・講座・シンポジウム等)参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保 健 給 食 費	3,976,524,912	865,537,995	51,200,000	841,358,626	2,218,428,291
2目 子どもの心と体の育成費 <健やかな心と体の育成>	3,878,291,643	865,537,995	51,200,000	841,358,626	2,120,195,022

1 学校保健事業費 176,193,968 円 (保健給食課)

[総 括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 139,374,625 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 100,724,690 円

区 分		人 員	
		令和3年度	令和4年度
学 校 医	内 科	81人	78人
	耳 鼻 科	12	10
	眼 科	13	13
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		229	224

(イ) 健康診断費 38,649,935 円

区 分	対 象	令和3年度	令和4年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	33,144人	32,627人	△ 1.6%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,398	10,334	△ 0.6
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,180	2,989	△ 6.0
教 職 員 健 診	全 員	6,063	5,705	△ 5.9

(2) 学校保健推進事業費 4,017,679 円

(ア) 学校保健会補助金 638,686 円

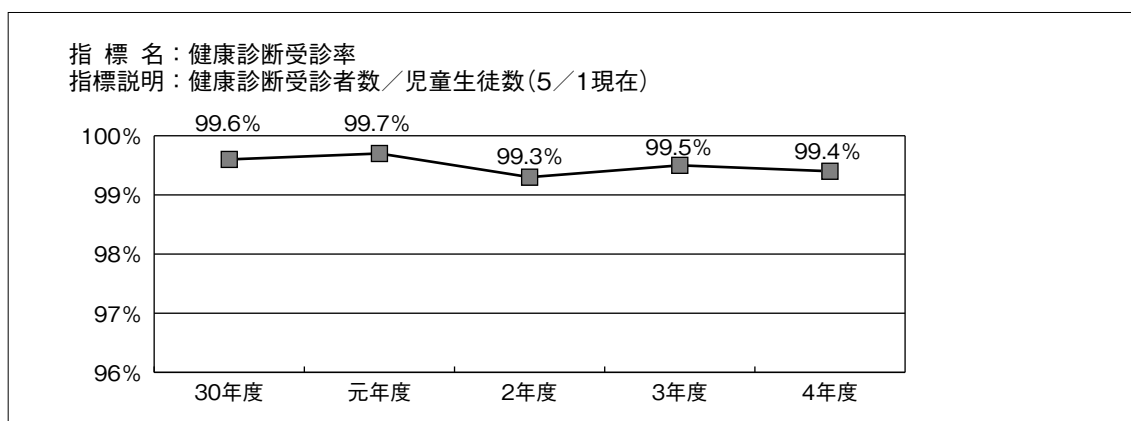
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 30,468,350 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 29,710,450 円

(4) 学校結核予防事業費 2,333,314 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和3年度	令和4年度	比 較	令和3年度	令和4年度	比 較
胸部エックス線撮影	367人	518人	41.1%	1,927人	1,897人	△ 1.6%
事 後 措 置	1	0	皆減	0	0	0.0

[指標]



2 学校給食センター運営事業費 1,684,135,818 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。令和 4 年度は、西部学校給食共同調理場の廃止および曙学校給食センターの稼働に伴い、配送校の組み換えを行った。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 南部学校給食センター 240,028,559 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
小学校 13校	5,116人	延1,485,957食	小学校 9校	5,120人	延1,338,400食	
中学校 5	2,841		中学校 5	2,440		
特別支援学校 1	401					

(2) 北部学校給食センター 536,811,791 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
小学校 13校	5,050人	延1,393,904食	小学校 17校	6,392人	延1,724,541食	
中学校 6	2,830		中学校 7	3,366		

(3) 東部学校給食センター 127,851,262 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
小学校 15校	6,372人	延1,714,353食	小学校 7校	2,783人	延 755,685食	
中学校 6	3,215		中学校 3	1,507		

(4) 曙学校給食センター 616,312,225 円

令和 3 年度			令和 4 年度			食数比較
—			小学校 19校	7,250人	延2,034,594食	
			中学校 7	3,880		
			特別支援学校 1	420		

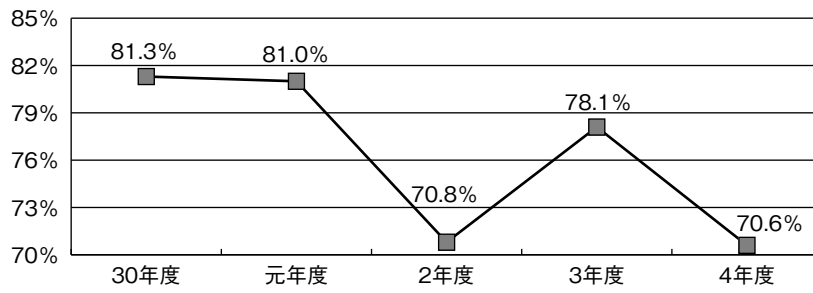
(5) 旧西部学校給食共同調理場の解体 62,841,187 円

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
		—

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率

指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
11款	災 害 復 旧 費	22,467,500	375,650	0	0	22,091,850	
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	4,766,300	0	0	0	4,766,300	
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	4,766,300	0	0	0	4,766,300	
1 道路橋梁災害応急復旧費 4,766,300 円 (道路維持課) [総括] 令和4年5月の大雨により、石巻本町・伊古部町において道路法面崩れが発生したため、迅速な復旧に努めた。 [実績及び成果] (1) 道路橋梁災害応急復旧費 4,766,300 円							
内 容		令和3年度		令和4年度			
		道路損壊復旧 2か所		道路損壊復旧 2か所			
科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	9,944,000	375,650	0	0	9,568,350	
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	9,944,000	375,650	0	0	9,568,350	
1 農林水産施設災害復旧費 9,944,000 円 (農地整備課) [総括] 令和4年7月の大雨により、二川漁港海岸の管理用通路が崩落・洗掘したため、迅速な復旧に努めた。 また、令和4年9月の台風15号の影響とみられる漂着流木等について、利用頻度が高く漁業に与える影響が大きい高塚船揚場付近を先行して撤去した。 [実績及び成果] (1) 漁港海岸施設災害応急復旧費 9,944,000 円							
内 容		令和3年度		令和4年度			
		—		通路整備工・流木処理工			
科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	7,757,200	0	0	0	7,757,200	
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	7,757,200	0	0	0	7,757,200	
1 諸施設災害応急復旧費 7,757,200 円 (公園緑地課始め2課) [総括] 令和4年5月の大雨、9月の台風14号により、公園や学校の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。 [実績及び成果] (1) 諸施設災害応急復旧費 7,757,200 円							
内 容		令和3年度			令和4年度		
		教育政策課	公共施設等復旧	飯村小学校	公園緑地課	公共施設等復旧	高師緑地 東田小学校ほか

Ⅲ 特別会計

競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	26,138,137,294	0	0	110,688,909	26,027,448,385

1 競輪開催事業費 5,404,889,890 円 (競輪事務所)

[総括]

昭和24年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人JKAへの交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

令和4年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しての開催であったが、コロナ禍において新しい生活様式へ変化が進み、インターネット投票が増加したことから、年間売上は前年度比で約27億6千万円の増となった。

単年度収支についても、ミッドナイト競輪の売上が増加したこと等により約14億4千万円を確保することができ、2億4千万円を一般会計に繰り出した。

競輪業界では、中期基本方針に沿って競輪の持続的発展による社会還元(①機械振興、②公益増進、③地方財政の健全化)の最大化を図るための取組みを進めている。豊橋競輪場においても、来場者や全国の競輪ファンにとって魅力のある競輪場となるよう施設整備を推進するとともに、顧客ニーズを分析した開催形式、レース形態での実施や場外発売場数の増加等の施策に取り組み、本場開催及び場外発売を公正、安全に実施し、収益の確保に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 市営競輪開催成績

区 分		令和3年度			令和4年度			比 較		
開 催 回 数 日	普通競輪	12回	19節	57日	12回	20節	60日	0.0%	5.3%	5.3%
	記念競輪	1	1	4	1	1	4	0.0	0.0	0.0
	計	13	20	61	13	21	64	0.0	5.0	4.9
入 場 者 数	普通競輪	29,452人			23,296人			△20.9%		
	記念競輪	5,795			7,797			34.5		
	計	35,247			31,093			△11.8		
売 上 高	普通競輪	17,584,915,600円			20,347,942,700円			15.7%		
	記念競輪	5,587,284,200			5,585,697,100			△ 0.0		
	計	23,172,199,800			25,933,639,800			11.9		

(2) 施設整備費 116,534,170 円

区 分	令和3年度	令和4年度
主 な 内 容	メインスタンド空気調和機修繕 照明塔等改修基本及び実施設計 非常用発電機部品取替修繕	ナイター照明増設工事 メインスタンド空気調和機全熱交換器修繕

競輪事業施設等整備基金残高

単位：千円

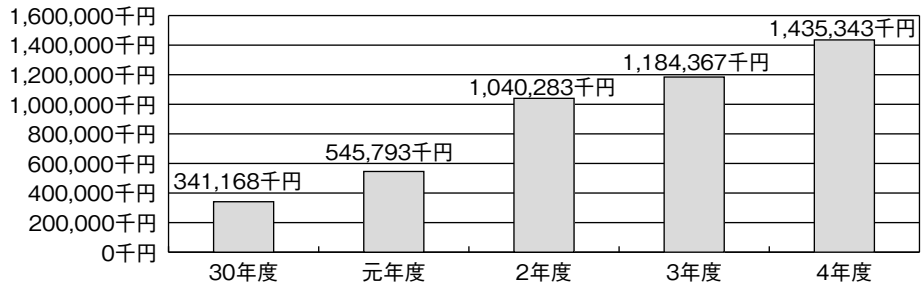
令和4年度当初	積立額	取崩し額	令和4年度末残高
1,923,651	1,050,663	107,000	2,867,314

[指 標]

指 標 名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度実質収支

※利子以外の財政調整基金収入は歳入に含まず、一般会計繰出金及び利子以外の基金積立金は歳出に含まない



国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業 <公的医療保険制度の円滑な運営、 疾病の予防対策の推進>	32,348,813,827	22,067,059,924	0	599,634	10,281,154,269

1 国民健康保険給付事業費 21,699,012,661 円 (国保年金課)

[総括]

少子化や後期高齢者医療制度への移行等により被保険者数は減少したが、高齢化の進展、医療の高度化等により1人当たり医療給付金額は増加した。新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスに感染した被保険者に対し傷病手当金を支給し、件数、金額とも前年度から大幅に増加した。今後も医療費の適正化に努めるとともに、国、県、国民健康保険団体連合会等関係機関と協力し、適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

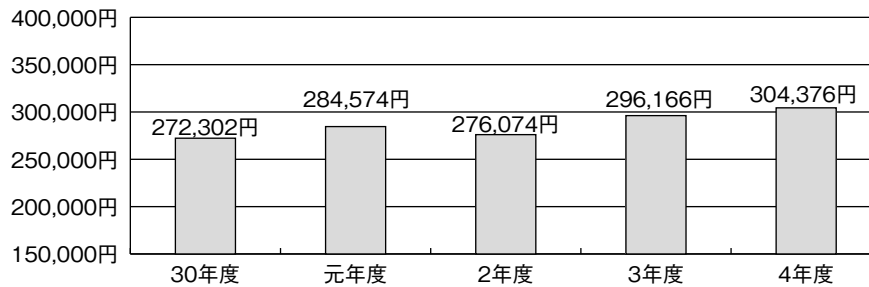
(1) 保険給付費 21,699,012,661 円

区 分	令和3年度		令和4年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,253,832件	21,813,192,488円	1,235,076件	21,522,455,197円
出産育児一時金給付	225	94,185,990	205	87,411,650
葬 祭 費 給 付	424	21,200,000	447	20,800,000
傷 病 手 当 金	64	2,549,992	480	10,762,602
審査支払手数料等	—	58,303,760	—	57,583,212
平均被保険者数	73,652人		70,710人	

[指標]

指標名：1人当たり医療給付金額

指標説明：(療養諸費(審査支払手数料を除く)+高額療養費+移送費)/平均被保険者数(一般+退職)



2 国保税納税事務費 375,270 円 (納税課)

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策として、収入が大幅に減少した被保険者に対し、保険税の減免を行ったほか、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、未就学児に係る保険税の均等割額について、5割軽減を行った。

[実績及び成果]

(1) 国保税収納整理事務費 311,695 円

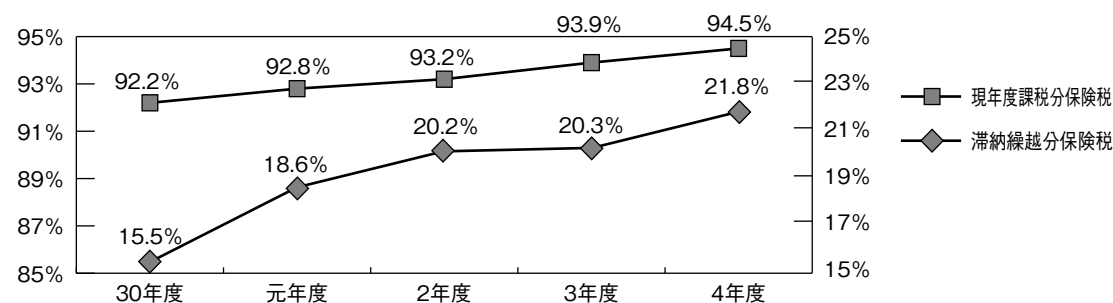
現年度課税分保険税	令和3年度		令和4年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	7,261,788,700円	6,820,041,955円	7,200,787,800円	6,801,633,585円

(2) 国保税滞納整理事務費 63,575 円

滞納繰越分保険税	令和3年度		令和4年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	2,433,093,350円	493,961,399円	2,164,756,399円	471,220,722円

[指標]

指標名：保険税収入率(現年度課税分、滞納繰越分)
 指標説明：収入額／調定額



3 特定健康診査等事業費 236,961,666 円 (健康増進課)

[総括]

特定健康診査では、受診率の向上に向け、AIを活用した対象者別のはがきによる未受診者勧奨を3回実施するとともに、新たに効果的なタイミングでSMSによる勧奨を行った。また、特定保健指導では、少人数制の面談を取り入れ、集団指導におけるメリットを活かし、参加者の行動変容を促すよう努めた。今後も引き続き特定健康診査受診率及び特定保健指導初回面接利用者数の増加等に努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 233,419,518 円

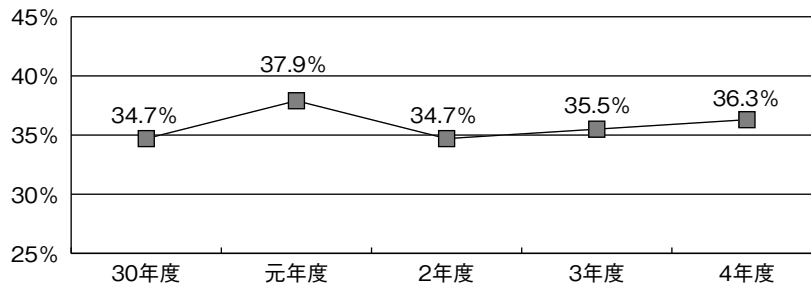
特定健康診査	令和3年度		令和4年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	56,860人	20,159人	54,781人	19,880人

(2) 特定保健指導事業費 3,542,148 円

区分		令和3年度	令和4年度
初回面接利用者数	動機付け支援	256人	304人
	積極的支援	46	62

[指 標]

指 標 名：特定健康診査受診率
指 標 説 明：受診者数／受診券発送者数



総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <のんほいパークの魅力向上>	1,662,909,327	62,458,000	31,900,000	16,722,309	1,551,829,018

1 総合動植物公園管理運営事業費 955,402,340 円 (動植物園)

[総括]

総合動植物公園の快適な園内空間の創出のため、展望塔エレベーターや園路の改修、新型コロナウイルス感染症対策のためのトイレ自動水洗化・洋式化等に取り組むとともに、園の魅力向上と動物の飼育環境向上を目的としたオーストラリア園・カンガルーデッキの改修に取り組んだ。

年間入園者数については、ゴールデンウィーク期間及び夏の夜間開園イベント『ナイトZOO』の盛況に加え、自然史博物館の特別企画展『ポケモン化石博物館』が好評を博したため、開園以来初となる100万人を突破し、約113万人となった。今後も、園の魅力向上とプロモーション活動を通じて利用者の満足度向上に努めるとともに、園の持続的かつ発展的な運営に向けた経営改革に取り組んでいく。

[実績及び成果]

[動植物公園入園状況]

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
開 園 日 数	314日	316日	0.6%
入 園 者 数	延 960,167人	延 1,134,939人	18.2
動 物 の 展 示	138種	140種	1.4
	805点	818点	1.6
植 物 の 展 示	2,685種	2,728種	1.6
遊 具 設 置 数	14機	14機	0.0
遊 具 利 用 者 数	延 1,155,125人	延 1,286,461人	11.4

[施設整備]

内 容	令和3年度	令和4年度
	チンパンジー舎改修工事 エンリッチメント施設更新	オーストラリア園・カンガルーデッキ改修工事 展望塔エレベーター等改修工事 休憩施設兼講義室実施設計 トイレ洋式化工事

(1) イベント企画運営事業費 47,701,608 円

(ア) ナイト ZOO の開催

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
	開催日 (7.22~7.25、7.30、7.31、8.1、8.6~8.11、 8.15、8.20、8.22)	開催日 (7.22~7.24、7.29~7.31、8.5~8.7、8.9 ~8.11、8.14、8.15、8.19~8.21、8.26~ 8.28、9.3、9.4、9.10、9.11、9.24、9.25)

(イ) 四季イベント等の開催

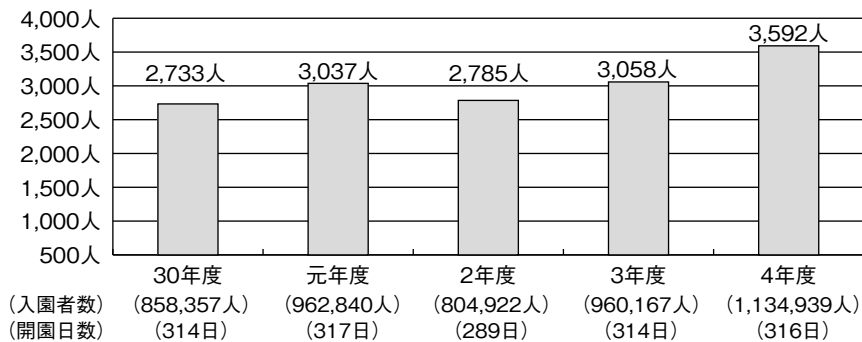
内 容	令和 3 年度	令和 4 年度
	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.29~5.9) ・秋のイベント (10.9~11.23) ・クリスマス、新春イベント (12.11~1.16) ・春のイベント (3.12~3.31) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (11.3、11.6、12.25)	○季節のイベント ・ゴールデンウィークイベント (4.29~5.8) ・秋のイベント (10.8~11.27) ・クリスマス、新春イベント (12.17~2.26) ・年間入園者数100万人達成イベント (2.11) ・春のイベント (3.18~3.31) ○企業、団体コラボイベント ・地元企業とのイベント (7.16~7.18、11.26、12.25)

(ウ) シティプロモーションの推進

	令和3年度	令和4年度
内 容	○中日新聞（東三河版・遠州版・長野版）PR広告 (4.29、7.23、8.28、2.25、2.26)	○中日新聞（東三河版・遠州版・長野版）PR広告 (4.29、7.23、8.26、2.24、3.17)
	○豊橋商工会議所 会報誌「ニューボイス」への広告掲載 (8.1)	○豊橋商工会議所 会報誌「ニューボイス」への広告掲載 (8.1)
	○新聞折込チラシ（東三河、西三河一部、浜松） (8.5)	○新聞折込チラシ（東三河、西三河一部、浜松） (8.4)
	○豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフラッグ設置 (7.22～8.22)	○豊橋駅東西自由連絡通路でのPRフラッグ設置 (7.22～9.25)
	○三重テレビCM（三重県内） (7.25)	○PTA新聞「愛知のPTA」（西三河地区） (4.1、7.1)
	○インターネット広告 (7.15～8.22)	○インターネット広告 (7.15～7.31)
	○書籍「まるごとぜんぶ豊橋の本」掲載 (2.17)	

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園1日当たりの入園者数
 指標説明：入園者数／開園日数



公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 <交通環境の保全>	148,458,756	0	0	405,189	148,053,567

1 公共駐車場管理運営事業費 111,018,705 円 (土木管理課)

[総括]

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。令和4年度は施設の長寿命化計画に沿って、駅前大通公共駐車場(第1)において排気ファンの更新などを行ったほか、利用者の安全・安心のため、駅前大通公共駐車場(第1)、(第2)において合流注意灯の取替、防犯カメラの更新などを実施した。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 公共駐車場管理運営事業費 111,018,705 円

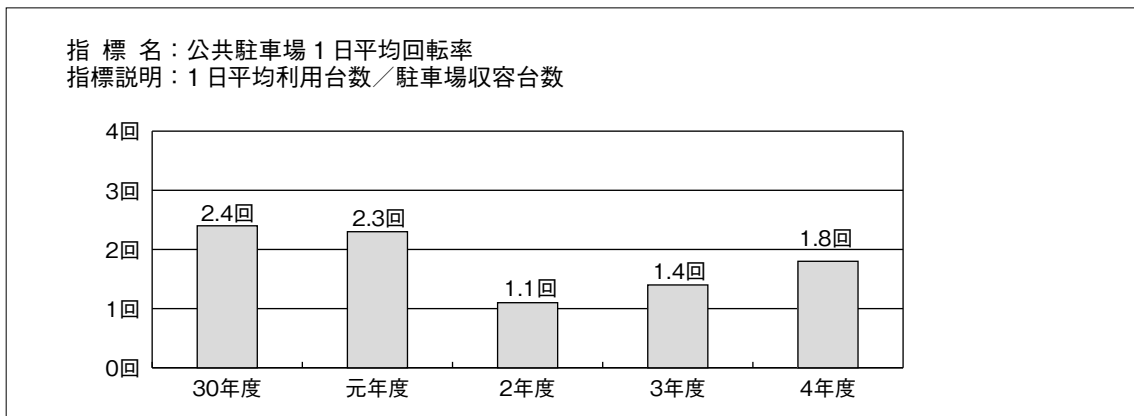
区 分	令和3年度	令和4年度
施設管理費	27,932,005円	36,683,705円
指定管理料	74,335,000	74,335,000
施設整備費	30,778,000	0

[利用状況]

区 分	令和3年度			令和4年度		
	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間
駅前第1公共駐車場	43,728台	120台	60分	86,781台	238台	41分
駅前第2公共駐車場	156,429	429	83	170,558	467	87
松葉公園地下駐車場	49,040	134	115	58,526	160	118

※普通駐車は夜間駐車、打切り料金及び定期利用を除く

[指標]



母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子父子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等への支援の充実>	24,890,501	0	1,908,000	13,059,665	9,922,836

1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 24,890,501 円 (子育て支援課)

[総括]

母子父子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、ひとり親家庭等の福祉増進を目的として、「現に20歳未満の児童を扶養している、配偶者のない女子または男子」及び「かつて配偶者のない女子として児童を扶養していたことのある、配偶者のない女子」に対して貸付を行うものであり、貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。

今後も、ひとり親家庭等の経済的自立や生活の向上を図るため、貸付制度の周知を図り、活用を促していく。

[実績及び成果]

(1) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 24,890,501 円

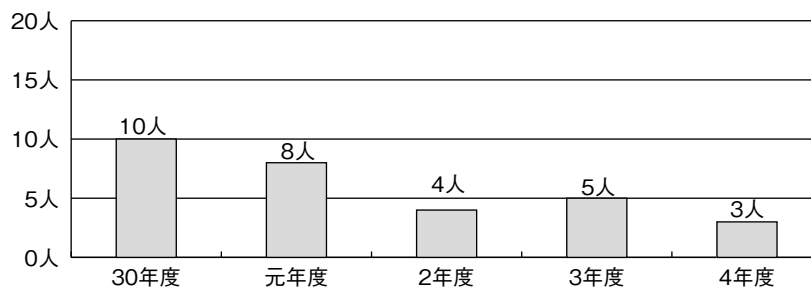
[貸付状況]

区 分	令和3年度	令和4年度
母子福祉資金貸付件数	5件	3件
父子福祉資金貸付件数	0	0
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	5	3
母子福祉資金貸付金額	2,700,000円	1,908,000円
父子福祉資金貸付金額	0	0
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	2,700,000	1,908,000

[指標]

指標名：母子父子寡婦福祉資金貸付事業借入者数

指標説明：〃



後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後期高齢者医療 <公的医療保険制度の円滑な運営、 疾病の予防対策の推進>	9,432,679,068	0	0	288,321,546	9,144,357,522

1 後期高齢者医療事務費 90,271,290 円 (国保年金課)

[総括]

愛知県後期高齢者医療広域連合とともに、適正な資格管理、保険給付を行った。また、保険料未納者へ催告や臨戸訪問を行うとともに、必要に応じ滞納処分を行い、収入率の向上につなげた。今後も後期高齢者医療制度の安定運営に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 窓口事務費 78,674,780 円

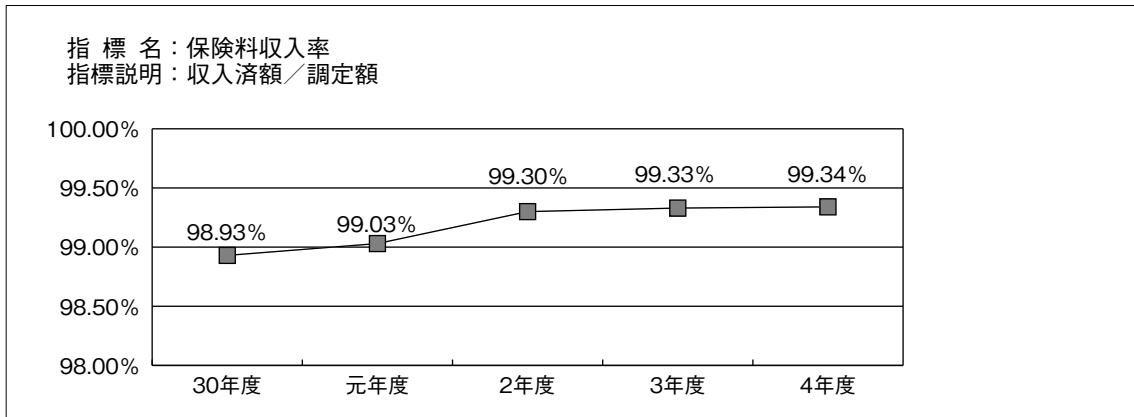
被 保 険 者 数	令和3年度	令和4年度	比 較
		50,718人	52,962人

※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

(2) 徴収事務費 11,596,510 円

区 分		令和3年度	令和4年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	38,661人	40,239人	4.1%
	普通徴収	12,057	12,723	5.5
督促状発付件数		4,069件	5,508件	35.4
口座振替利用者数(普通徴収)		7,192人	7,864人	9.3

[指標]



2 保健事業費

189,651,306 円（国保年金課・健康増進課）

[総括]

病気の予防及び早期発見のため、健康診査を実施するとともに、集団健診会場において、フレイル予防や野菜摂取量について生活習慣病予防のための個別健康教室を行った。また、高齢者の口腔機能の維持・向上によりフレイル予防を図るため、76歳を対象として新たに歯科健康診査を開始した。

[実績及び成果]

(1) 健康診査事業費 181,799,545 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
受 診 者 数	14,790人	16,230人	9.7%

(2) 歯科健康診査事業費 5,174,990 円

区 分	令和3年度	令和4年度	比 較
受 診 者 数	—	635人	皆増

[指 標]

指 標 名：健康診査受診者数
 指標説明：／

